資料２

看護職等が受ける暴力・ハラスメントに対する実態調査

【資料集】

表 1-11、図 1-68

作成者：関西医科大学看護学部　矢山壮、三木明子

Ⅰ．回答者の属性と回答施設の概要

アンケートは 5341 施設に配布し、2020 年 3 月 10 日現在、941 施設回答を得た（回収率 17.6%）。

問 1　回答者の職位・役割（複数回答可）

回答者のうち看護部長が 637 施設（67.7%）、医療安全管理者が 205 施設（21.8%）、副看護部長が 129 施設（13.7%）、その他が 56 件（6.0%）であった（図 1）。

問 2. 開設主体

回答施設のうち最も多かったのは「医療法人」が 475 施設（50.5%）であった。次に「都道府県、市町村（一部事務組合を含む）」が 156 施設（16.7 %）、「独立行政法人国立病院機構」が 37 施設（3.9%）と続いた（表 1）。

問 3. 病院の種類

一般病院は 664 施設(70.6%)、精神科病院 148 施設（15.7%）、その他 122 施設（13.0%）であった。調査対象施設（5341 施設）で精神病床が 100 床以上の施設が 1281 施設（24.0%）であったため、分析対象施設の精神科病院の割合はやや少なかった（図 2）。

問 4. 病院の病床数

平均病床数が 251 床であった。200 床以下は 497 施設、201～400 床は 313 施設、401 床以上は 130 施設であった。分析対象施設と調査対象施設の病床数別の割合に大きな違いはなかった（図 3）。

問 5. 看護職等の人数

本調査では准看護師、看護補助者を含み、平均看護職等数は 216 人であった。最も少ない施設は 29 人で、最も多い施設が 1221 人であった（図 4）。

問 6. 地域での主な役割（複数回答）

回答施設のうち最も多かったのは「急性期や回復期、慢性期等の患者に対する複数の機能をもち、地域のニーズに幅広く対応する」が 447 施設（47.5%）であった。次に「急性期疾患で入院医療が必要な患者や、比較的軽度な急性期患者に対応する」が 374 施設（39.7%）、「長期にわたり療養が必要な疾患・障害のある患者に対応する」が 351 施設（37.3%）と続いた（図 5）。

問 7. 算定している入院基本料

回答施設のうち最も多かったのは「急性期一般入院基本料」が 549 施設（58.3%）であっ

た。次に「療養病棟入院基本料」が 307 施設（32.6%)、「精神病棟入院基本料」が 171 施設（18.2%）と続いた（図 6)。

問 8. 暴力等に対するリスク管理の体制

担当部署があると回答した施設は 616 施設（65.5%）であった。病床数別に分けて集計すると、病床数 200 床以下は 59.2%、201～400 床は 76.6%、401 床以上は 82.8%が担当部署はあると回答した。看護職数別に分けて集計すると、看護職数 100 人以下は 50.2%、101-200 人は 66.7%、201-300 人は 84.8%、301 人以上は 81.3%が担当部署はあると回答した。

医療安全管理者では「専任者がいる」と回答した施設は 282 施設（30.0%)、「専従者がいる」は 371 施設（39.4%)、「兼任者がいる」は 242 施設（25.7%)、「いない」は 40 施設（4.3%）であった。

担当者については「ある職種が担当」と回答した施設は 597 施設（63.4%)、「事務管理者が担当」は 242 施設（25.7%)、「特に決まっていない」は 82 施設（8.7%）であった。

問 9. 暴力等の対策の状況

「暴力等の対策を検討する委員会等の人数」は平均 10.0±7.3 人（中央値 10.0）であった。最も多いのは 44 人であった。病床数別に分けて集計すると、病床数 200 床以下は平均 9.3±7.0 人、201～400 床は平均 10.6±6.9 人、401 床以上は平均 11.6±9.0 人であった。看護職数別に分けて集計すると、看護職数 100 人以下は平均 8.9±6.9 人、101-200 人は平均 10.1±7.0 人、201-300 人は平均 11.1±6.9 人、301 人以上は平均 10.1±8.8 人であった。「暴力等の対策を検討する会議の開催頻度（年間)」は平均 6.2±7.5 回（中央値 2.0）であった。「暴力発生時」など適宜開催している施設は 89 施設であった。「暴力等の対応に関する研修の開催回数」は平均平均 1.0±1.4 回（中央値 1.0）であった（表 2)。

Ⅱ．暴力等を予防するための管理体制

問 10. 施設環境づくりの実施状況

回答施設の中で、「実施中」が最も多かった施設環境作りは「施設の明るさ、音、スペース、温度、においなどが患者と医療従事者にとって快適な環境にしている」で 530 施設（56.3%）あった。次に「待合室の椅子などを快適に整え、ゆったりとした気分で過ごせる環境にしている（壁の配色やインテリア等)」が 505 施設（53.7%)、「待ち時間を減らし、残りの待ち時間がわかるような工夫や待ち時間の苦痛を軽減する工夫をしている（雑誌、新聞、テレビ、ディバイス、アプリなど)」が 400 施設（42.5%）と続いた（図 7)。

問 11. 患者との良好なコミュニケーションの工夫の実施状況

回答施設の中で、「実施中」が最も多かった患者との良好なコミュニケーションの工夫は「患者が相談出来る窓口や意見箱などをわかりやすい場所に設置している」で 831 施設（88.3%）あった。次に「親切な接遇を常に心掛けるよう職員に周知している」が 818 施設（86.9%)、「来院者に積極的に笑顔で挨拶と声掛けするよう職員に周知している」が 774 施設（82.4%）と続いた（図 8)。

問 12. 暴力等の方針やマニュアル等の作成、周知の実施状況

回答施設の中で、「実施中」が最も多かった暴力等の方針やマニュアル等の作成、周知は「暴力等の対応に関するマニュアルを作成している」で 604 施設 (64.9%) あった。次に「医療機関の方針として、患者・家族等へ「いかなる暴力も容認しない」ことを周知している」が 552 施設 (58.8%)、「緊急時に応援を呼ぶ手順や護身のための対応や避難についてマニュアルに記載している」が 541 施設（58.0%）と続いた（図 9)。

問 13. 暴力等の発生を防止するための体制づくりの実施状況

回答施設の中で、「実施中」が最も多かった暴力等の発生を防止するための体制づくりは「暴力等の発生のリスクが高い場合、複数人でかかわる」で 622 施設（66.1%）あった。次に「深夜の帰宅を避けるなどの勤務体制の工夫している」が 392 施設（41.7%)、「外来、病棟における単独勤務時間を回避・短縮している」が 332 施設（35.3%）と続いた（図 10)。

III. 看護職等に対する暴力等の実態

問 14. 看護職に対する暴力等の発生件数の把握

回答施設のうち看護職に対する暴力等の発生件数の把握しているのは 713 件（78.8%)、把握していないのは 192 件（21.2%）であった（図 11)。

問 15-1. 看護職等に対する暴力等の報告件数

平成 30 年度における看護職に対する暴力等の報告件数で、身体的暴力の「患者によるもの」が平均 5.6±18.8 件（中央値 2.0)、「家族、親族、患者関係者によるもの」が平均 0.2±0.7 件（中央値 0.0）であった。精神的暴力の「患者によるもの」が平均 2.2±7.9 件（中央値 0.0)、「家族、親族、患者関係者によるもの」が平均 1.1±2.6 件（中央値 0.0）であった。セクシュアルハラスメントの「患者によるもの」が平均 1.0±3.0 件（中央値 0.0)、「家族、親族、患者関係者によるもの」が平均 0.1±0.5 件（中央値 0.0）であった（図 12〜17)。

病床数別に暴力等の平均報告件数を比較すると、身体的暴力、精神的暴力、セクシュアルハラスメントのいずれも病床数が多くなるほど、報告件数が多かった（表 3)。看護職数別

に暴力等の報告件数を比較すると、100 人以下はその他の看護職数と比べて、身体的暴力、精神的暴力、セクシュアルハラスメントのいずれも報告件数が少なかった（表 4）。一般病院と精神科病院で暴力等の平均報告件数を比較すると、身体的暴力、精神的暴力、セクシュアルハラスメントのいずれも精神科病院の報告件数が多かった（表 5）。公的病院と民間その他で暴力等の平均報告件数を比較すると、身体的暴力、精神的暴力、セクシュアルハラスメントのいずれも大きな違いはなかった（表 6）。

問 15-2. 看護職等に対する暴力等の応援・届出・相談別件数

平成 30 年度における看護職等に対する暴力等の報告件数のうち他部署や警備員などへの応援依頼件数は平均 1.4±5.0 件（中央値 0.0）であった。警察への届出件数は平均 0.3±1.0 件（中央値 0.0）であった。弁護士への相談件数は平均 0.1±0.5 件（中央値 0.0）であった（表 7）。

問 15-3. 看護職等に対する暴力等の影響

平成 30 年度における看護職等に対する暴力等の報告件数のうち労災の適用件数は平均 0.6±1.9 件（中央値 0.0）であった。身体的受傷件数は平均 1.4±4.1 件（中央値 0.0）であった。精神的不調となった件数は平均 0.2±0.7 件（中央値 0.0）であった。暴力が原因で休職した看護職等の人数は平均 0.1±0.3 人（中央値 0.0）であった。暴力が原因で離職した看護職等の人数は平均 0.1±0.3 人（中央値 0.0）であった（表 8）。

問 16. 報告されない看護職等への潜在的な暴力等

回答施設の中で、「とてもあると思う」と回答した施設が 150 施設（16.1%）、「あると思う」と回答した施設が 574 施設（61.7%）であった（図 18）。

Ⅳ. 暴力等の発生時・発生後の対策の実施状況

問 17. 暴力等発生時の対策の実施状況

回答施設の中で、「実施中」が最も多かった暴力等発生時の対策は「緊急時や夜間時、責任者へ定められた手順で連絡をとる」で 717 施設（76.2%）あった。次に「マニュアルに決められた対応をとる」が 609 施設（64.7%）、「警察に通報する」が 499 施設（53.0%）と続いた（図 19）。

問 18. 暴力等発生後の対策の実施状況

回答施設の中で、「実施中」が最も多かった暴力等発生後の対策は「発生後に記録し報告書を提出する」で 689 施設（73.2%）あった。次に「発生後には決められた対応手順で報告

する」が 667 施設(70.9%)、「暴力等の行為者に迅速に対応策を検討する」が 605 施設(64.3%)と続いた（図 20)。

問 19. 暴力等の被害を受けた職員への支援体制

回答施設の中で、「実施中」が最も多かった暴力等の被害を受けた職員への支援体制は「暴力等の被害を受けた職員が利用できる相談窓口がある」で 582 施設（61.8%）あった。次に「被害を受けた職員に対し、必要な面談やケアを提供する体制がある」が 565 施設(60.0%)、「行為者からの暴力等の再発を予防するために被害者の配置を検討する」が 434 施設（46.1%）と続いた（図 21)。

Ⅴ．対策実施別暴力報告件数

「暴力等を予防するための管理体制」25 項目、「暴力等の発生時・発生後の対策」15 項目、「暴力等の被害を受けた職員への支援体制」7 項目の対策実施数別に患者による身体的暴力と精神的暴力の報告件数を比較すると、ほとんどが対策件数の多い施設ほど報告件数が多かった（表 9-11)。

Ⅵ. 病床数、看護職数、一般・精神科病院、公的・民間病院別結果

回答施設のうち、病床数については病床数 200 床以下、201～400 床、401 床以上で分けて集計した。200 床以下は 497 施設、201～400 床は 313 施設、401 床以上は 130 施設であった。

看護職数については看護職数 100 人以下、101-200 人、201-300 人、301 人以上で分けて集計した。100 人以下は 231 施設、101-200 人は 364 施設、201-300 人は 154 施設、301 人以上は 169 施設であった。

また、一般病院と精神科病院で分けて集計した。一般病院（その他含む）は 786 施設、精神科病院（精神科病棟のみを有する病院）は 148 施設であった。

また、公的病院と民間その他で分けて集計した。公的病院は 258 施設、民間その他は 677 施設であった。

1. 「施設環境づくり」の実施状況について

①施設の明るさ、音、スペース、温度、においなどが患者と医療従事者にとって快適な環境にしている

病床数別では大きな違いは見られなかったが、看護職数別では看護職数が多くなるほど

「実施中」の割合が多くなっていた。一般・精神科病院別では一般病院では大きな違いは見られなかった。公的・民間別では大きな違いは見られなかった（図 22-1～4）。

②待合室の椅子などを快適に整え、ゆったりとした気分で過ごせる環境にしている（壁の配色やインテリア等）

病床数別、看護職数別では大きな違いは見られなかった。一般・精神科病院別、公的・民間別では大きな違いは見られなかった（図 23-1～4）。

③待ち時間を減らし、残りの待ち時間がわかるような工夫や待ち時間の苦痛を軽減する工夫をしている（雑誌、新聞、テレビ、ディバイス、アプリなど）

病床数別では、400 床以上では「実施中」の割合がやや多くなっていたが、看護職数別では大きな違いは見られなかった。一般・精神科病院別では精神科病院では「実施中」の割合がやや多くなっていた。公的・民間別では大きな違いは見られなかった（図 24-1～4）。

④暴力等発生時に安全な場に避難できる経路を確保している

病床数別では病床数が多くなるほど「実施中」の割合が多くなっていた。看護職数別では看護職数が多くなるほど「実施中」の割合がやや多くなっていたが、301 人以上となるとやや少なくなっていた。一般・精神科病院別では精神科病院では「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた。公的・民間別では大きな違いは見られなかった（図 25-1～4）。

⑤監視カメラや録音機（レコーダー）の数と設置場所を適切に定めている

病床数別では 401 床以上が他と比べ「実施中」の割合が多くなっていた。看護職数別では看護職数が多くなるほど「実施中」の割合が多くなっていた。一般・精神科病院別、公的・民間別では大きな違いは見られなかった（図 26-1～4）。

⑥職場を巡視して、暴力等が起こりやすい所を特定して、改善している

病床数別では病床数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合が多くなっており、看護職数別では看護職数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた。一般・精神科病院別では精神科病院で「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた。公的・民間別では大きな違いは見られなかった（図 27-1～4）。

2. 患者との良好なコミュニケーションの工夫の実施状況

①来院者に積極的に笑顔で挨拶と声掛けするよう職員に周知している

病床数別では病床数が多くなるほど「実施中」の割合がやや少なくなっていた。看護職数別では 301 人以上のみが「実施中」の割合がやや少なくなっていた。一般・精神科病院別、公的・民間別では大きな違いは見られなかった（図 28-1～4）。

②親切な接遇を常に心掛けるよう職員に周知している

病床数別では病床数が多くなるほど「実施中」の割合がやや少なくなっていた。看護職数別では 301 人以上のみが「実施中」の割合がやや少なくなっていた。一般・精神科病院別では大きな違いは見られなかった。公的・民間別では公的病院で「実施中」の割合がやや多くなっていた（図 29-1～4）。

③ロールプレイなどを取り入れた暴力等予防のためのコミュニケーショントレーニングを行っている

病床数別では病床数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていたが、看護職数別では大きな違いは見られなかった。一般・精神科病院別では精神科病院では「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた。公的・民間別では公的病院で「実施中」「一部実施」の割合がやや多くなっていた（図 30-1～4）。

④患者が相談出来る窓口や意見箱などをわかりやすい場所に設置している

病床数別では病床数が多くなるほど「実施中」の割合がやや多くなっており、看護職数別では看護職数が多くなるほど「実施中」の割合がやや多くなっていた。一般・精神科病院別、公的・民間別では大きな違いは見られなかった（図 31-1～4）。

⑤患者・家族の満足度調査などを行い、意見（クレーム）や質問から積極的に改善のヒントを得て、実践している

病床数別では病床数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合が多くなっており、看護職数別では看護職数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた。一般・精神科病院別では一般病院で「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた。公的・民間別では公的病院で「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた（図 32-1～4）。

3. 暴力等の方針やマニュアル等の作成、周知の実施状況

①暴力等に該当する行為基準（暴力の定義）について明確にしている

病床数別では病床数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合が多くなっており、看護職数別では看護職数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた。一般・精神科病院別では一般病院で「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた。公的・民間別では公的病院で「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた（図 33-1～4）。

②医療機関の方針として、患者・家族等へ「いかなる暴力も容認しない」ことを周知している

病床数別では病床数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合が多くなっており、看護職数別では看護職数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた。一

般・精神科病院別では大きな違いは見られなかった。公的・民間別では公的病院で「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた（図 34-1～4）。

③全職員に暴力等の医療施設の対策について周知している
　病床数別では病床数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合が多くなっており、看護職数別では看護職数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた。一般・精神科病院別では大きな違いは見られなかった。公的・民間別では公的病院で「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた（図 35-1～4）。

④暴力等を容認しないとポスターや配布物やホームページに掲載している
　病床数別では病床数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合が多くなっており、看護職数別では看護職数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた。一般・精神科病院別では一般病院で「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた。公的・民間別では公的病院で「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた（図 36-1～4）。

⑤暴力等の対応に関するマニュアルを作成している
　病床数別では病床数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合が多くなっており、看護職数別では看護職数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた。一般・精神科病院別では一般病院で「実施中「一部実施」」の割合がやや多くなっていた。公的・民間別では公的病院で「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた（図 37-1～4）。

⑥緊急時に応援を呼ぶ手順や護身のための対応や避難についてマニュアルに記載している
　病床数別では病床数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合が多くなっており、看護職数別では看護職数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた。一般・精神科病院別では精神科病院で「実施中」「一部実施」の割合がやや多くなっていた。公的・民間別では公的病院で「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた（図 38-1～4）。

⑦暴力等の対応策をまとめた簡便なマニュアルを全職員に配布するなどして周知している
　病床数別では病床数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合が多くなっており、看護職数別では看護職数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた。一般・精神科病院別では大きな違いは見られなかった。公的・民間別では公的病院で「実施中」の割合がやや多くなっていた（図 39-1～4）。

4. 暴力等の発生を防止するための体制づくり」の実施状況
①患者の状態や病状を把握して、暴力等発生の可能性を評価し、予防や注意した対応をして

いる

病床数別では病床数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていたが、看護職数別では大きな違いは見られなかった。一般・精神科病院別では精神科病院で「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた。公的・民間別では大きな違いは見られなかった（図 40-1～4）。

②警備員を配置して、巡回をすることで暴力等の発生を防止する体制を整えている

病床数別では病床数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合が多くなっており、看護職数別では看護職数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた。一般・精神科病院別では一般病院で「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた。公的・民間別では公的病院で「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた（図 41-1～4）。

③深夜の帰宅を避けるなどの勤務体制の工夫している

病床数別、看護職数別では大きな違いは見られなかった。一般・精神科病院別では一般病院で「実施中」「一部実施」の割合がやや多くなっていた。公的・民間別では民間その他で「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた（図 42-1～4）。

④外来、病棟における単独勤務時間を回避・短縮している

病床数別では病床数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合がやや多くなっており、看護職数別では看護職数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合がやや多くなっていた。一般・精神科病院別では精神科病院で「実施中」「一部実施」の割合がやや多くなっていた。公的・民間別では大きな違いは見られなかった（図 43-1～4）。

⑤過去に暴力等のある患者のスクリーニングをしている

病床数別では病床数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合が多くなっており、看護職数別では看護職数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた。一般・精神科病院別では精神科病院で「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた。公的・民間別では大きな違いは見られなかった（図 44-1～4）。

⑥暴力等の対応の訓練を受けた職員から支援を受けられる体制がある

病床数別では病床数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合が多くなっており、看護職数別では看護職数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた。一般・精神科病院別では精神科病院で「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた。公的・民間別では大きな違いは見られなかった（図 45-1～4）。

⑦暴力等の発生のリスクが高い場合、複数人でかかわる

病床数別では病床数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合が多くなっており、看護職数別では看護職数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合がやや多くなっていた。一般・精神科病院別では精神科病院で「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた。公的・民間別では大きな違いは見られなかった（図 46-1～4）。

5. 発生時の対策の実施状況

①元警察職員（警察 OB）に応援依頼する

病床数別では病床数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合が多くなっており、看護職数別では看護職数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた。一般・精神科病院別では一般病院で「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた。公的・民間別では公的病院で「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた（図 47-1～4）。

②警備員に応援依頼する

病床数別では病床数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合が多くなっており、看護職数別では看護職数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた。一般・精神科病院別では一般病院で「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた。公的・民間別では公的病院で「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた（図 48-1～4）。

③警察に通報する

病床数別では病床数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合が多くなっており、看護職数別では看護職数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた。一般・精神科病院別では一般病院で「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた。公的・民間別では公的病院で「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた（図 49-1～4）。

④マニュアルに決められた対応をとる

病床数別では病床数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合が多くなっており、看護職数別では看護職数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた。一般・精神科病院別では大きな違いは見られなかった。公的・民間別では公的病院で「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた（図 50-1～4）。

⑤緊急時や夜間時、責任者へ定められた手順で連絡をとる

病床数別では病床数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合がやや多くなっており、看護職数別では看護職数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合がやや多くなっていた。一般・精神科病院別では大きな違いは見られなかった。公的・民間別では公的病院で「実施中」「一部実施」の割合がやや多くなっていた（図 51-1～4）。

⑥警備委託先への非常通報ボタンや非常電話を利用する

病床数別では病床数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合が多くなっており、看護職数別では看護職数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた。一般・精神科病院別では大きな違いは見られなかった。公的・民間別では大きな違いは見られなかった（図 52-1～4）。

⑦緊急コールができる機器（携帯電話、キッズ携帯、防犯ベル）を携帯し、必要時利用する

病床数別では病床数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合が多くなっており、看護職数別では看護職数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた。一般・精神科病院別では精神科病院で「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた。公的・民間別では公的病院で「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた（図 53-1～4）。

⑧暴力等制止のための器具を使用する

病床数別では病床数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合が多くなっており、看護職数別では看護職数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた。一般・精神科病院別では大きな違いは見られなかった。公的・民間別では公的病院で「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた（図 54-1～4）。

6. 発生後の対策の実施状況

①発生後に記録し報告書を提出する

病床数別では病床数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合がやや多くなっていた。看護職数別では大きな違いは見られなかった。一般・精神科病院別では精神科病院で「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた。公的・民間別では大きな違いは見られなかった（図 55-1～4）。

②発生後には決められた対応手順で報告する

病床数別では病床数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた。看護職数別では 201-300 人と 301 人以上では「実施中」の割合がやや多くなっていた。一般・精神科病院別では精神科病院で「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた。公的・民間別では大きな違いは見られなかった（図 56-1～4）。

③暴力等の行為者に迅速に対応策を検討する

病床数別では病床数が多くなるほど「実施中」の割合が多くなっていた。看護職数別では 201-300 人と 301 人以上では「実施中」の割合がやや多くなっていた。一般・精神科病院別では精神科病院で「実施中」の割合が多くなっていた。公的・民間別では大きな違いは見られなかった（図 57-1～4）。

④暴力等のケースを振り返り院内で再発防止を検討する

病床数別では病床数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合がやや多くなっていた。看護職数別では 201-300 人で「実施中」の割合がやや多くなっていた。一般・精神科病院別では精神科病院で「実施中」の割合が多くなっていた。公的・民間別では大きな違いは見られなかった（図 58-1～4）。

⑤暴力等のケースについて他の医療機関と情報共有する

病床数別では 201-400 床で「実施中」「一部実施」の割合がやや多くなっていた。看護職数別では大きな違いは見られなかった。一般・精神科病院別、公的・民間別では大きな違いは見られなかった（図 59-1～4）。

⑥警察に被害届を出す体制がある

病床数別では病床数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合が多くなっており、看護職数別では看護職数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた。一般・精神科病院別では一般病院で「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた。公的・民間別では公的病院で「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた（図 60-1～4）。

⑦弁護士に相談する体制がある

病床数別では 200 床以下で「実施中」「一部実施」の割合がやや少なくなっていた。看護職数別では看護職数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていたが、201-300 人、301 人以上では大きな違いは見られなかった。一般・精神科病院別では一般病院で「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた。公的・民間別では公的病院で「実施中」「一部実施」の割合がやや多くなっていた（図 61-1～4）。

7. 暴力等の被害を受けた職員への支援体制

①暴力等の被害を受けた職員が利用できる相談窓口がある

病床数別では病床数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合が多くなっており、看護職数別では看護職数が多くなるほど「実施中」の割合が多くなっていたが、201-300 人、301 人以上では大きな違いは見られなかった。一般・精神科病院別では大きな違いは見られなかった。公的・民間別では公的病院で「実施中」「一部実施」の割合がやや多くなっていた（図 62-1～4）。

②被害を受けた職員に対し、必要な面談やケアを提供する体制がある

病床数別では病床数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた。看護職数別では看護職数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていたが、301 人以上では 201-300 人より「実施中」の割合が少なくなっていた。一般・精神科病院別

では精神科病院で「実施中」「一部実施」の割合がやや多くなっていた。公的・民間別では大きな違いは見られなかった（図 63-1～4）。

③被害者のケアのために管理者を支援する体制がある

病床数別では病床数が多くなるほど「実施中」の割合が多くなっており、看護職数別では看護職数が多くなるほど「実施中」の割合が多くなっていた。一般・精神科病院別では大きな違いは見られなかった。公的・民間別では公的病院で「実施中」の割合がやや多くなっていた（図 64-1～4）。

④被害者やその場に居合わせた人が安心して職場へ復帰できる支援体制がある

病床数別では病床数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合が多くなっており、看護職数別では看護職数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた。一般・精神科病院別では精神科病院で「実施中」「一部実施」の割合がやや多くなっていた。公的・民間別では大きな違いは見られなかった（図 65-1～4）。

⑤行為者からの暴力等の再発を予防するために被害者の配置を検討する

病床数別では病床数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合が多くなっており、看護職数別では看護職数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていたが、201-300 人、301 人以上では大きな違いは見られなかった。一般・精神科病院別では精神科病院で「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた。公的・民間別では大きな違いは見られなかった（図 66-1～4）。

⑥暴力等の発生について全員で共有する場や手順を決め、さらなる被害を予防する

病床数別では病床数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合が多くなっており、看護職数別では 201-300 人のみ「実施中」の割合がやや多くなっていた。一般・精神科病院別では精神科病院で「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた。公的・民間別では大きな違いは見られなかった（図 67-1～4）。

⑦被害者を支援する病院以外の資源・サービスがある

病床数別では病床数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合が多くなっており、看護職数別では看護職数が多くなるほど「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた。一般・精神科病院別では大きな違いは見られなかった。公的・民間別では公的病院で「実施中」「一部実施」の割合が多くなっていた（図 68-1～4）。

図表一覧

表 1. 開設主体

開設主体	施設数	%
厚生労働省（国立ハンセン病療養所等）	3	0.3
独立行政法人国立病院機構	37	3.9
国立大学法人	5	0.5
独立行政法人労働者健康安全機構・地域医療機能推進機構	22	2.3
その他の国の機関（防衛省、法務省、宮内庁等）	2	0.2
都道府県、市町村（一部事務組合を含む）	156	16.5
社会保険関係団体（健康保険組合、共済組合など）	13	1.4
地方独立行政法人（公立大学法人を含む）	32	3.4
日本赤十字社	20	2.1
済生会	20	2.1
厚生農業協同組合連合会	20	2.1
公共社団法人、公益財団法人	36	3.8
医療法人	475	50.5
私立大学法人	15	1.6
社会福祉法人	21	2.2
その他	57	6.1

表 2. 暴力等の対策の状況

質問項目	平均件数	1 人、1 回以上の施設数	最大値
暴力等の対策を検討する委員会等の人数	10.0 人	630 施設（84.1%）	44 人
暴力等の対策を検討する会議の開催頻度（年間）	6.2 回	587 施設（75.4%）	72 回
暴力等の対応に関する研修の開催回数	1.0 回	563 施設（69.9%）	15 回

表 3. 病床数別暴力等の平均報告件数

内容	行為者	200 床以下	201-400 床	401 床以上
身体的暴力	患者によるもの	3.0	8.3	10.0
	家族、親族、患者関係者によるもの	0.2	0.3	0.2
精神的暴力	患者によるもの	1.7	2.2	6.2
	家族、親族、患者関係者によるもの	1.0	1.1	2.2
セクシュアルハラスメント	患者によるもの	0.8	1.0	1.9
	家族、親族、患者関係者によるもの	0.1	0.1	0.1

表 4. 看護職数別暴力等の平均報告件数

内容	行為者	100 人以下	101-200 人	201-300 人	301 人以上
身体的暴力	患者によるもの	3.4	6.8	6.5	5.6
	家族、親族、患者関係者によるもの	0.2	0.2	0.2	0.2
精神的暴力	患者によるもの	1.5	2.3	2.9	3.9
	家族、親族、患者関係者によるもの	0.7	1.2	1.4	1.8
セクシュアルハラスメント	患者によるもの	0.6	1.1	1.3	1.1
	家族、親族、患者関係者によるもの	0.1	0.1	0.1	0.1

表 5. 一般・精神科病院別暴力等の平均報告件数

内容	行為者	一般	精神
身体的暴力	患者によるもの	3.0	17.9
	家族、親族、患者関係者によるもの	0.2	0.2
精神的暴力	患者によるもの	2.0	4.4
	家族、親族、患者関係者によるもの	1.3	0.9
セクシュアルハラスメント	患者によるもの	0.9	1.5
	家族、親族、患者関係者によるもの	0.1	0.1

表 6. 公的病院・民間病院別暴力等の平均報告件数

内容	行為者	公的病院	民間病院
身体的暴力	患者によるもの	5.5	5.8
	家族、親族、患者関係者によるもの	0.2	0.2
精神的暴力	患者によるもの	2.2	2.5
	家族、親族、患者関係者によるもの	1.0	1.2
セクシュアルハラスメント	患者によるもの	0.8	1.1
	家族、親族、患者関係者によるもの	0.1	0.1

表 7. 看護職等に対する暴力等の応援・届出・相談別件数

質問項目	平均件数	1 件以上の施設数	最大値
他部署や警備員などへの応援依頼件数	1.4 件	297 施設（36.3%）	91 件
警察への届出件数	0.3 件	126 施設（15.5%）	16 件
弁護士への相談件数	0.1 件	70 施設（8.7%）	8 件

表 8. 看護職等に対する暴力等の影響

質問項目	平均件数・人数	1 件、1 人以上の施設数	最大値
労災の適用件数	0.6 件	185 施設（22.4%）	32 件
身体的受傷件数	1.4 件	335 施設（41.0%）	60 件
精神的不調となった件数	0.2 件	127 施設（15.6%）	10 件
暴力が原因で休職した看護職等の人数	0.1 人	46 施設（5.6%）	3 人
暴力が原因で離職した看護職等の人数	0.1 人	32 施設（3.9%）	3 人

表 9. 管理体制の対策件数別暴力報告件数

暴力等を予防するための管理体制の対策件数	身体的暴力平均報告件数	精神的暴力平均報告件数
0-14 件	2.4 件	1.0 件
15-19 件	3.8 件	2.0 件
20-25 件	8.7 件	3.4 件

表 10. 暴力等の発生時・後の対策件数別暴力報告件数

暴力等の発生時・発生後の対策件数	身体的暴力平均報告件数	精神的暴力平均報告件数
0-5 件	1.5 件	0.5 件
6-10 件	5.6 件	2.5 件
11-15 件	6.4 件	2.7 件

表 11. 職員への支援体制の対策件数別暴力報告件数

暴力等の被害を受けた職員への支援体制の対策件数	身体的暴力平均報告件数	精神的暴力平均報告件数
0-2 件	2.8 件	2.3 件
3-5 件	4.7 件	1.3 件
6-7 件	6.9 件	3.0 件

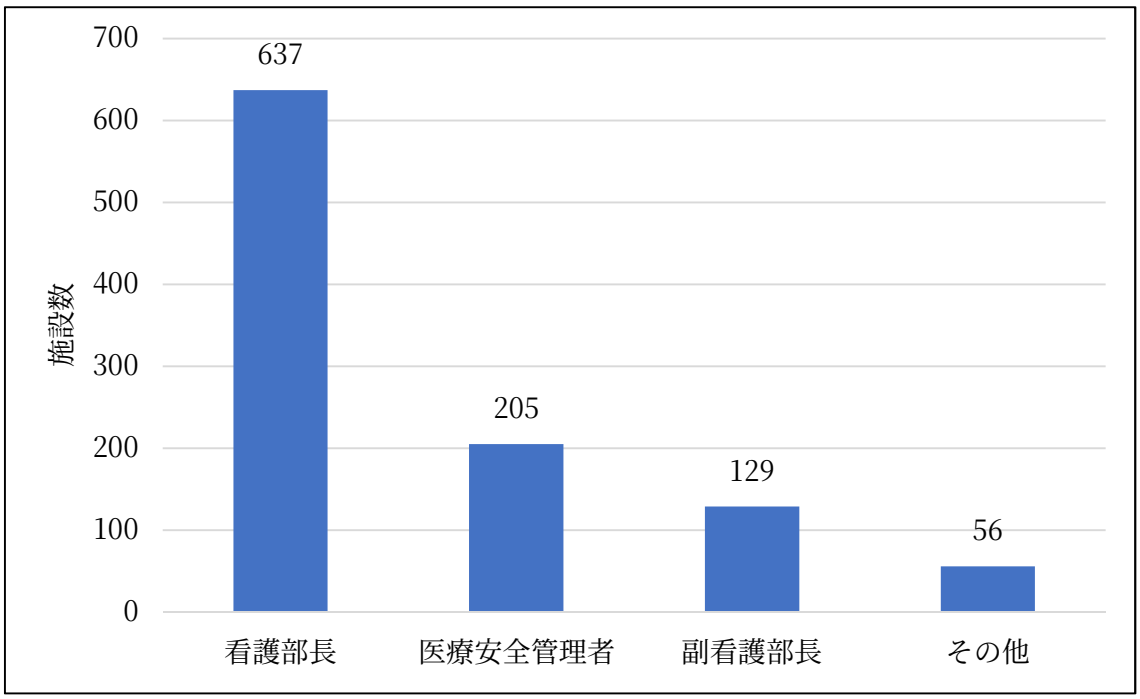

図 1. 回答者の職位・役割

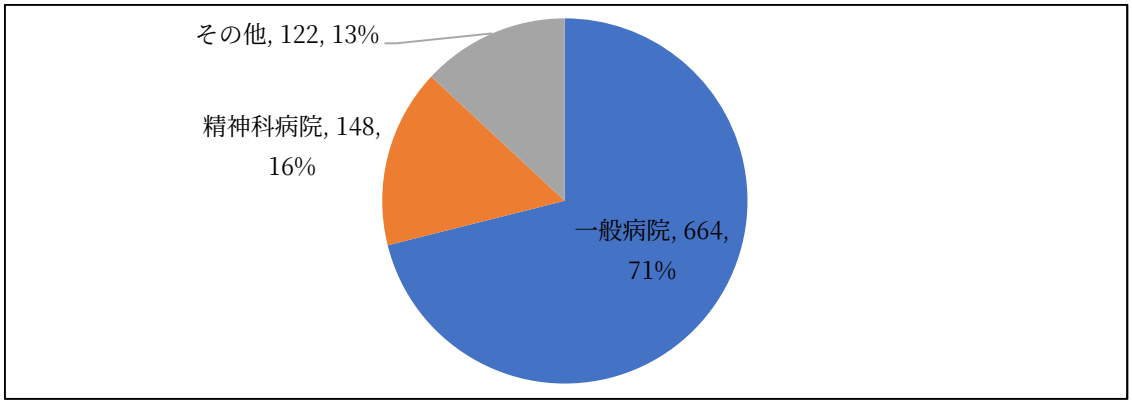

図 2. 施設の種類

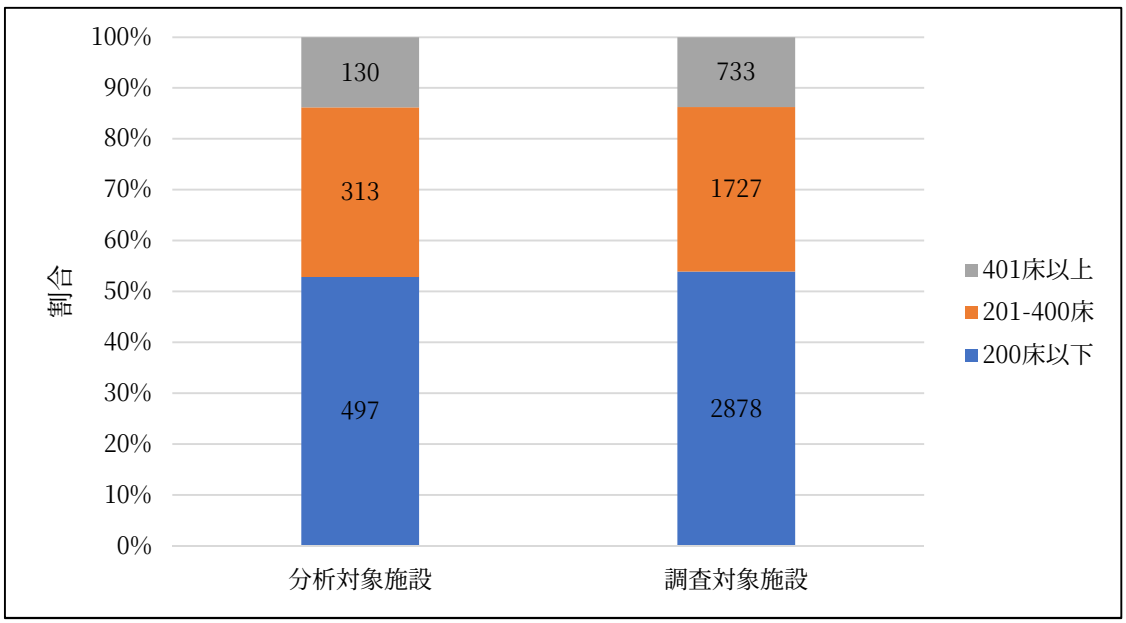

図 3. 病床数

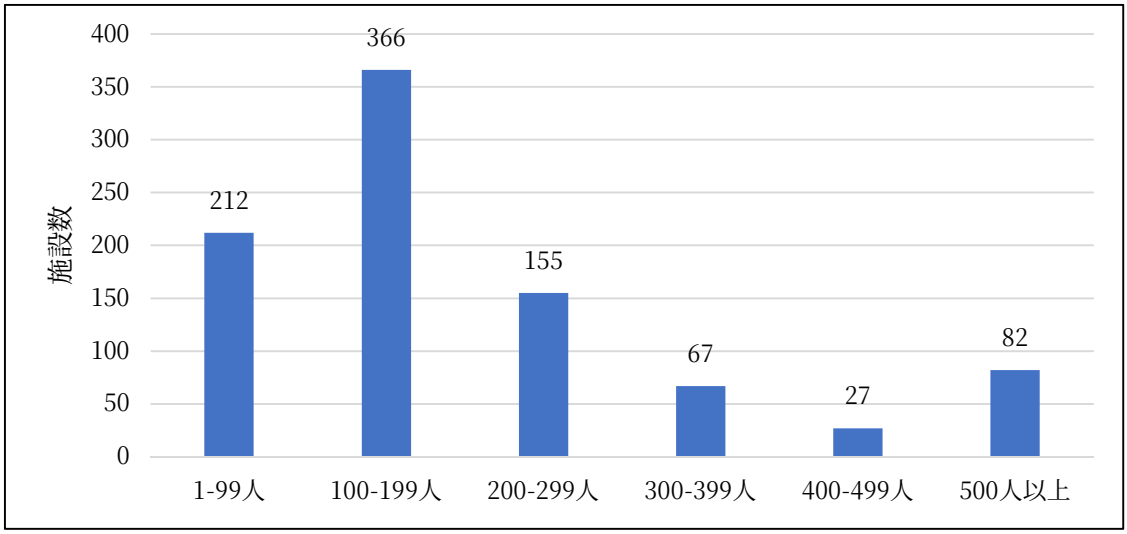

図 4. 看護職等の人数

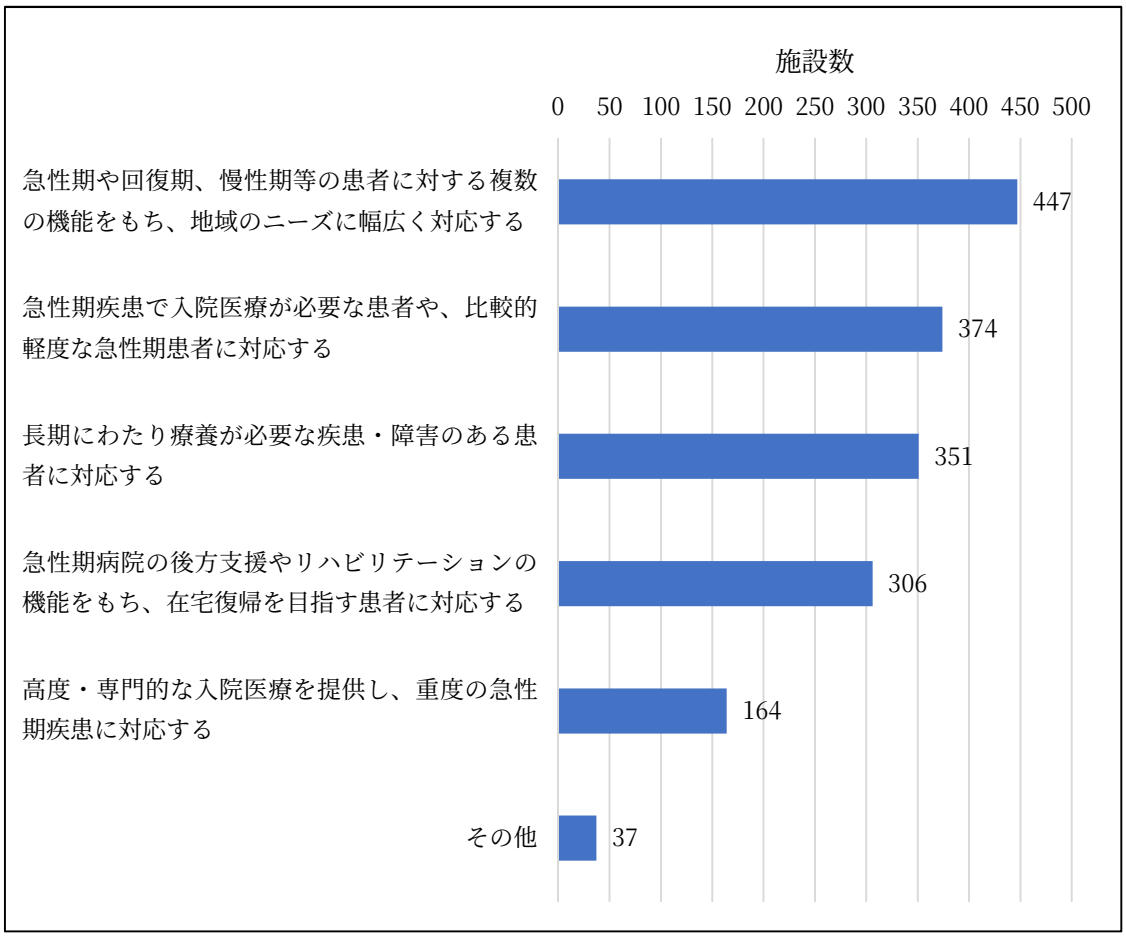

図 5. 地域での主な役割

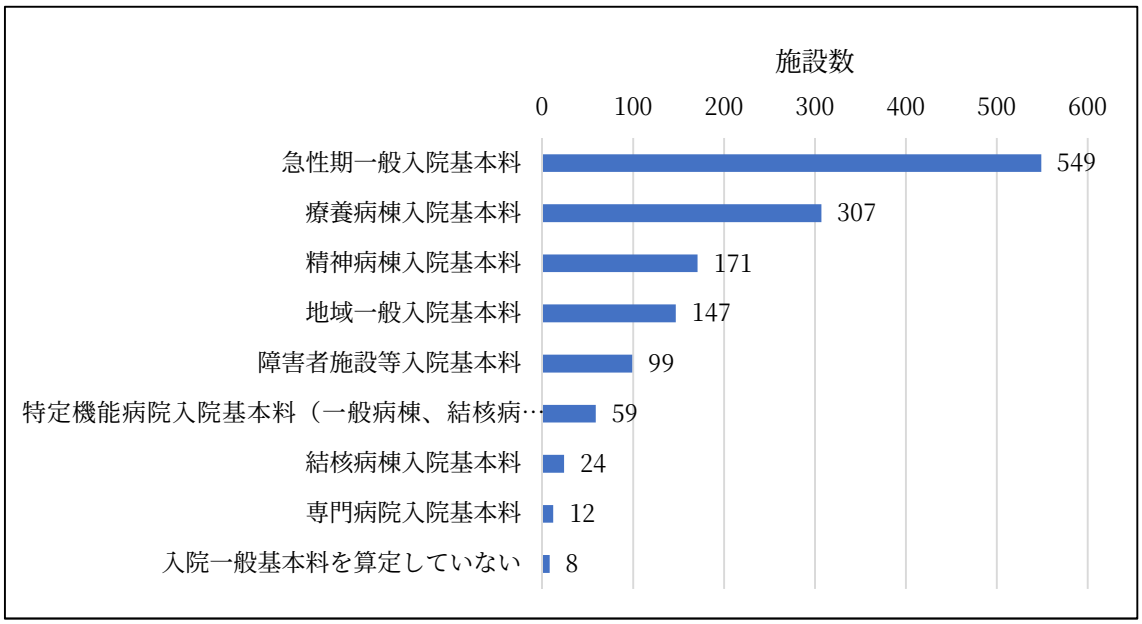

図 6. 算定している入院基本料

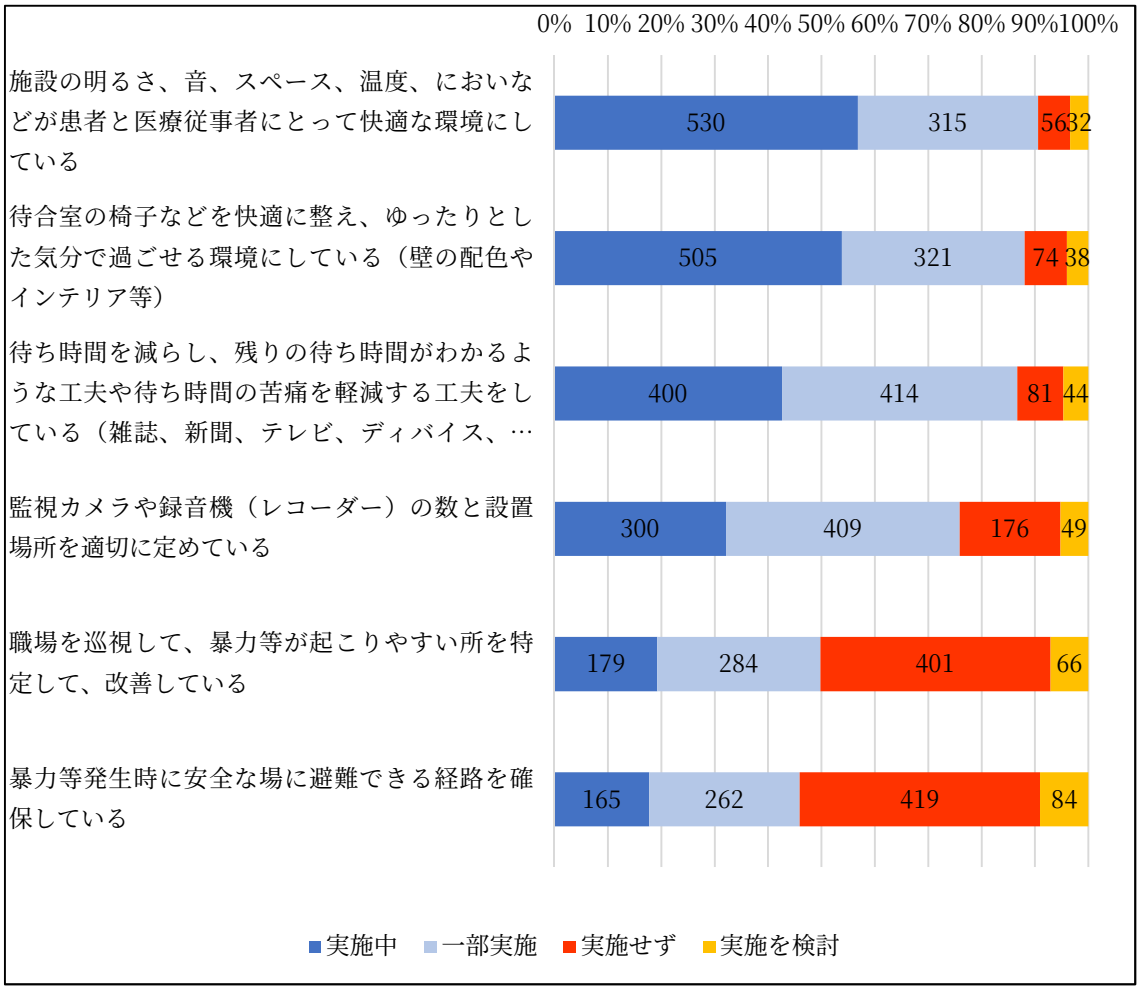
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%
施設の明るさ、音、スペース、温度、においなどが患者と医療従事者にとって快適な環境にしている
530
315
56
32
待合室の椅子などを快適に整え、ゆったりとした気分で過ごせる環境にしている（壁の配色やインテリア等）
505
321
74
38
待ち時間を減らし、残りの待ち時間がわかるような工夫や待ち時間の苦痛を軽減する工夫をしている（雑誌、新聞、テレビ、ディバイス、…
400
414
81
44
監視カメラや録音機（レコーダー）の数と設置場所を適切に定めている
300
409
176
49
職場を巡視して、暴力等が起こりやすい所を特定して、改善している
179
284
401
66
暴力等発生時に安全な場に避難できる経路を確保している
165
262
419
84
実施中
一部実施
実施せず
実施を検討

図 7. 施設環境づくり

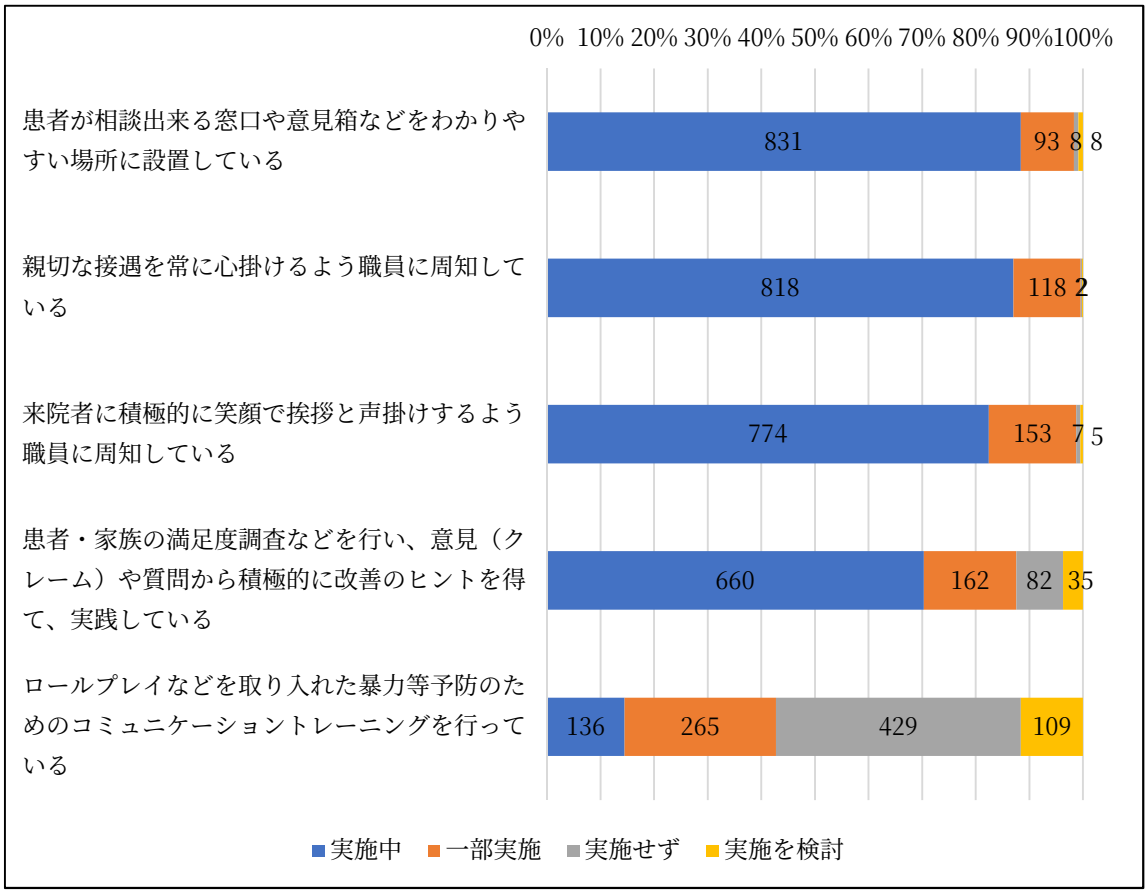

図 8. 患者との良好なコミュニケーションの工夫

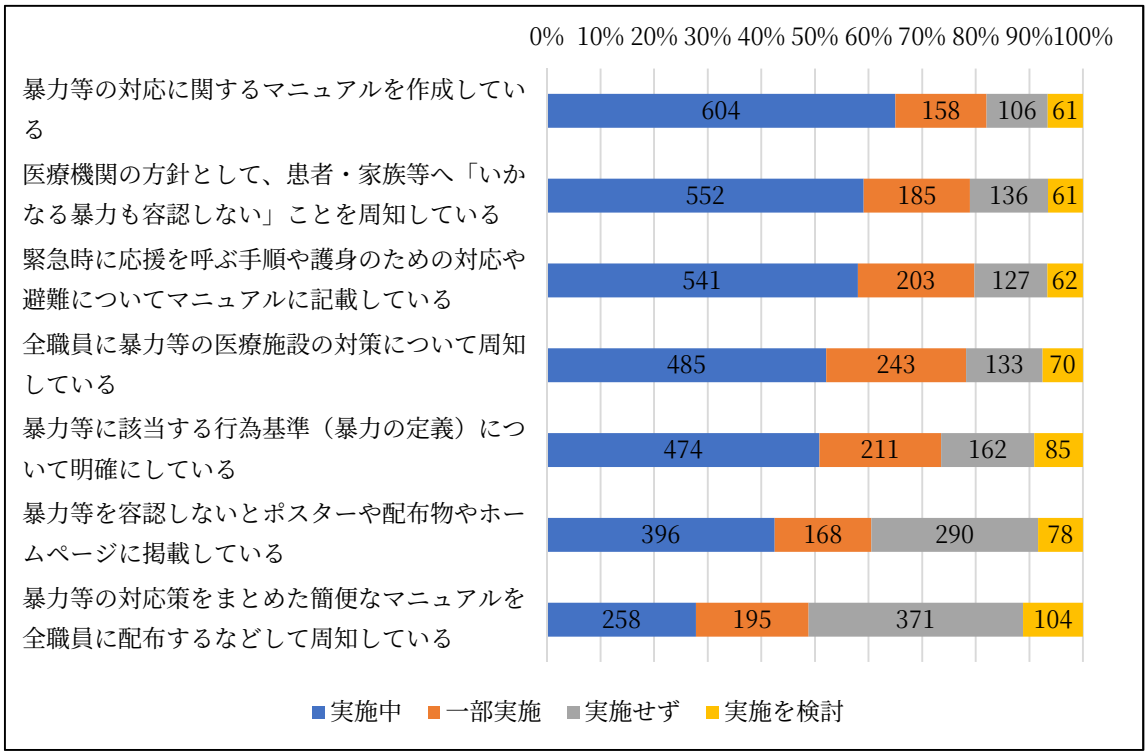

図 9. 暴力等の方針やマニュアル等の作成、周知

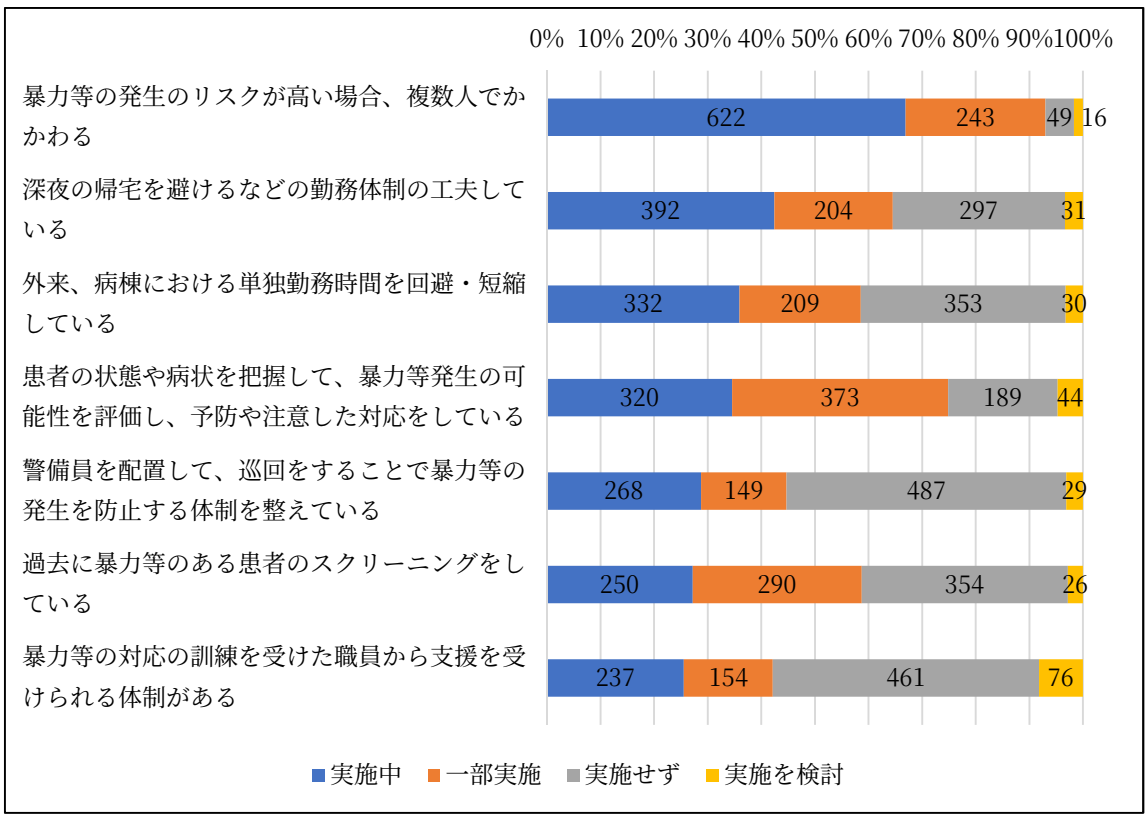

図 10. 暴力等の発生を防止するための体制づくり

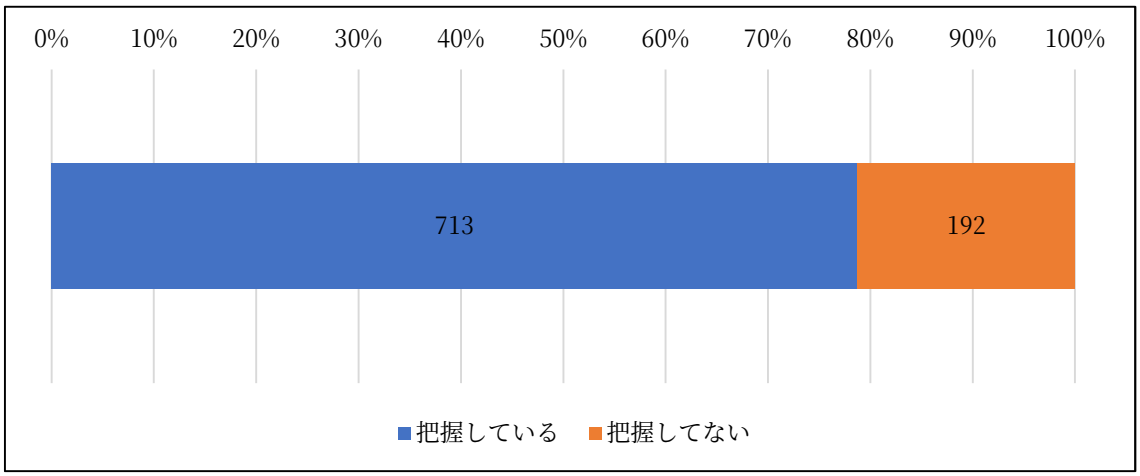

図 11. 看護職に対する暴力等の発生件数の把握状況

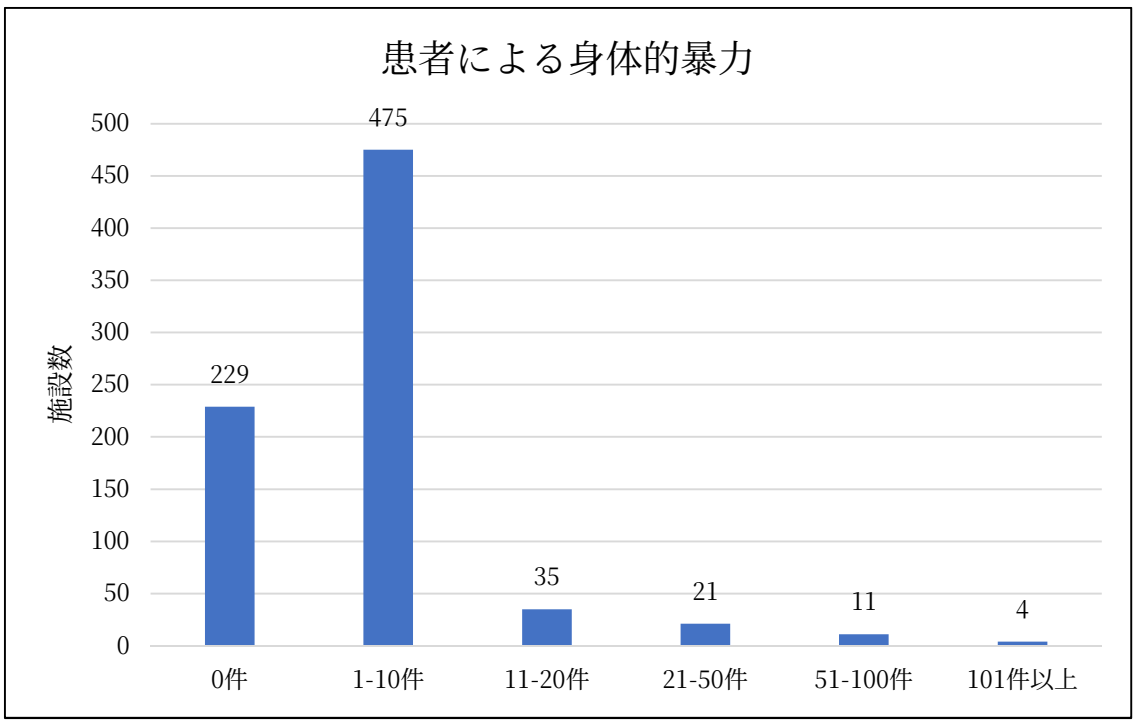

図 12. 患者による身体的暴力の件数

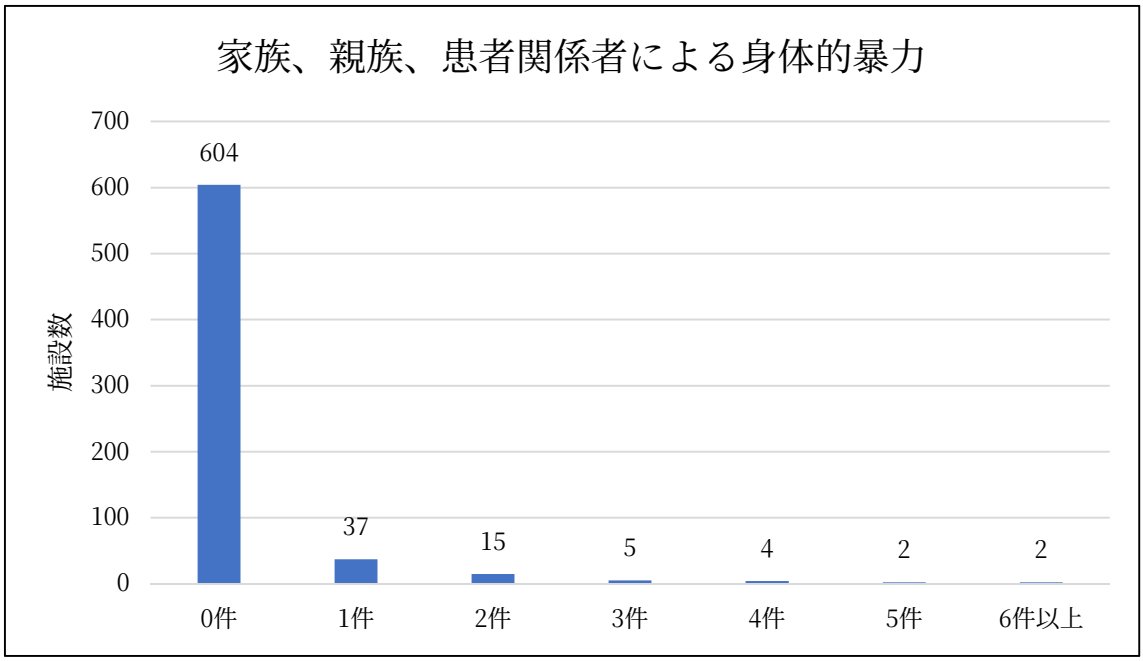

図 13. 家族、親族、患者関係者による身体的暴力の件数

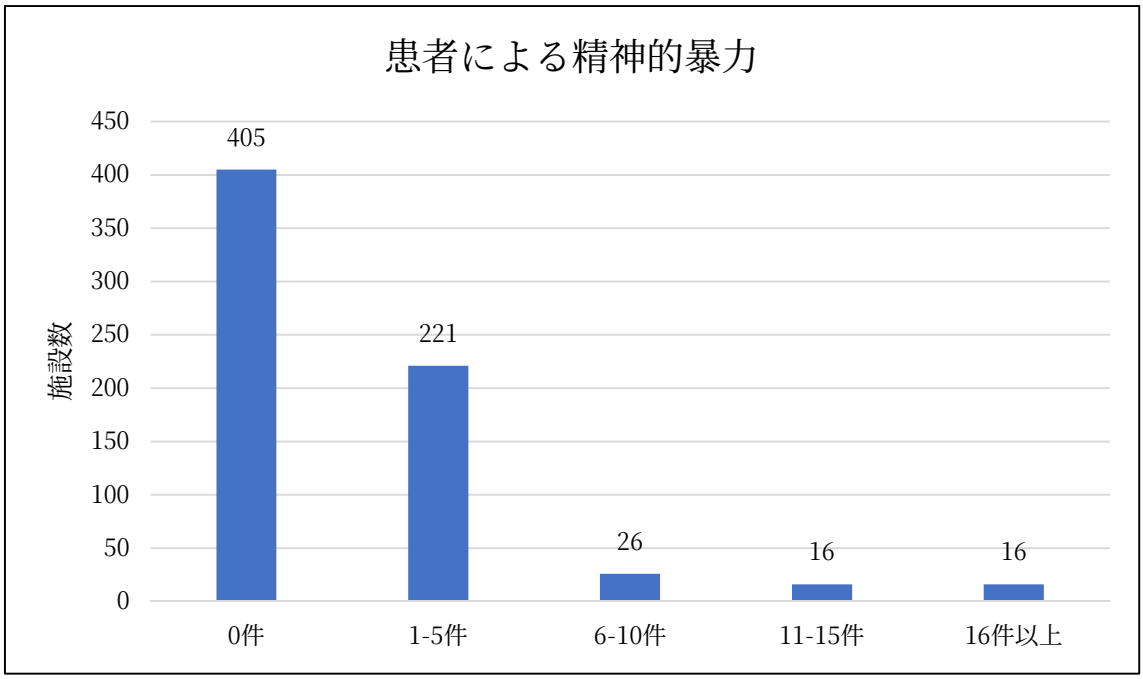

図 14. 患者による精神的暴力の件数

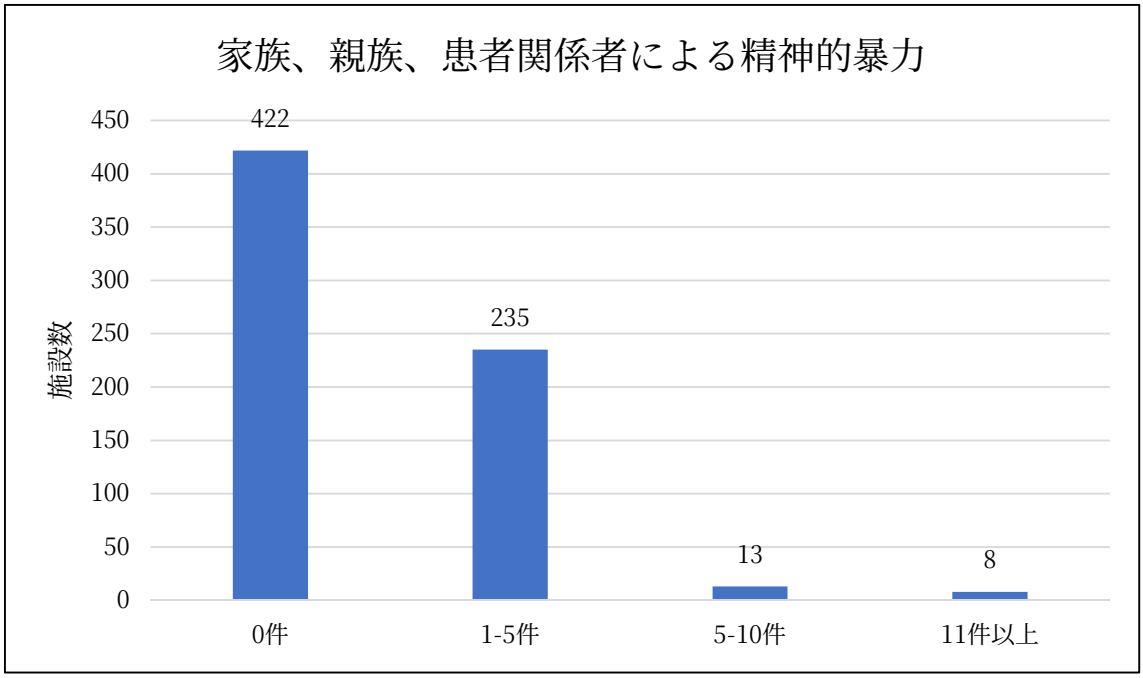

図 15. 家族、親族、患者関係者による精神的暴力の件数

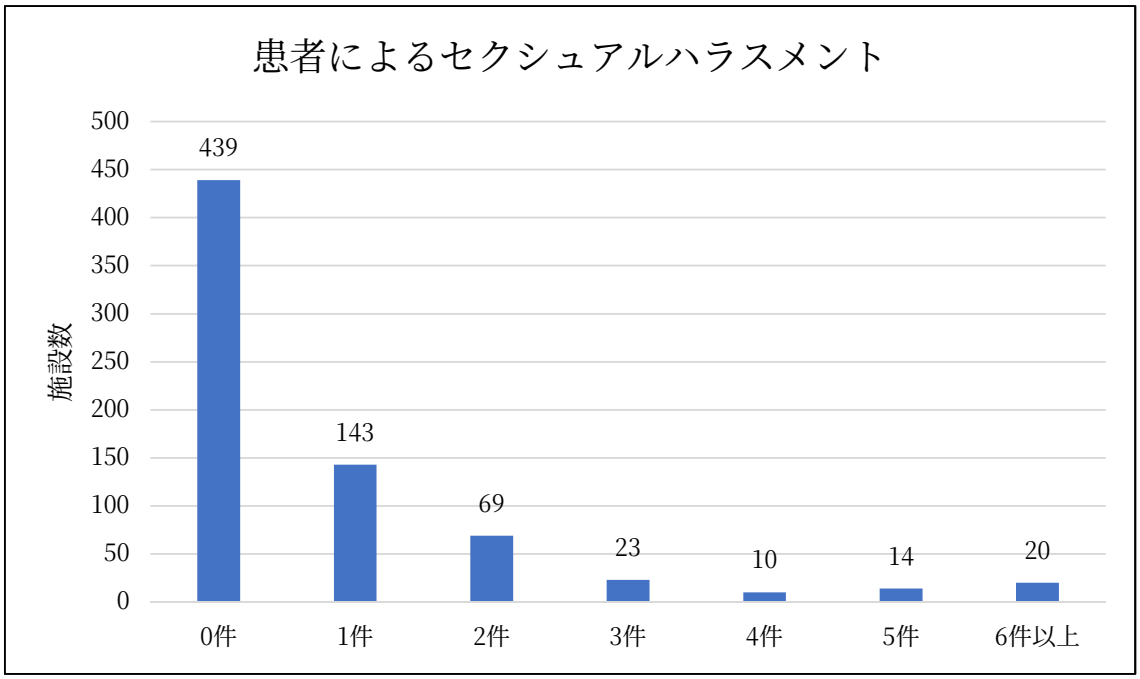

図 16. 患者によるセクシュアルハラスメントの件数

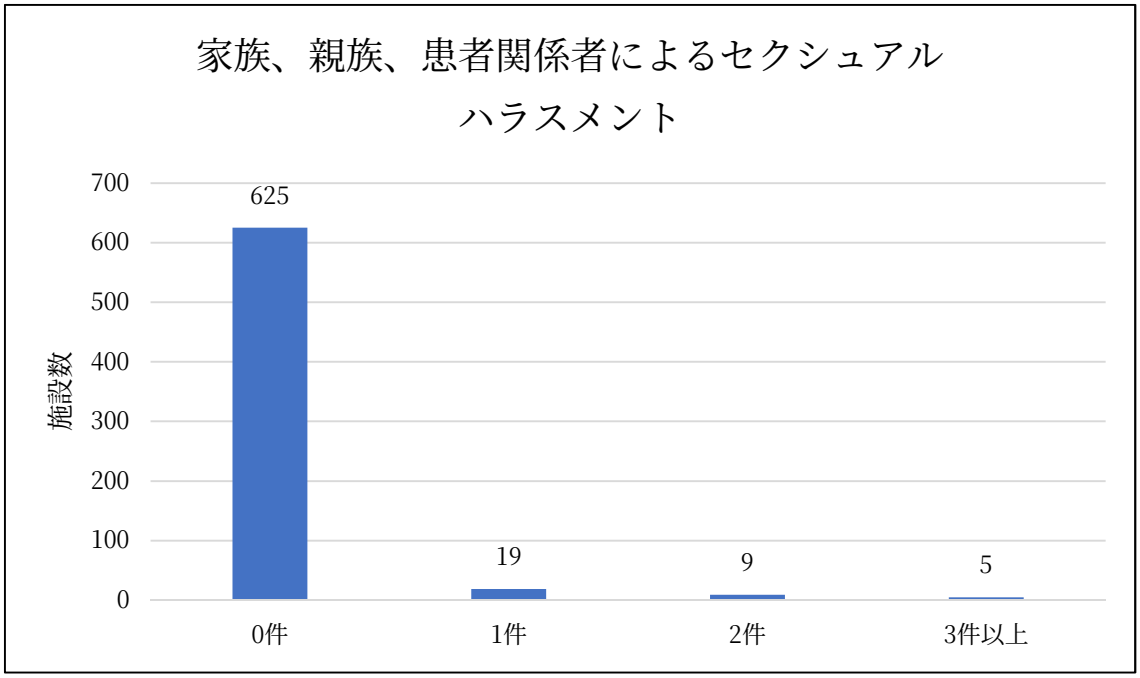

図 17. 家族、親族、患者関係者によるセクシュアルハラスメントの件数

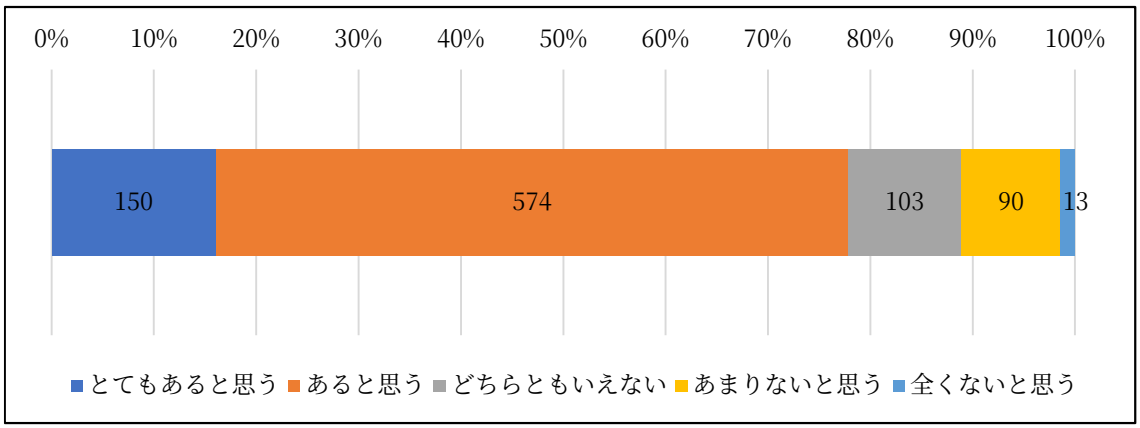

図 18. 報告されない看護職等への潜在的な暴力

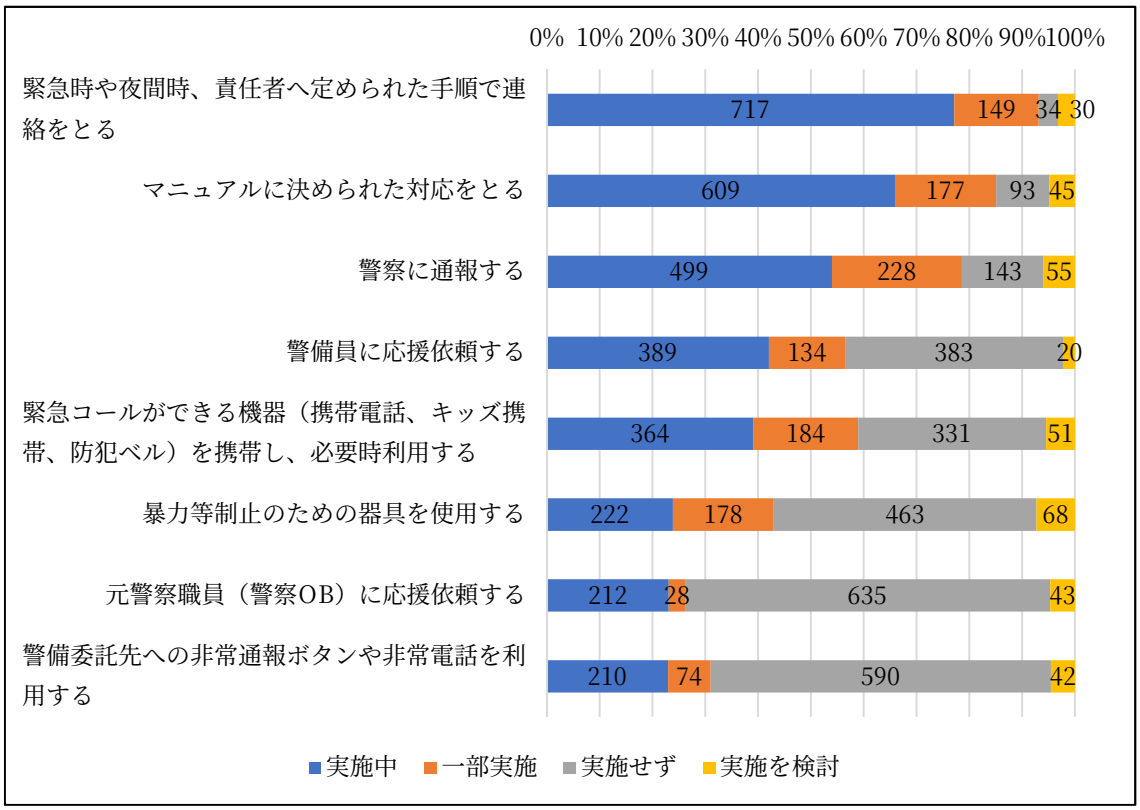

図 19. 暴力等発生時の対策

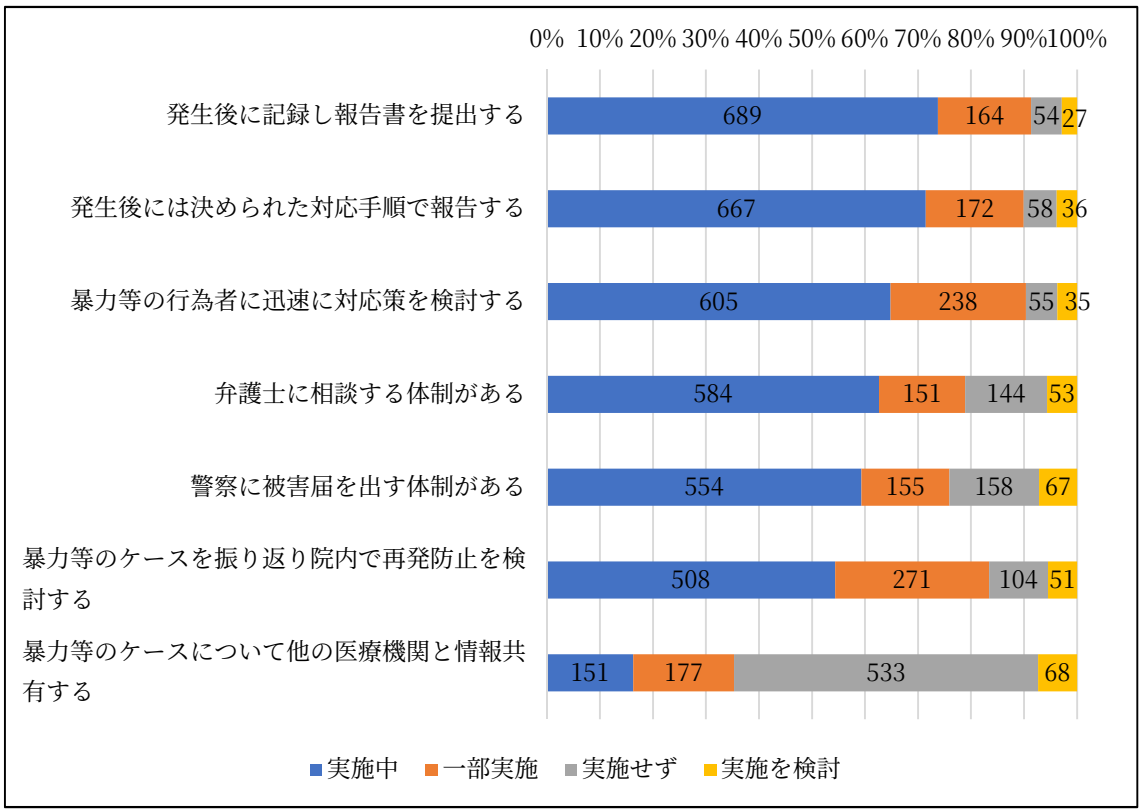

図 20. 暴力等発生後の対策

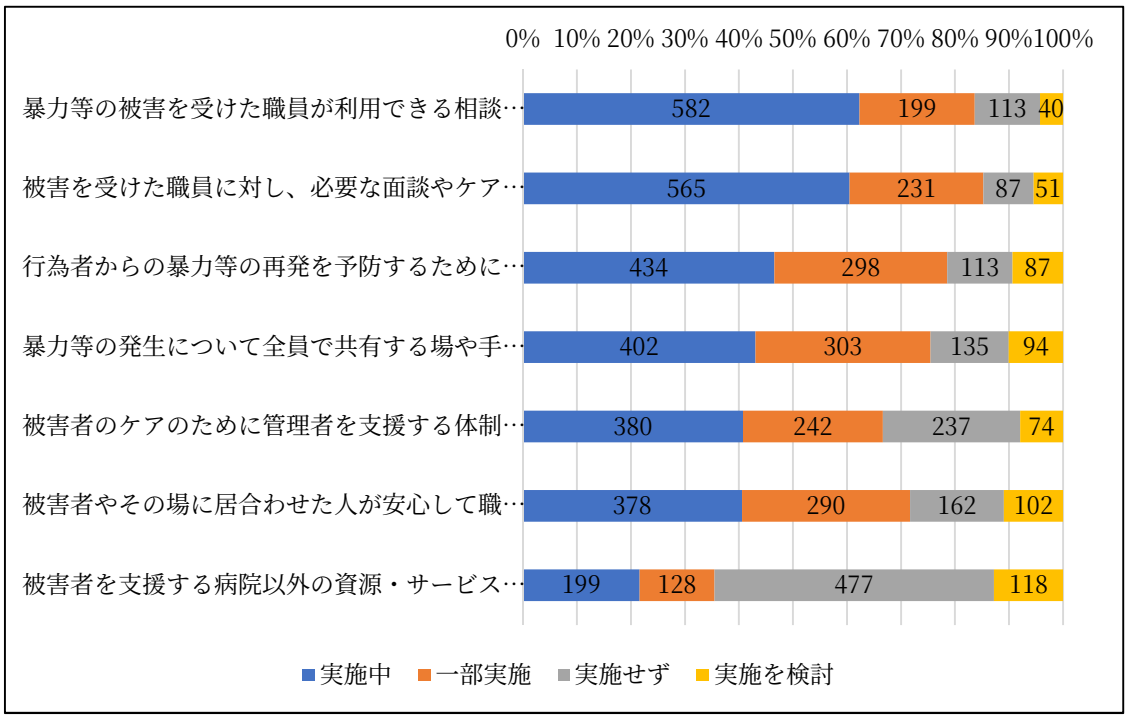

図 21. 暴力等の被害を受けた職員への支援体制

1. 「施設環境づくり」の実施状況について

①施設の明るさ、音、スペース、温度、においなどが患者と医療従事者にとって快適な環境にしている

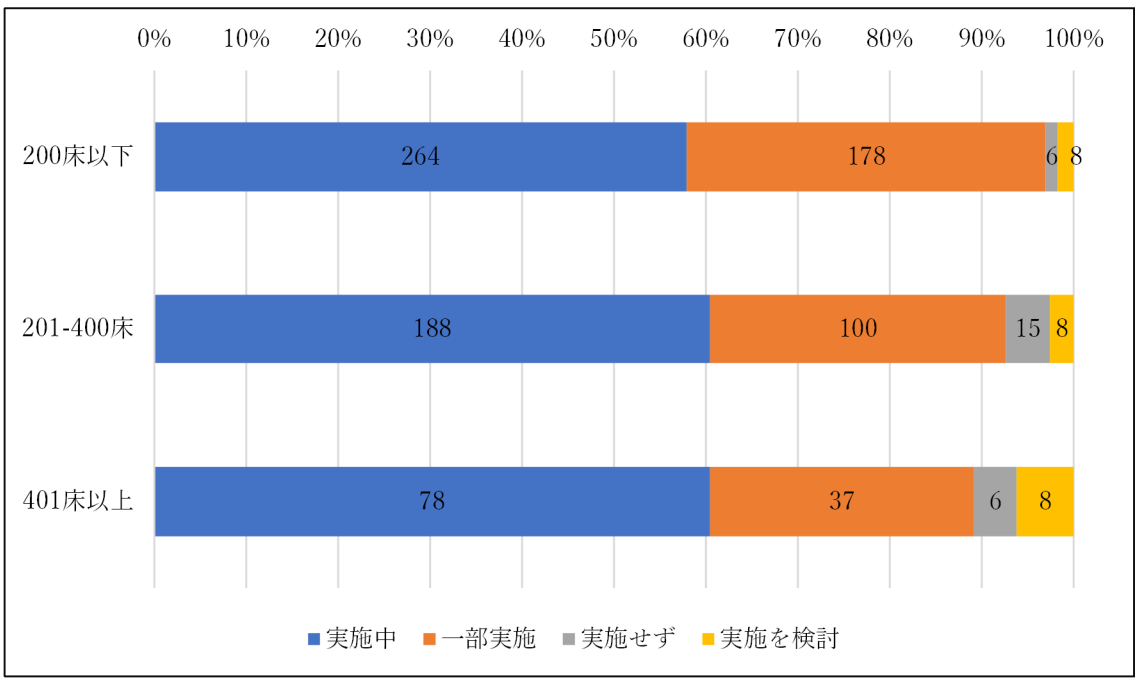

図 22-1.病床数別

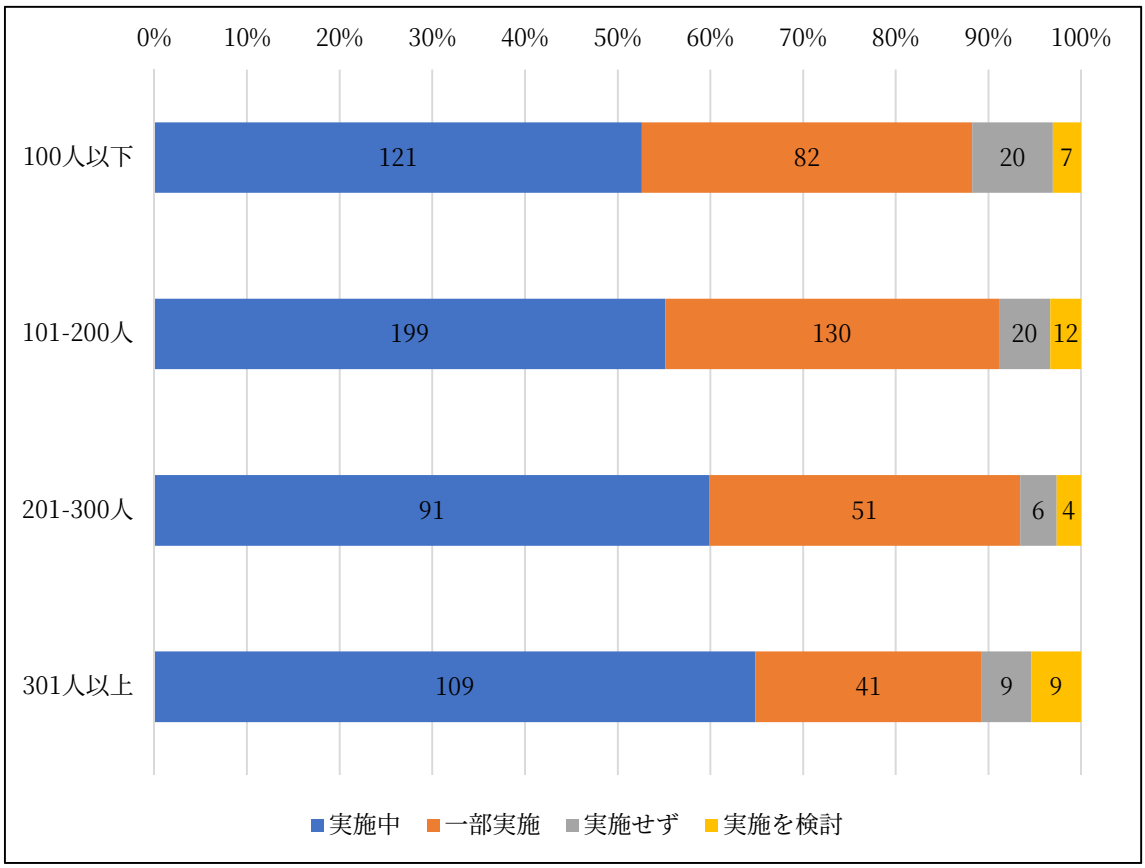

図 22-2.看護職数別

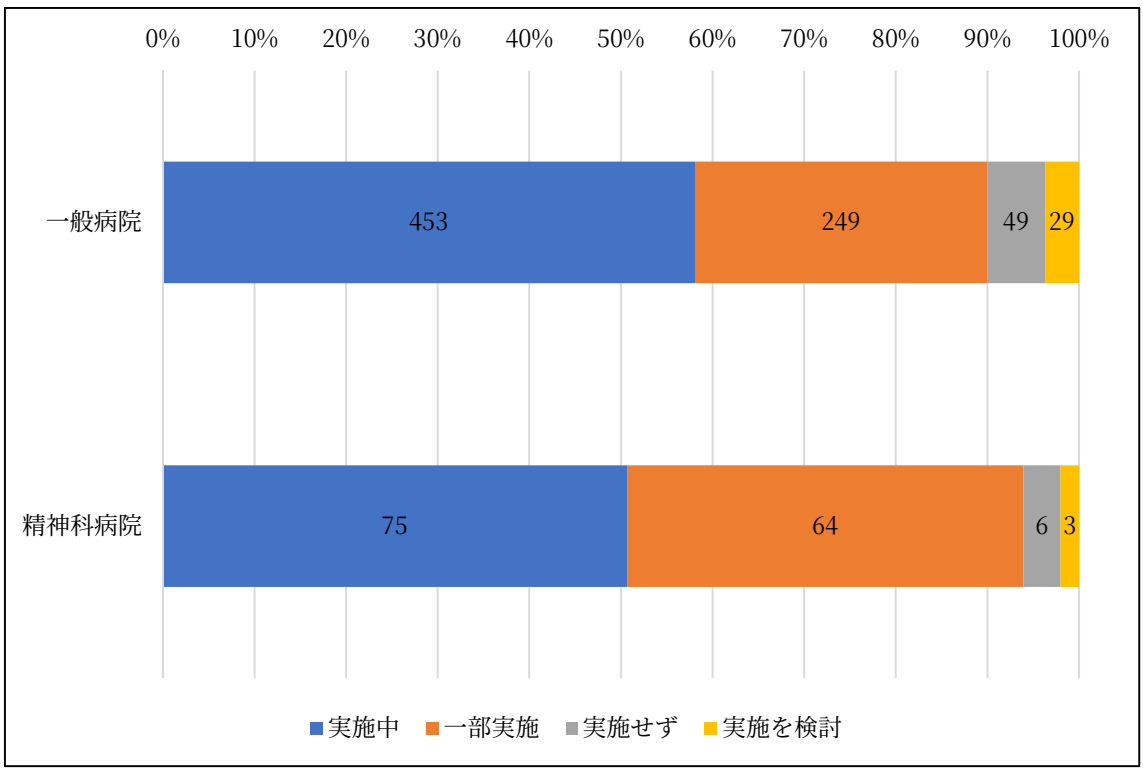

図 22-3. 一般・精神科病院別

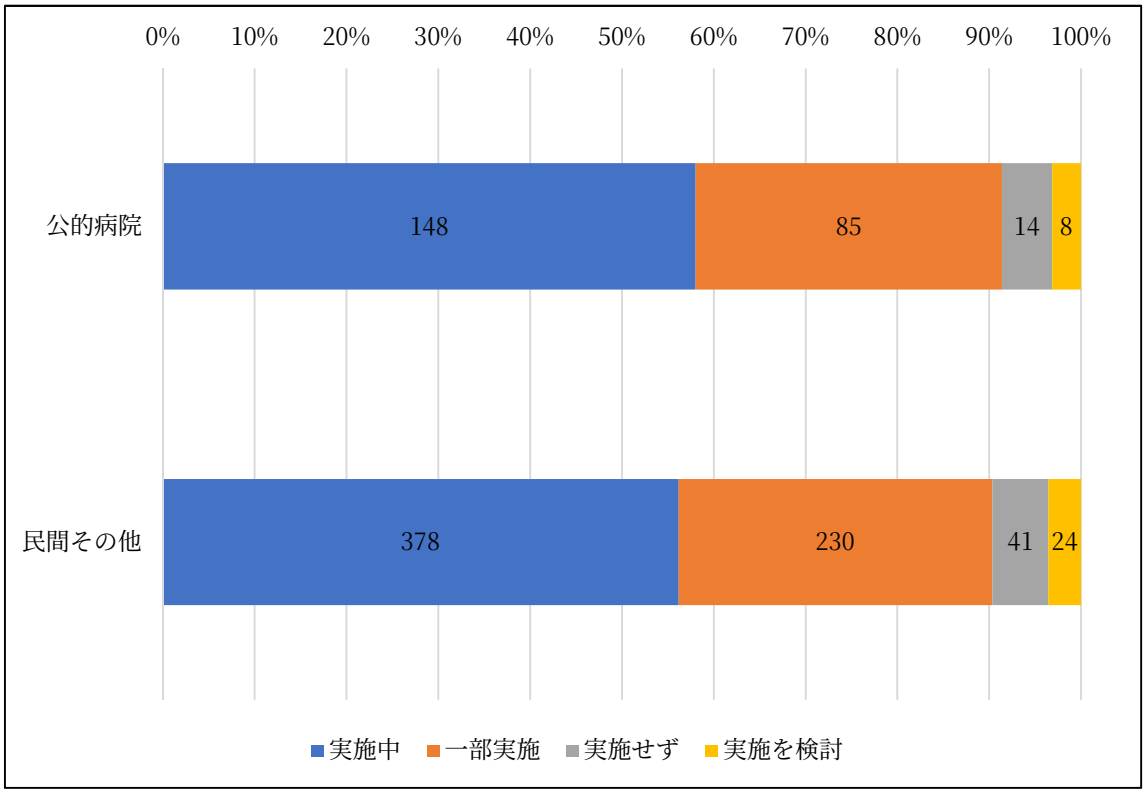

図 22-4.公的・民間別

②待合室の椅子などを快適に整え、ゆったりとした気分で過ごせる環境にしている（壁の配色やインテリア等）

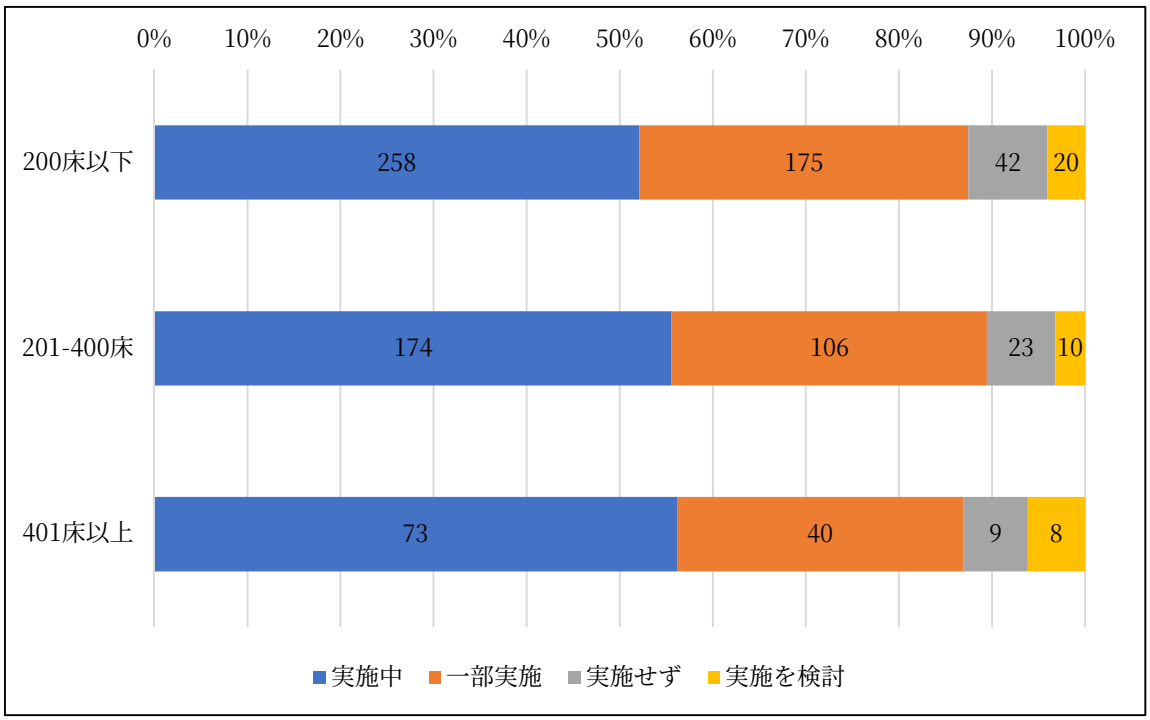

図 23-1. 病床数別

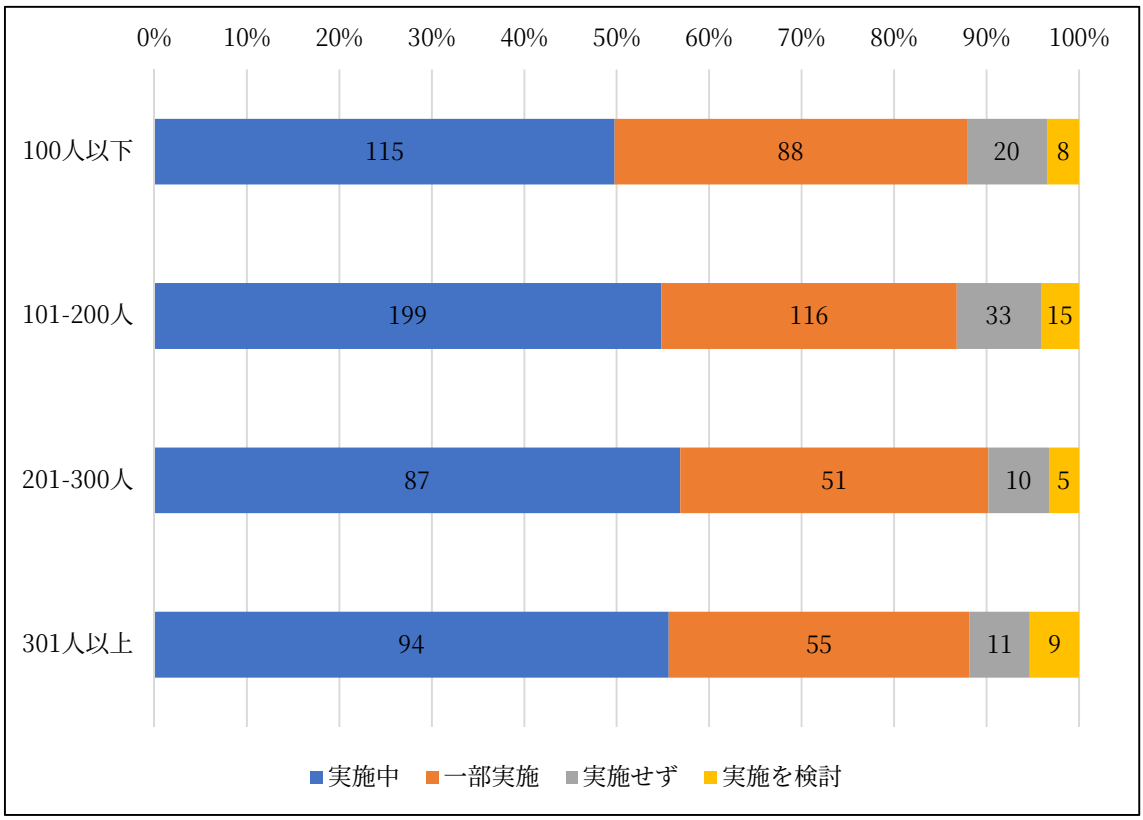

図 23-2. 看護職数別

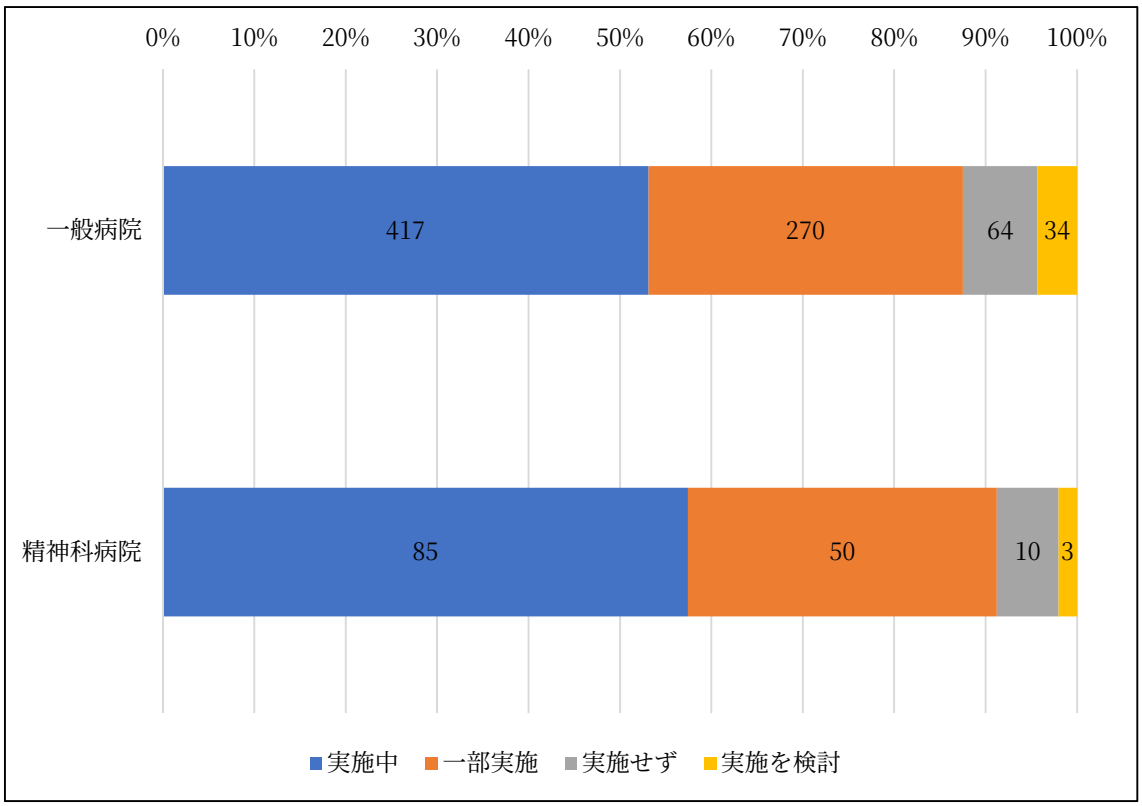

図 23-3. 一般・精神科病院別

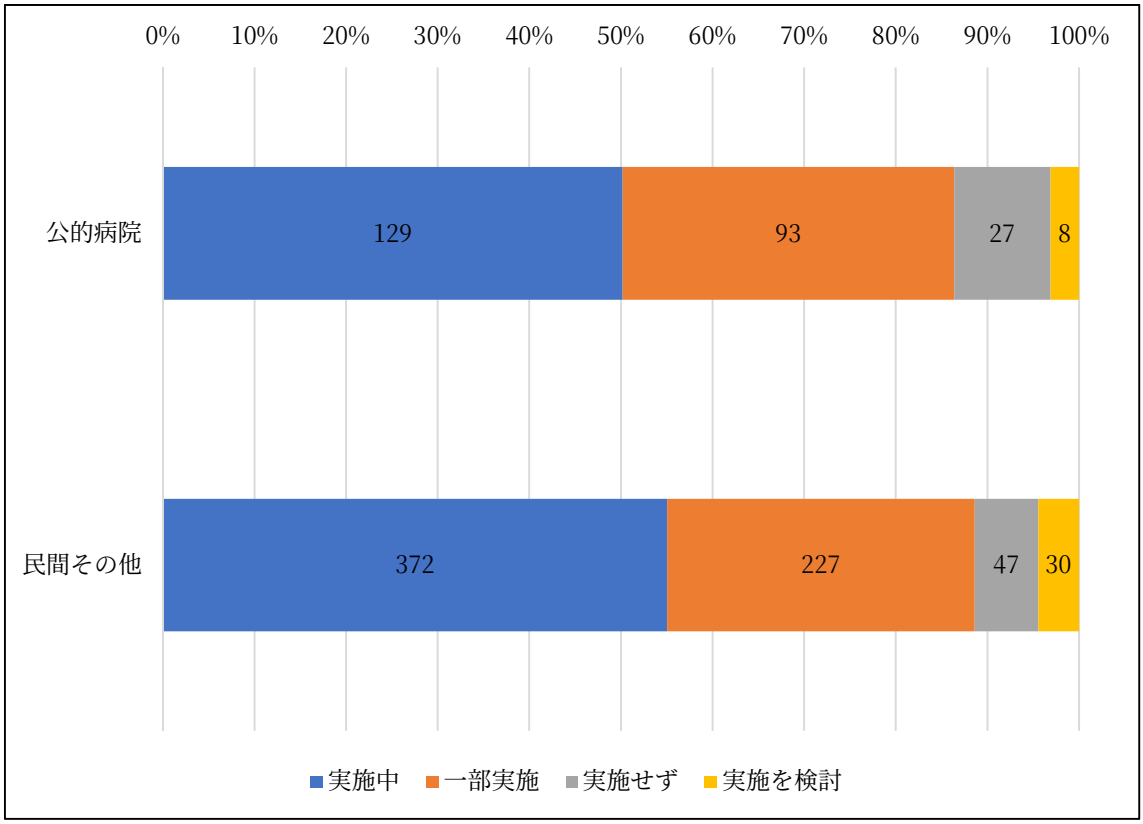

図 23-4. 公的・民間別

③待ち時間を減らし、残りの待ち時間がわかるような工夫や待ち時間の苦痛を軽減する工夫をしている（雑誌、新聞、テレビ、ディバイス、アプリなど）

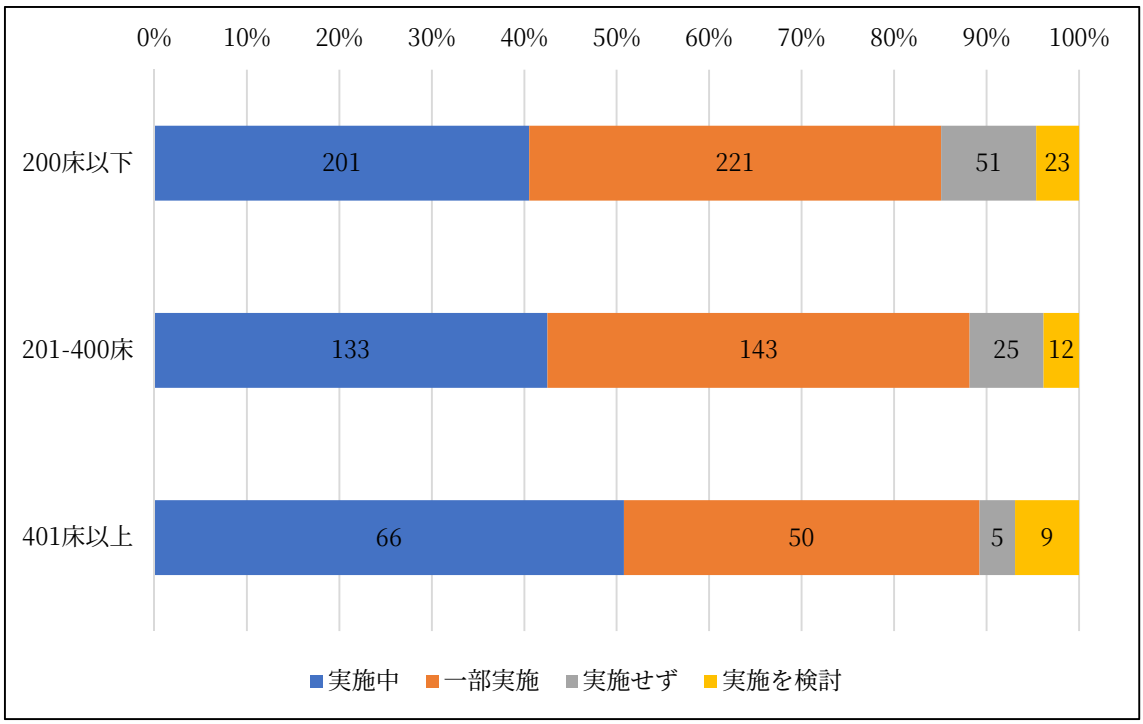

図 24-1. 病床数別

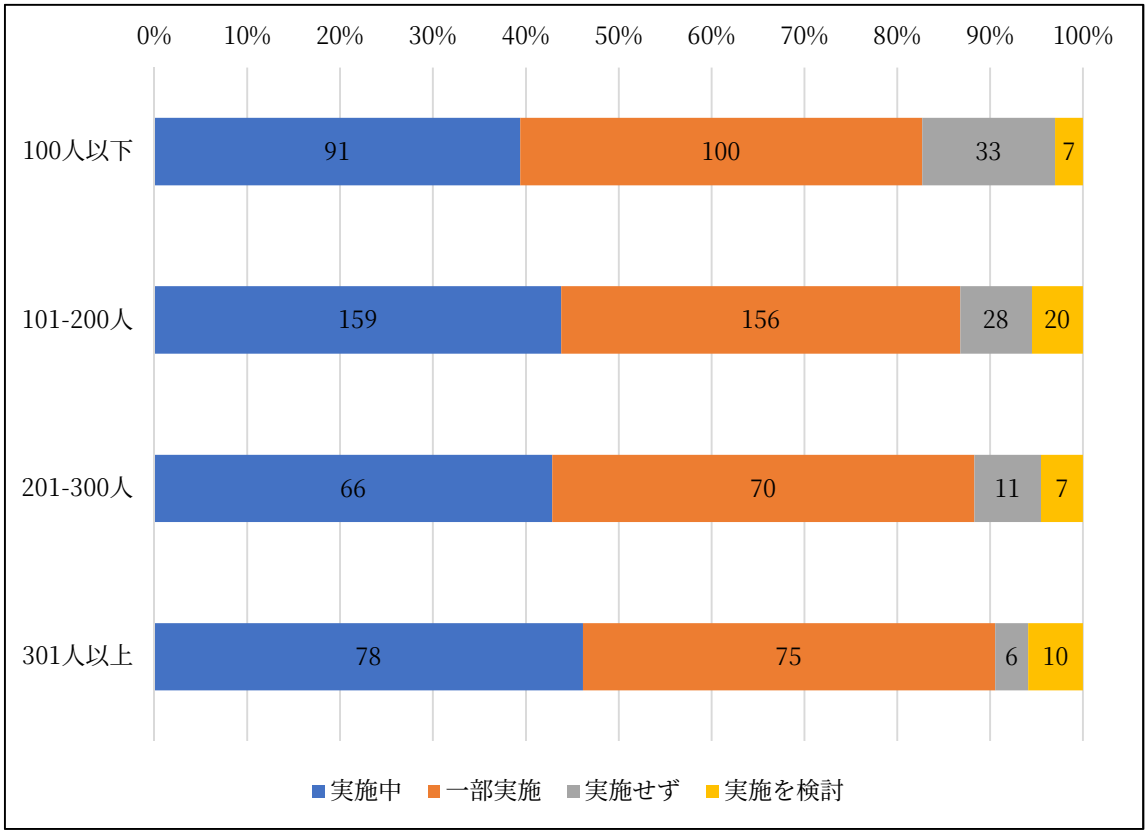

図 24-2. 看護職数別

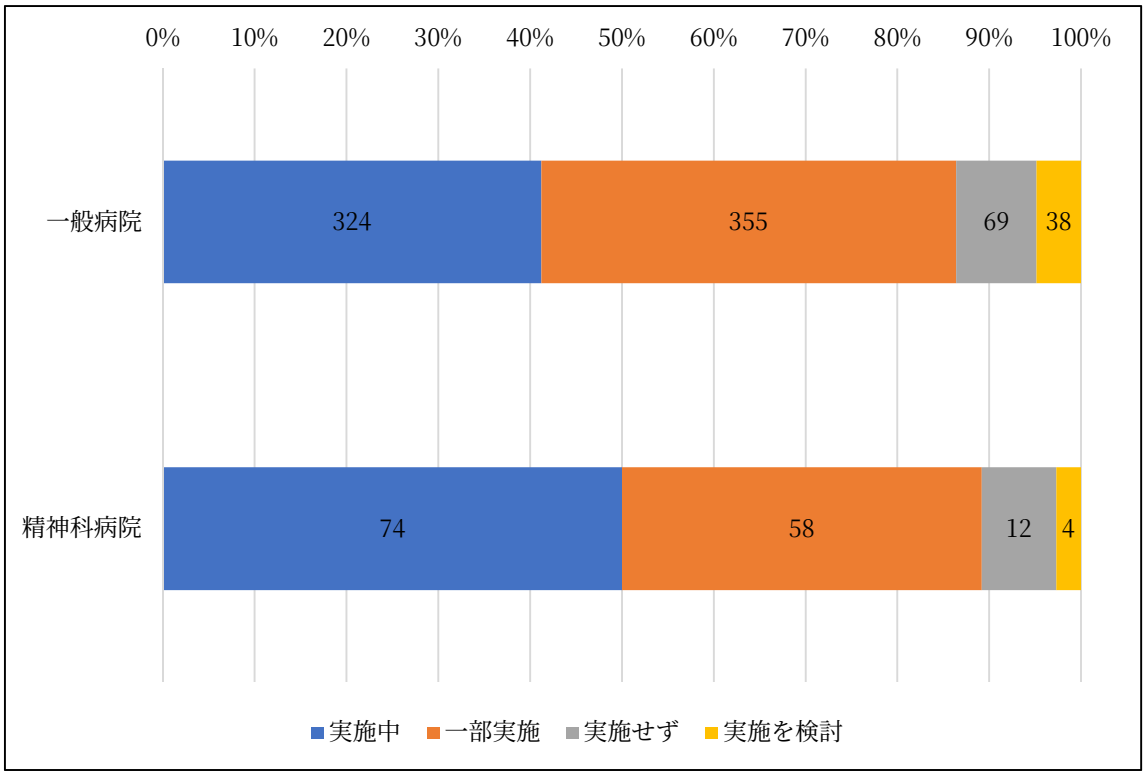

図 24-3. 一般・精神科病院別

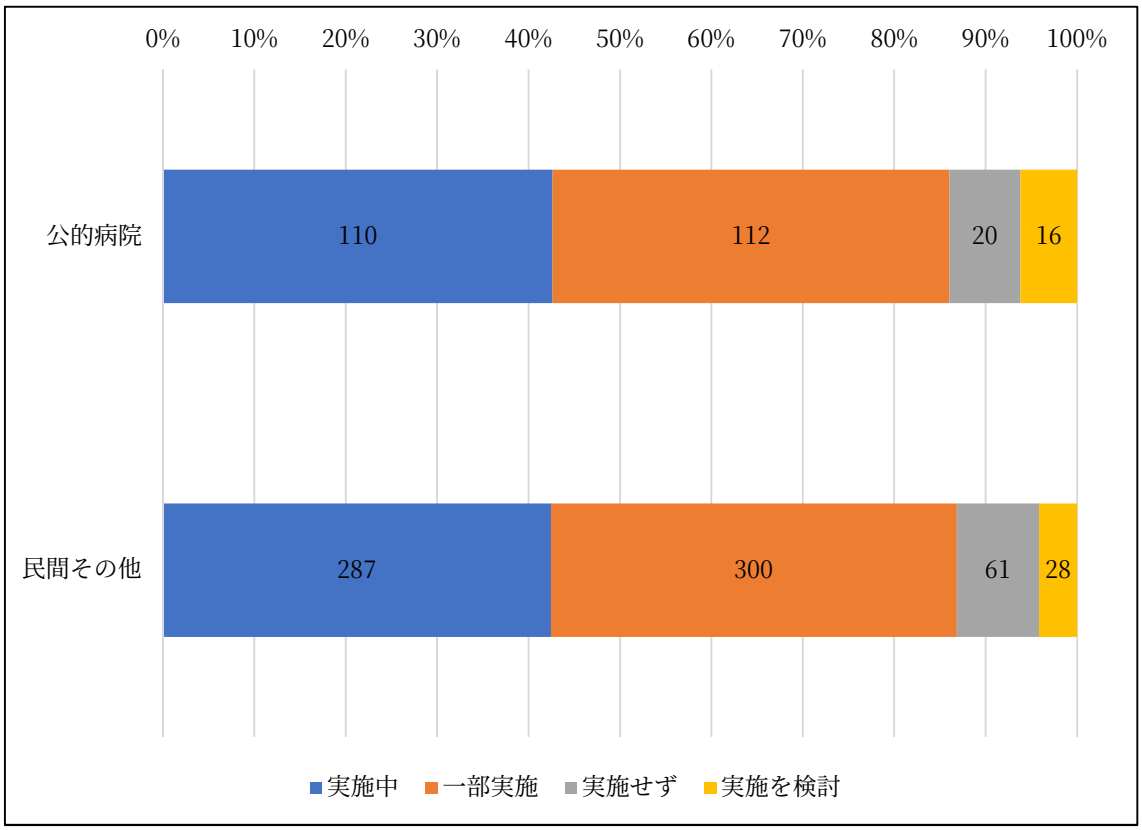

図 24-4. 公的・民間別

④暴力等発生時に安全な場に避難できる経路を確保している

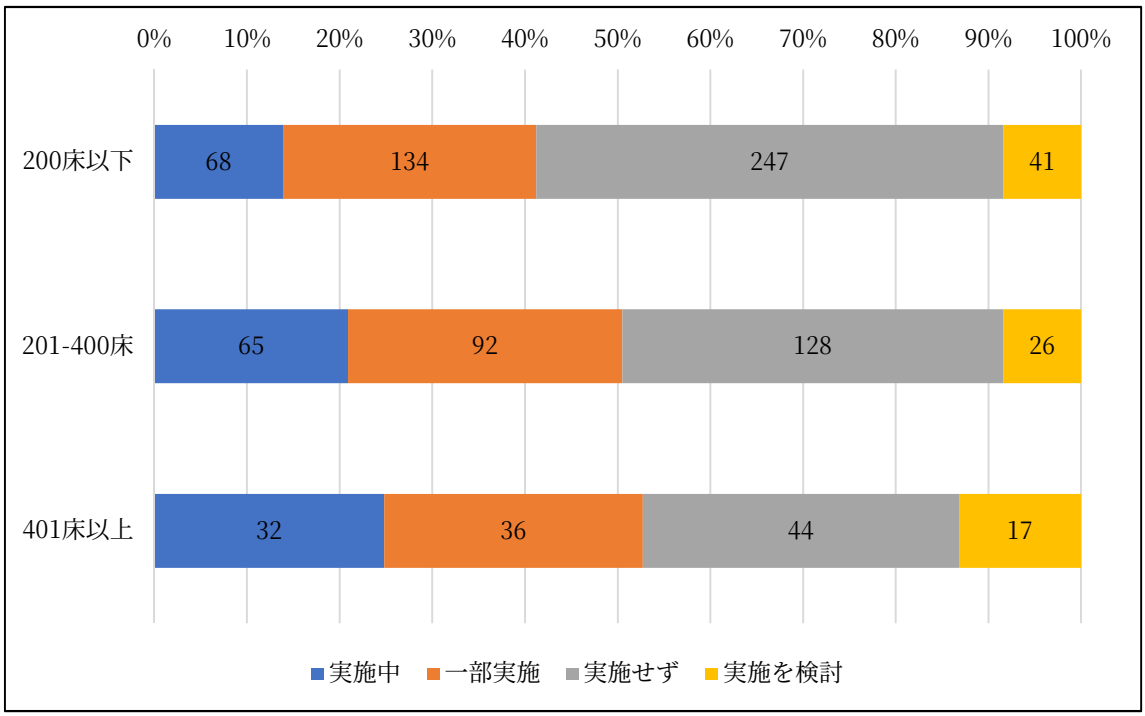

図 25-1. 病床数別

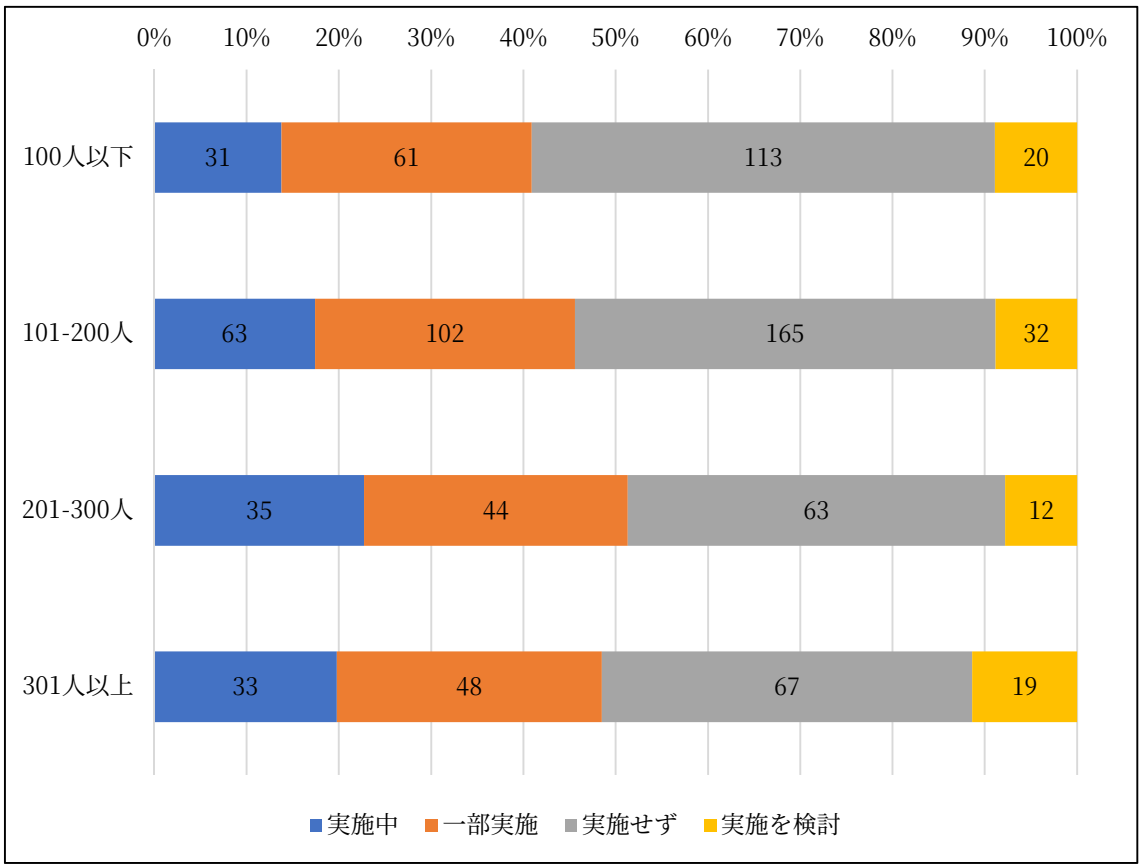

図 25-2. 看護職数別

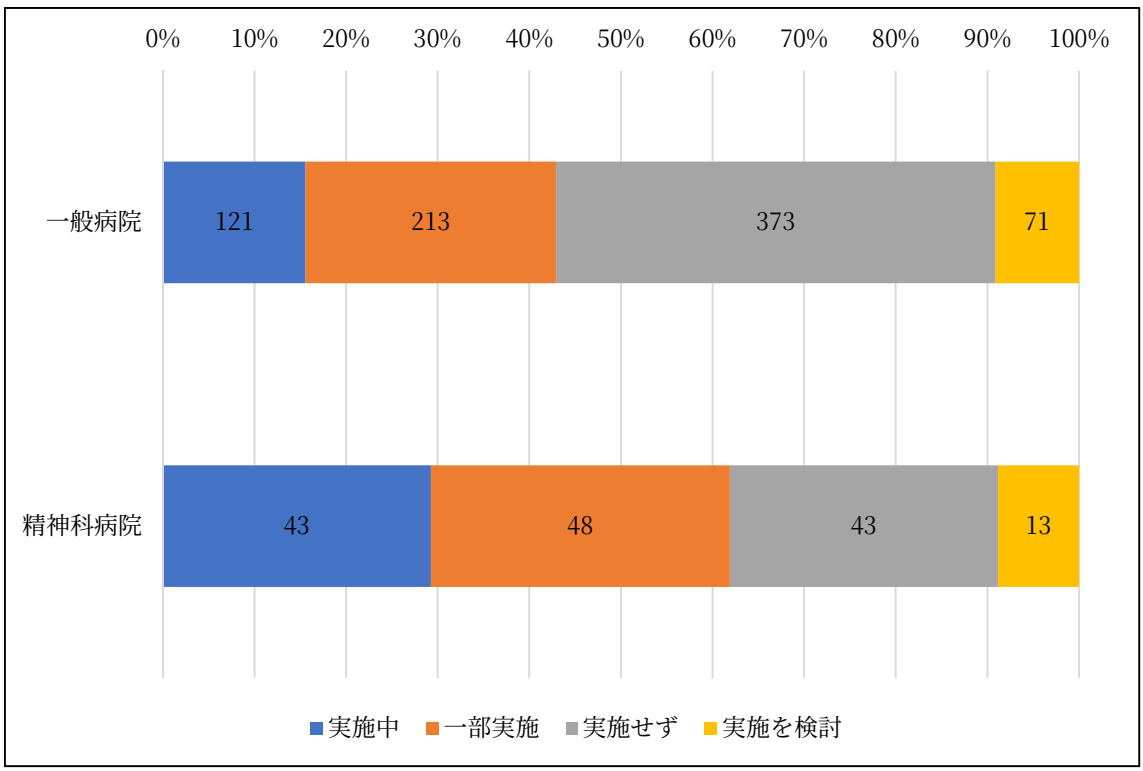

図 25-3. 一般・精神科病院別

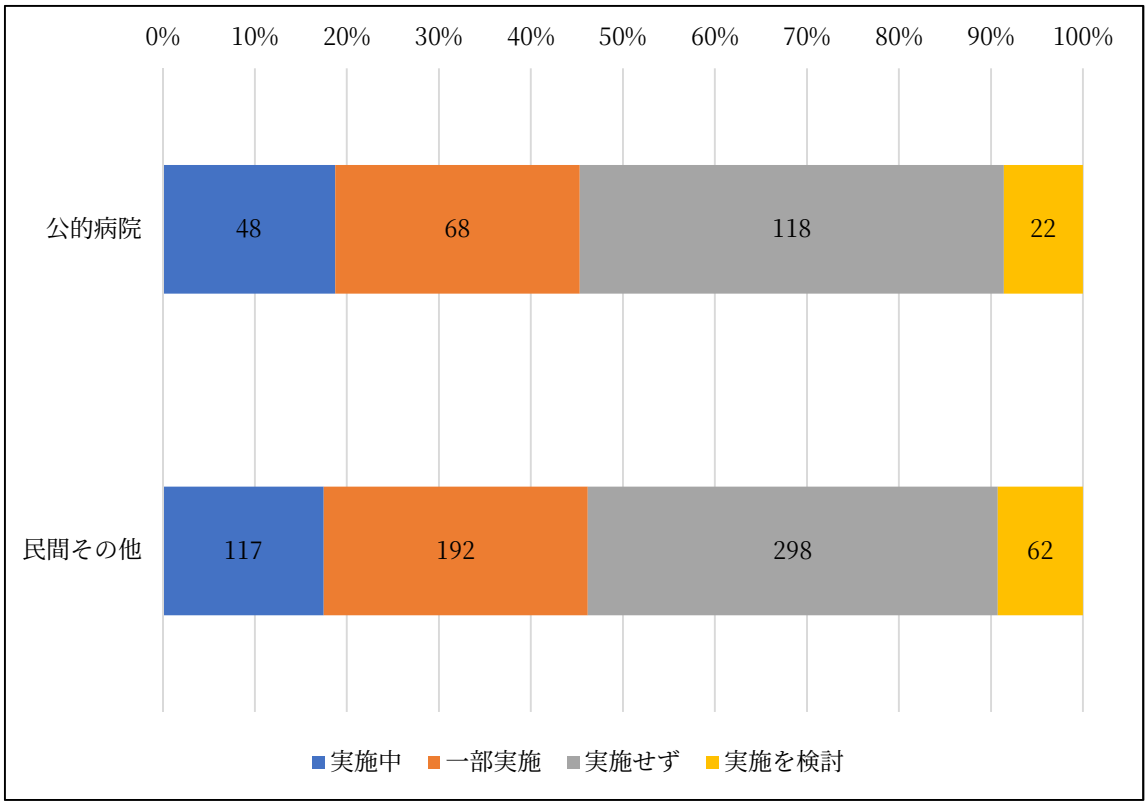

図 25-4. 公的・民間別

⑤監視カメラや録音機（レコーダー）の数と設置場所を適切に定めている

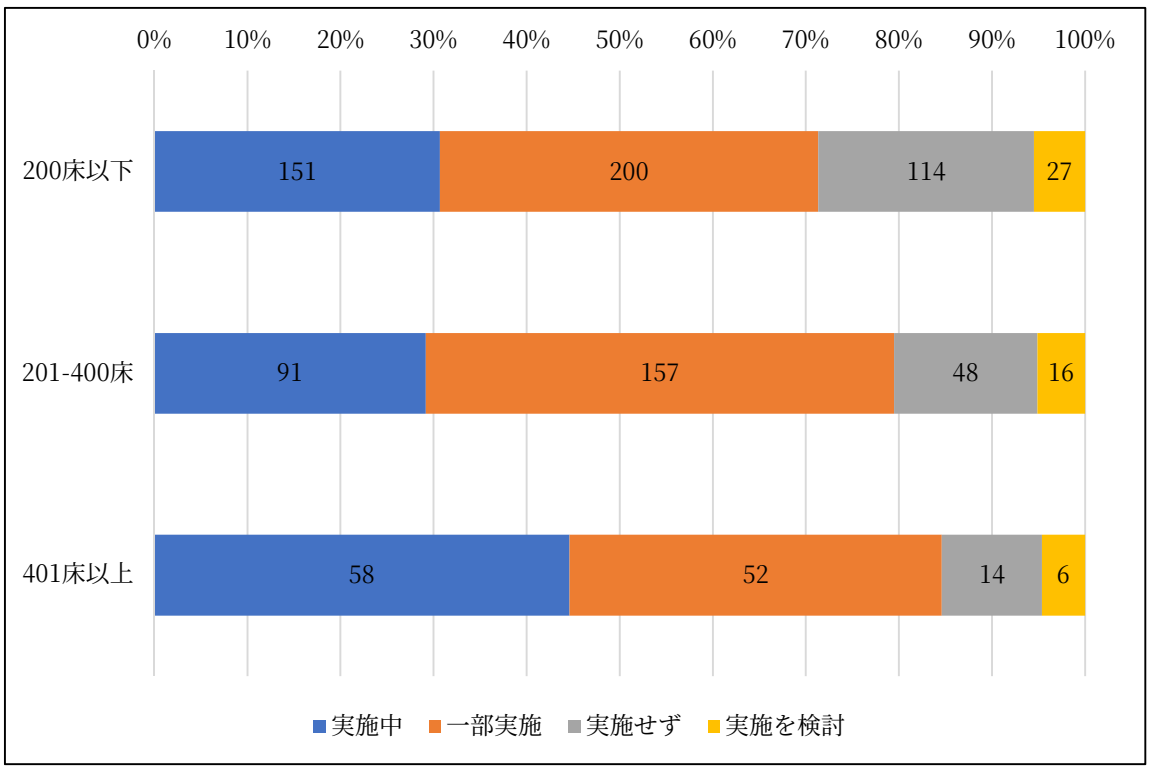

図 26-1. 病床数別

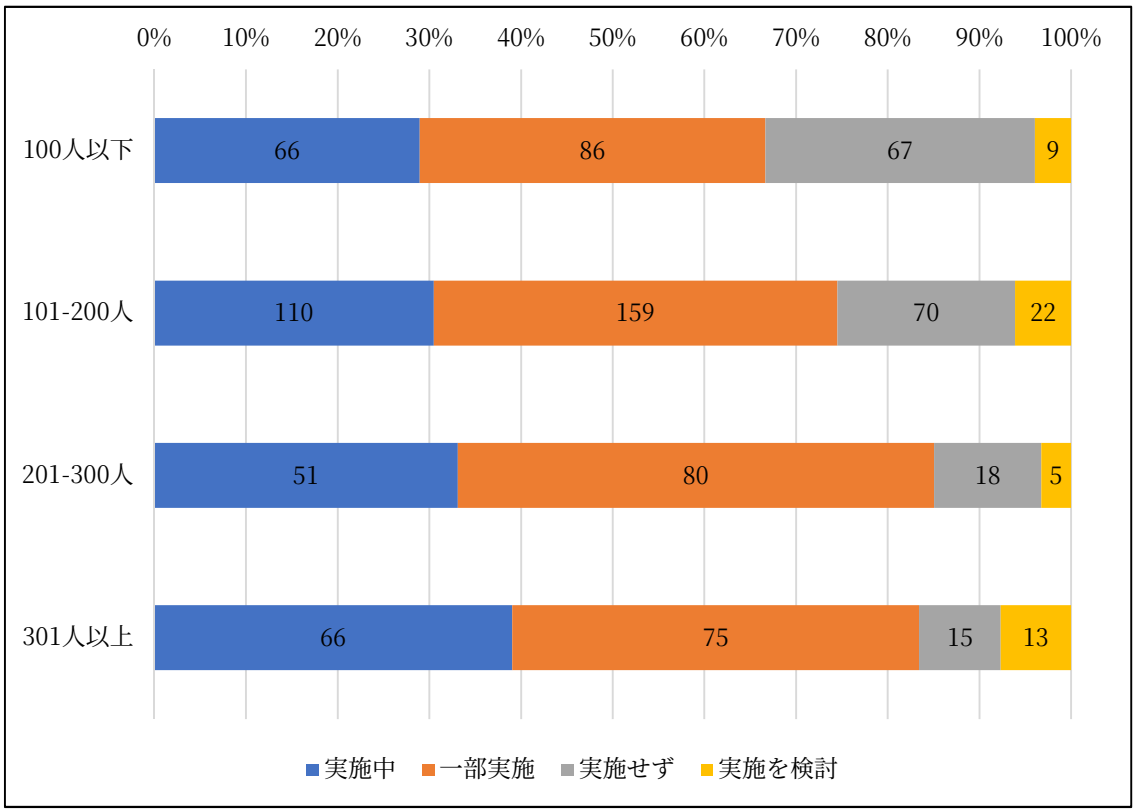

図 26-2. 看護職数別

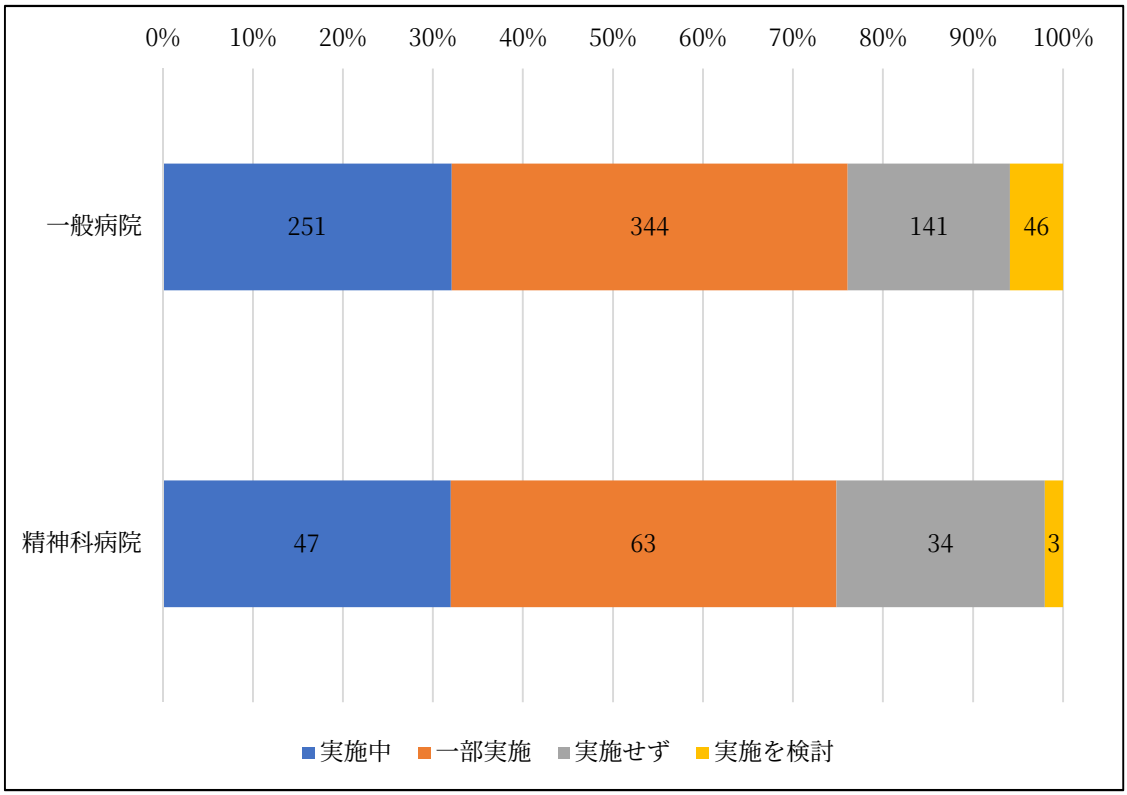

図 26-3. 一般・精神科病院別

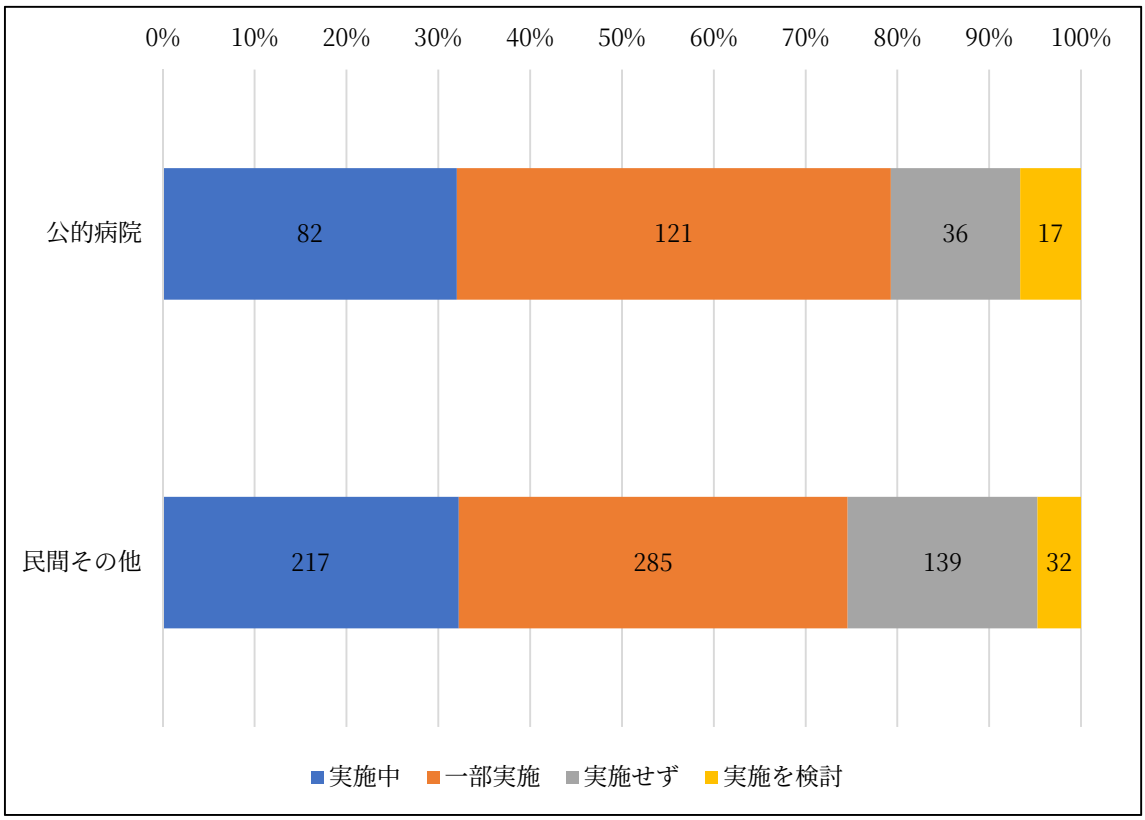

図 26-4. 公的・民間別

⑥職場を巡視して、暴力等が起こりやすい所を特定して、改善している

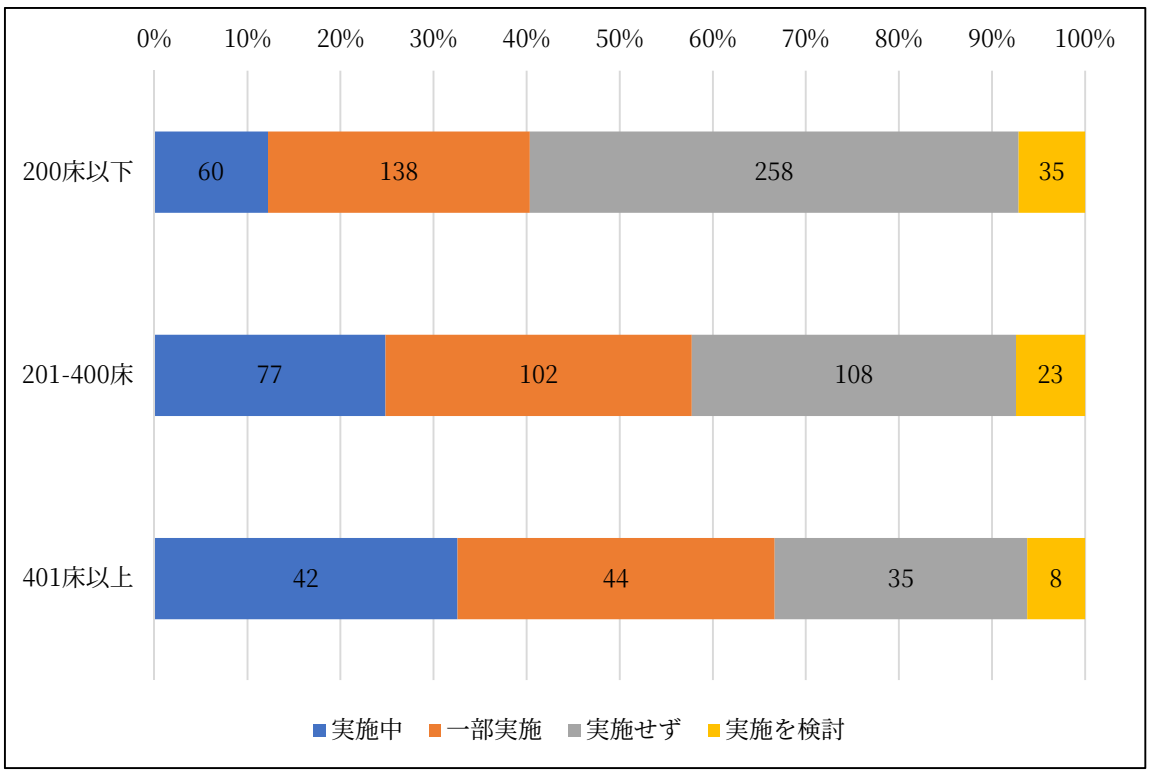

図 27-1. 病床数別

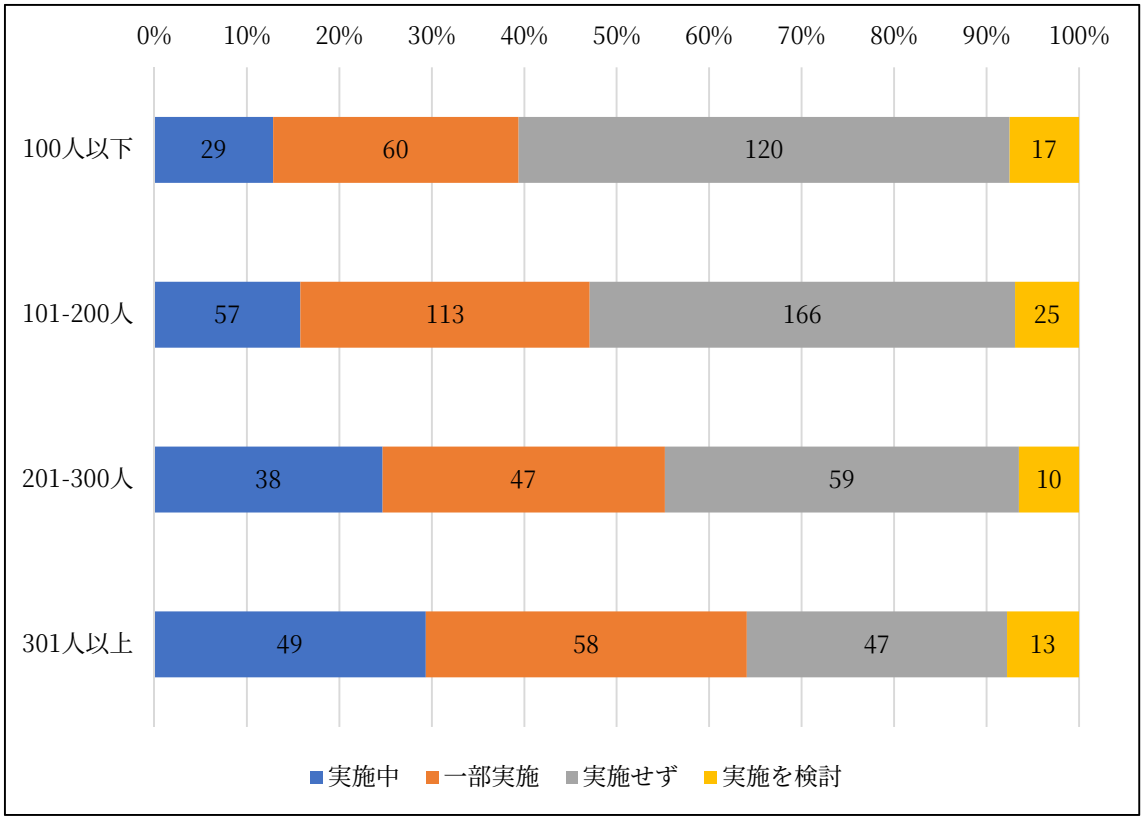

図 27-2. 看護職数別

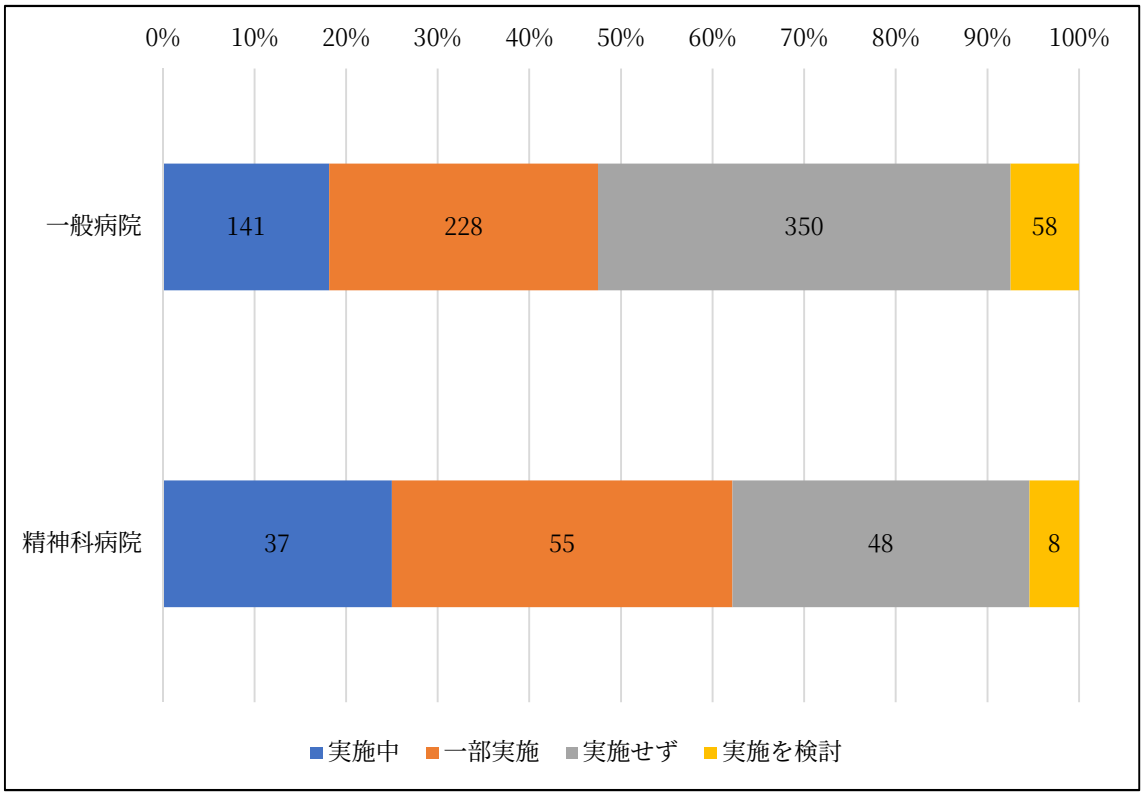

図 27-3. 一般・精神科病院別

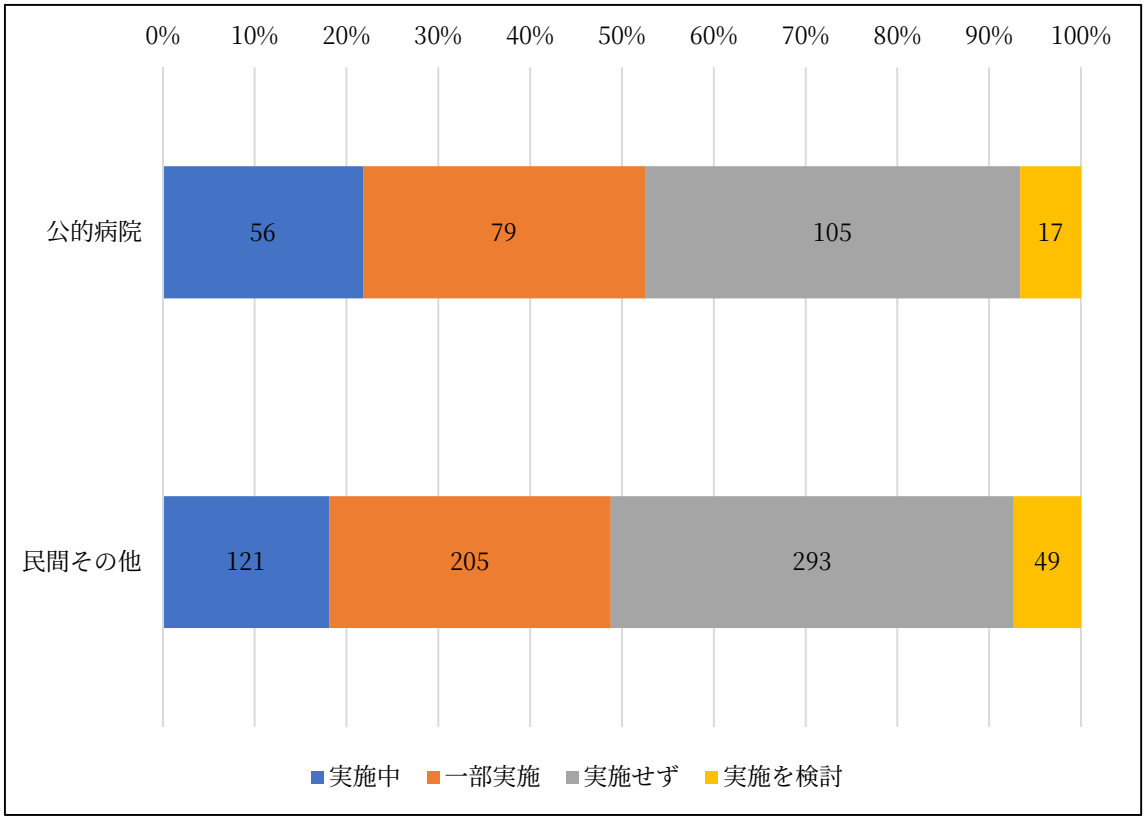

図 27-4. 公的・民間別

2. 患者との良好なコミュニケーションの工夫の実施状況

①来院者に積極的に笑顔で挨拶と声掛けするよう職員に周知している

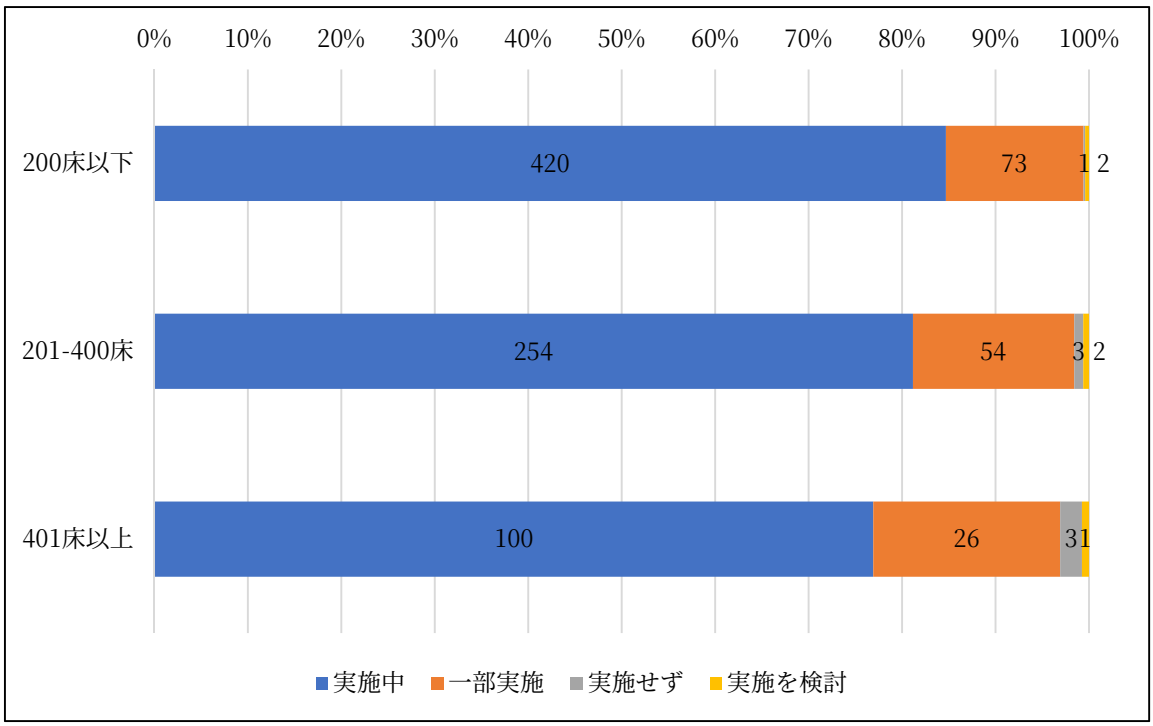

図 28-1. 病床数別

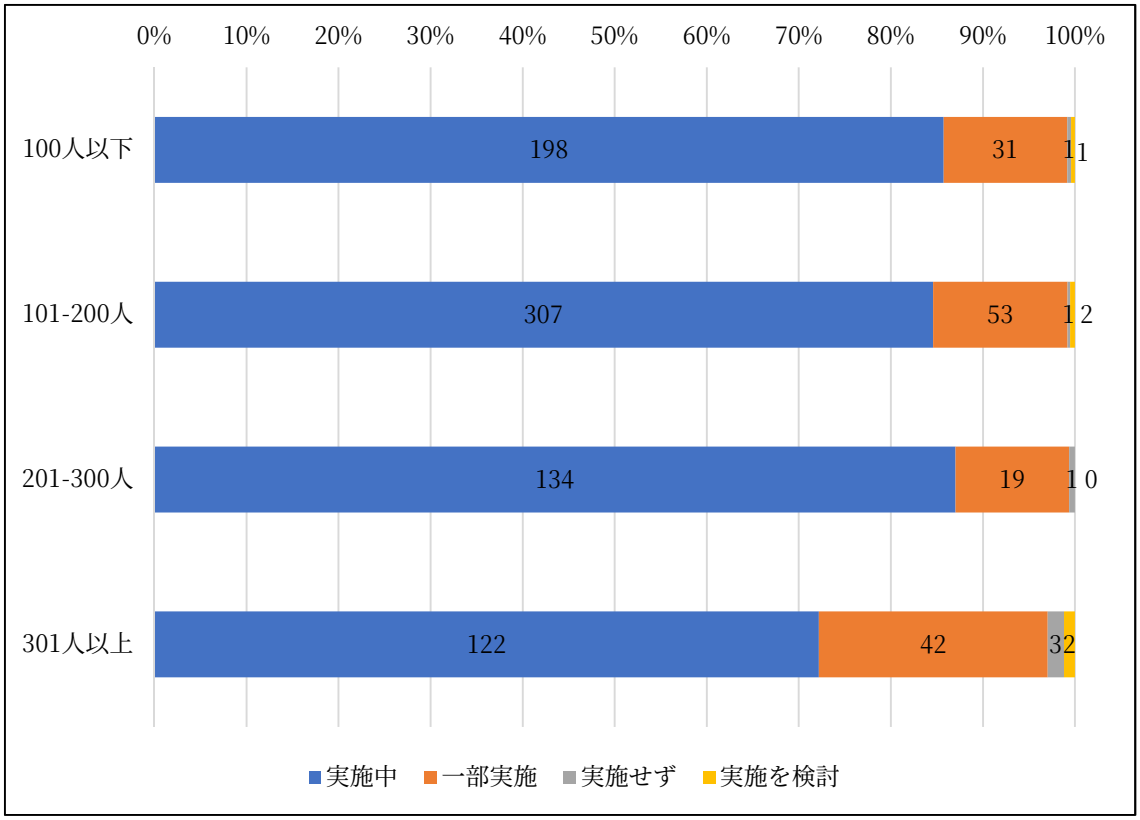

図 28-2. 看護職数別

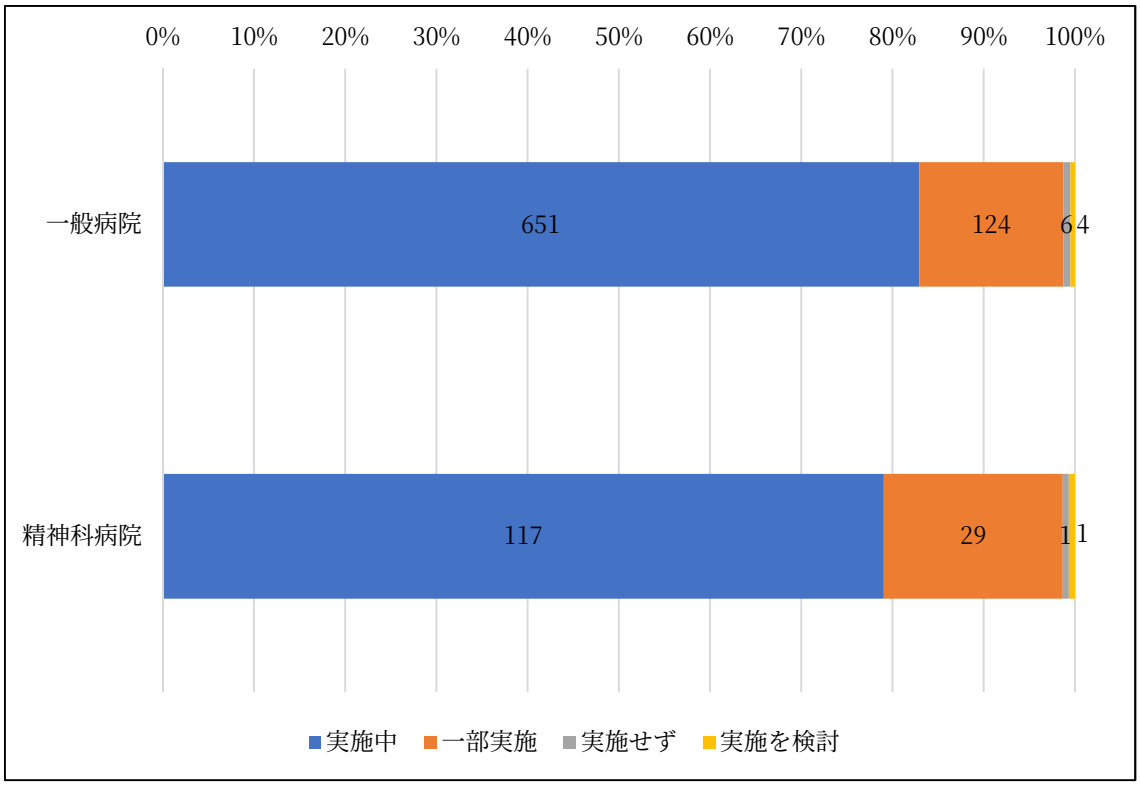

図 28-3. 一般・精神科病院別

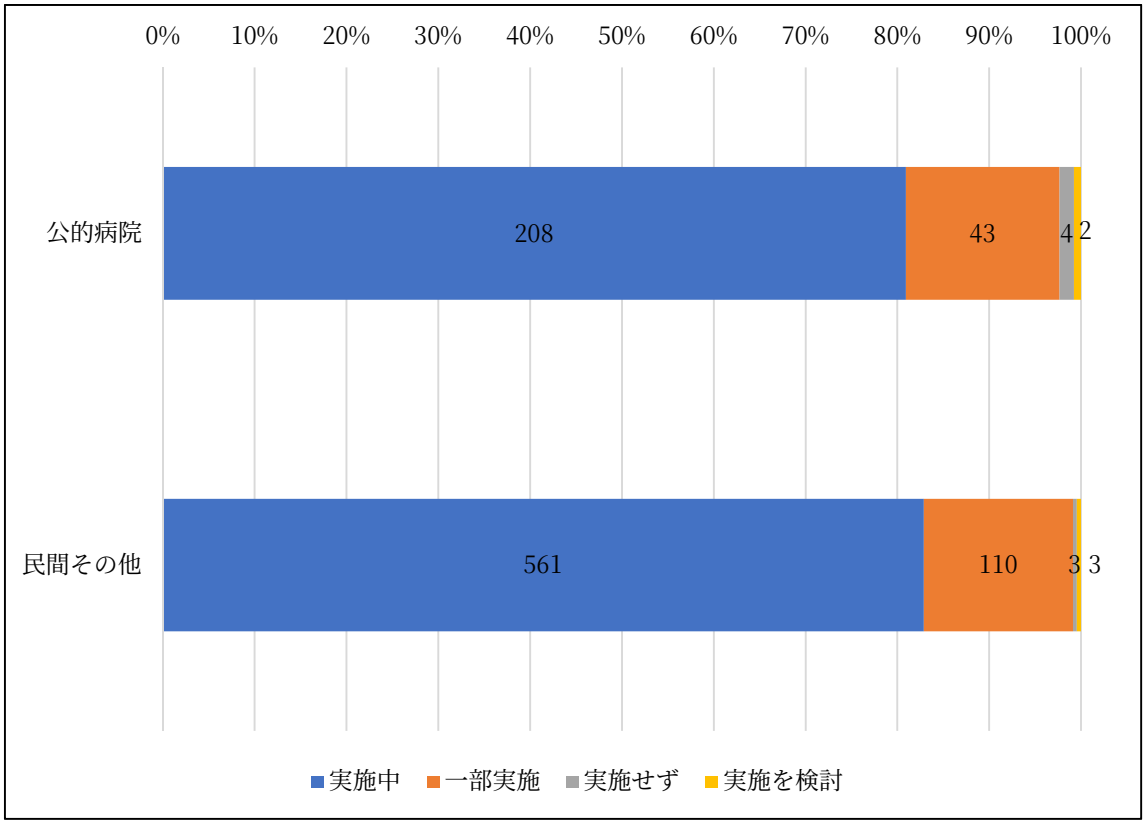

図 28-4. 公的・民間別

②親切な接遇を常に心掛けるよう職員に周知している

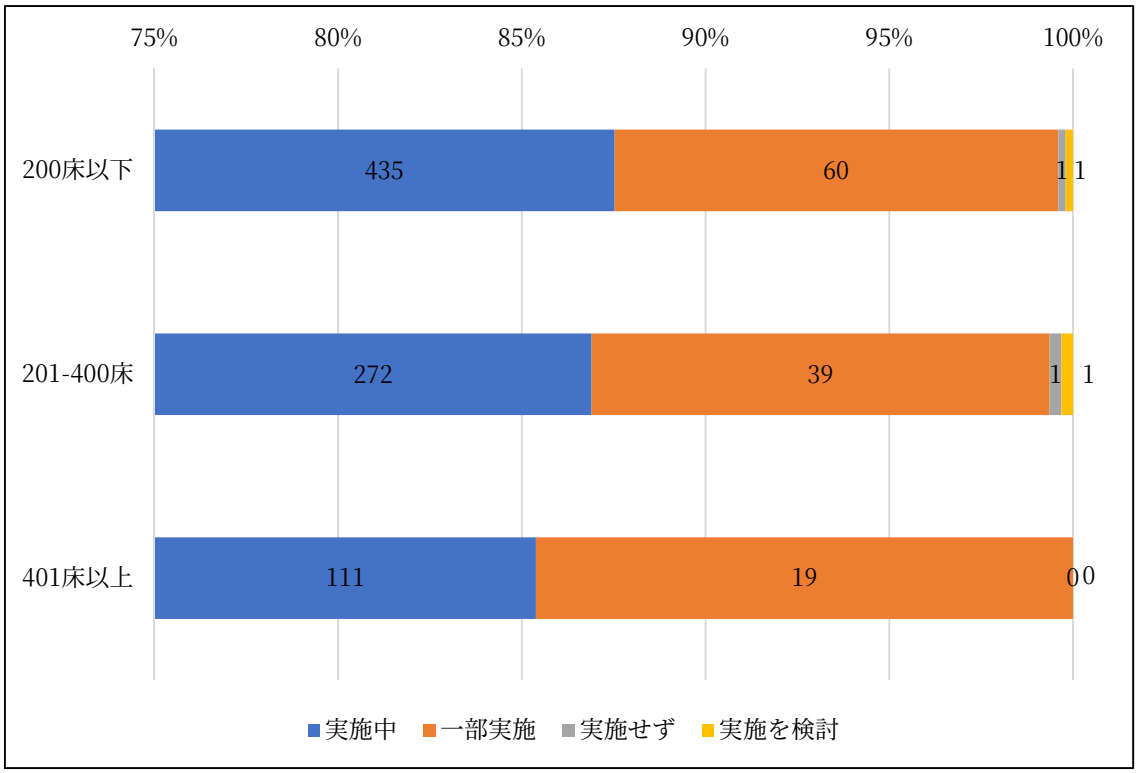

図 29-1. 病床数別

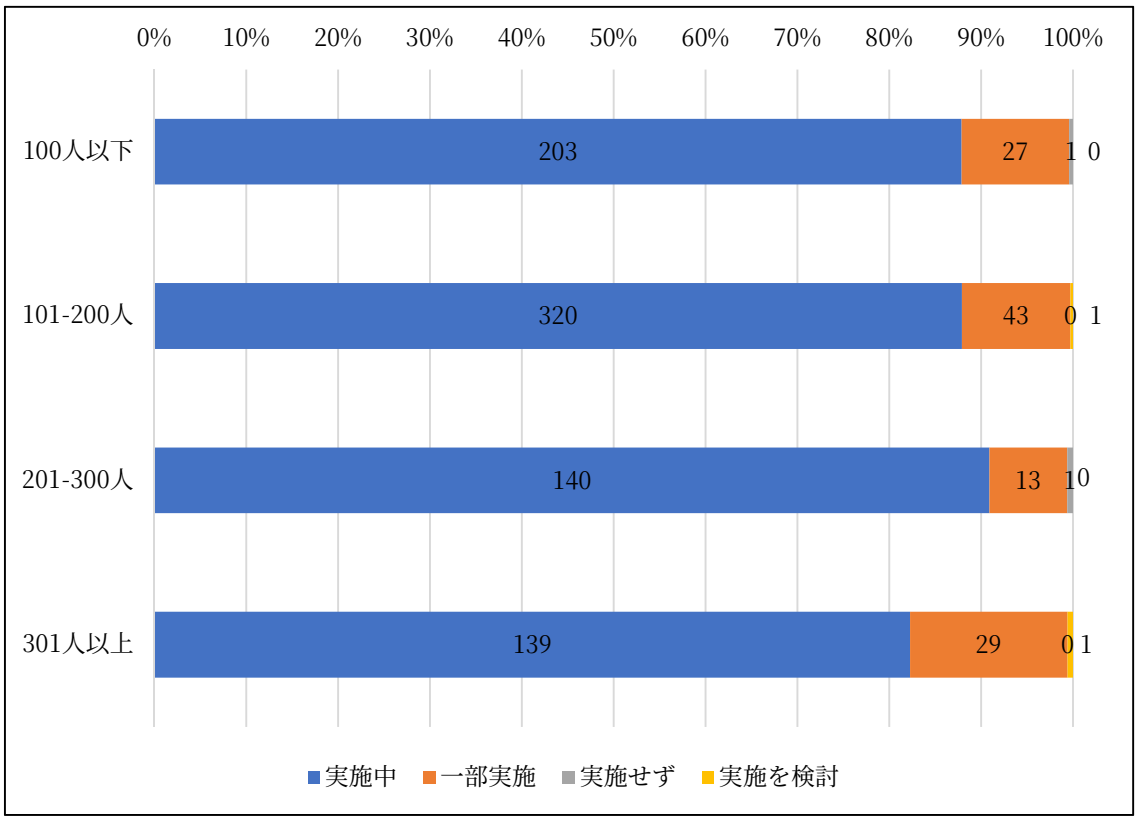

図 29-2. 看護職数別

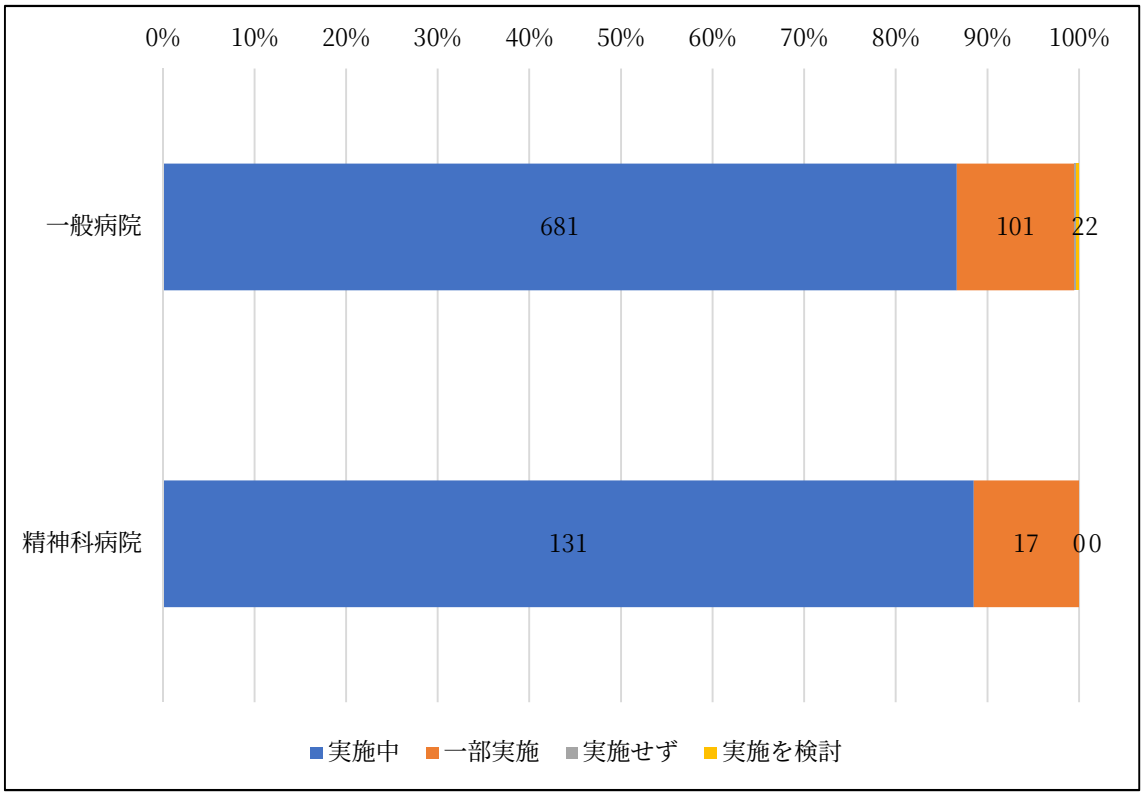

図 29-3. 一般・精神科病院別

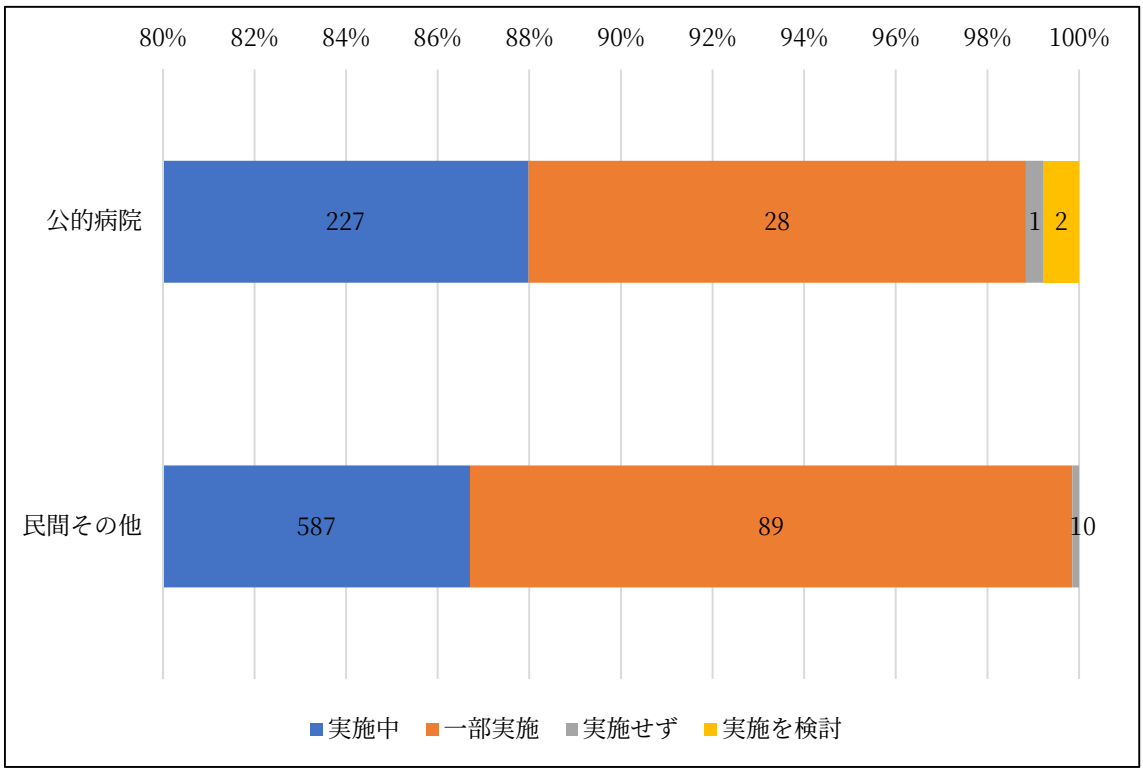

図 29-4. 公的・民間別

③ロールプレイなどを取り入れた暴力等予防のためのコミュニケーショントレーニングを行っている

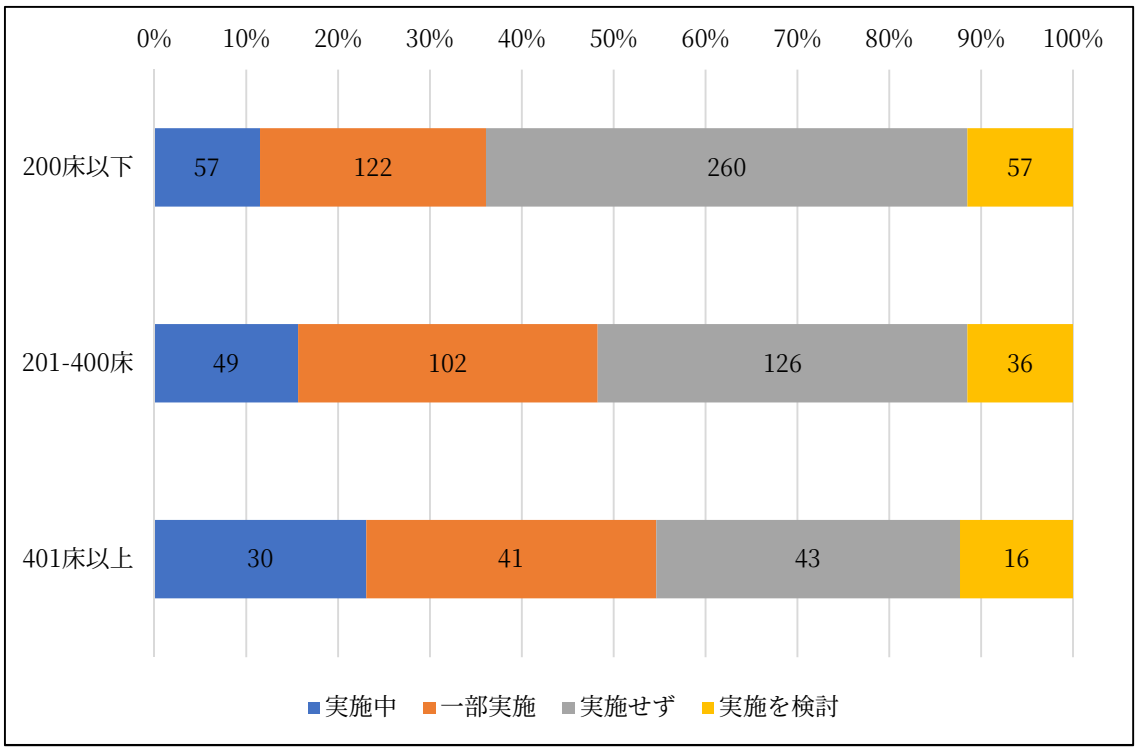

図 30-1. 病床数別

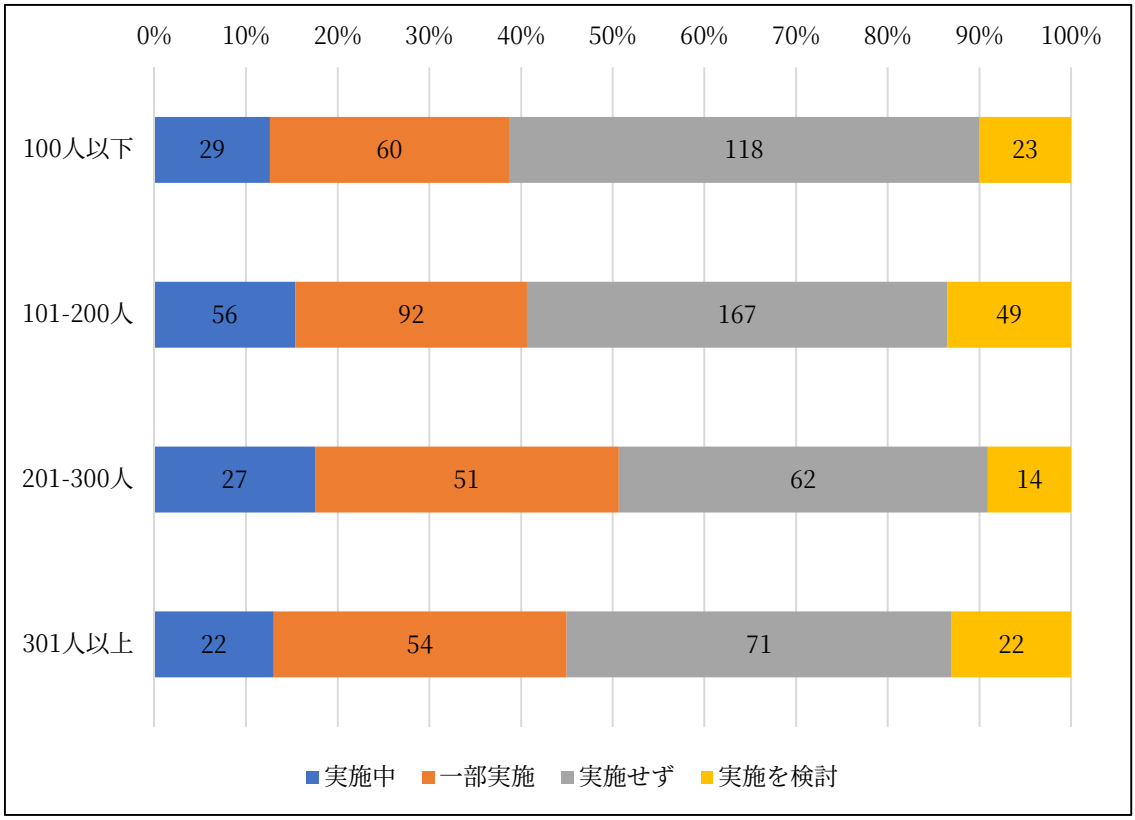

図 30-2. 看護職数別

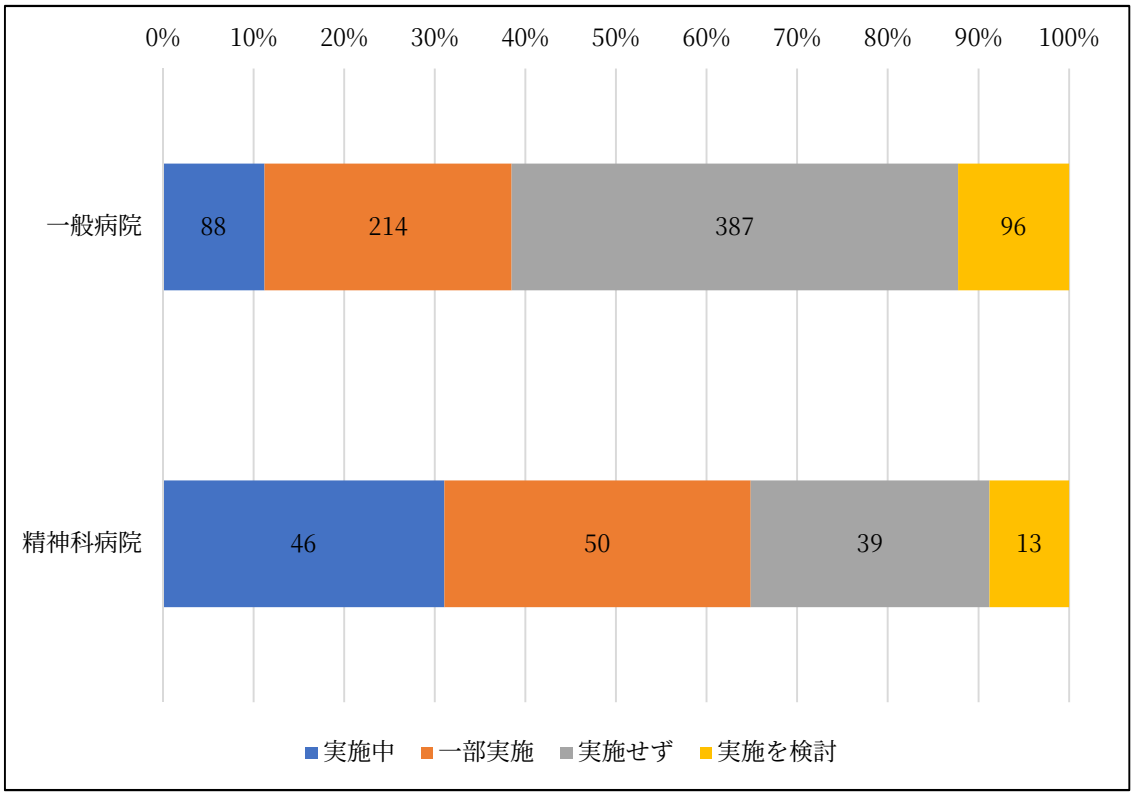

図 30-3. 一般・精神科病院別

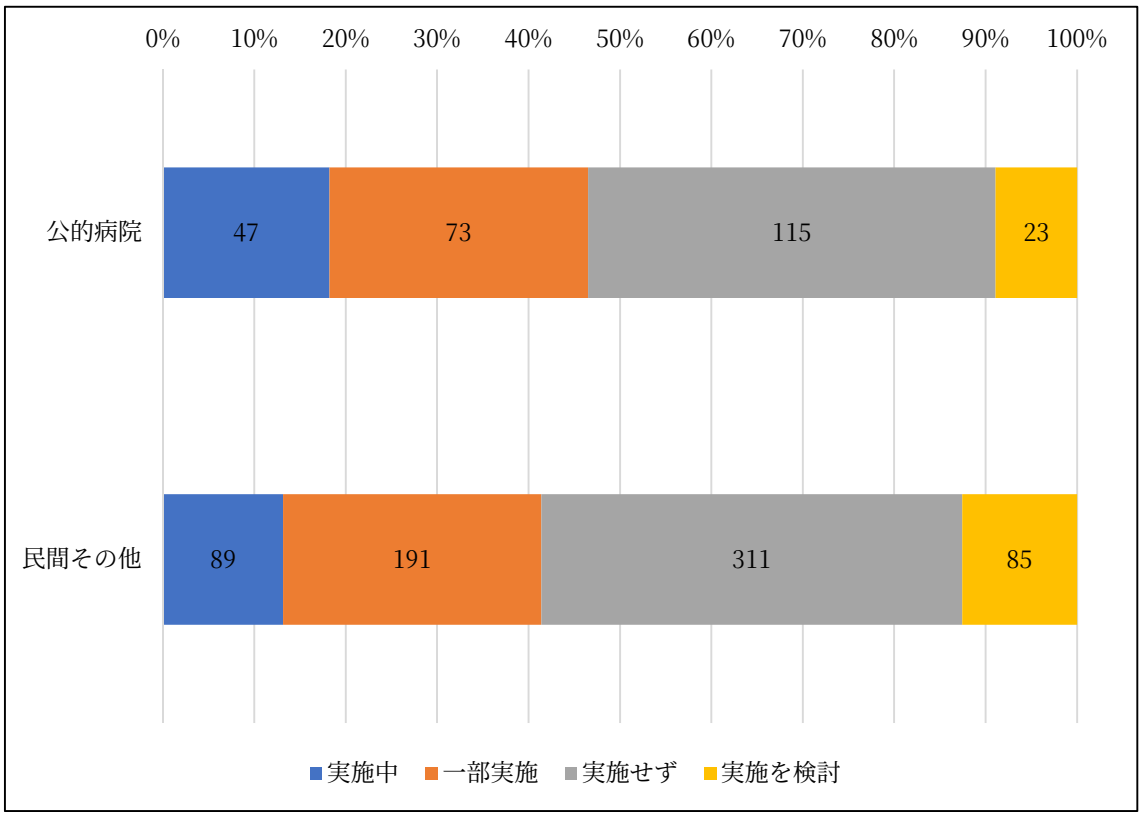

図 30-4. 公的・民間別

④患者が相談出来る窓口や意見箱などをわかりやすい場所に設置している

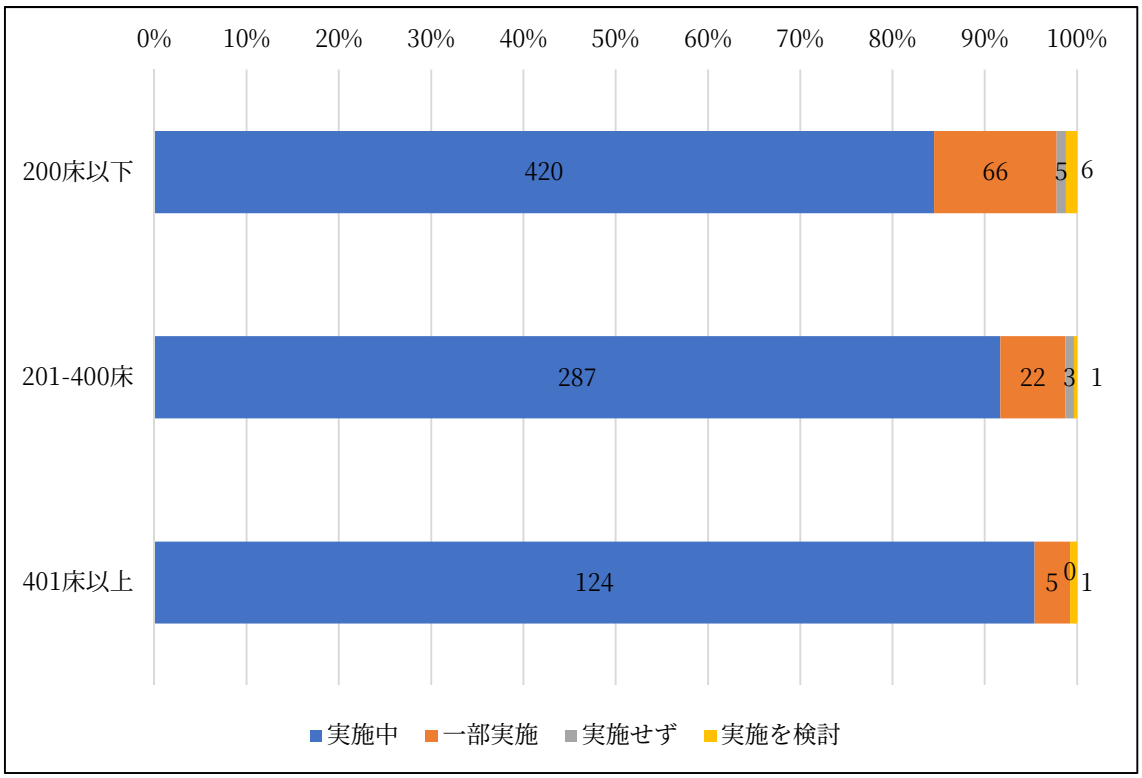

図 31-1. 病床数別

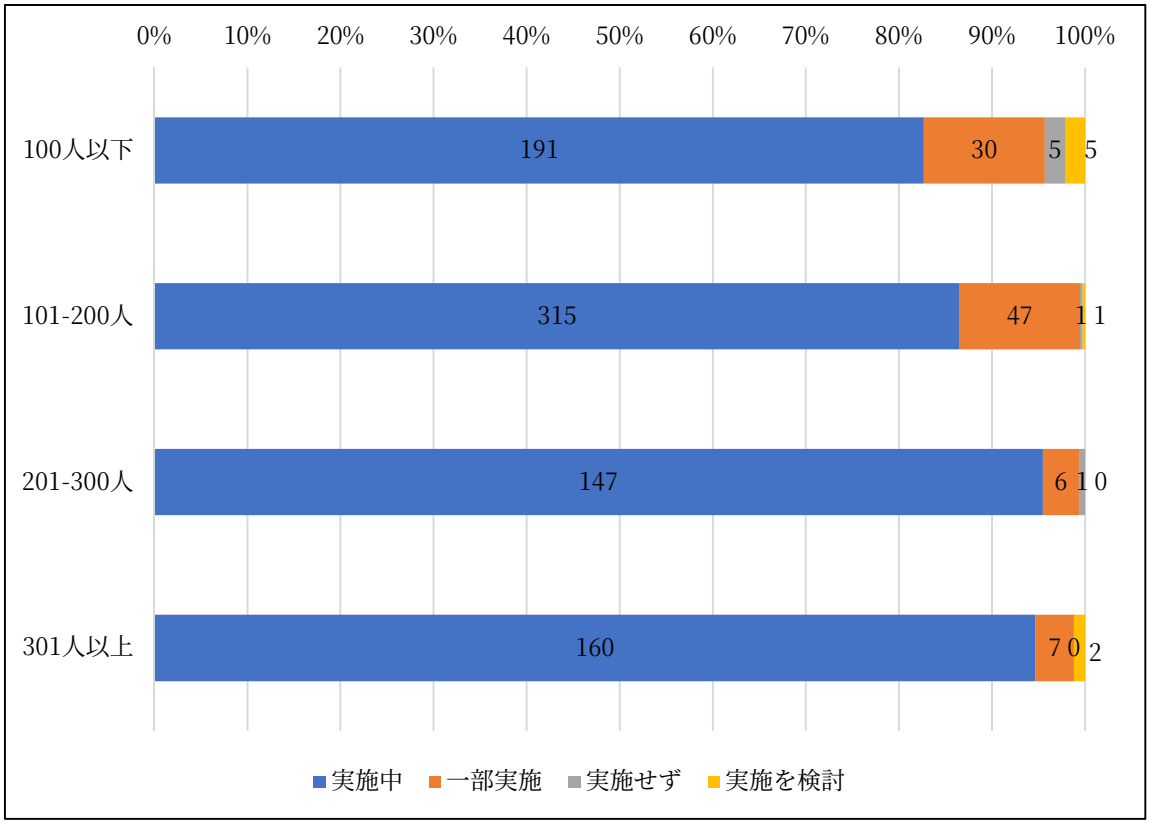

図 31-2. 看護職数別

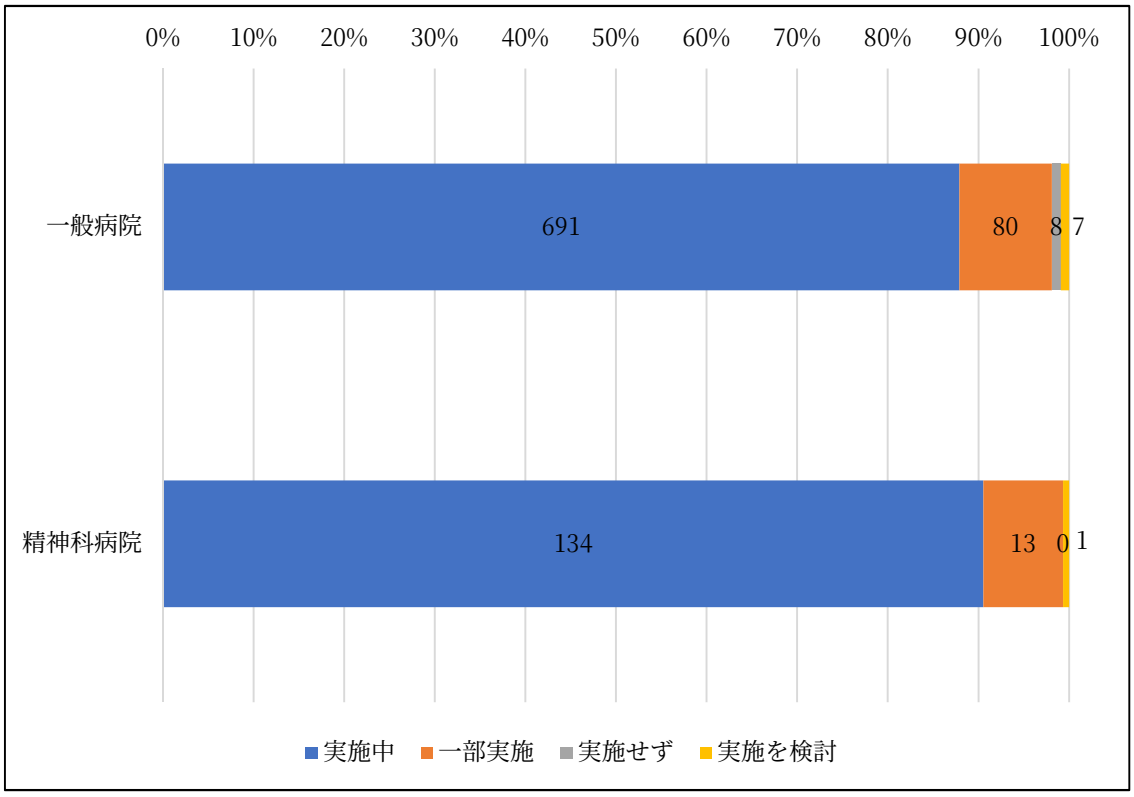

図 31-3. 一般・精神科病院別

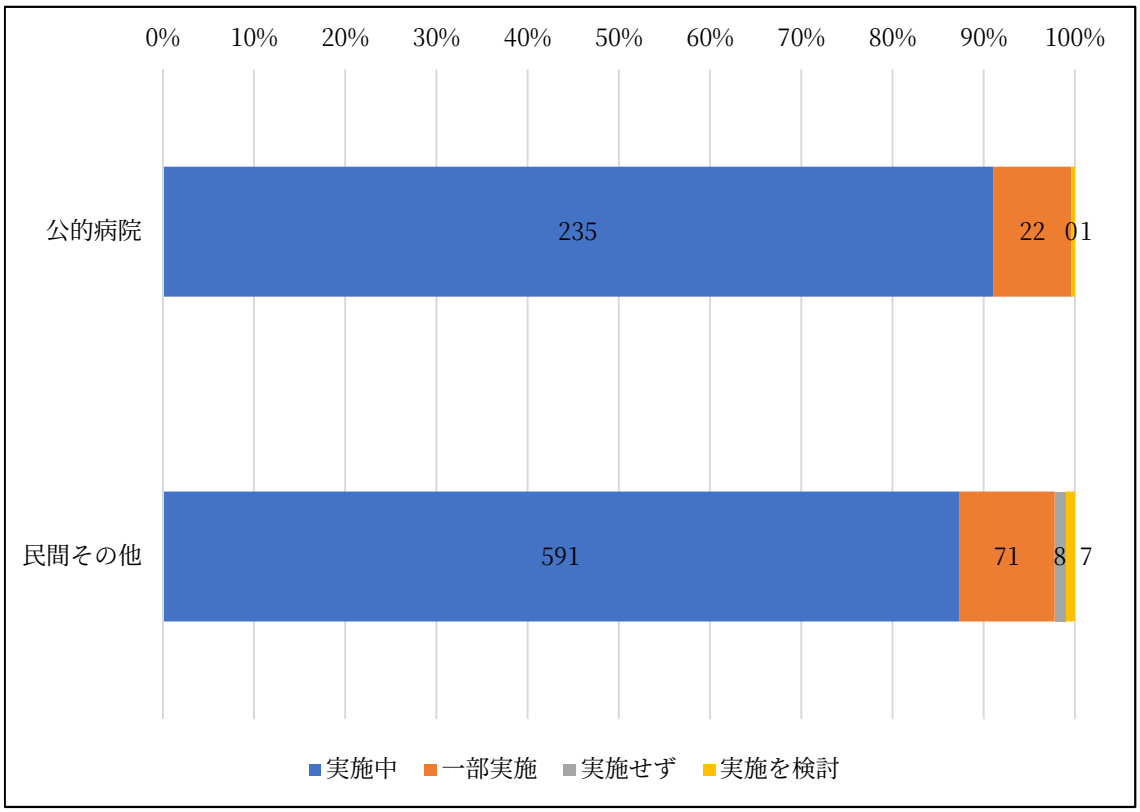

図 31-4. 公的・民間別

⑤患者・家族の満足度調査などを行い、意見（クレーム）や質問から積極的に改善のヒントを得て、実践している

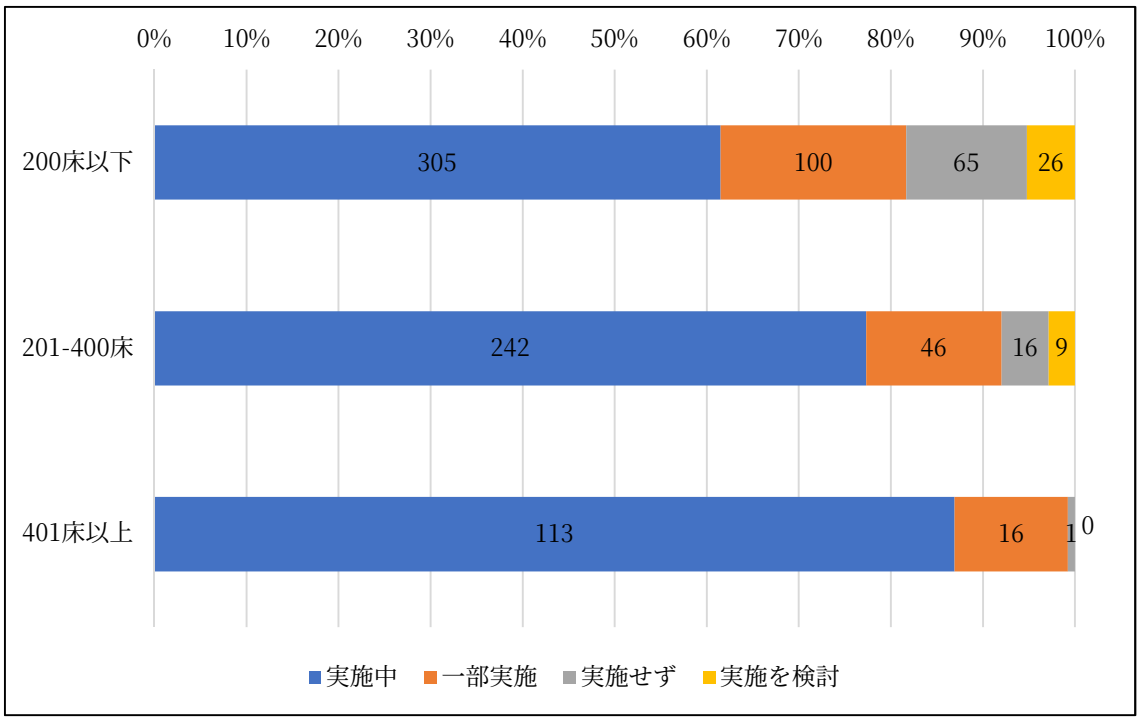

図 32-1. 病床数別

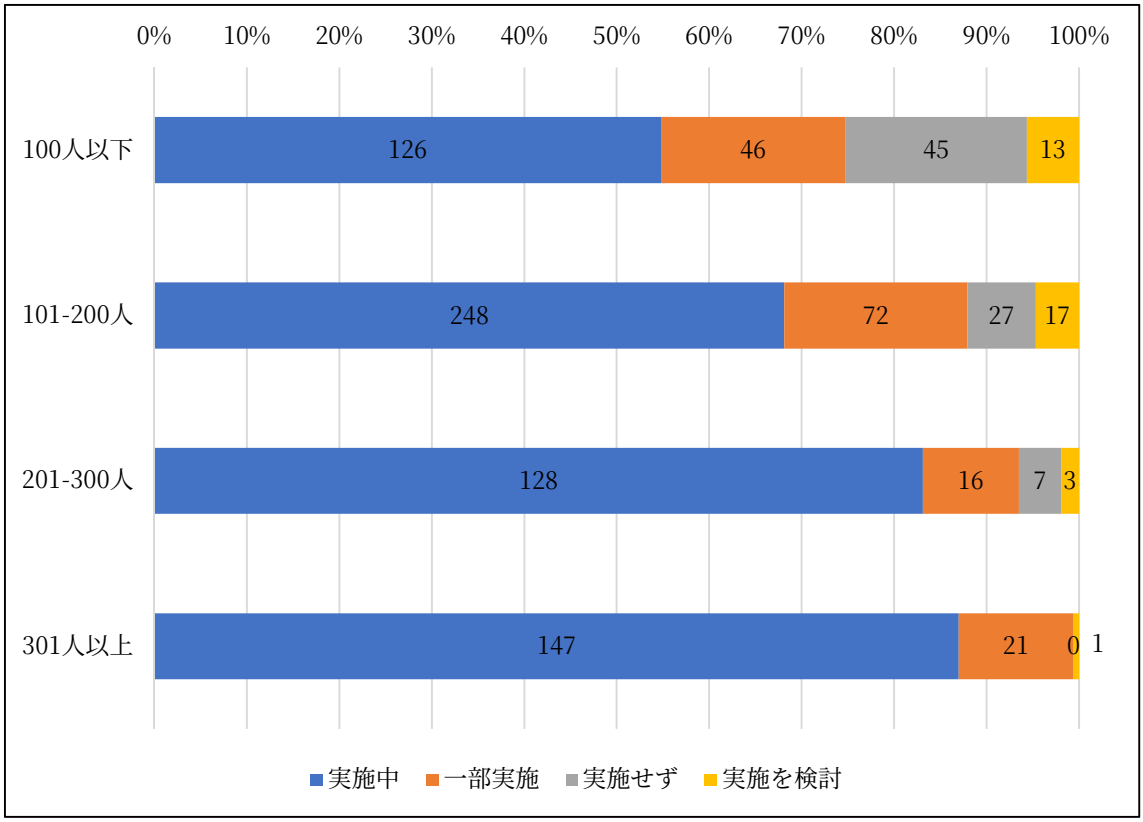

図 32-2. 看護職数別

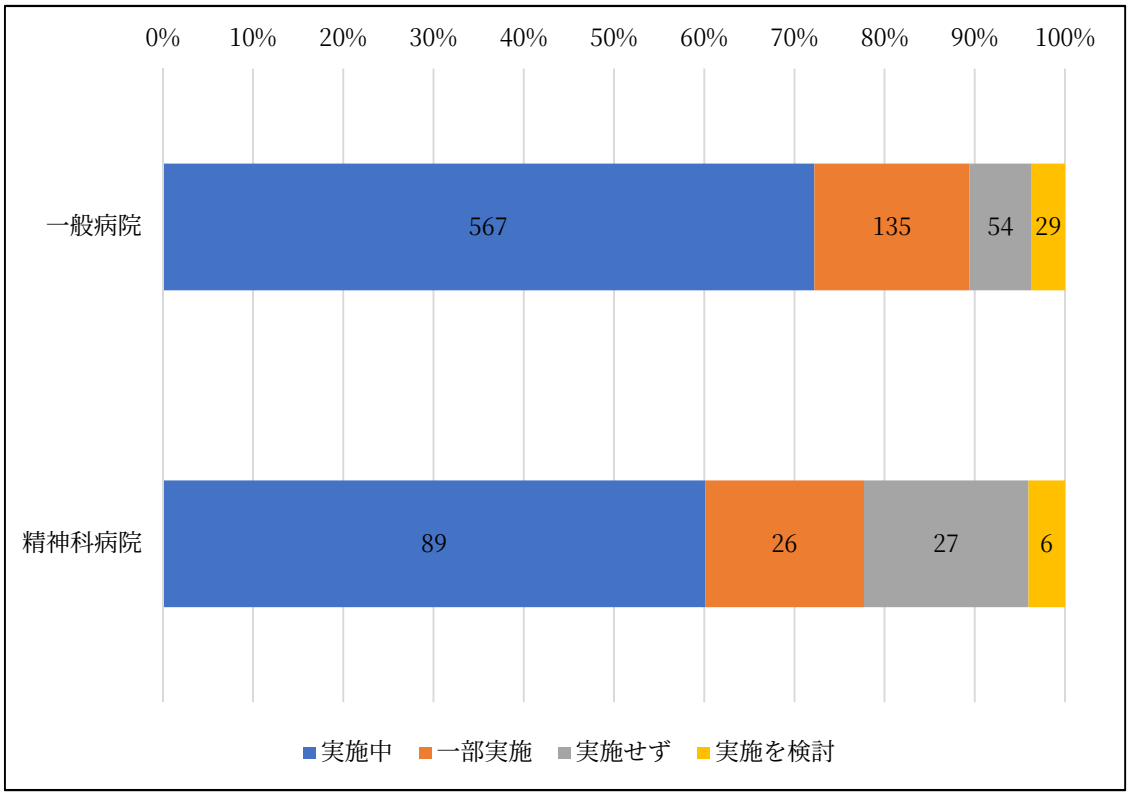

図 32-3. 一般・精神科病院別

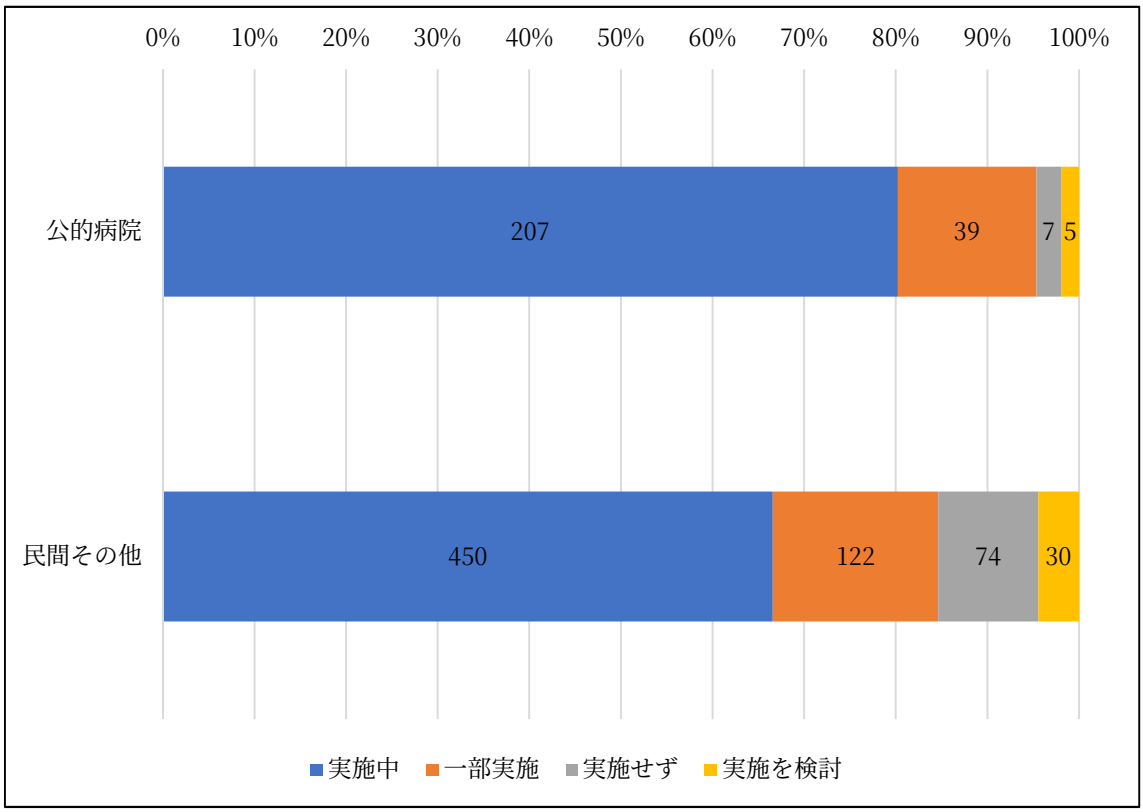

図 32-4. 公的・民間別

3. 暴力等の方針やマニュアル等の作成、周知の実施状況

①暴力等に該当する行為基準（暴力の定義）について明確にしている

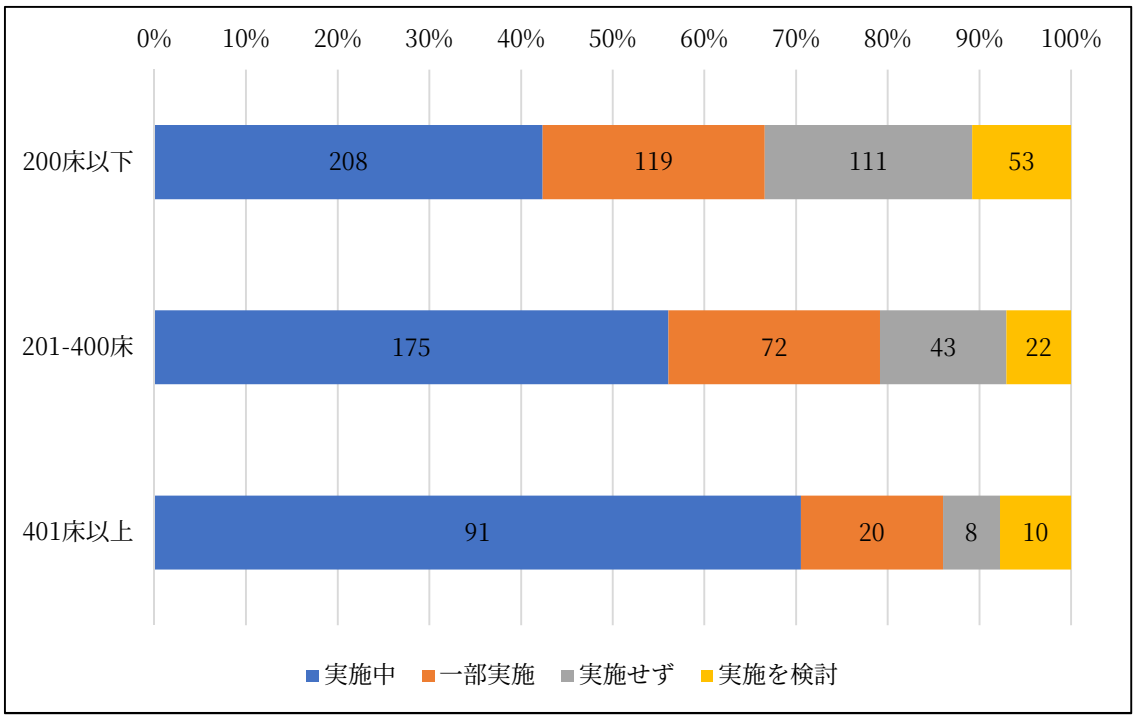

図 33-1. 病床数別

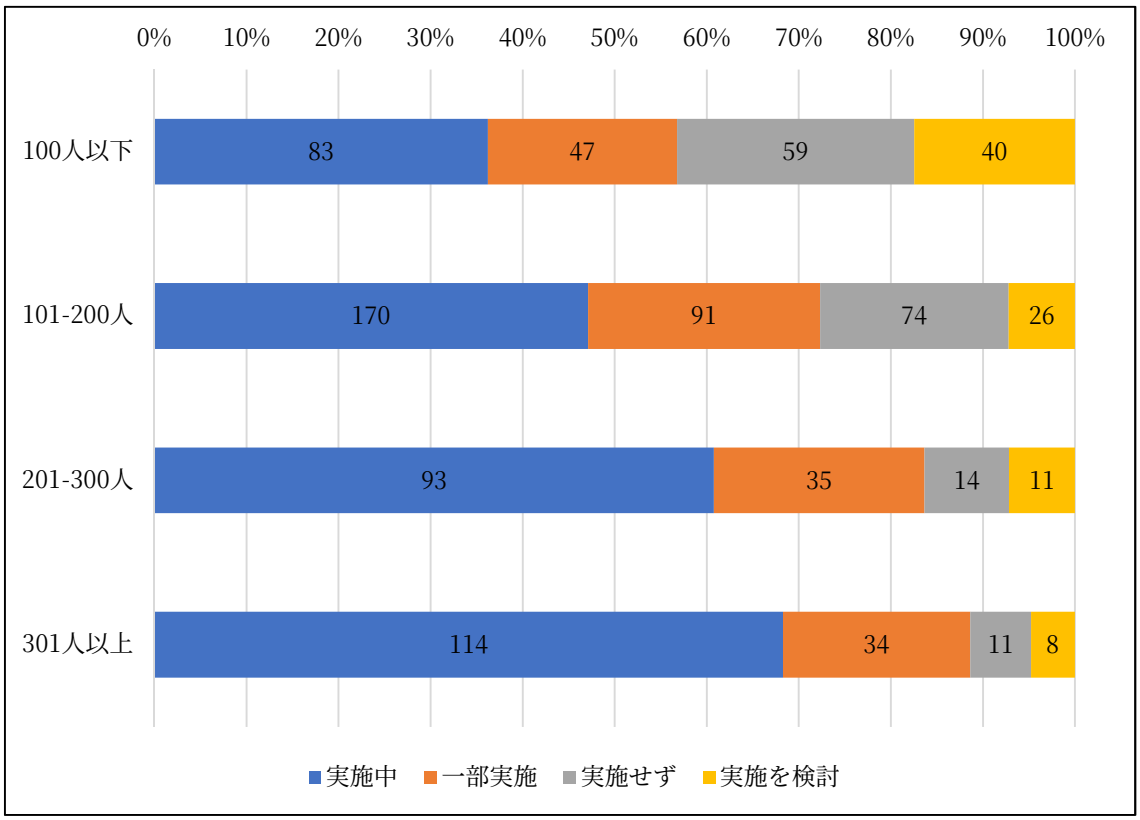

図 33-2. 看護職数別

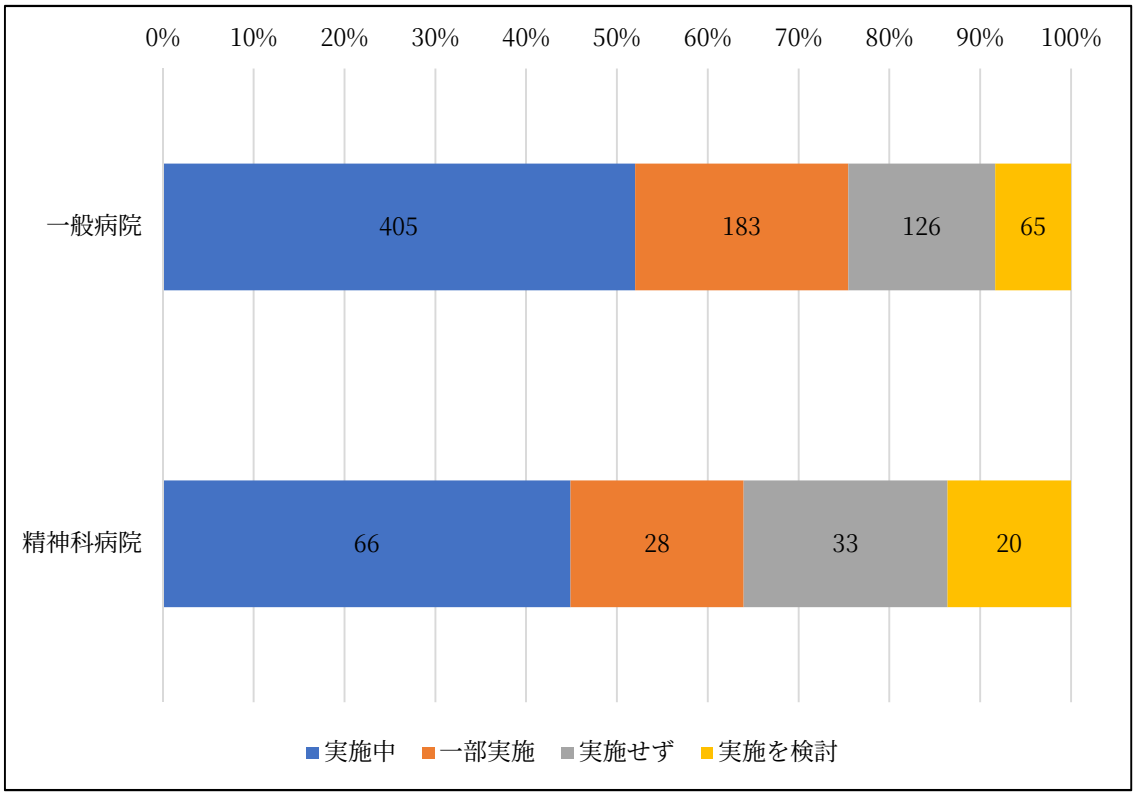

図 33-3. 一般・精神科病院別

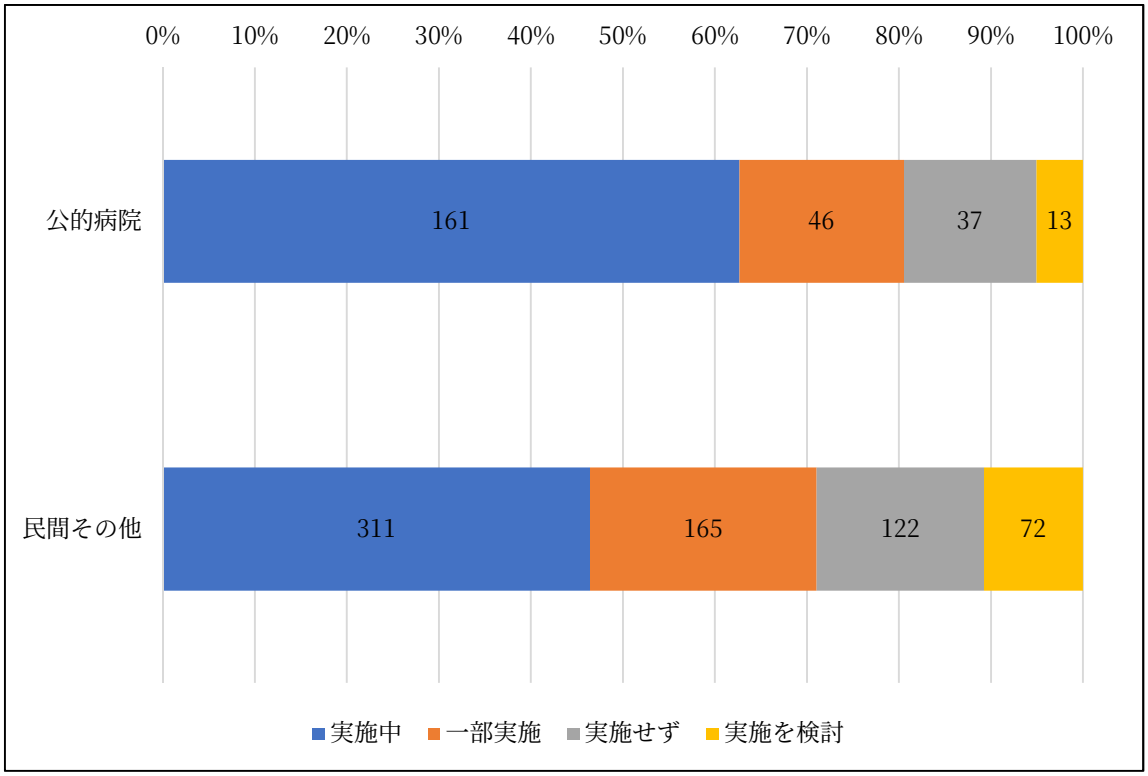

図 33-4. 公的・民間別

②医療機関の方針として、患者・家族等へ「いかなる暴力も容認しない」ことを周知している

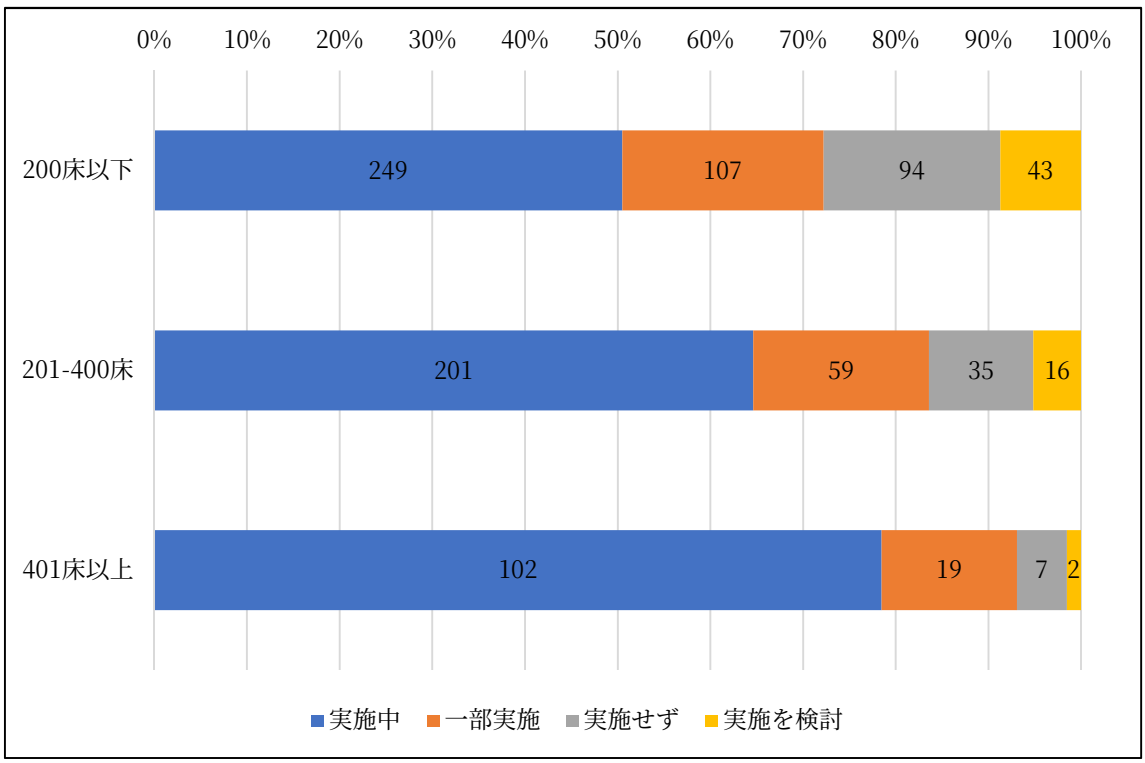

図 34-1. 病床数別

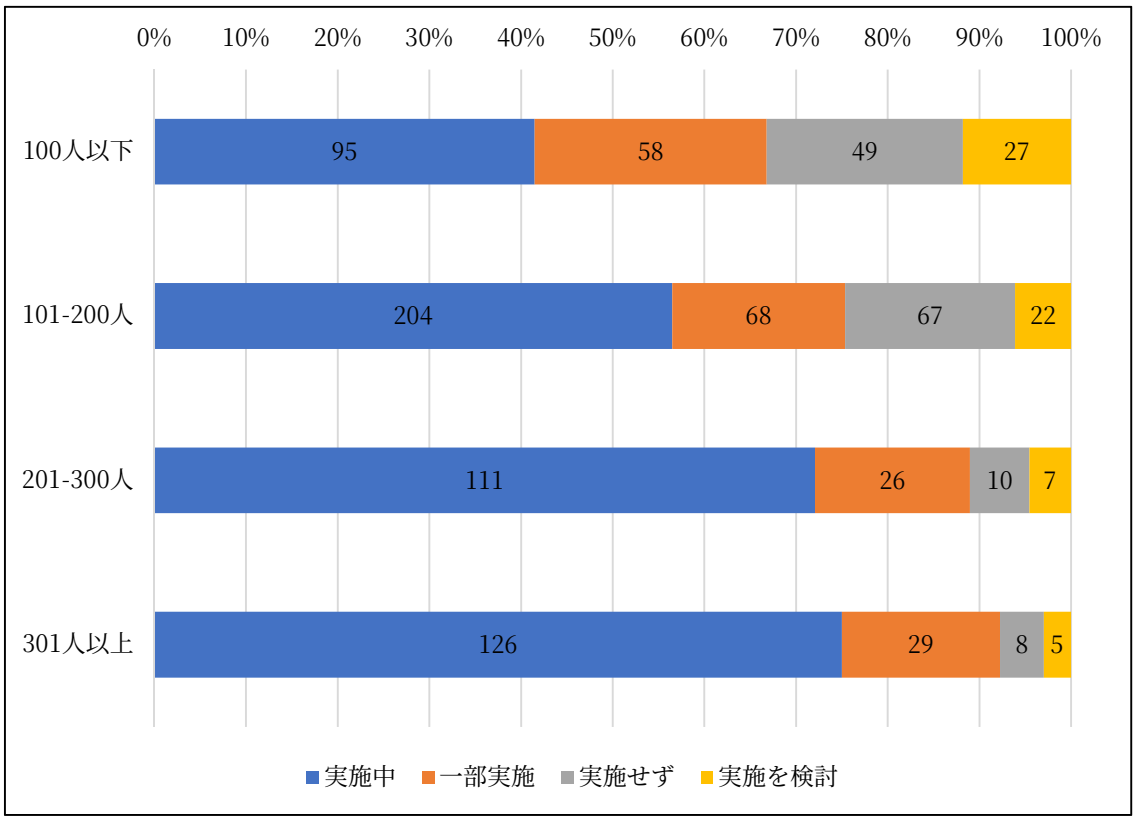

図 34-2. 看護職数別

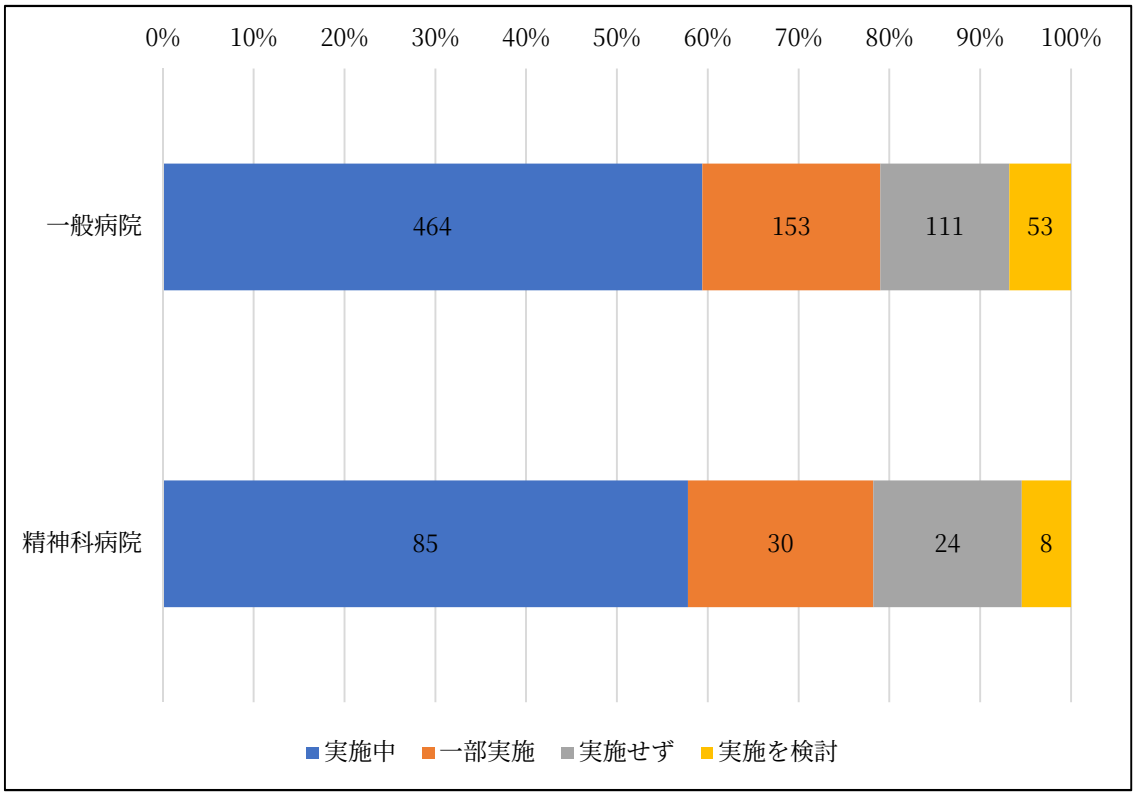

図 34-3. 一般・精神科病院別

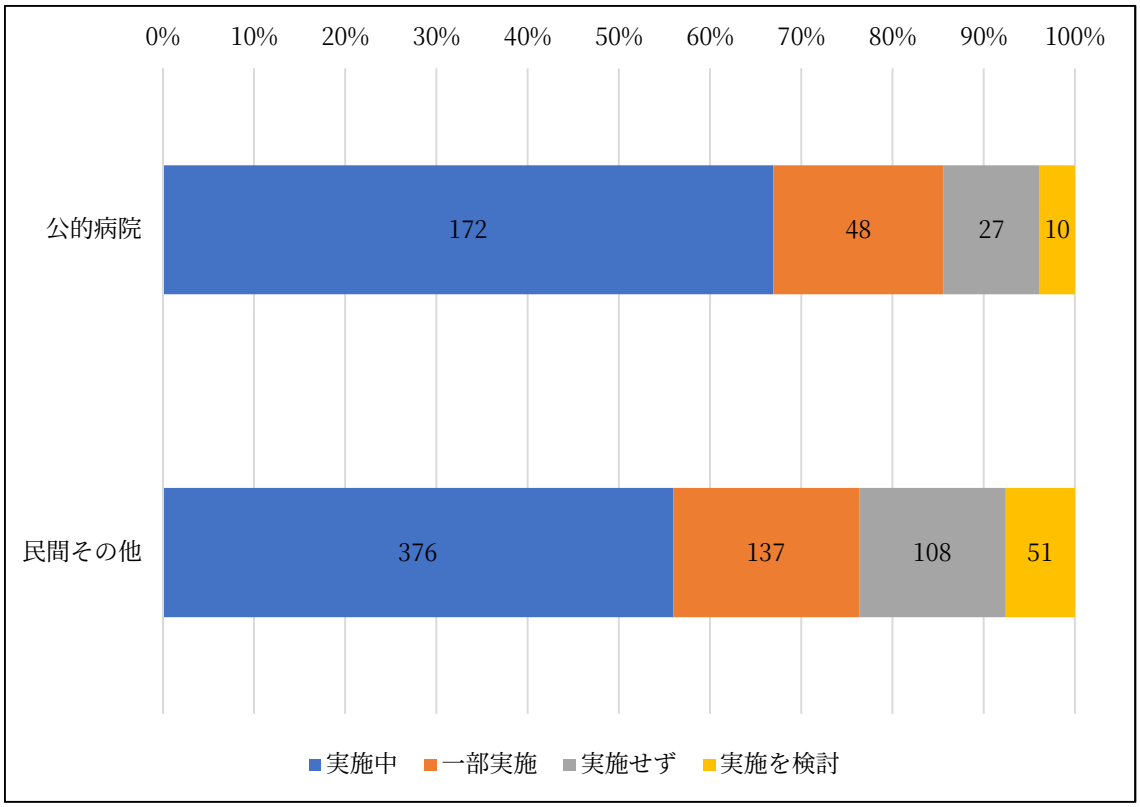

図 34-4. 公的・民間別

③全職員に暴力等の医療施設の対策について周知している

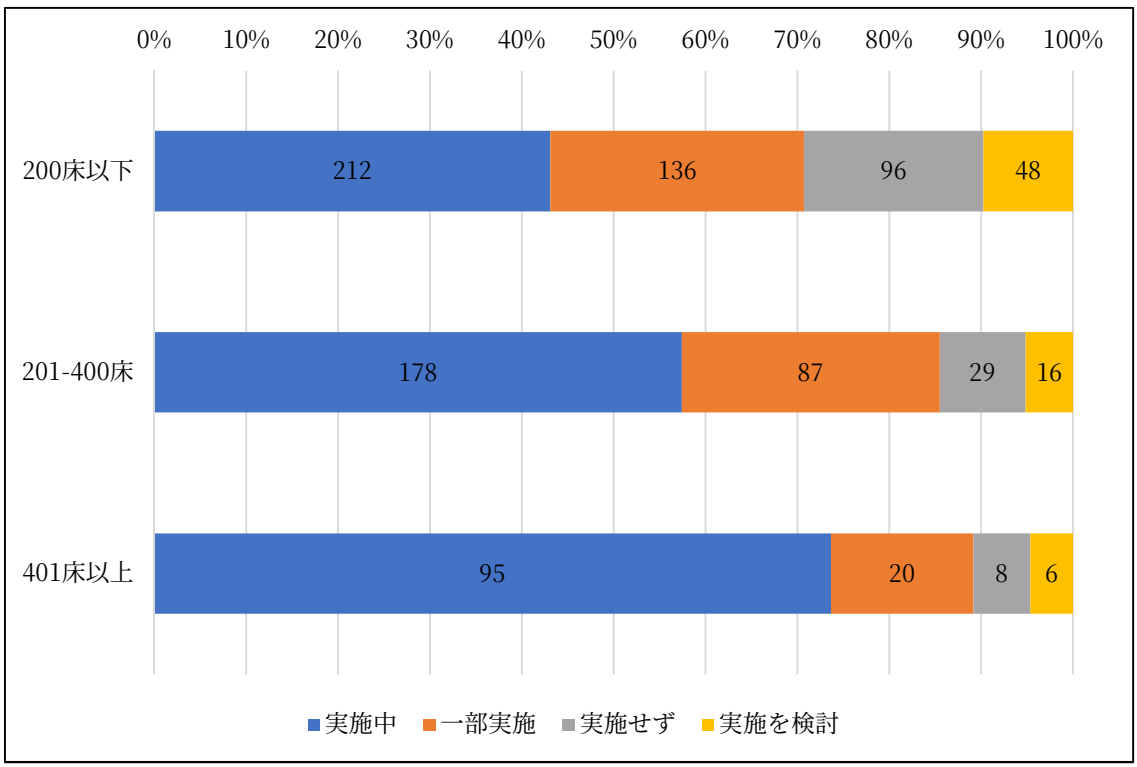

図 35-1. 病床数別

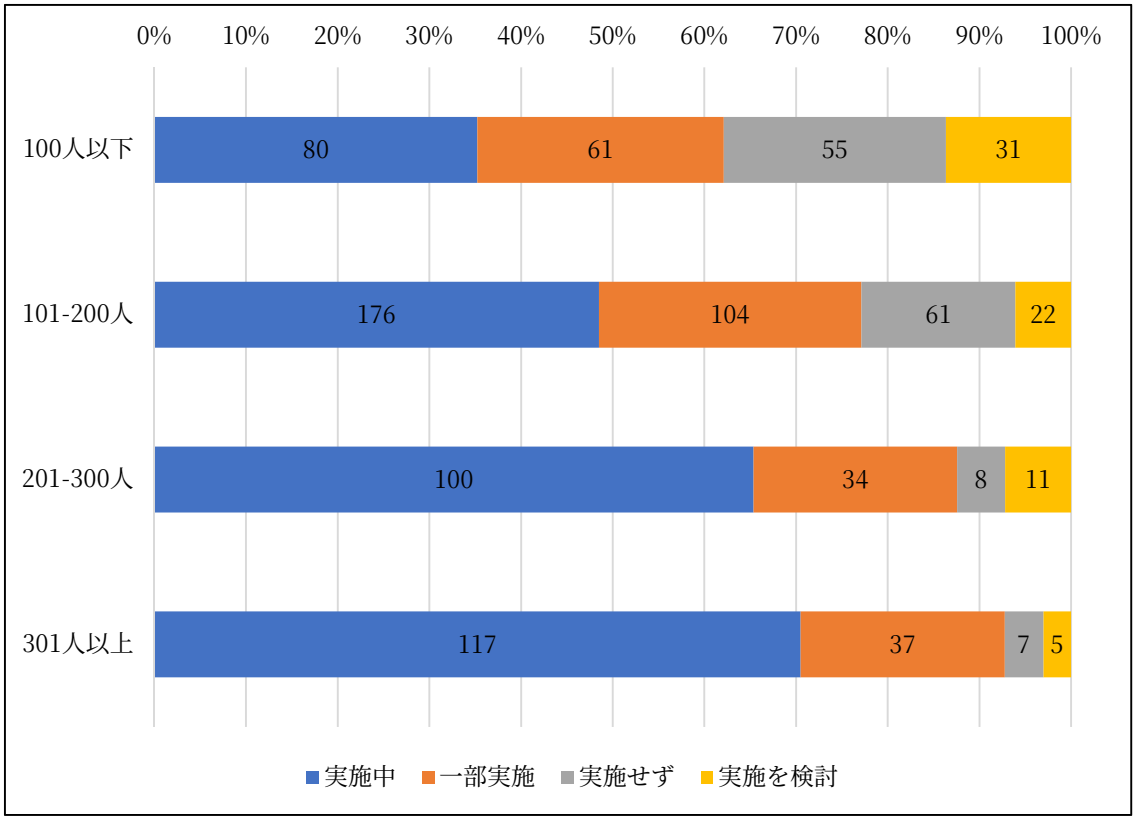

図 35-2. 看護職数別

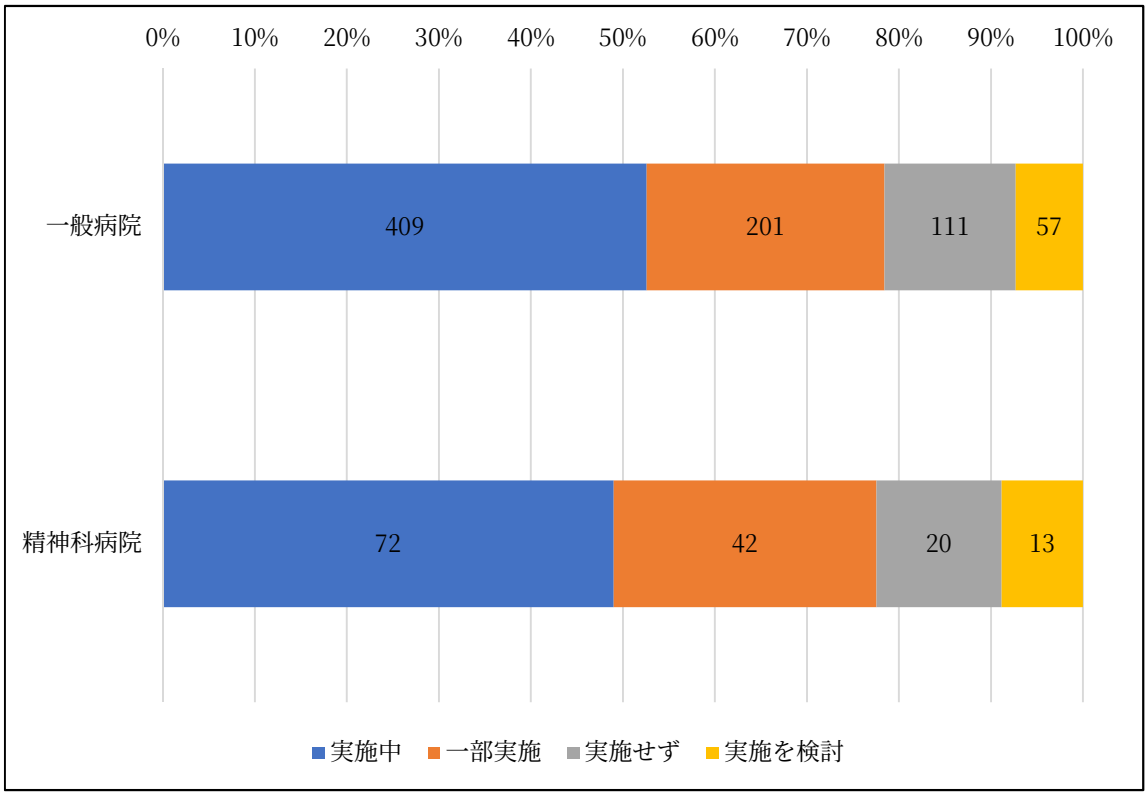

図 35-3. 一般・精神科病院別

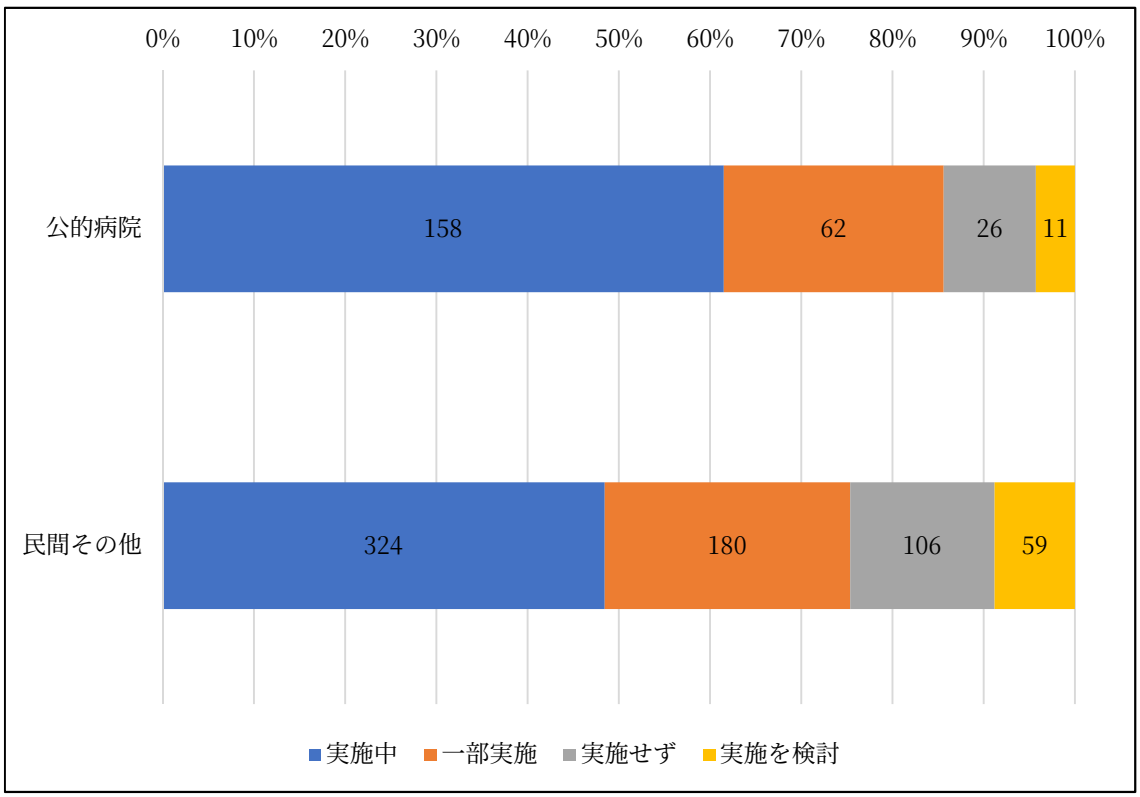

図 35-4. 公的・民間別

④暴力等を容認しないとポスターや配布物やホームページに掲載している

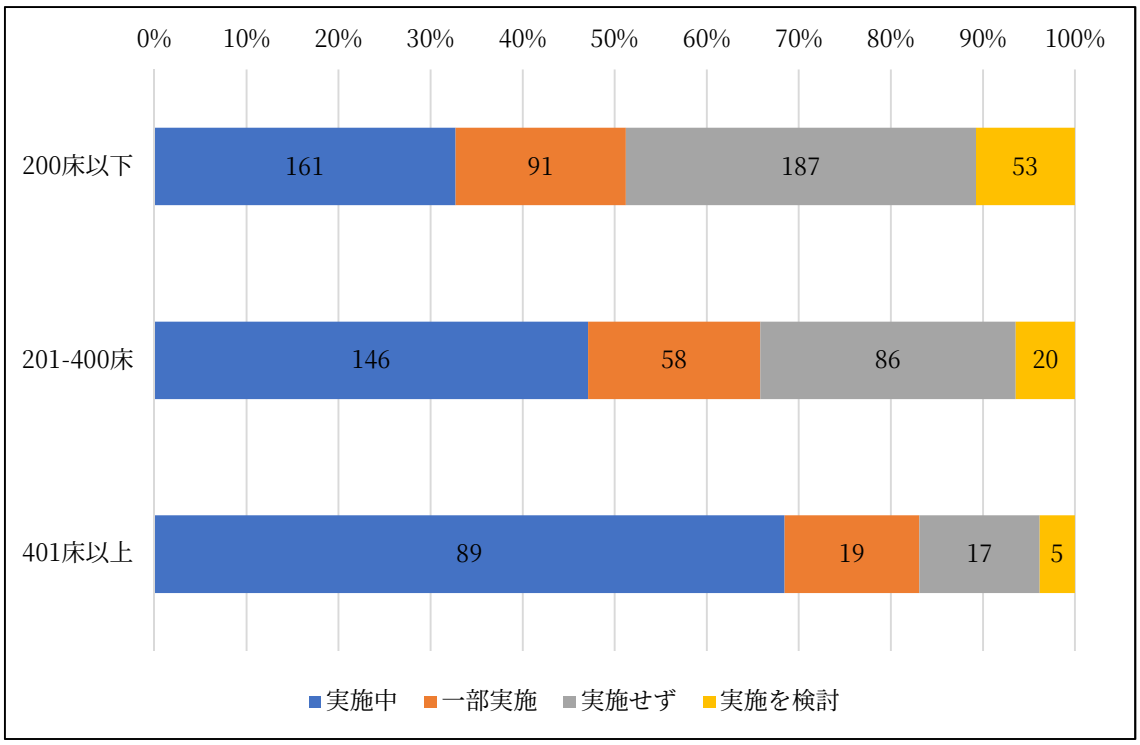

図 36-1. 病床数別

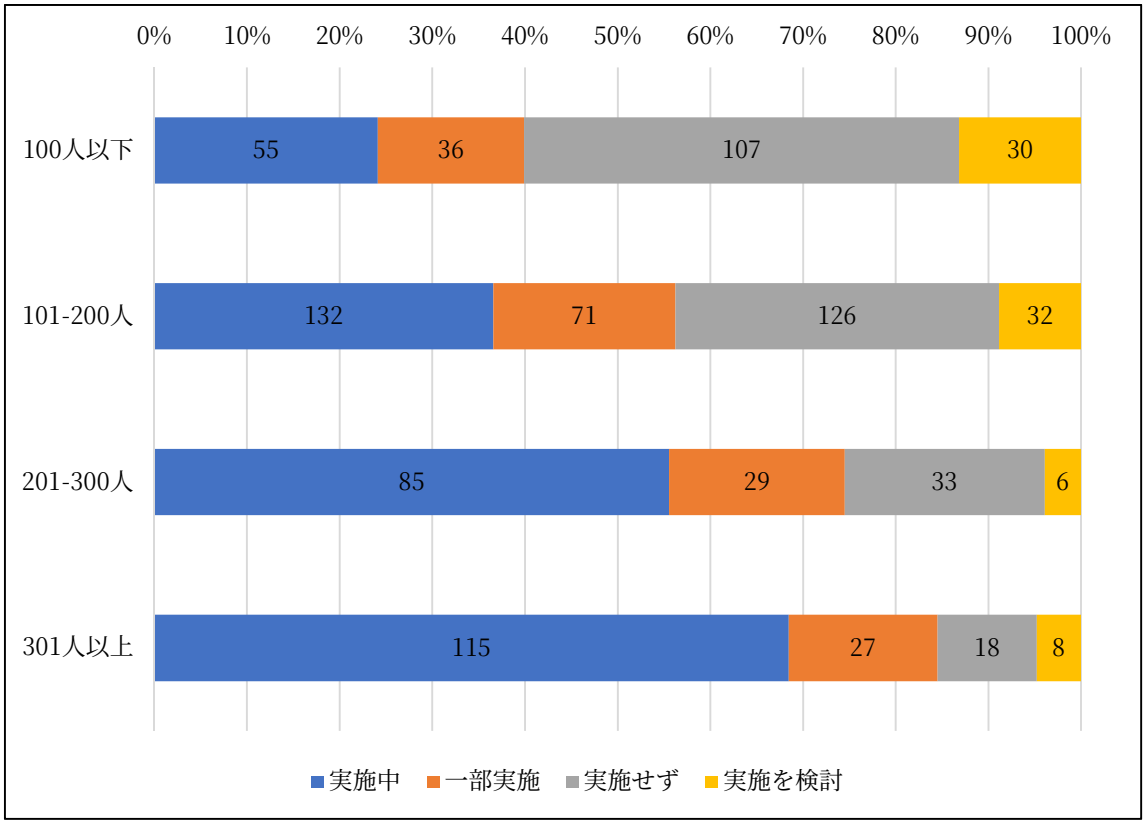

図 36-2. 看護職数別

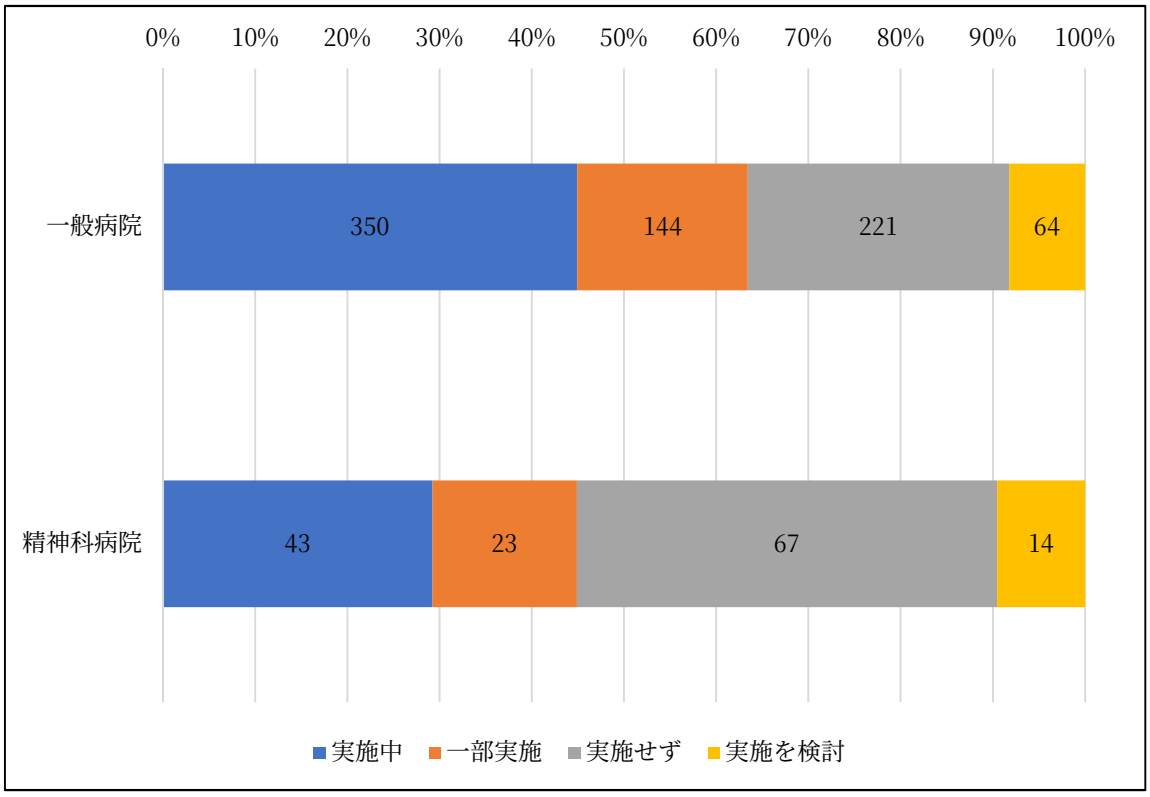

図 36-3. 一般・精神科病院別

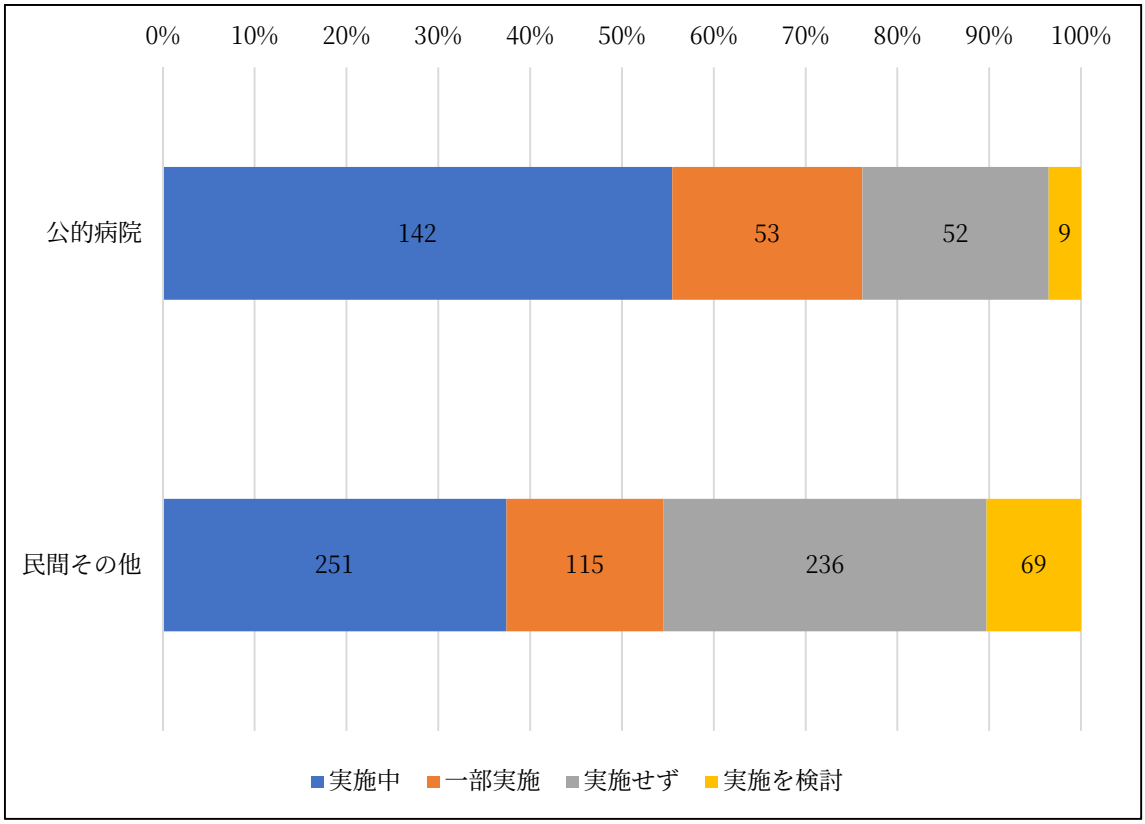

図 36-4. 公的・民間別

⑤暴力等の対応に関するマニュアルを作成している

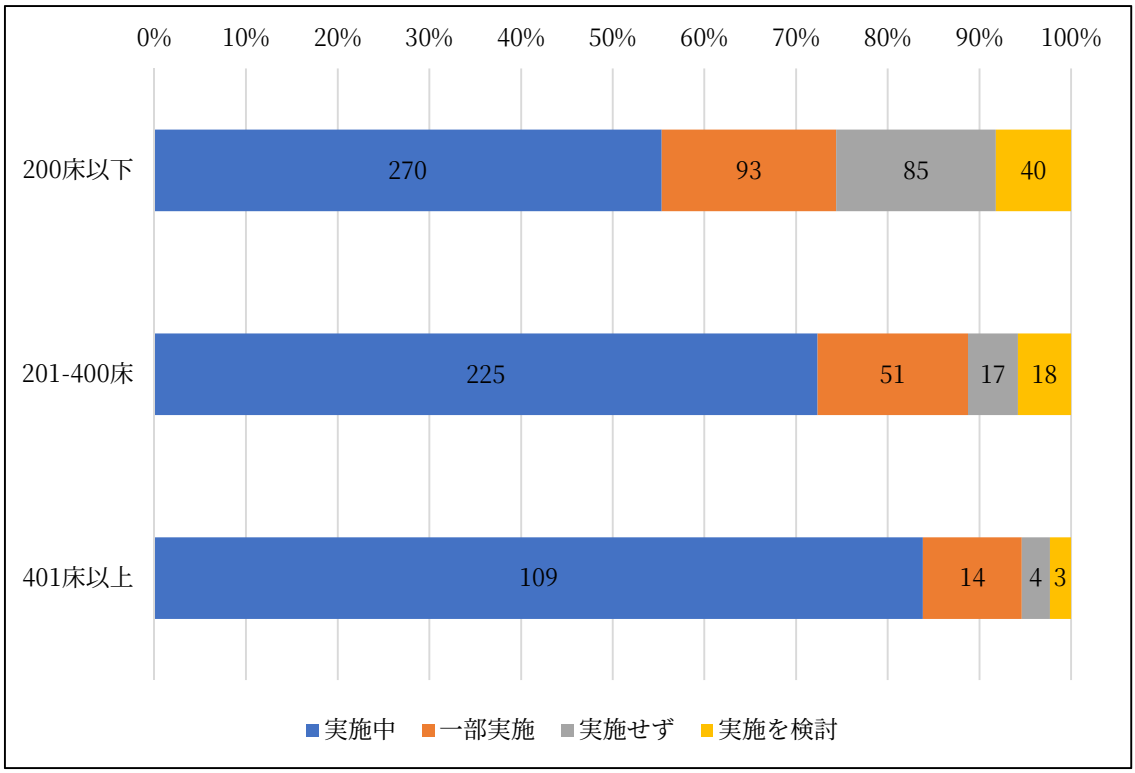

図 37-1. 病床数別

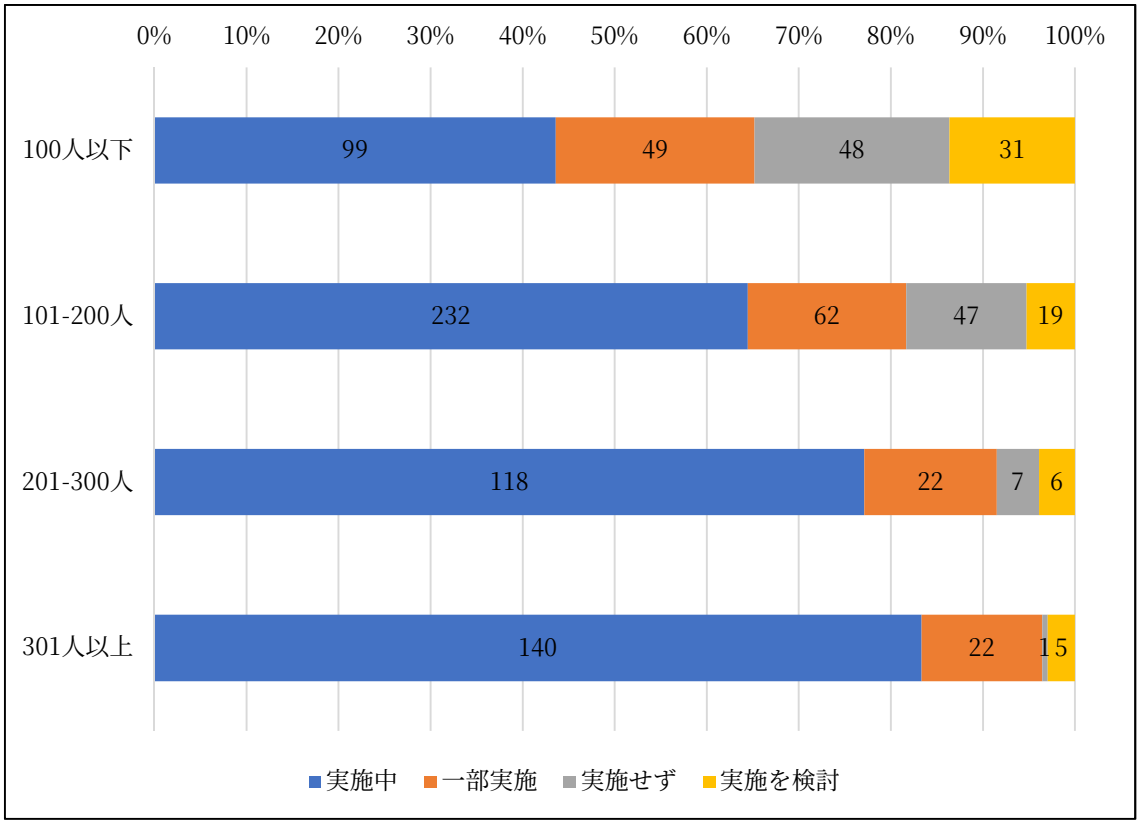

図 37-2. 看護職数別

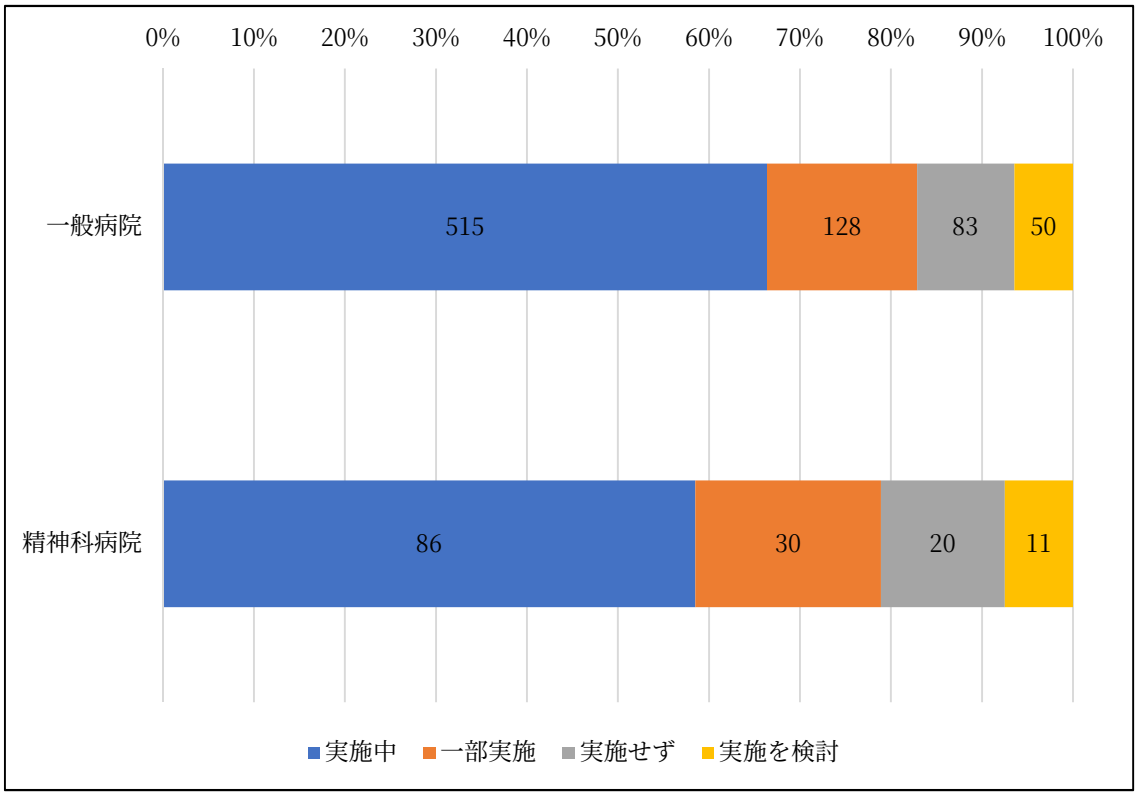

図 37-3. 一般・精神科病院別

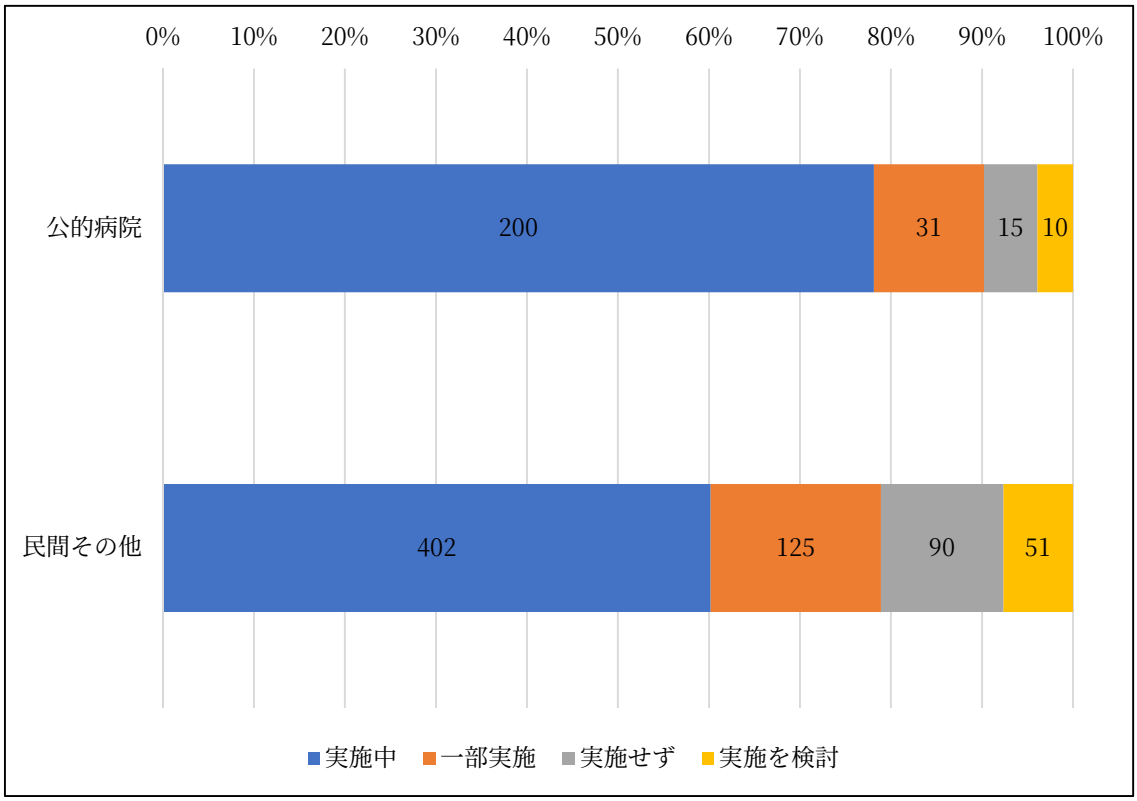

図 37-4. 公的・民間別

⑥緊急時に応援を呼ぶ手順や護身のための対応や避難についてマニュアルに記載している

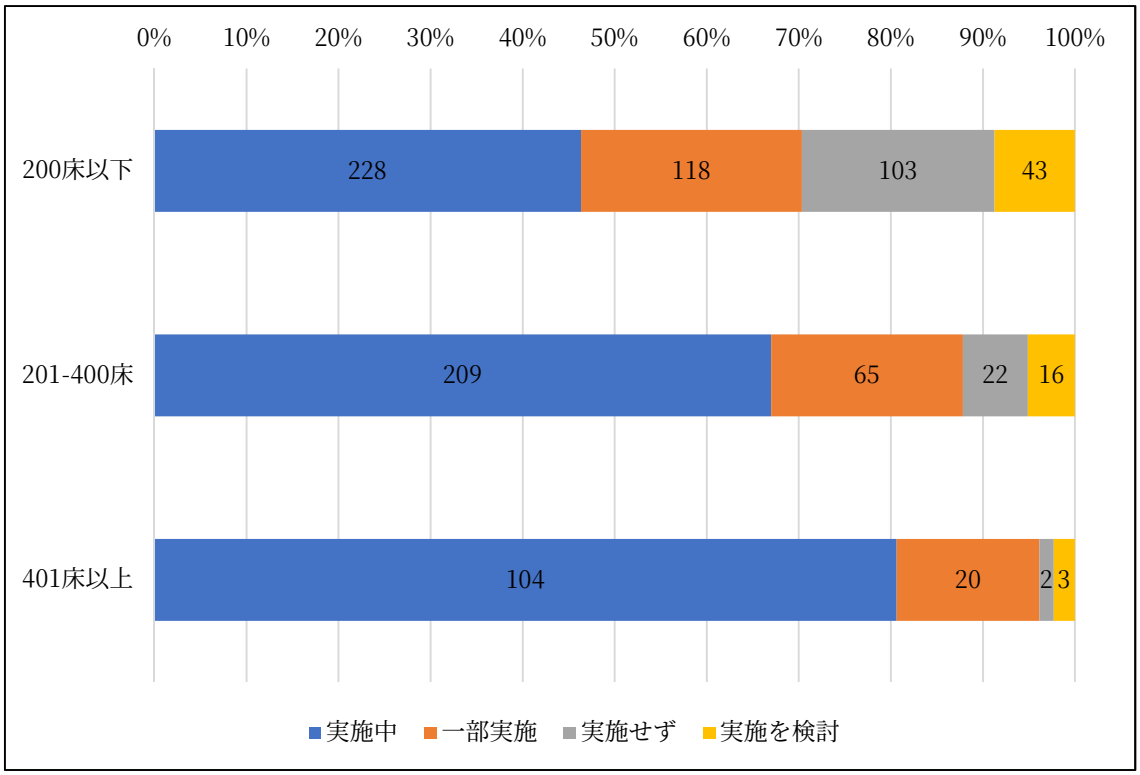

図 38-1. 病床数別

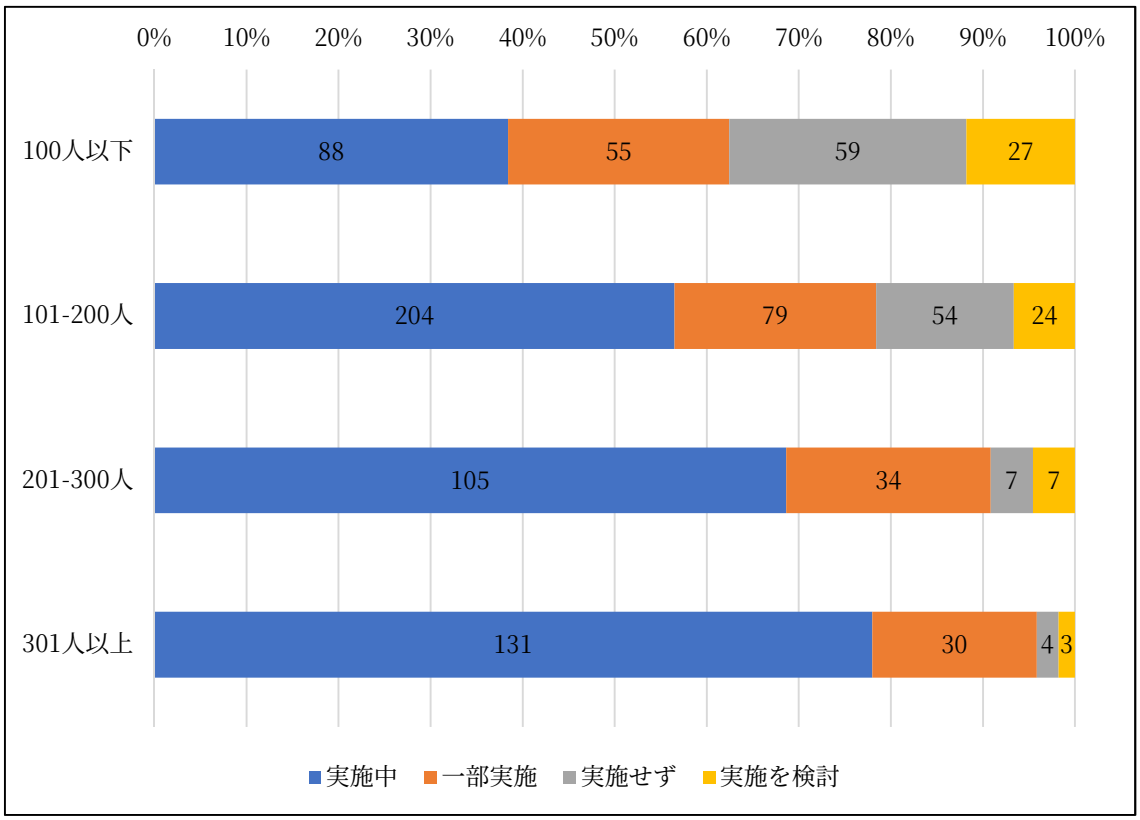

図 38-2. 看護職数別

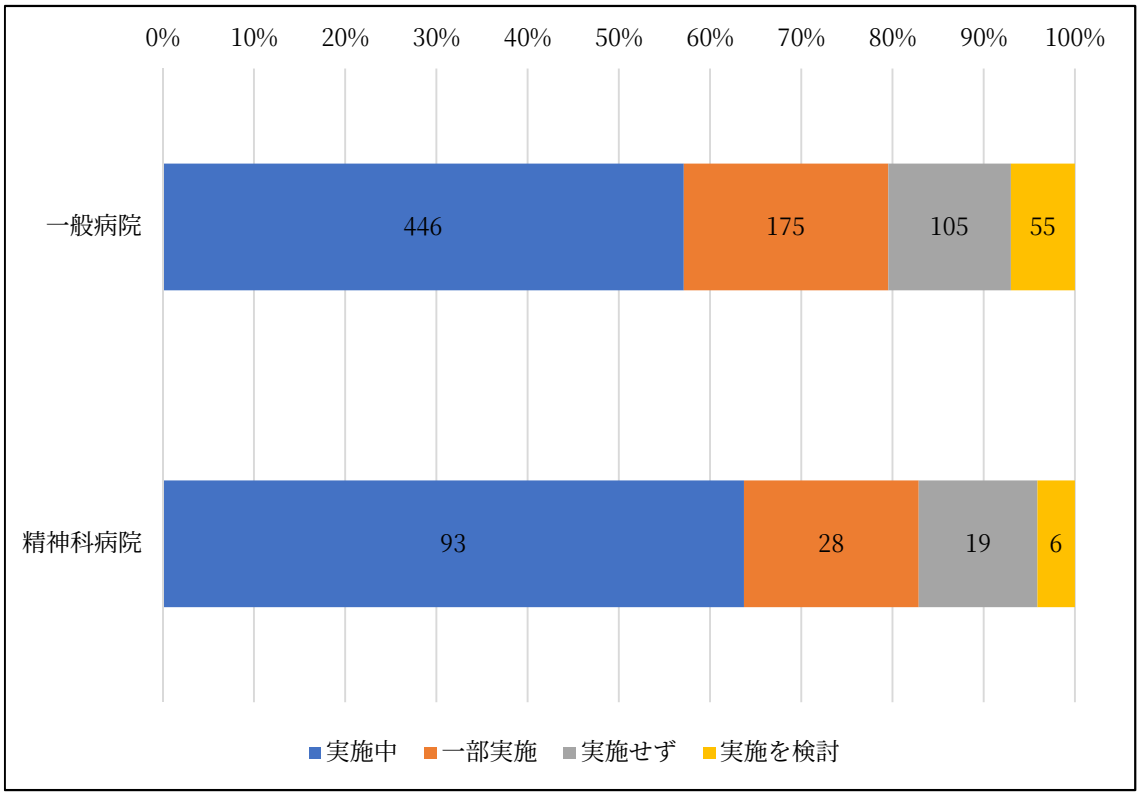

図 38-3. 一般・精神科病院別

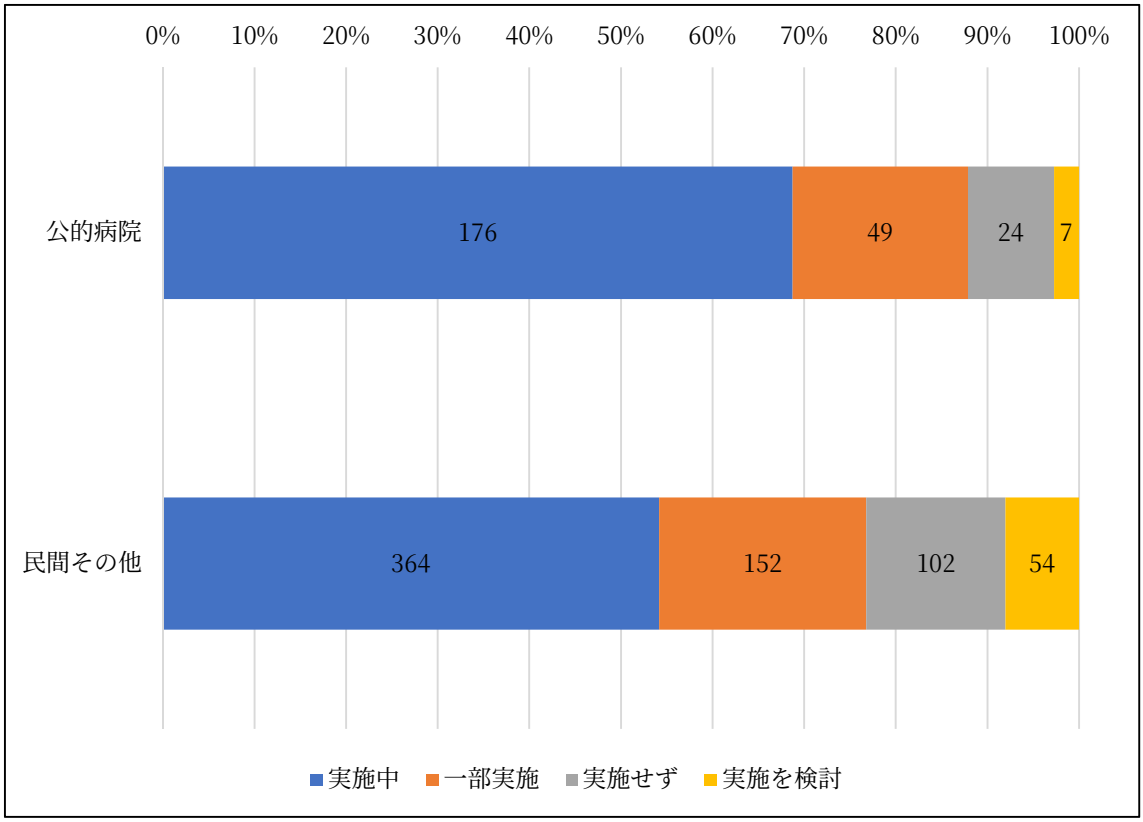

図 38-4. 公的・民間別

⑦暴力等の対応策をまとめた簡便なマニュアルを全職員に配布するなどして周知している

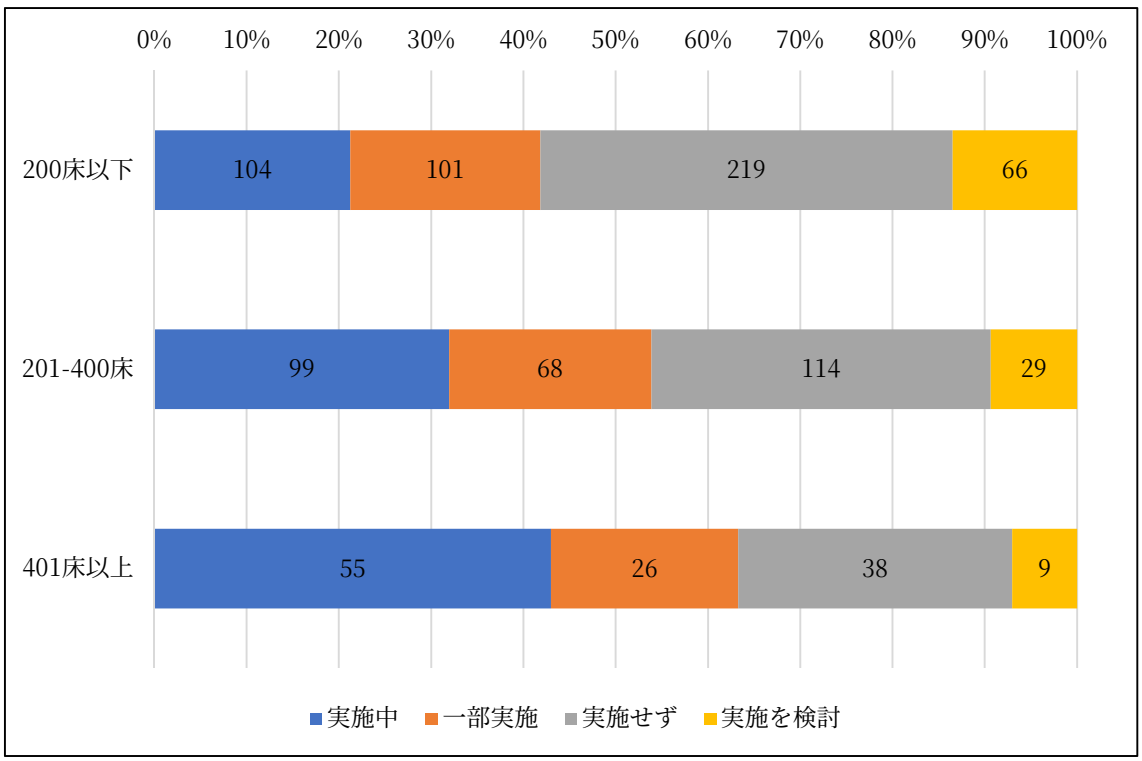

図 39-1. 病床数別

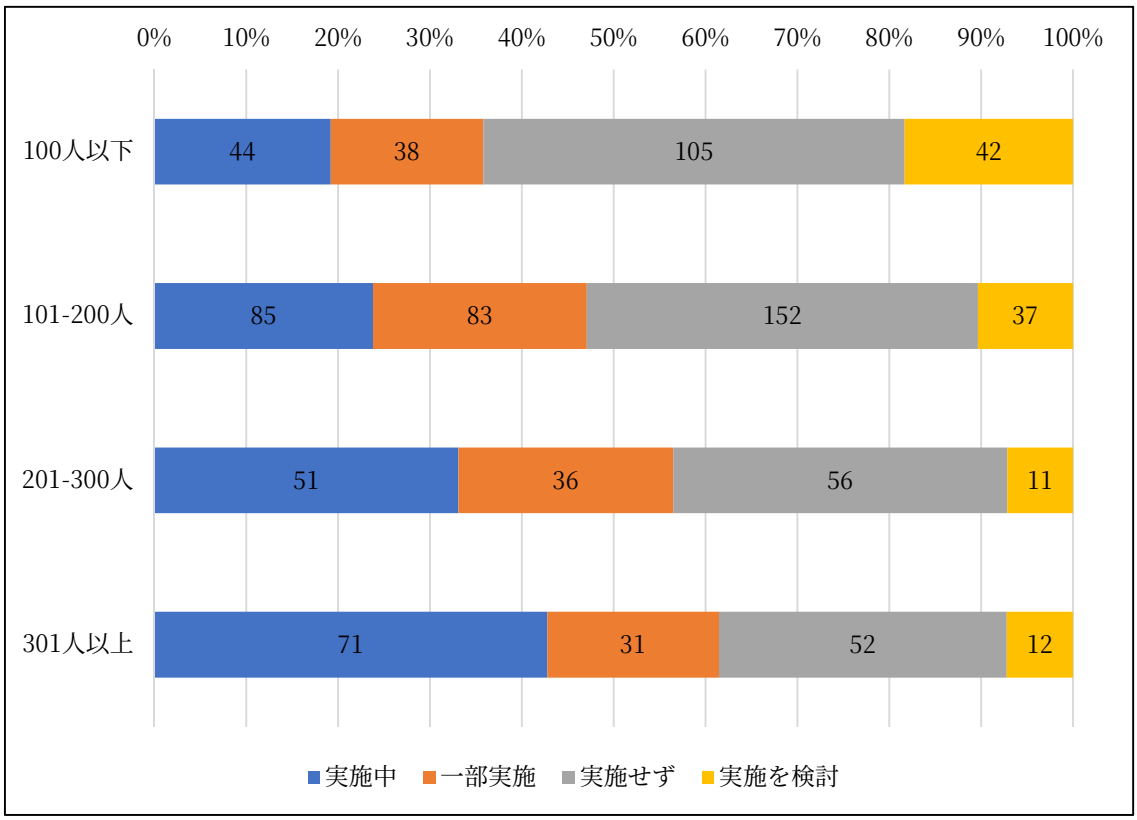

図 39-2. 看護職数別

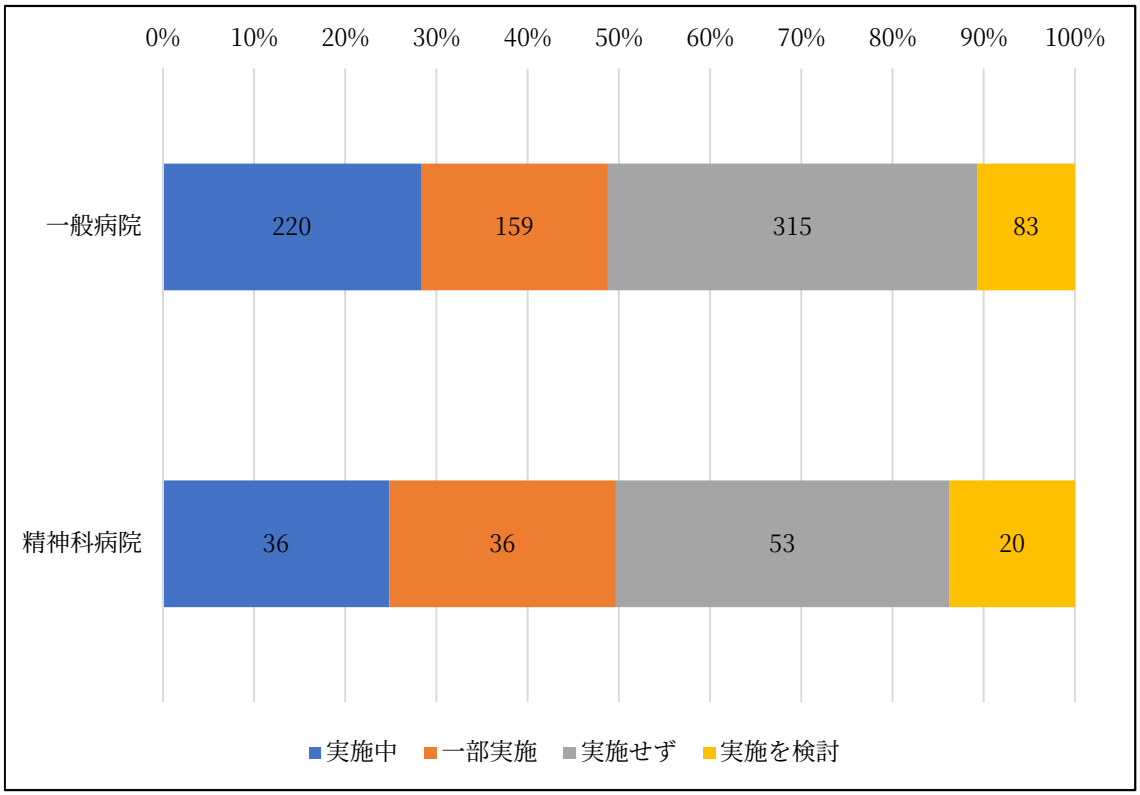

図 39-3. 一般・精神科病院別

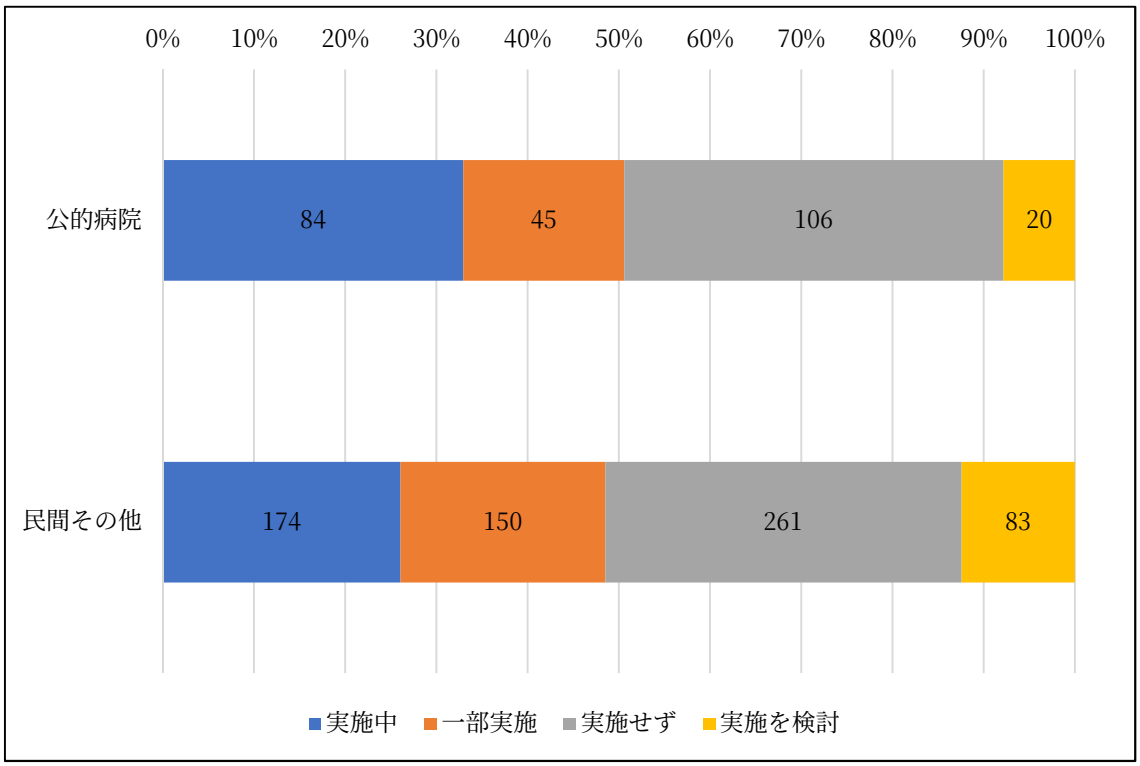

図 39-4. 公的・民間別

4. 暴力等の発生を防止するための体制づくり」の実施状況

①患者の状態や病状を把握して、暴力等発生の可能性を評価し、予防や注意した対応をしている

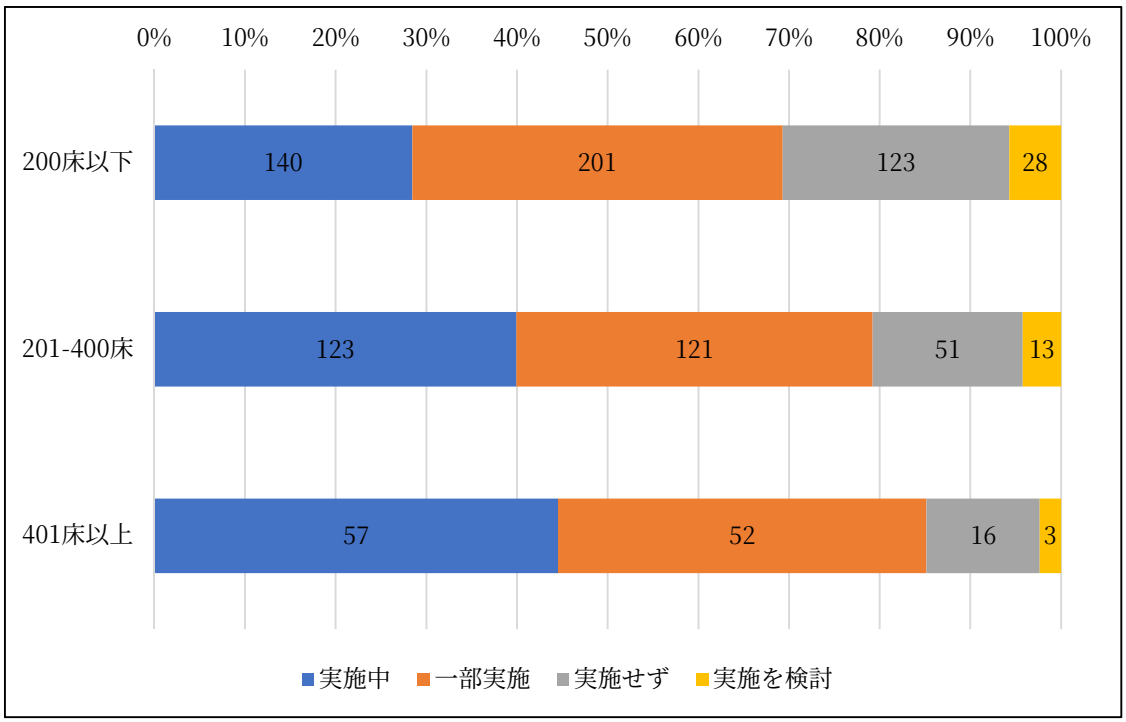

図 40-1. 病床数別

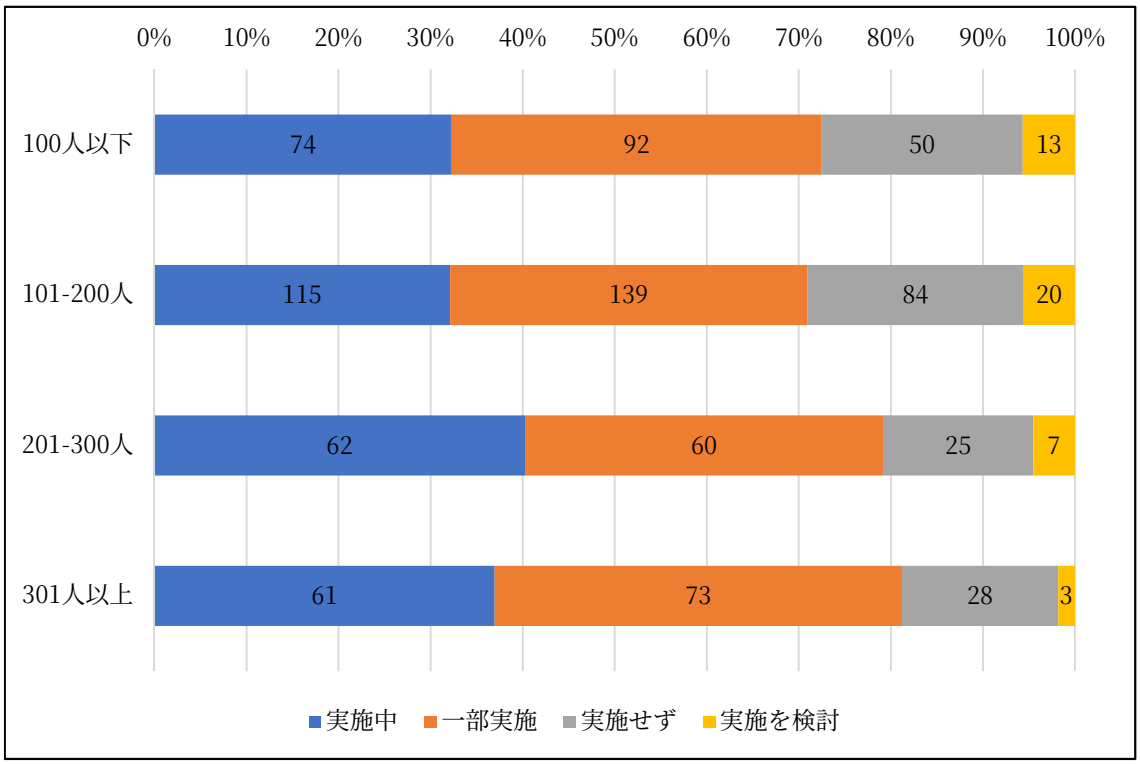

図 40-2. 看護職数別

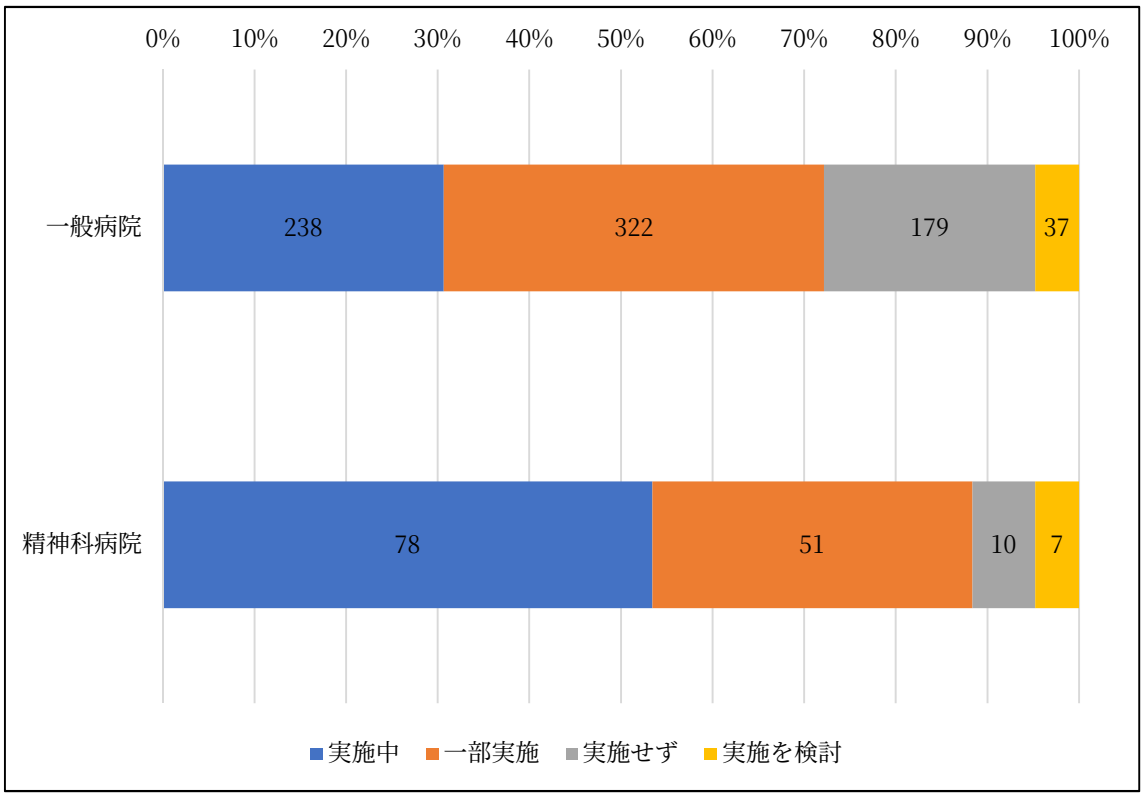

図 40-3. 一般・精神科病院別

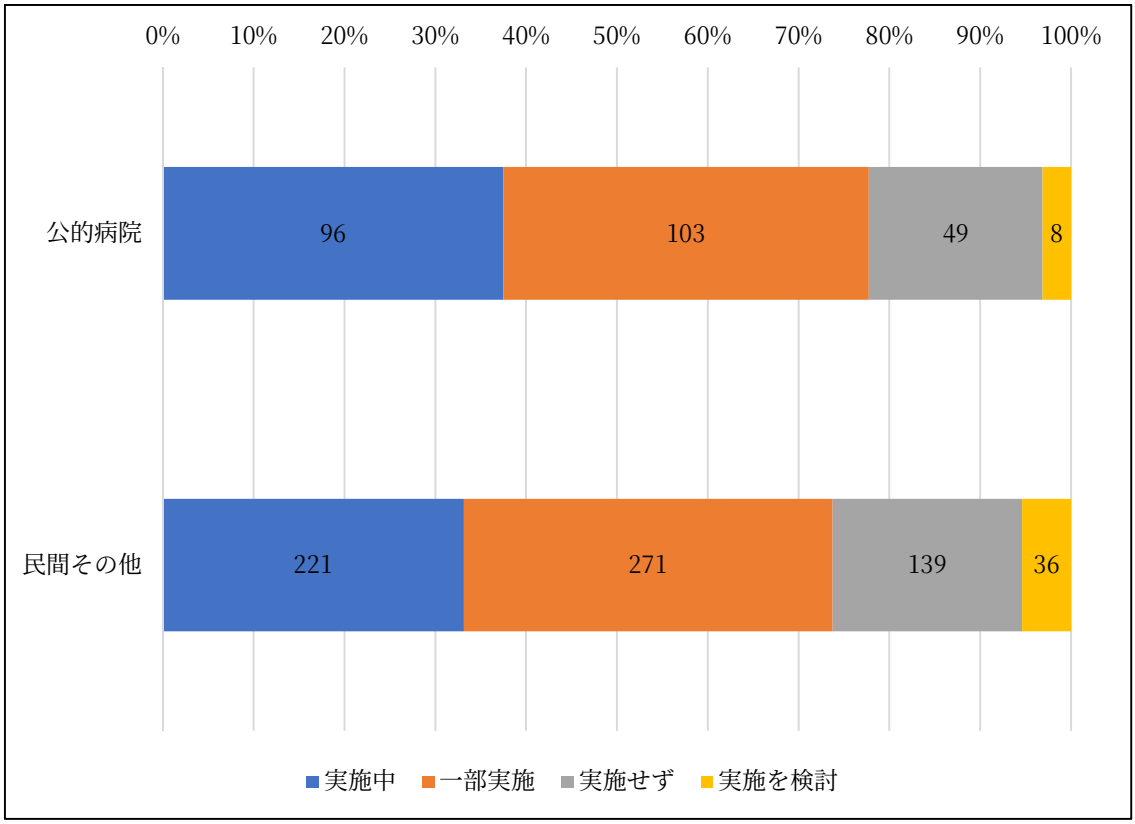

図 40-4. 公的・民間別

②警備員を配置して、巡回をすることで暴力等の発生を防止する体制を整えている

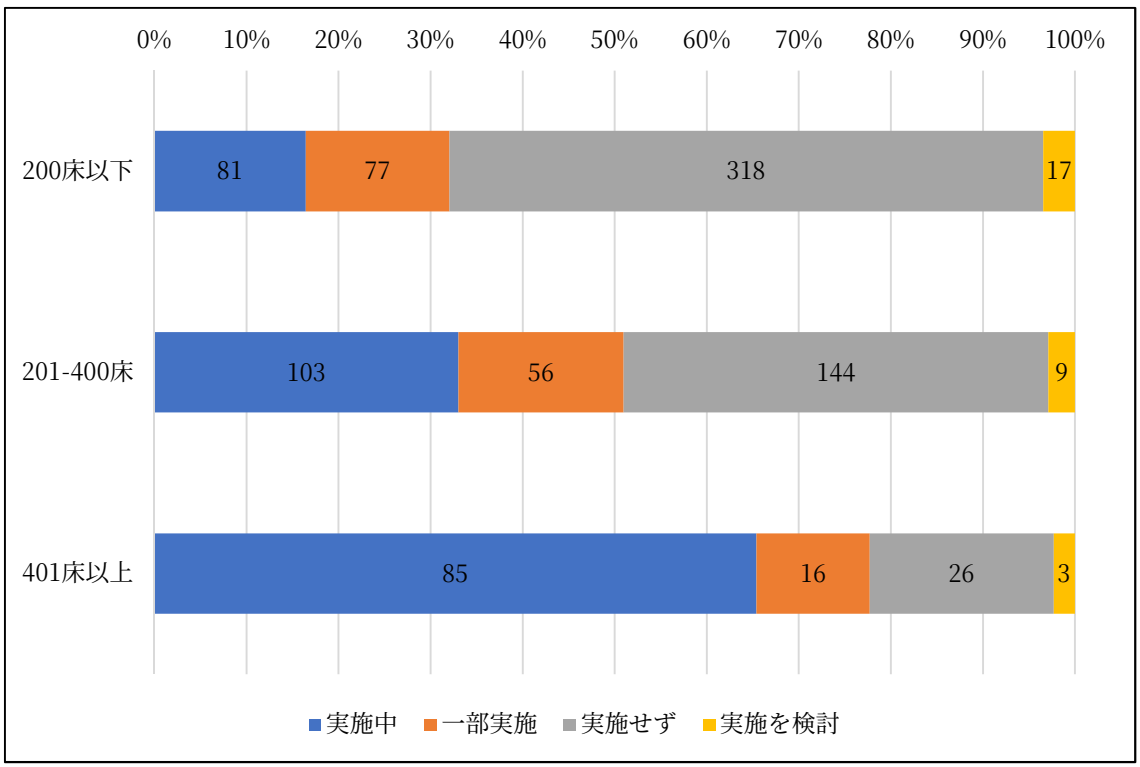

図 41-1. 病床数別

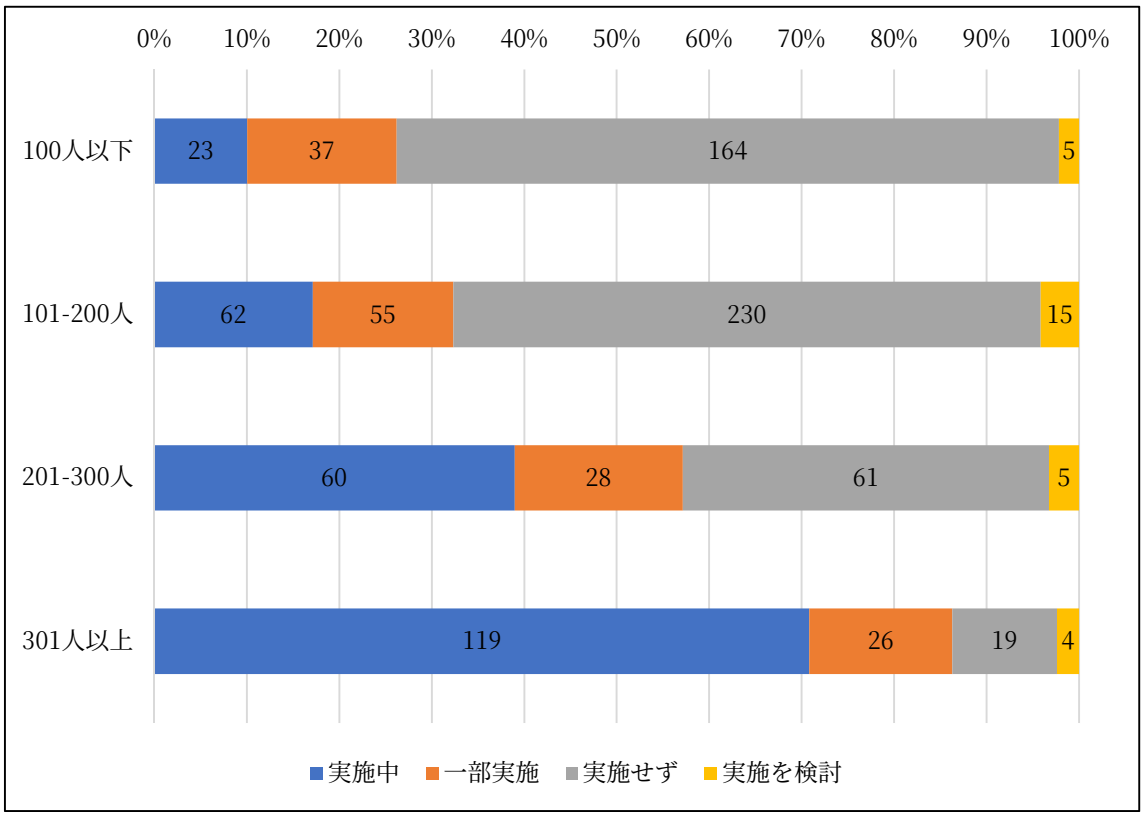

図 41-2. 看護職数別

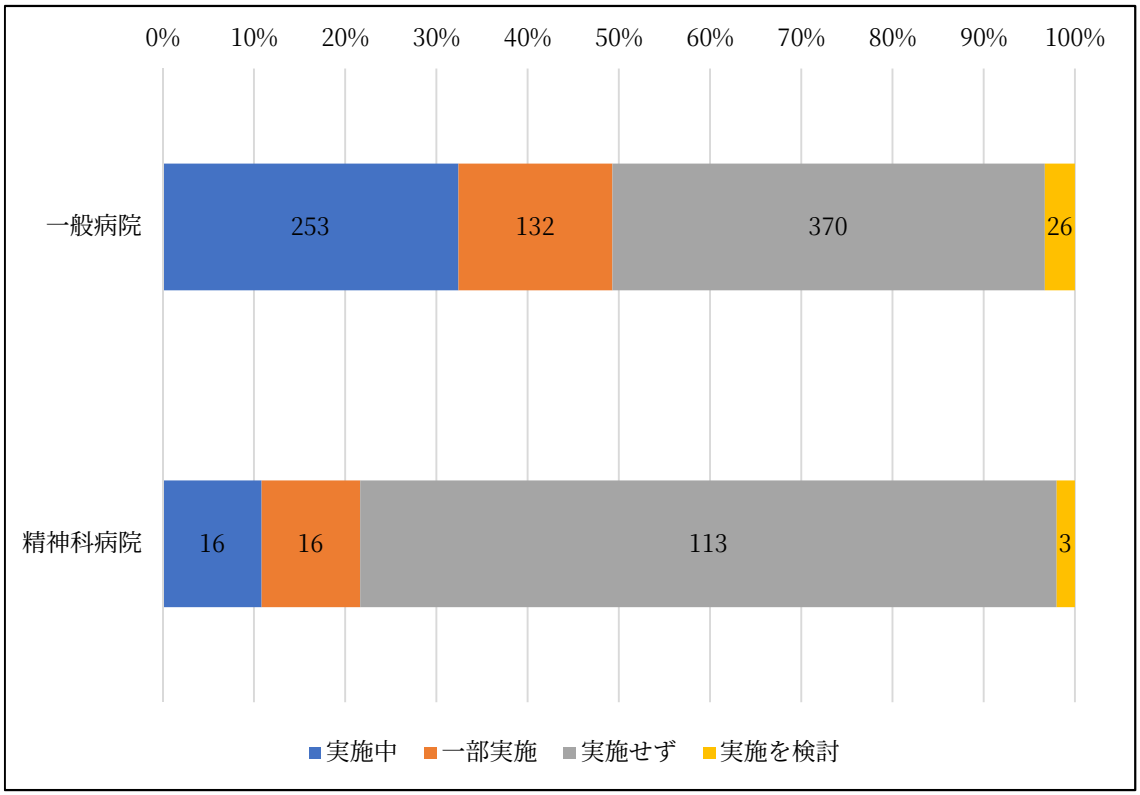

図 41-3. 一般・精神科病院別

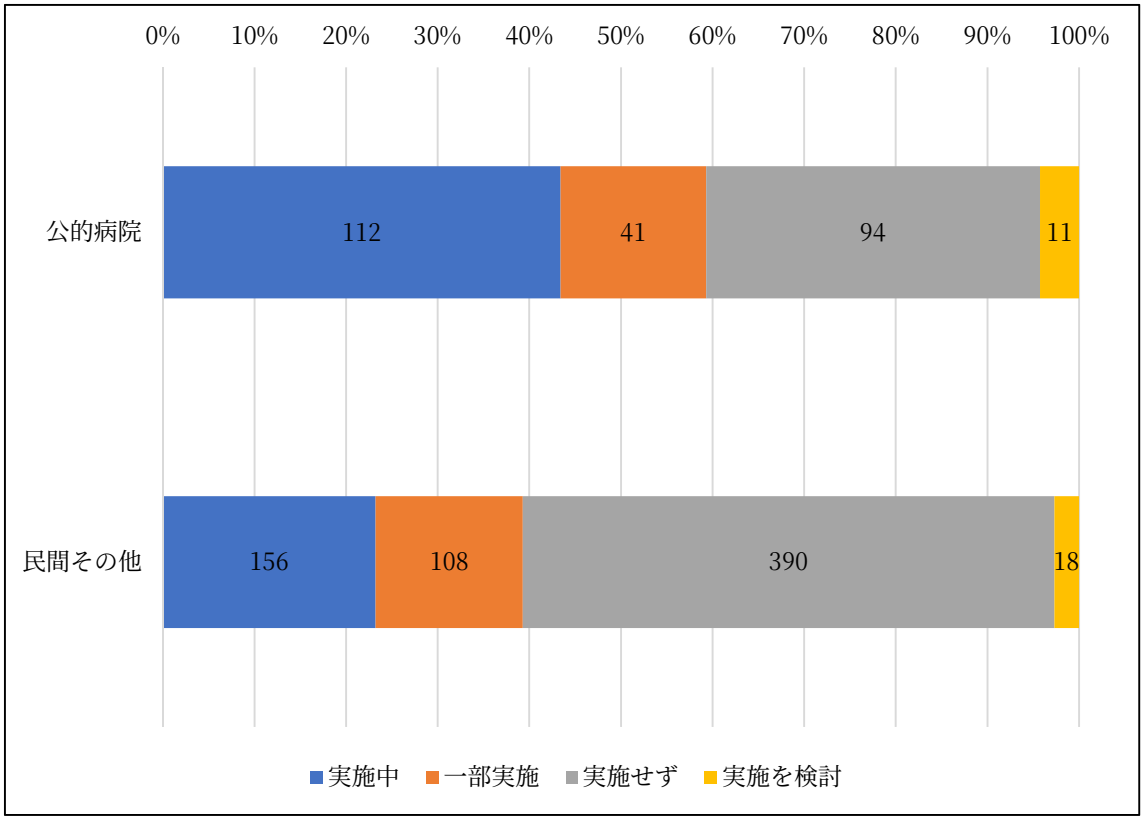

図 41-4. 公的・民間別

③深夜の帰宅を避けるなどの勤務体制の工夫している

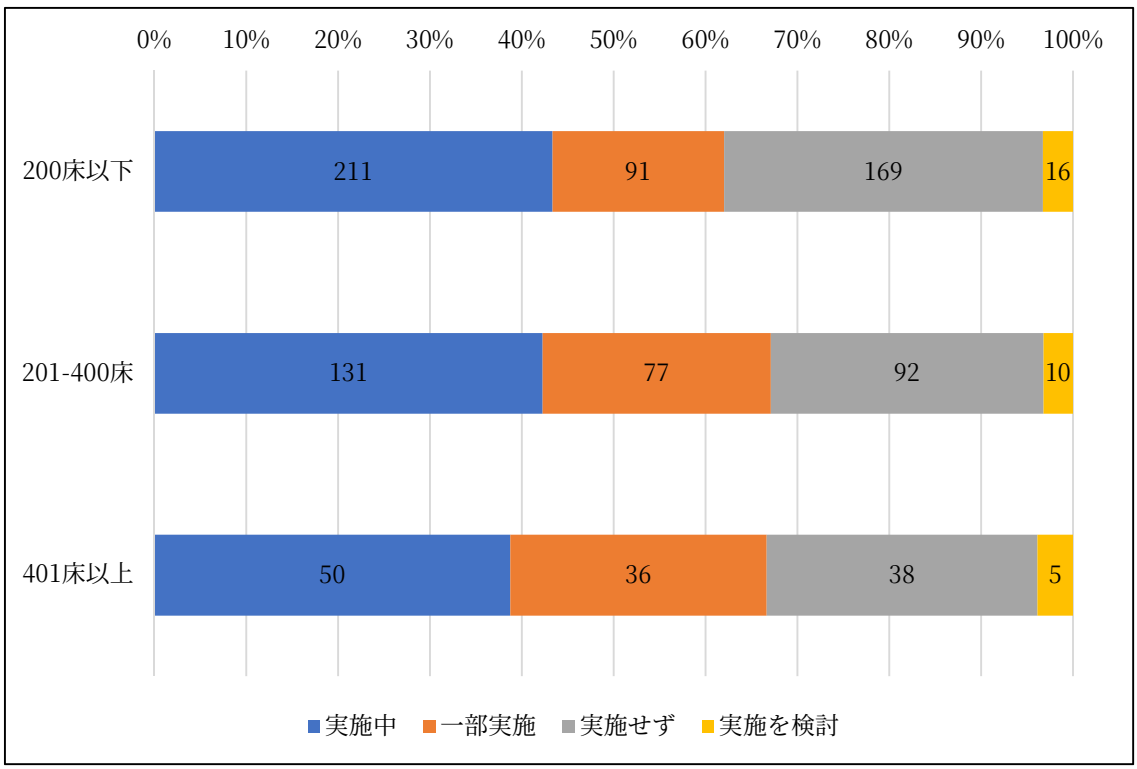

図 42-1. 病床数別

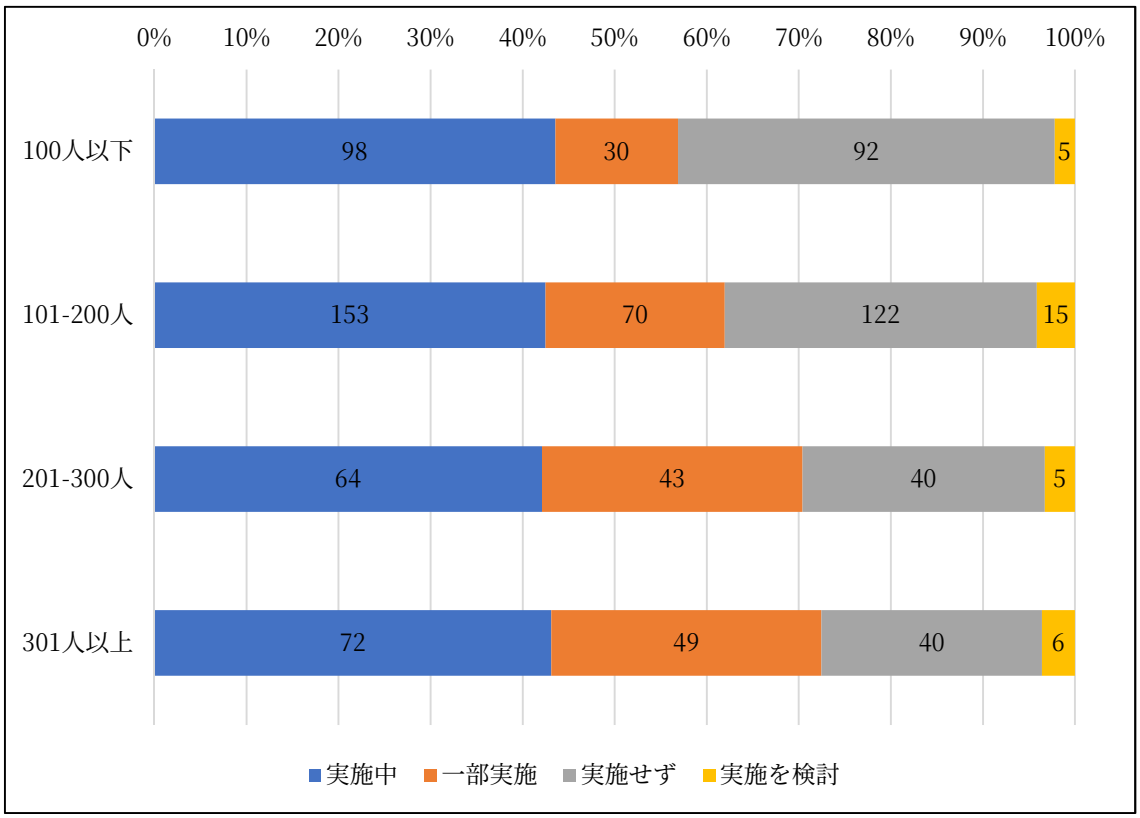

図 42-2. 看護職数別

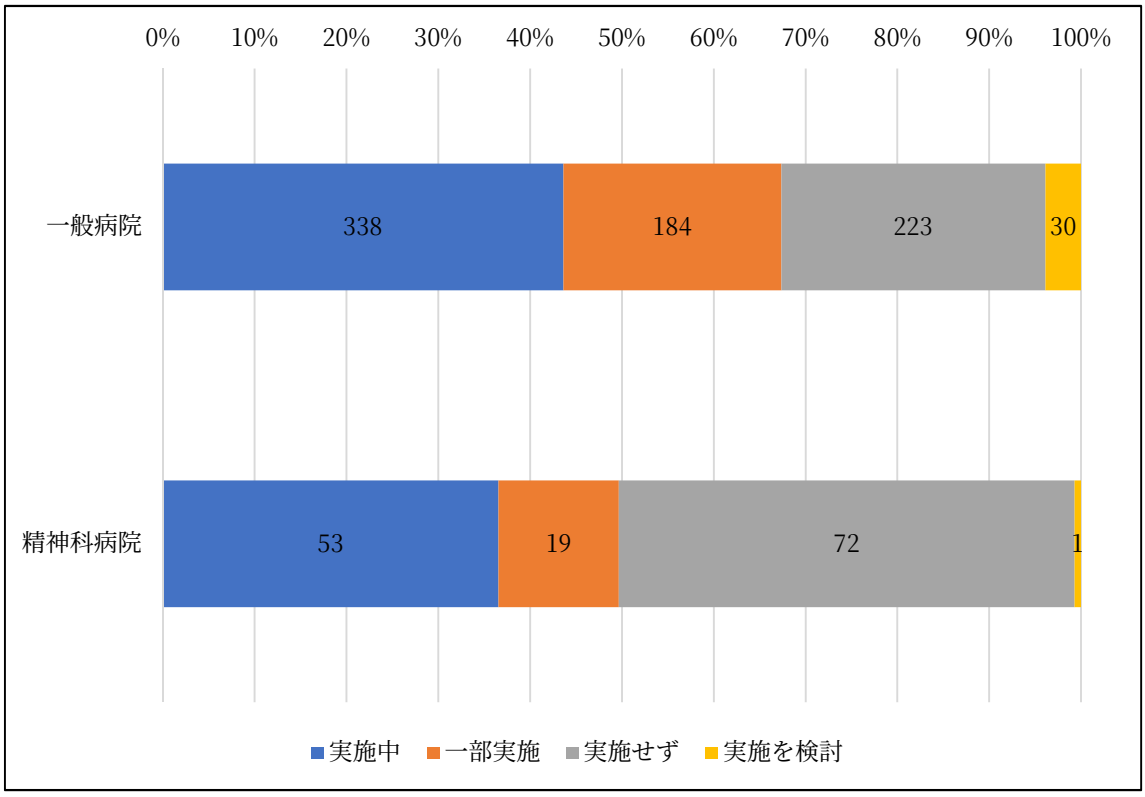

図 42-3. 一般・精神科病院別

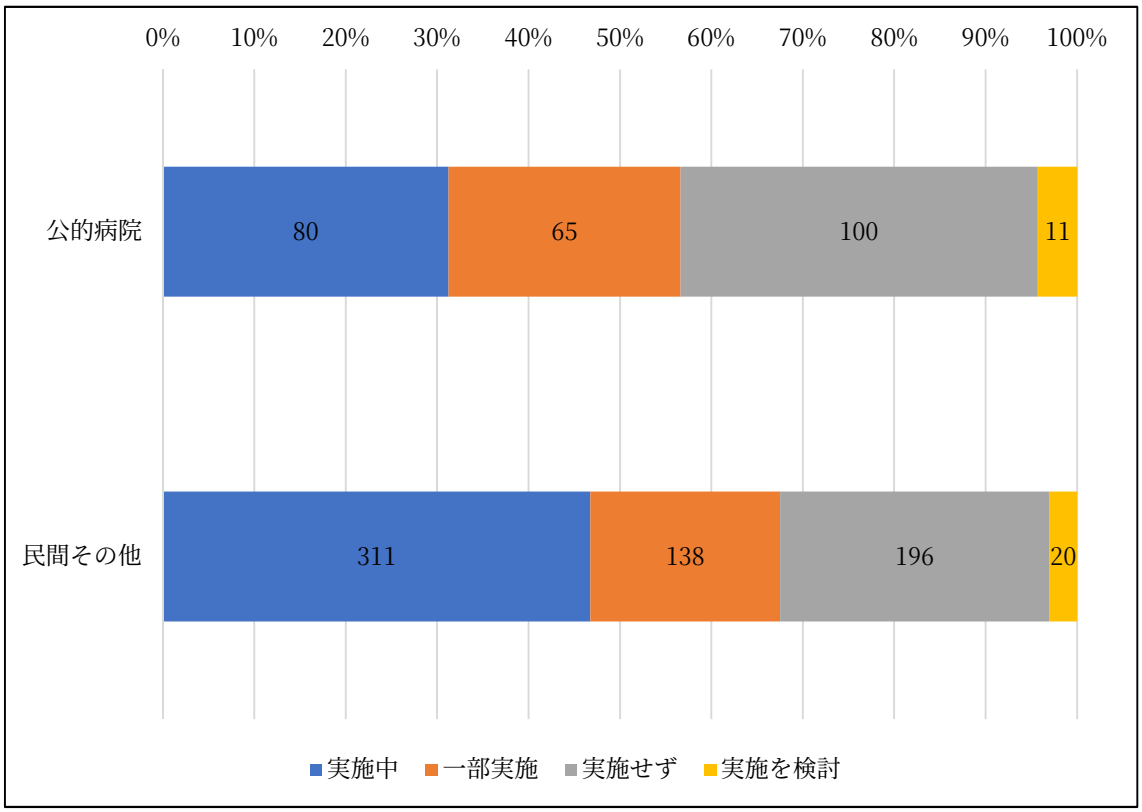

図 42-4. 公的・民間別

④外来、病棟における単独勤務時間を回避・短縮している

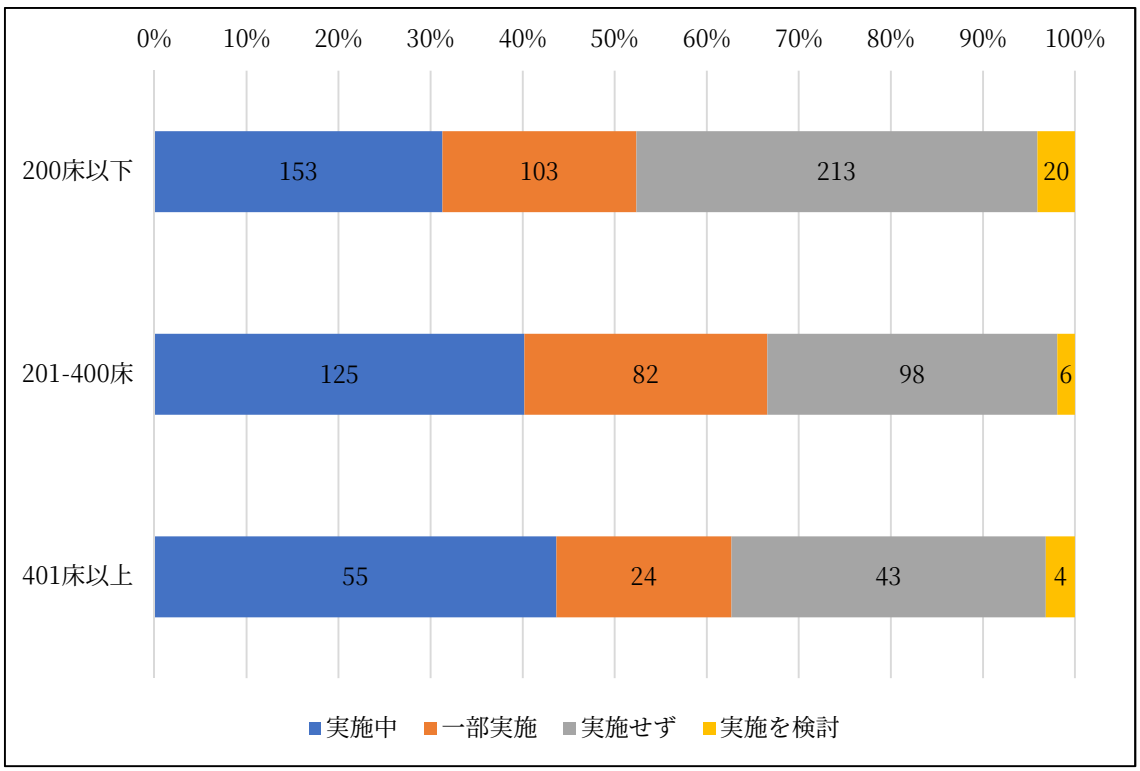

図 43-1. 病床数別

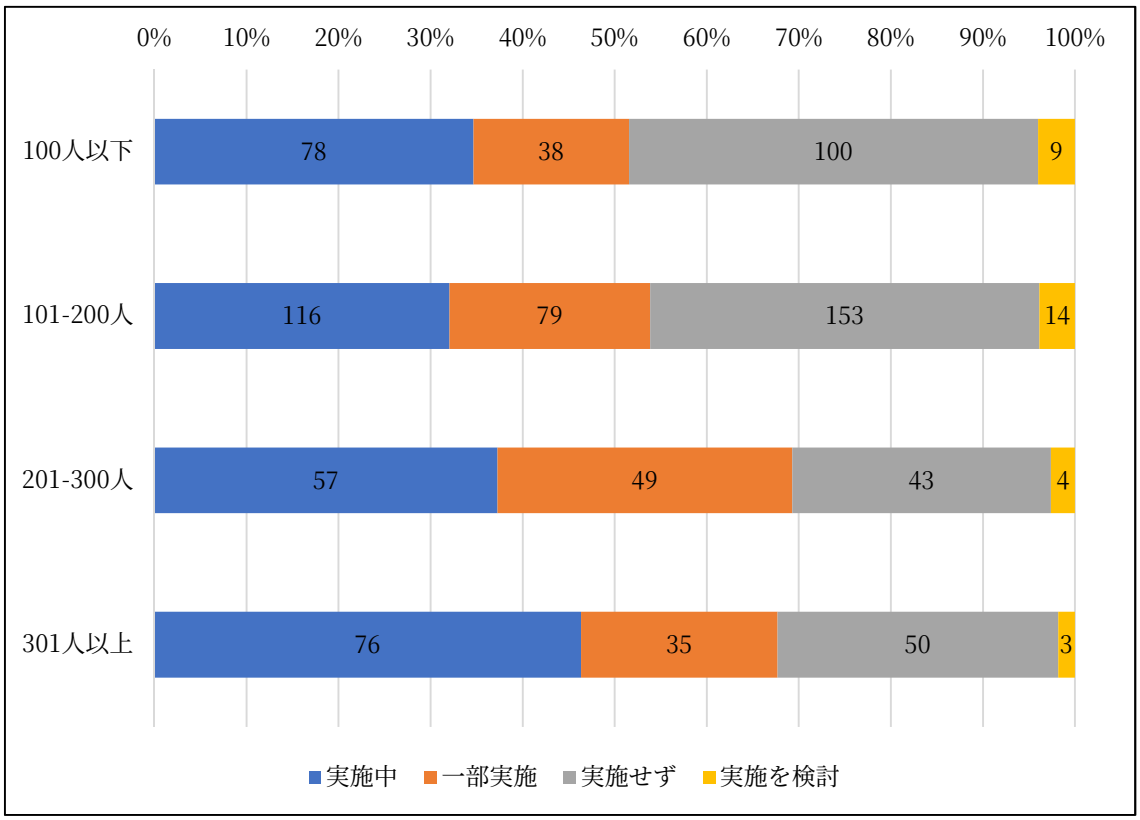

図 43-2. 看護職数別

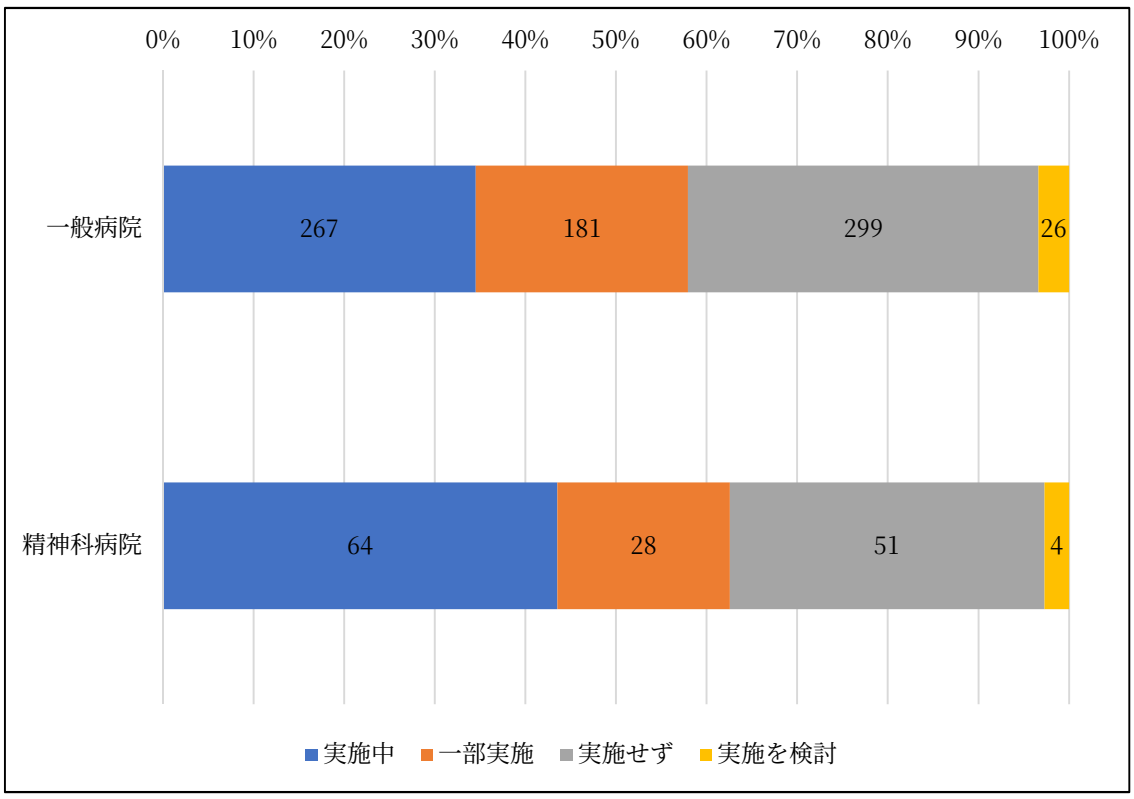

図 43-3. 一般・精神科病院別

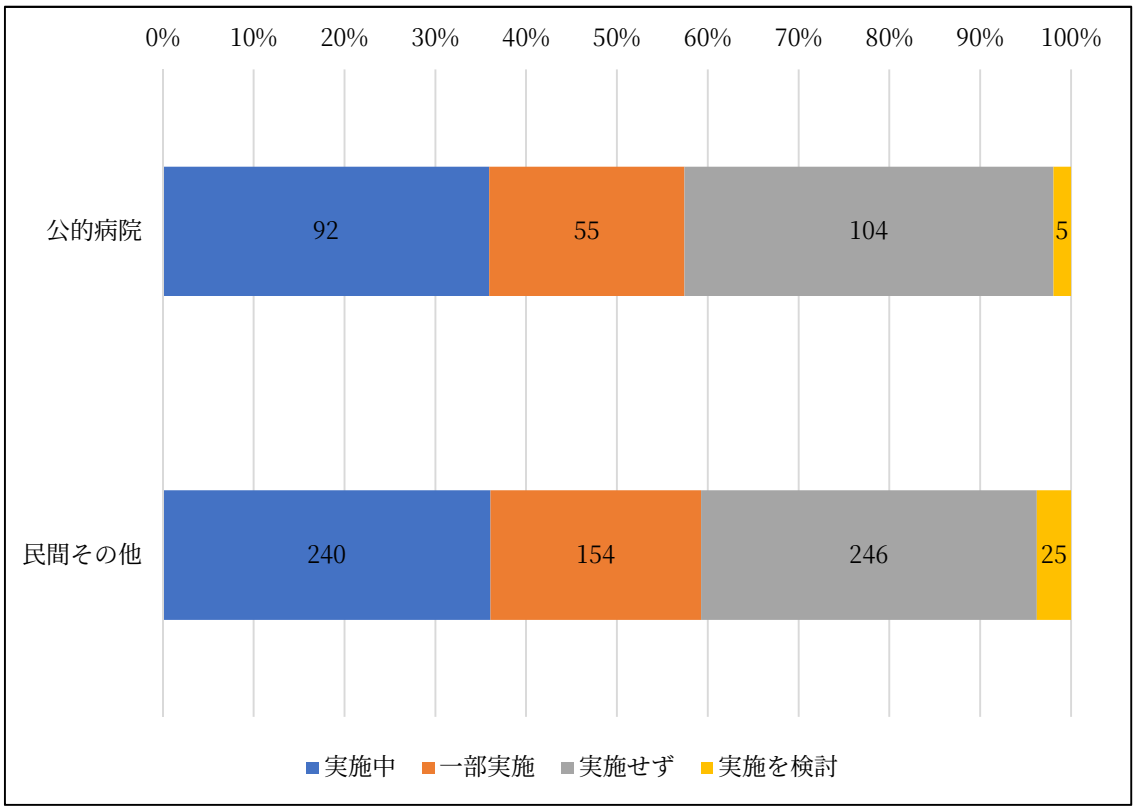

図 43-4. 公的・民間別

⑤過去に暴力等のある患者のスクリーニングをしている

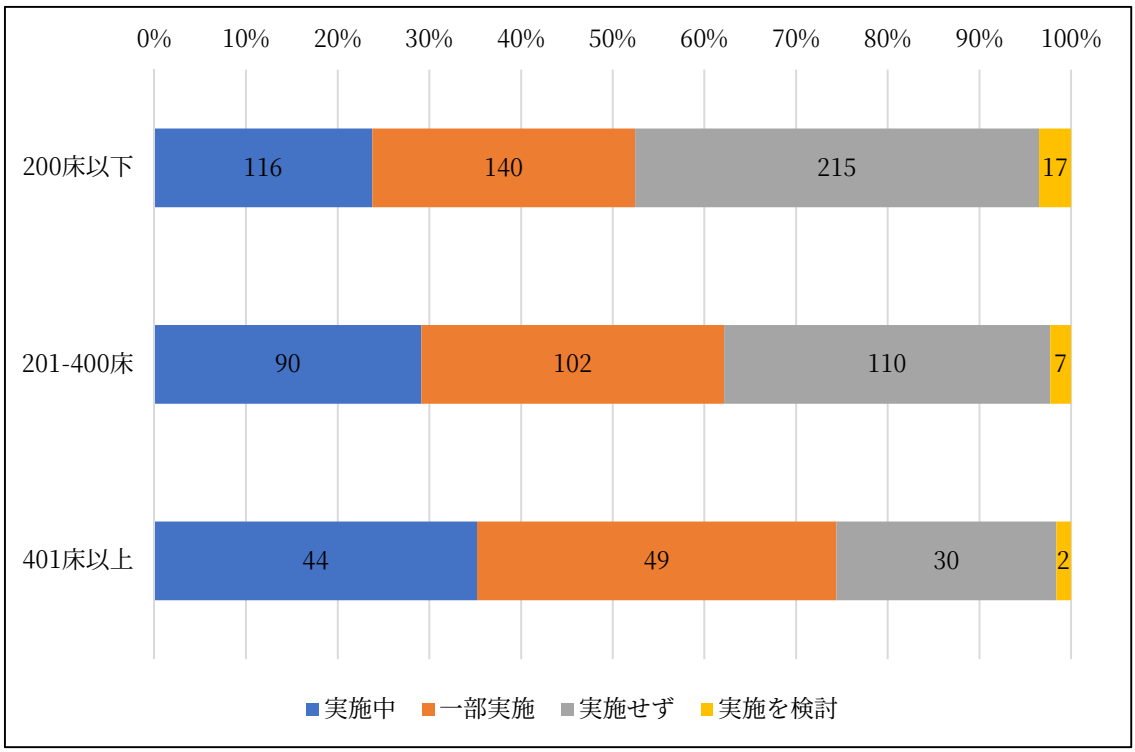

図 44-1. 病床数別

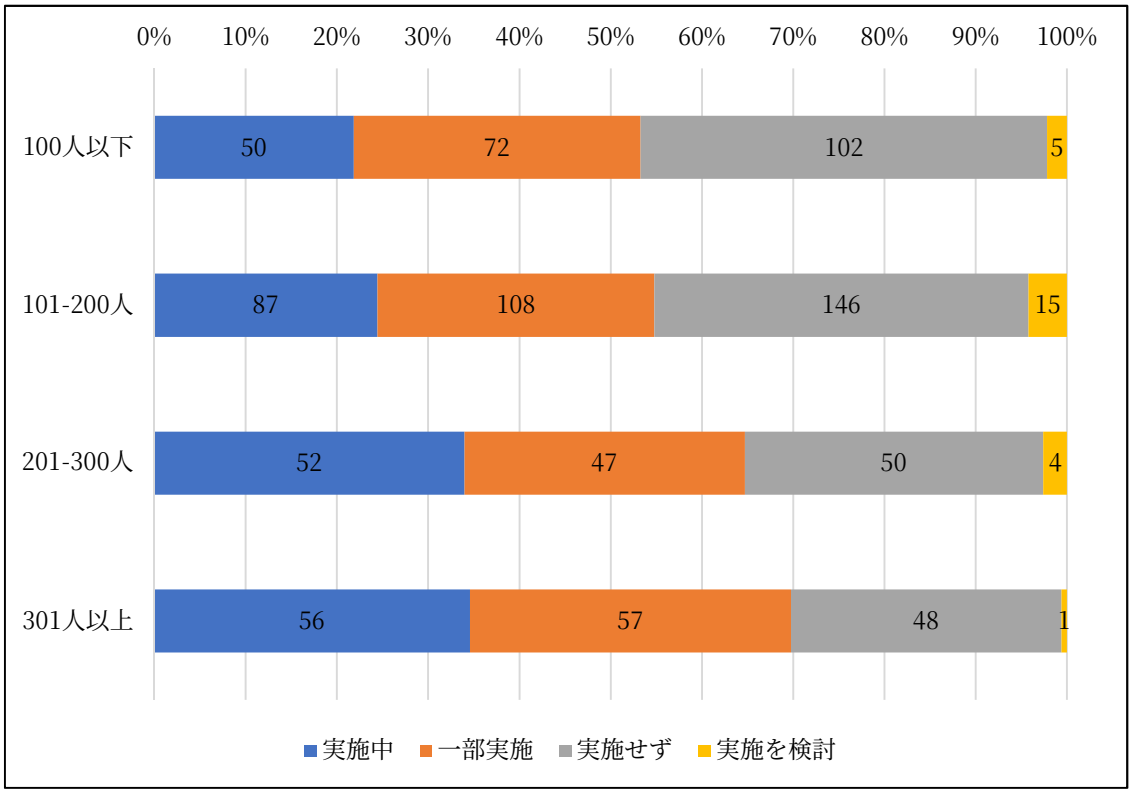

図 44-2. 看護職数別

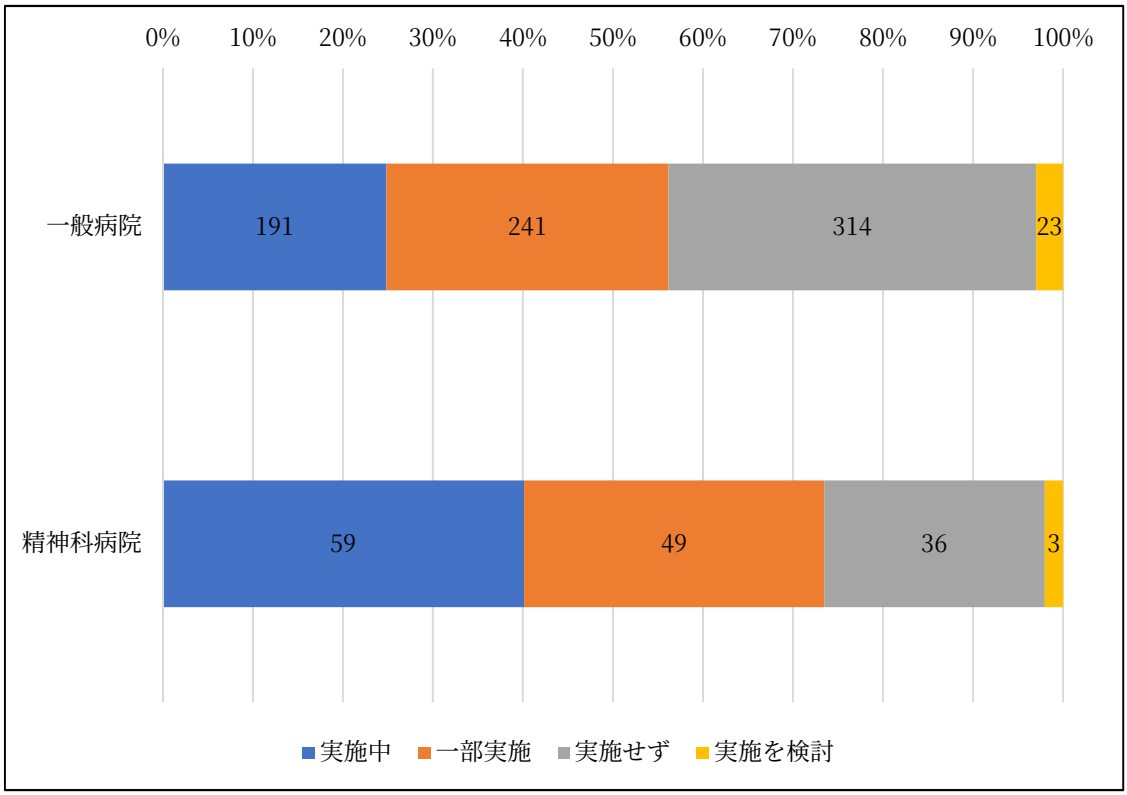

図 44-3. 一般・精神科病院別

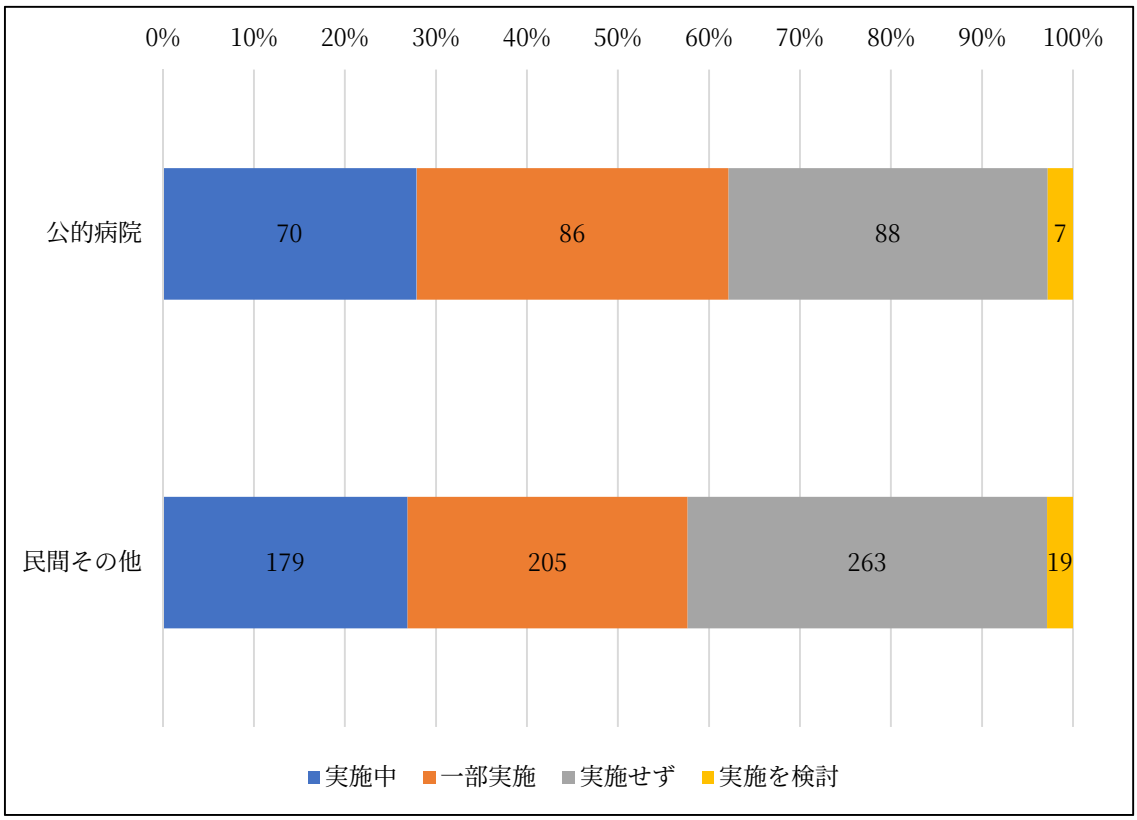

図 44-4. 公的・民間別

⑥暴力等の対応の訓練を受けた職員から支援を受けられる体制がある

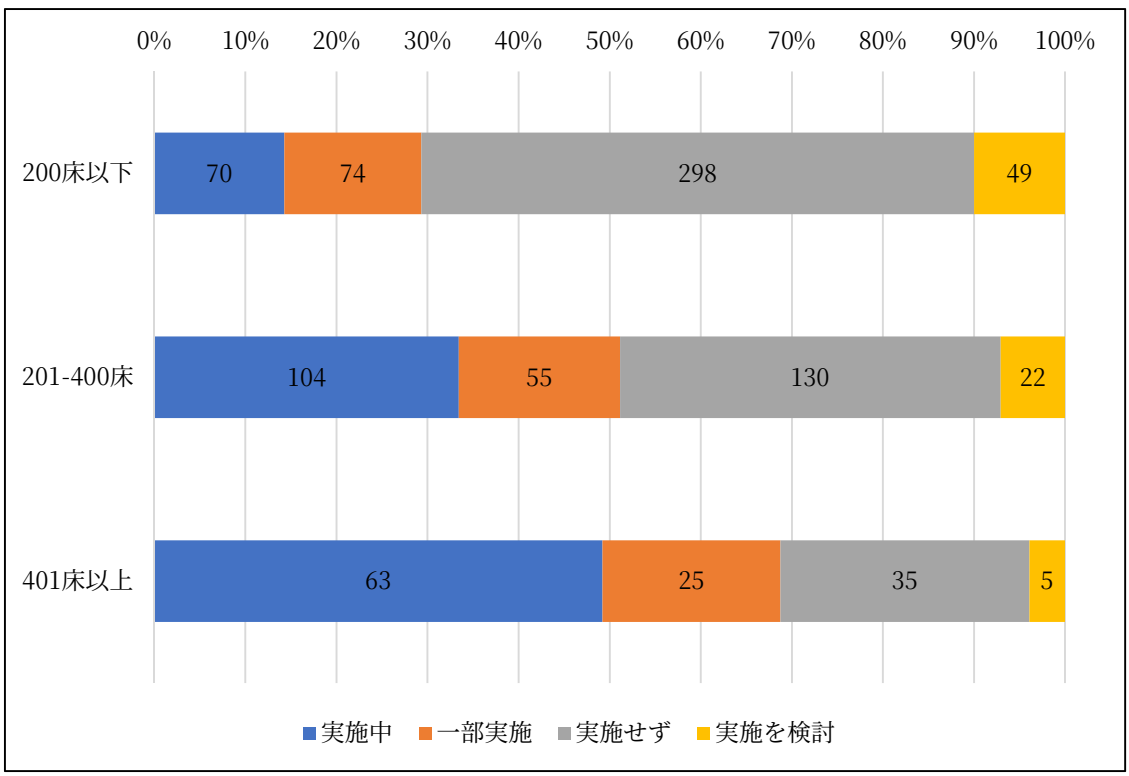

図 45-1. 病床数別

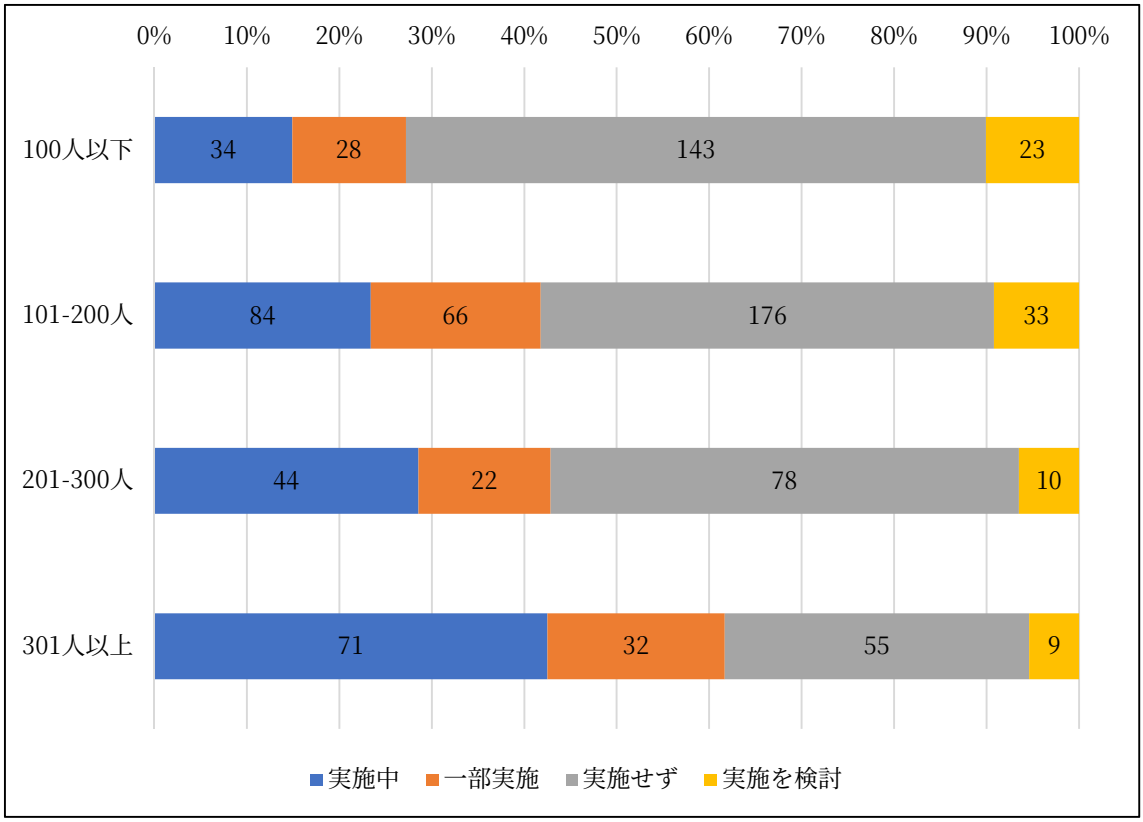

図 45-2. 看護職数別

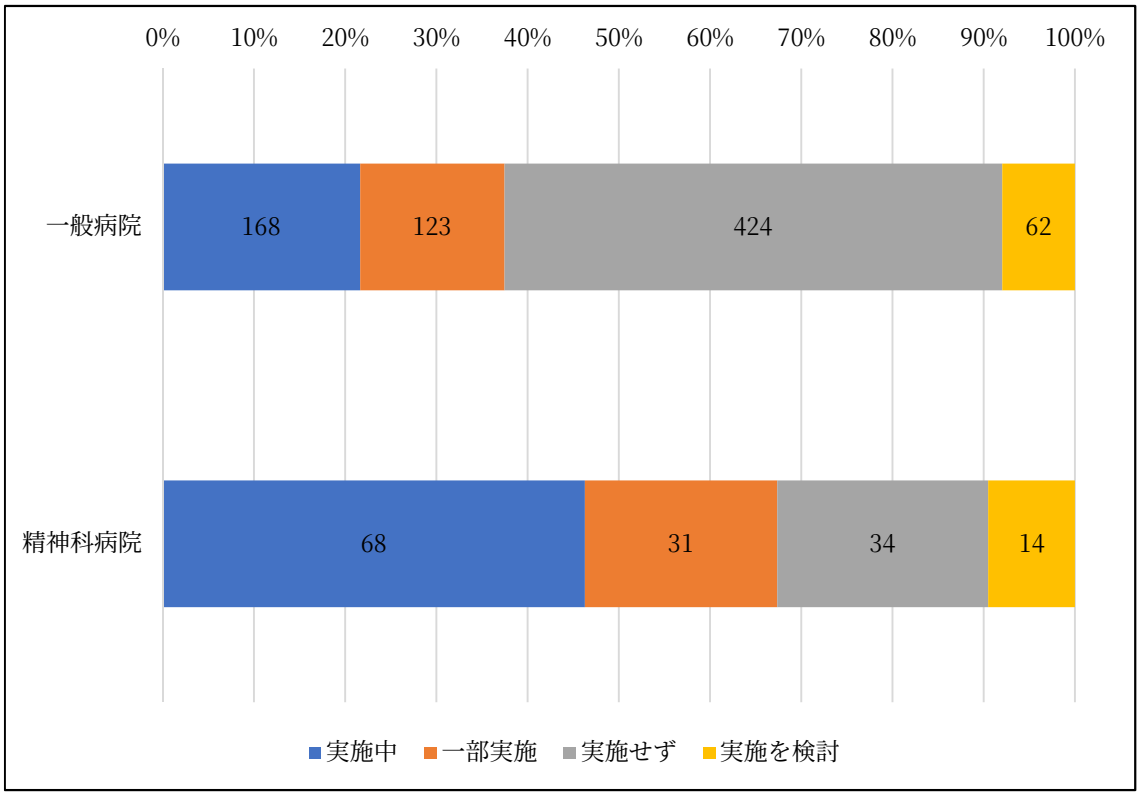

図 45-3. 一般・精神科病院別

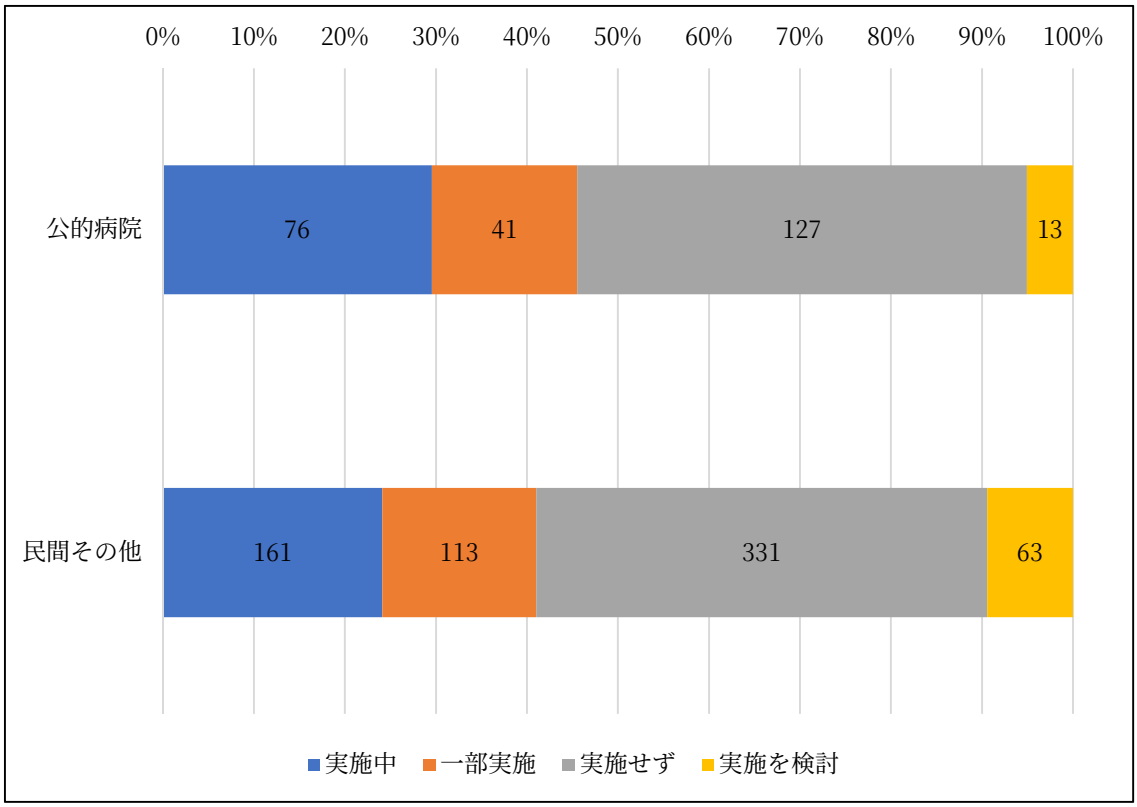

図 45-4. 公的・民間別

⑦暴力等の発生のリスクが高い場合、複数人でかかわる

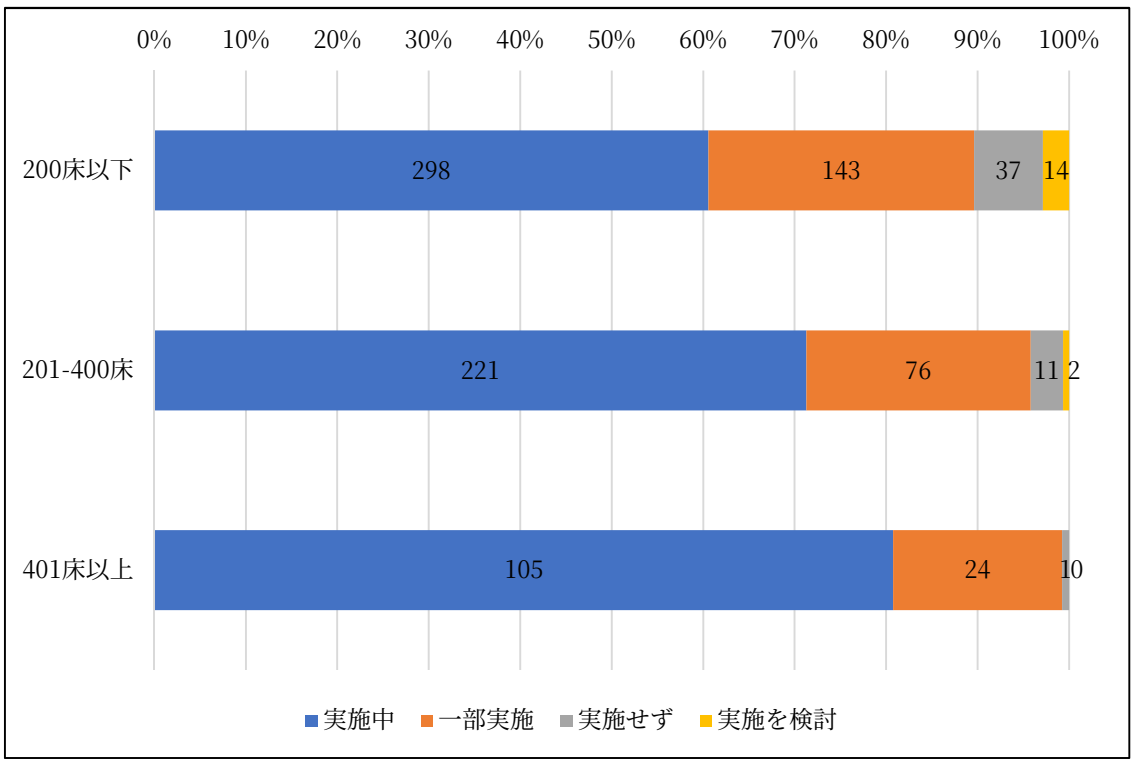

図 46-1. 病床数別

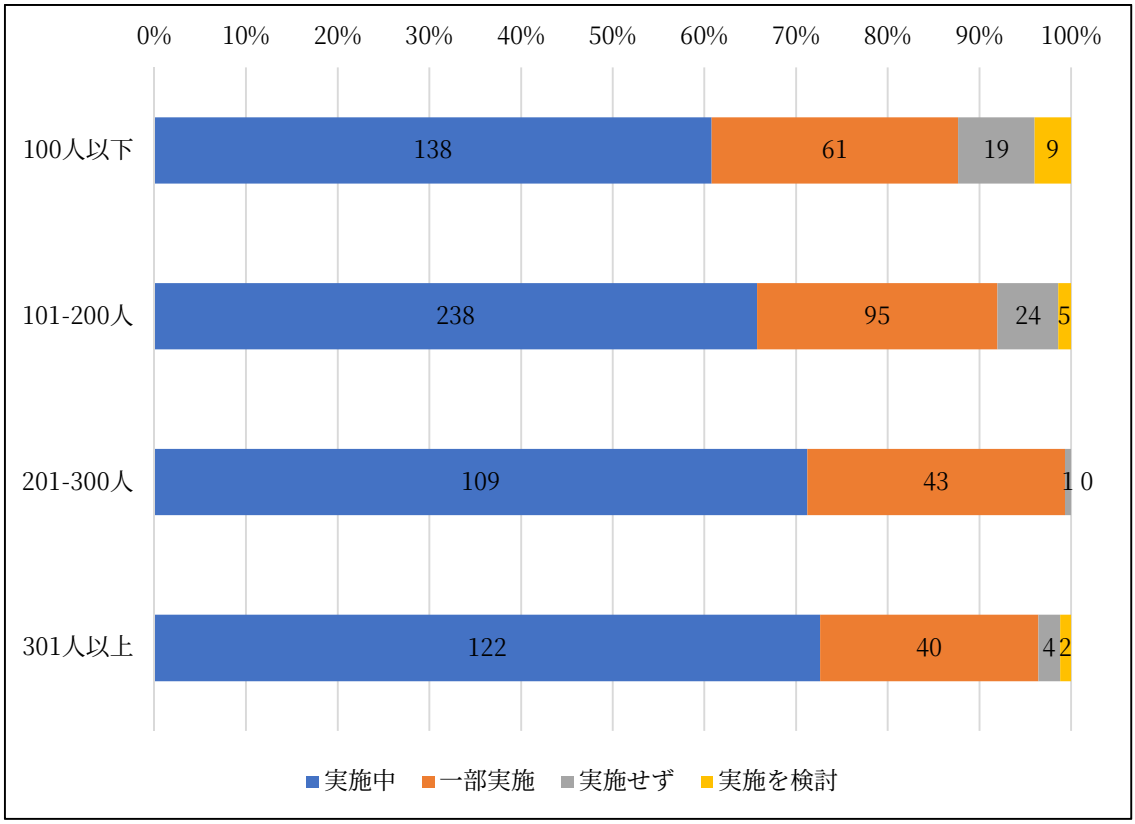

図 46-2. 看護職数別

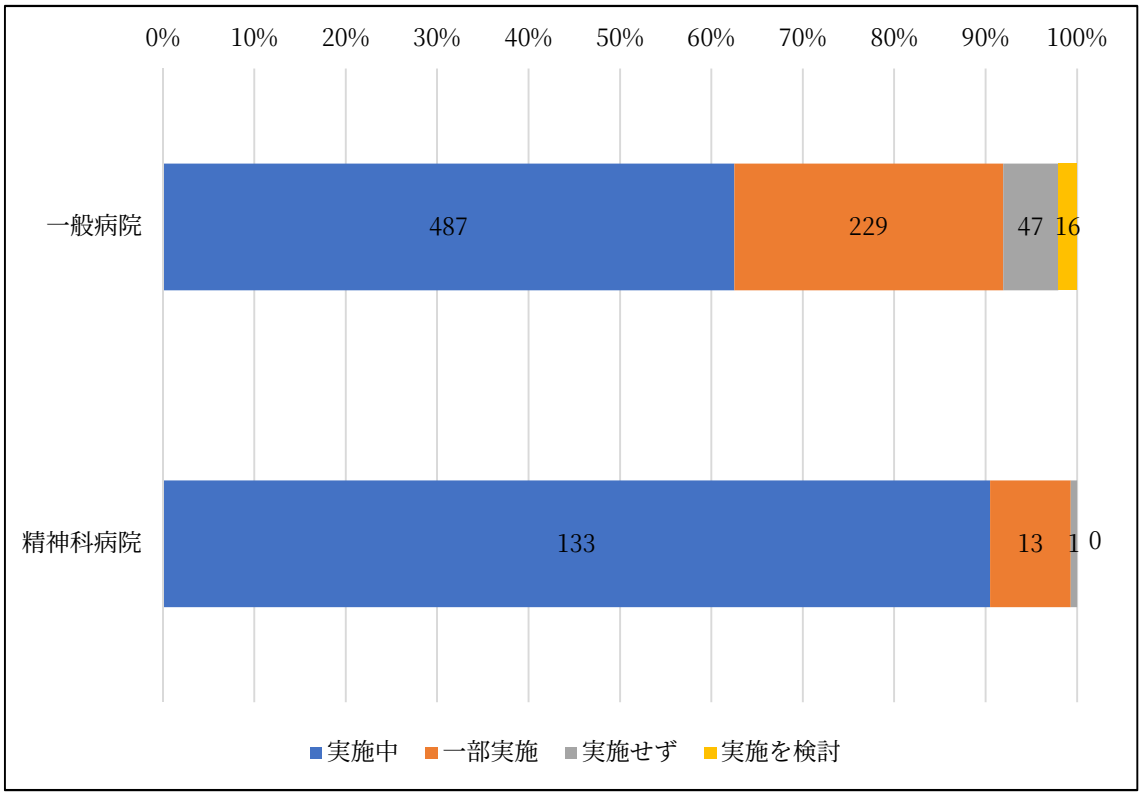

図 46-3. 一般・精神科病院別

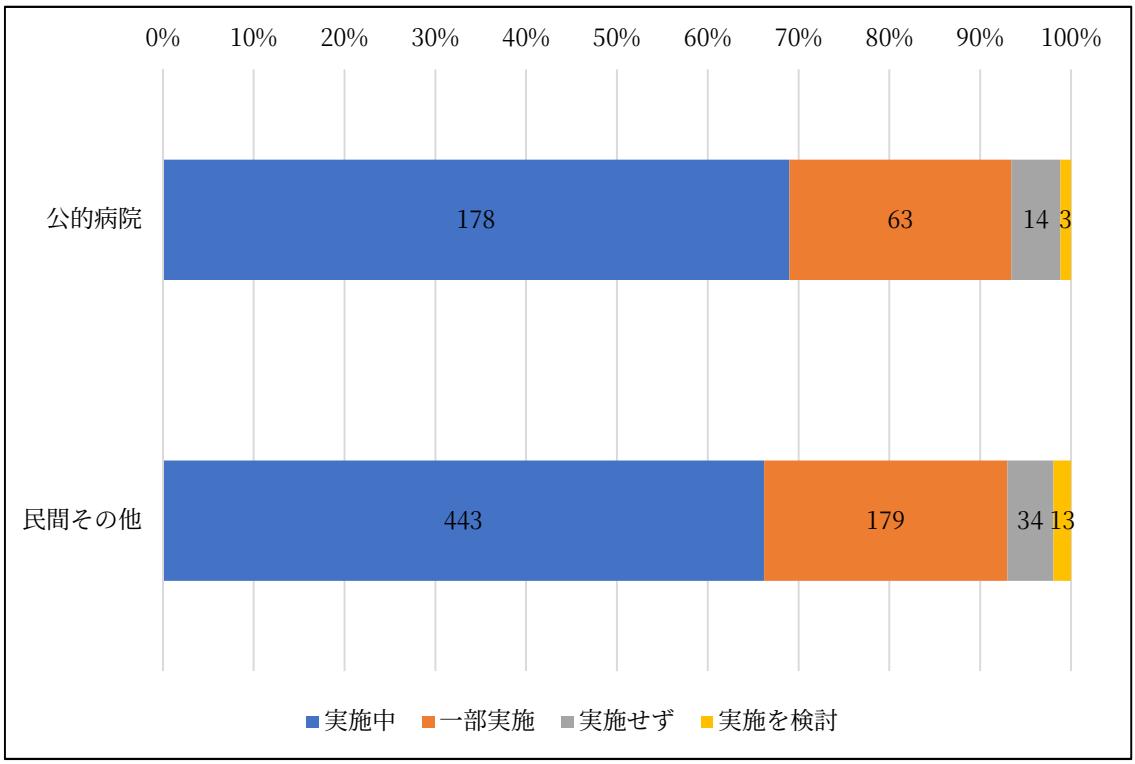

図 46-4. 公的・民間別

5. 発生時の対策の実施状況

①元警察職員（警察 OB）に応援依頼する

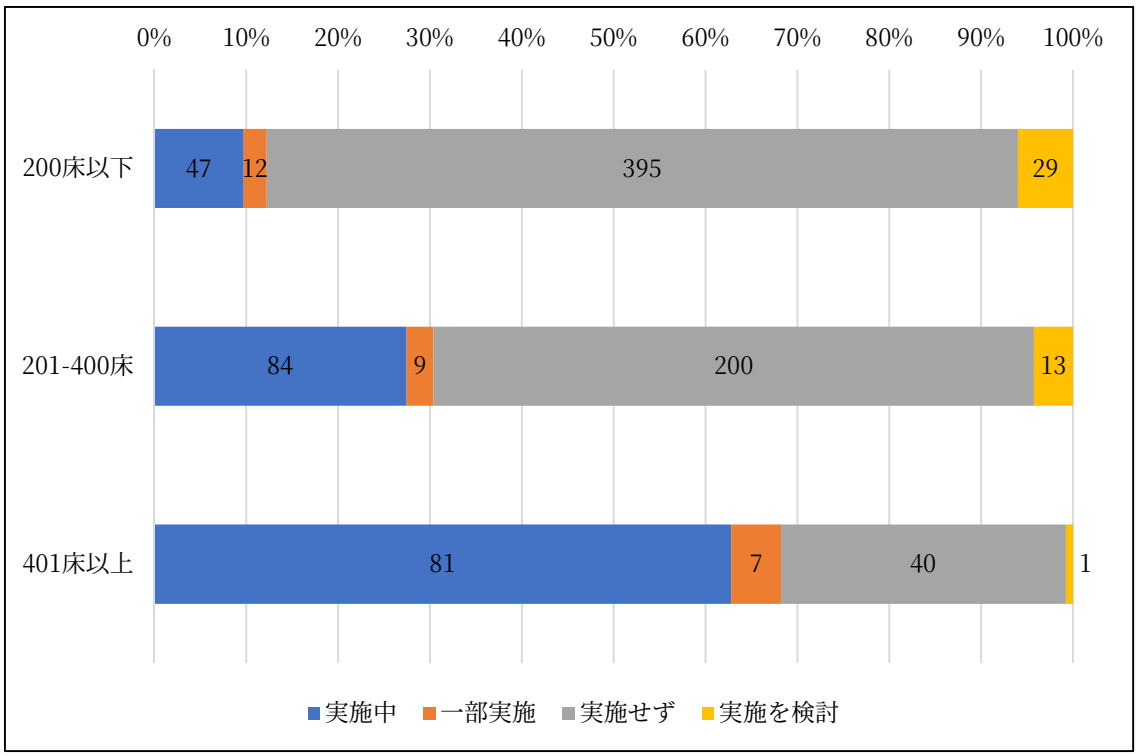

図 47-1. 病床数別

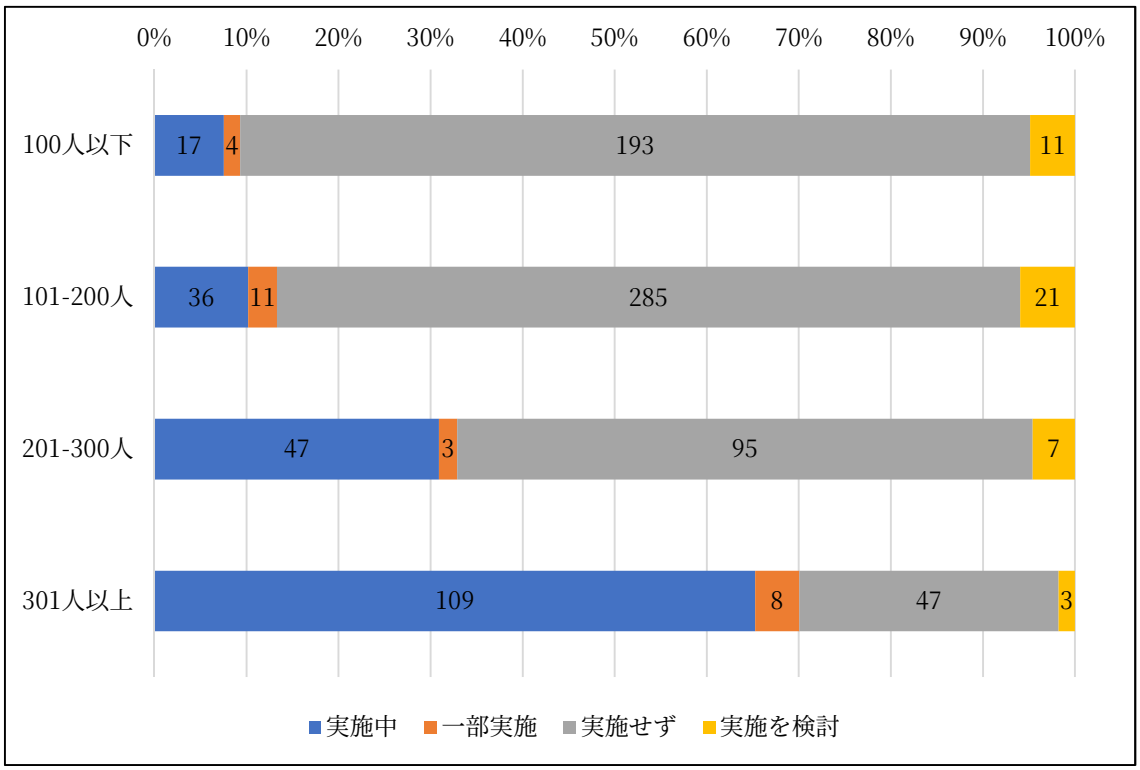

図 47-2. 看護職数別

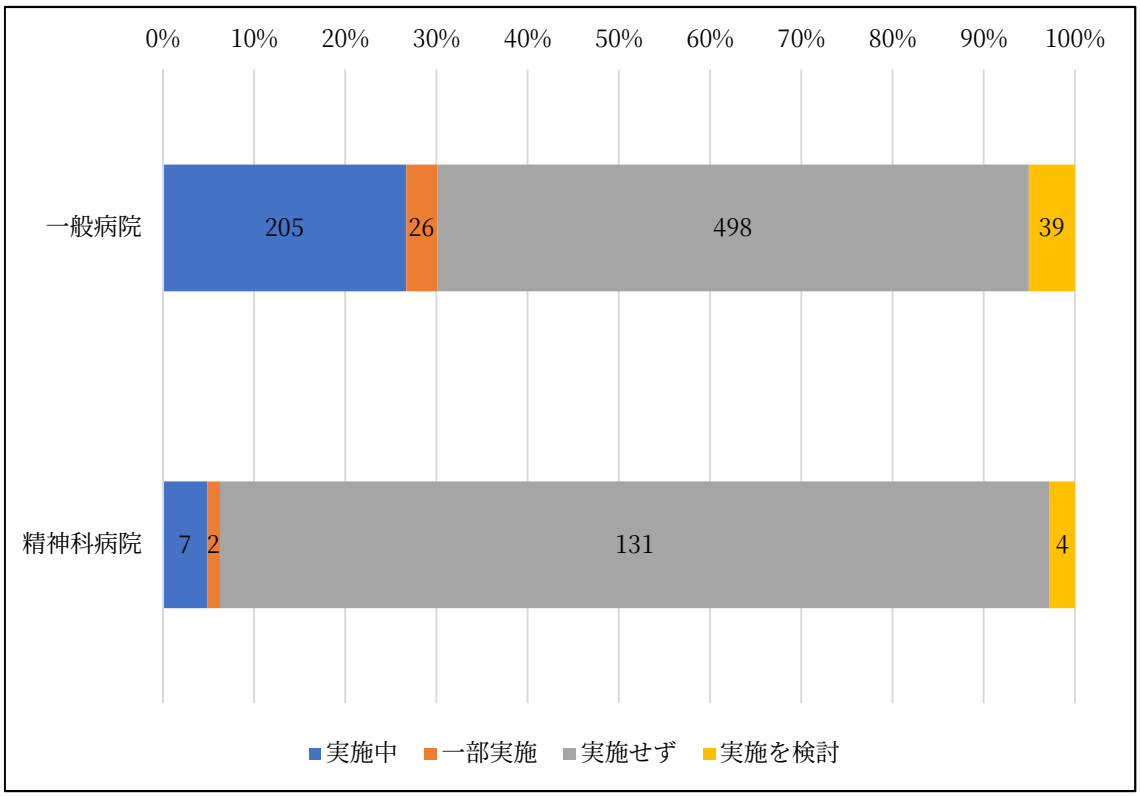

図 47-3. 一般・精神科病院別

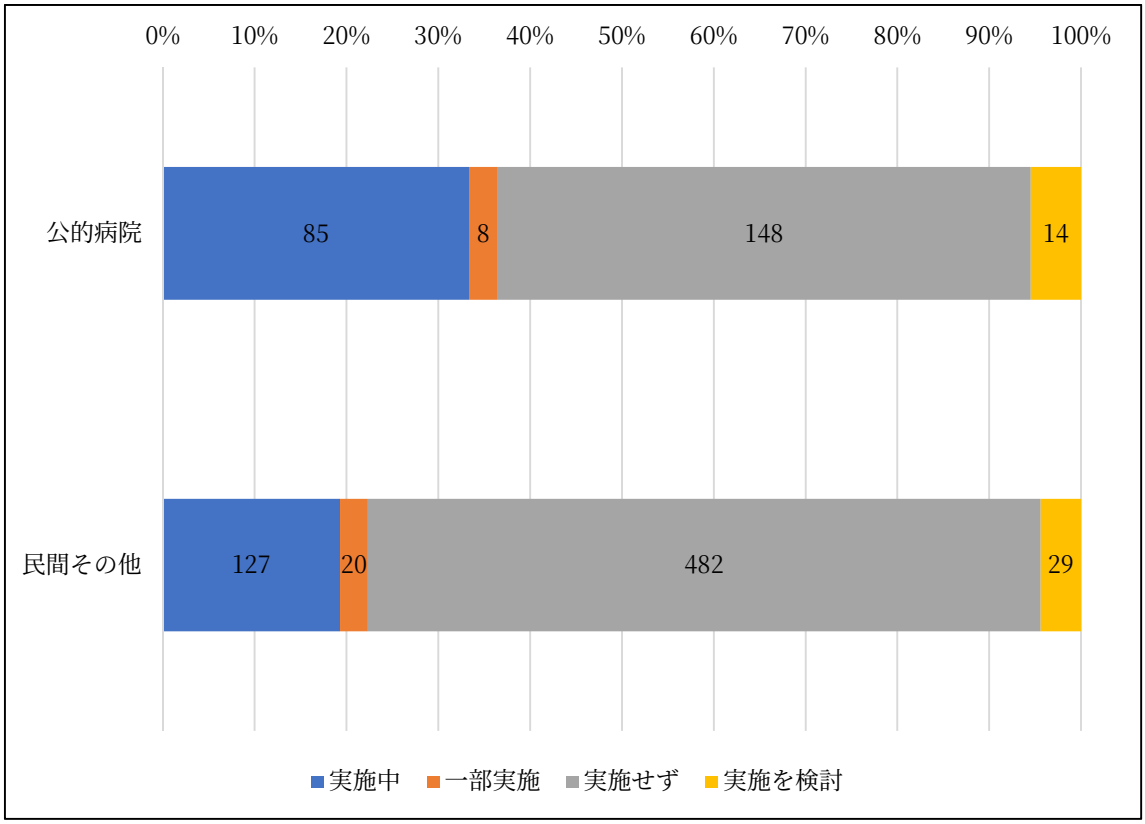

図 47-4. 公的・民間別

②警備員に応援依頼する

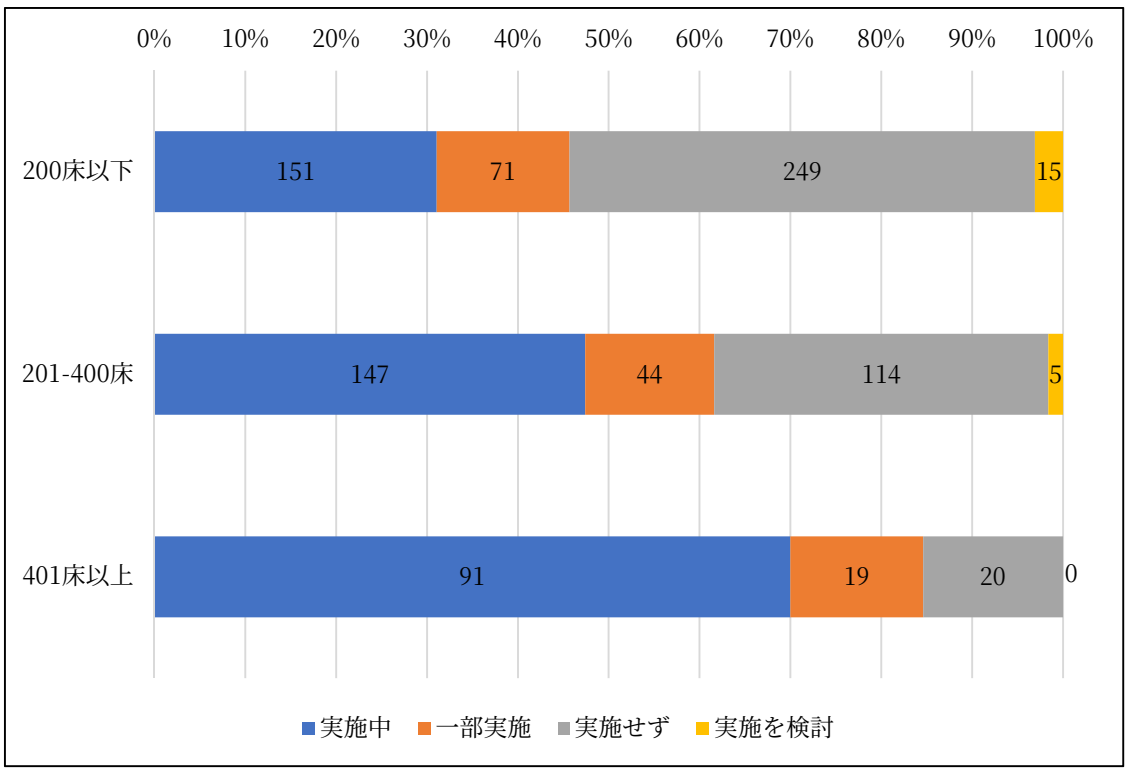

図 48-1. 病床数別

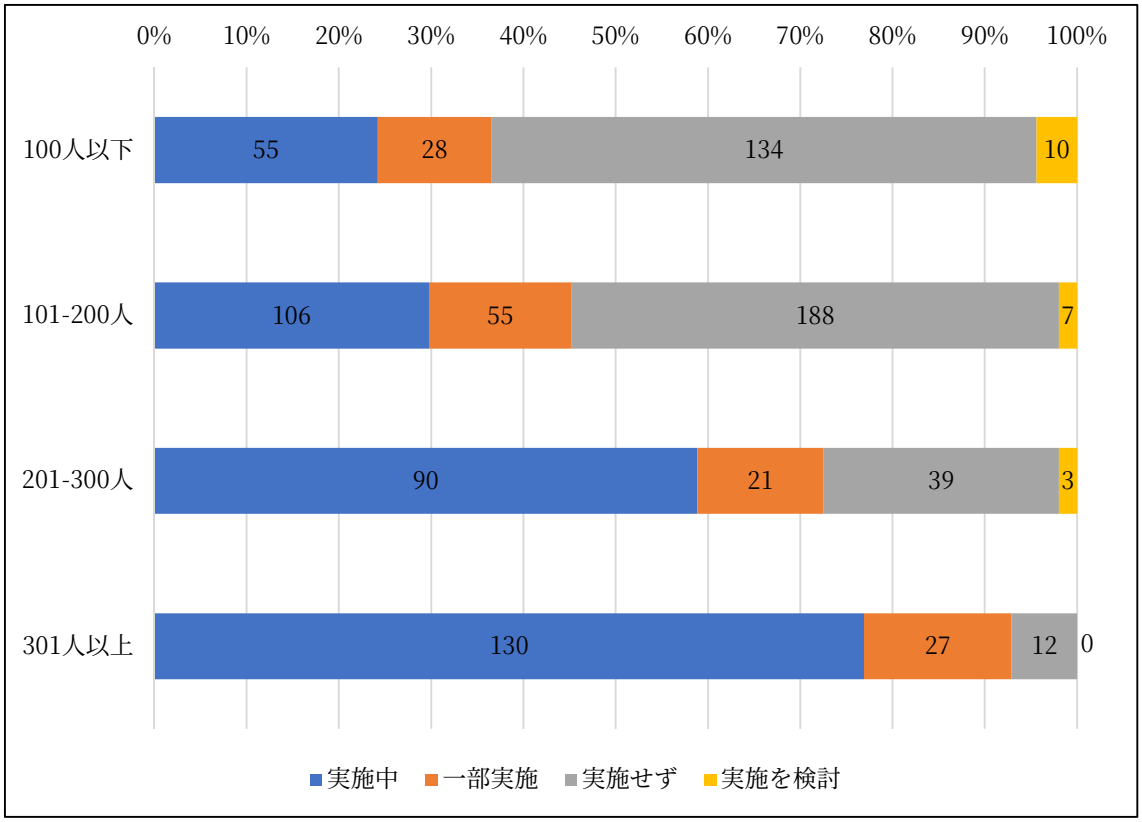

図 48-2. 看護職数別

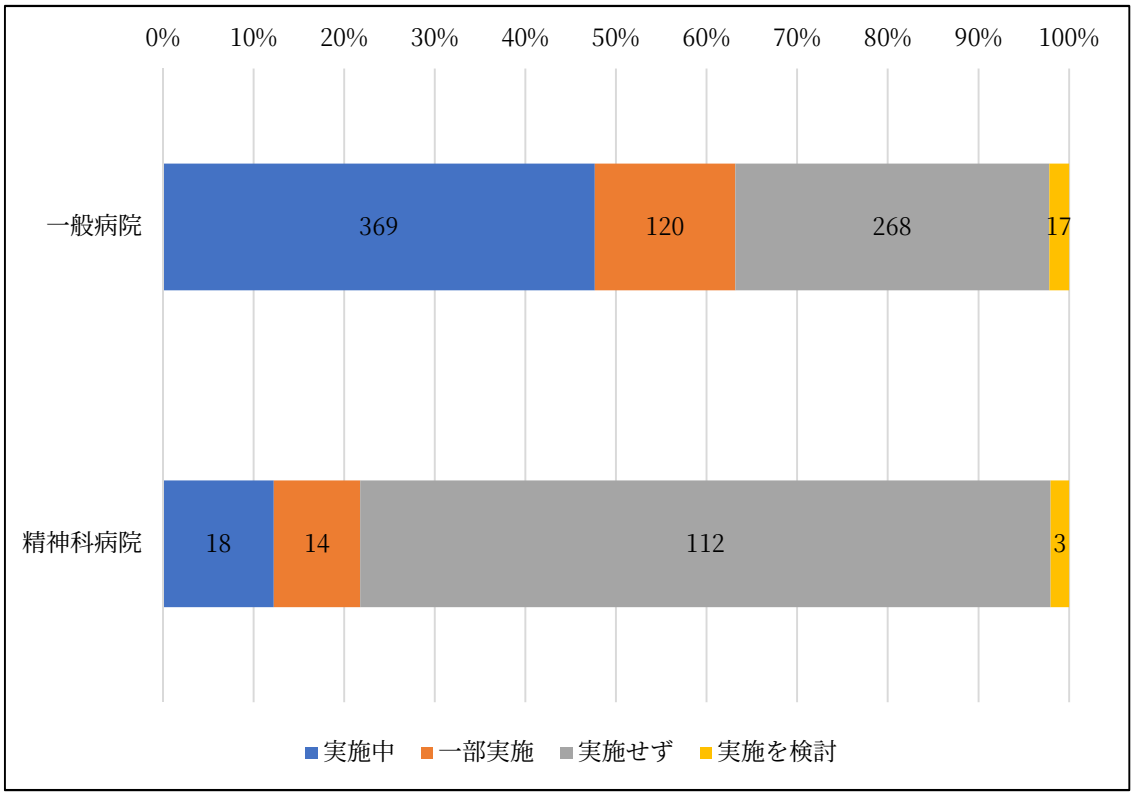

図 48-3. 一般・精神科病院別

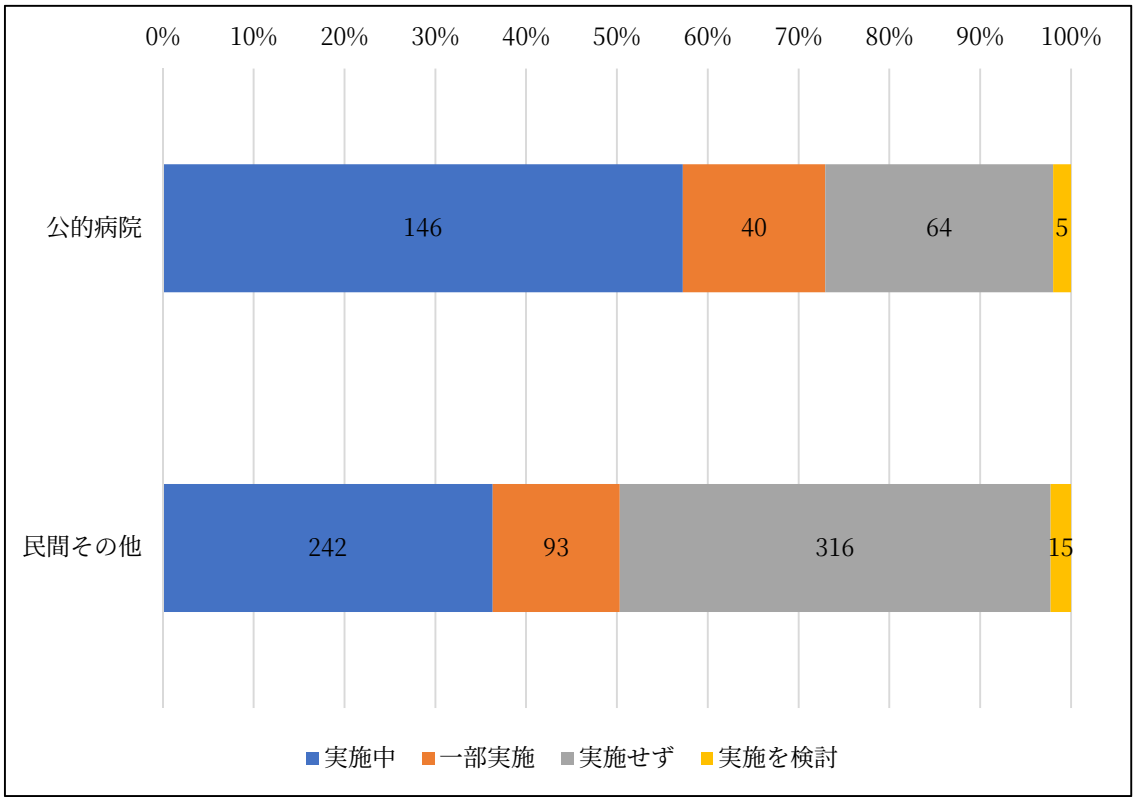

図 48-4. 公的・民間別

③警察に通報する

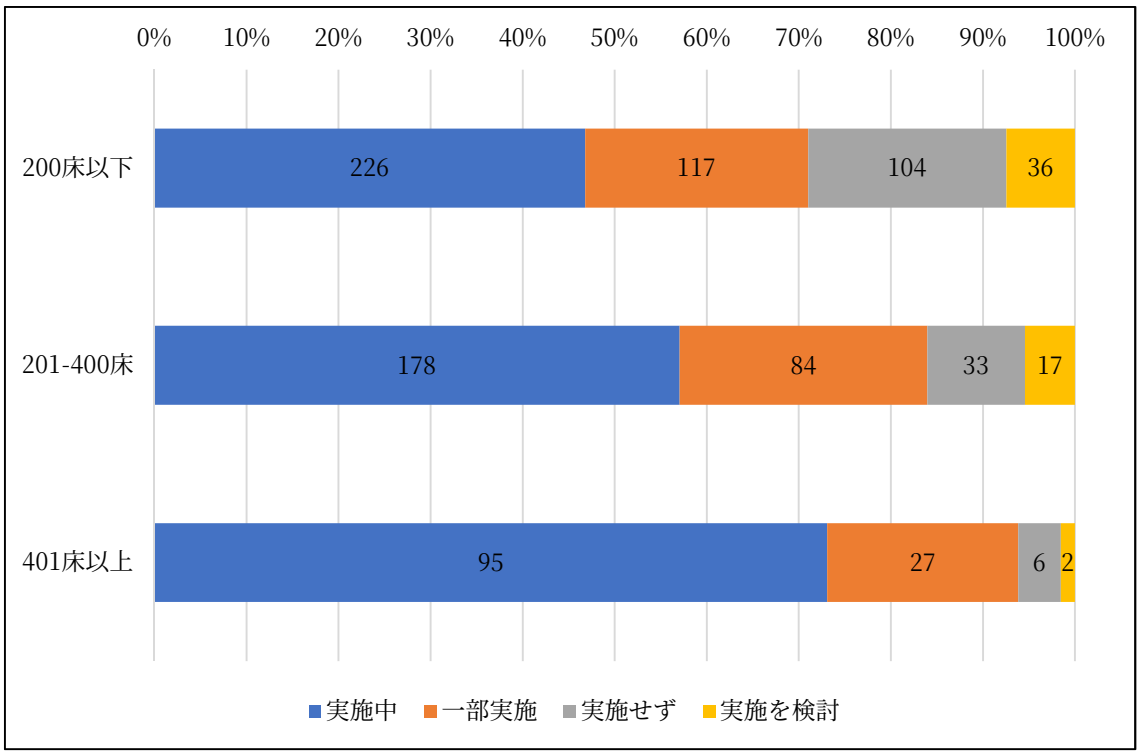

図 49-1. 病床数別

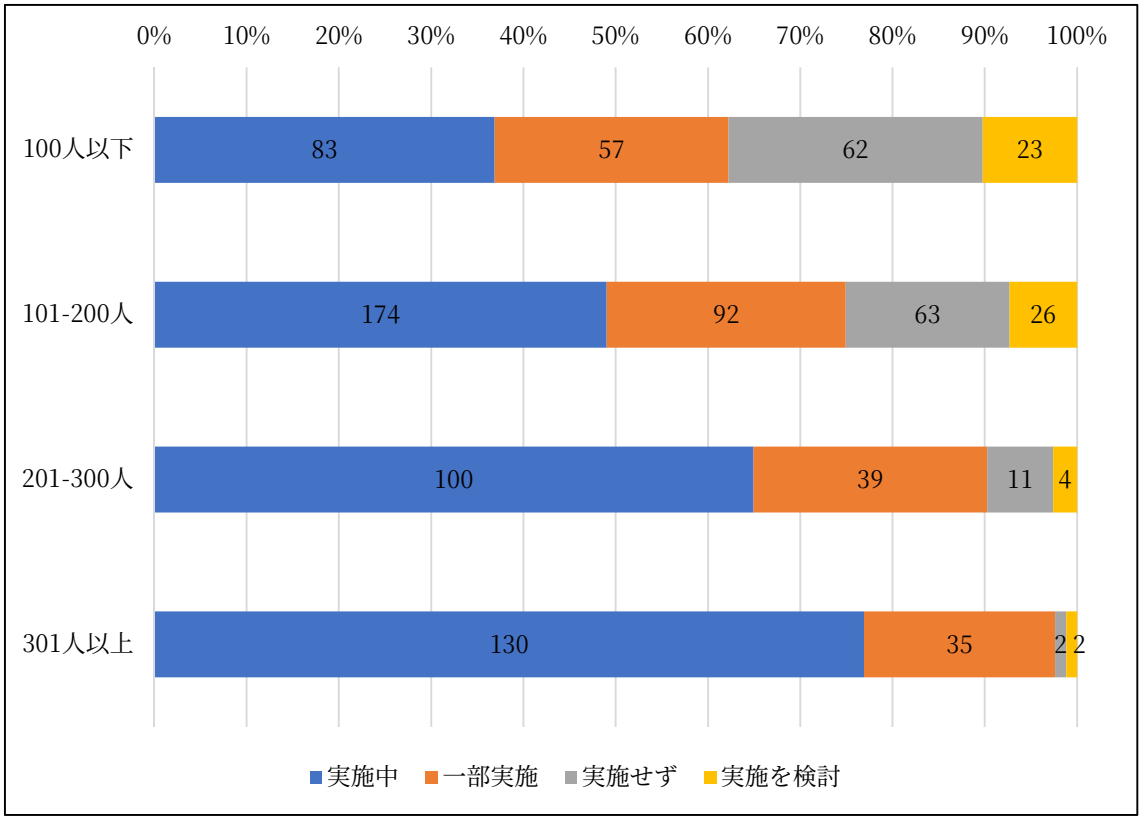

図 49-2. 看護職数別

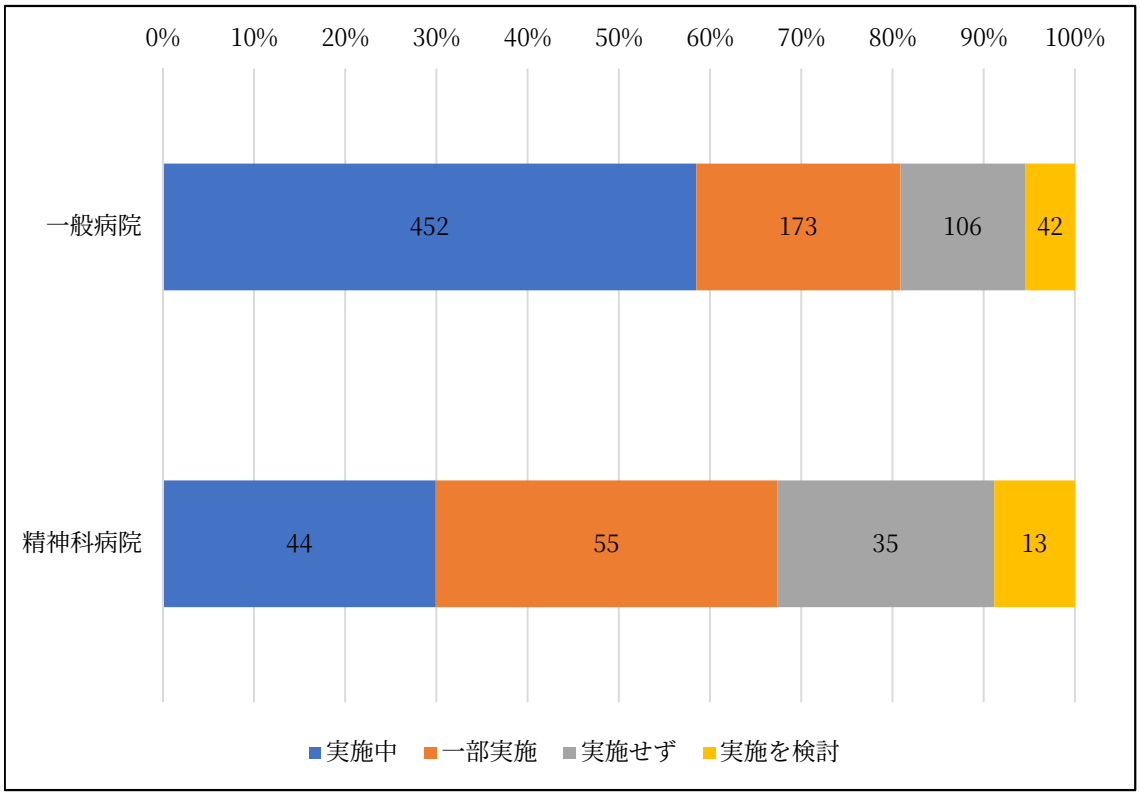

図 49-3. 一般・精神科病院別

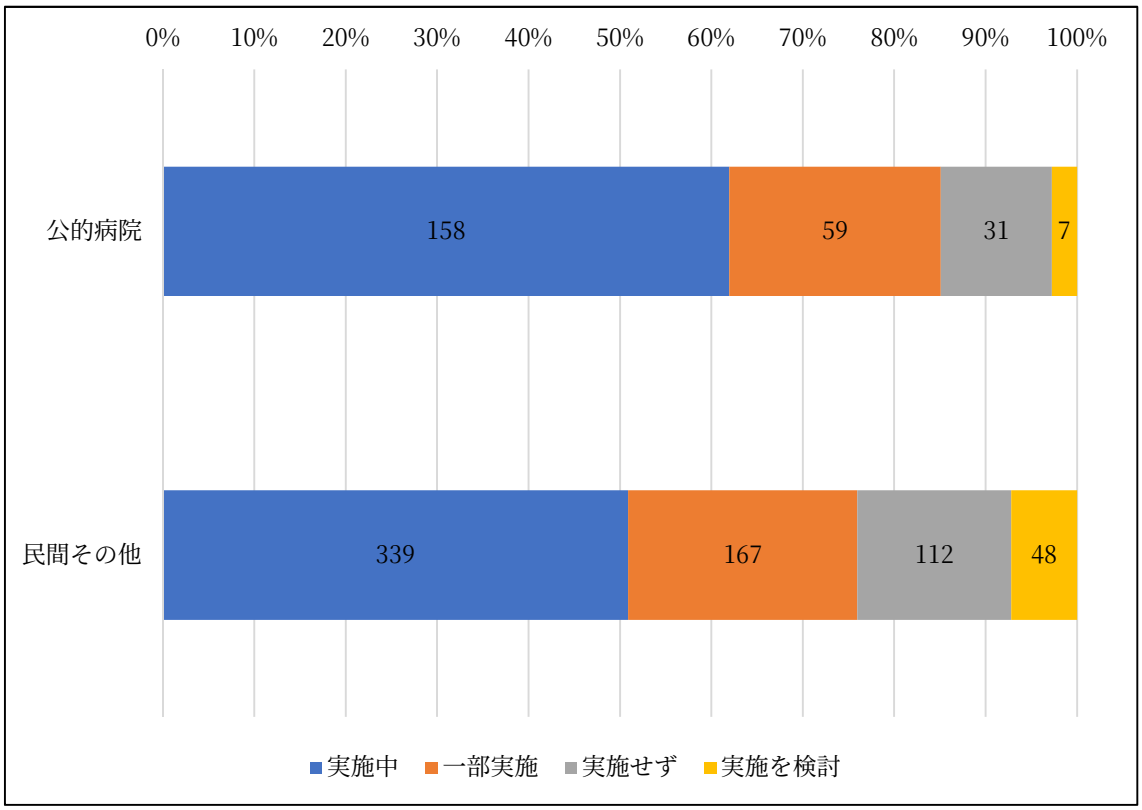

図 49-4. 公的・民間別

④マニュアルに決められた対応をとる

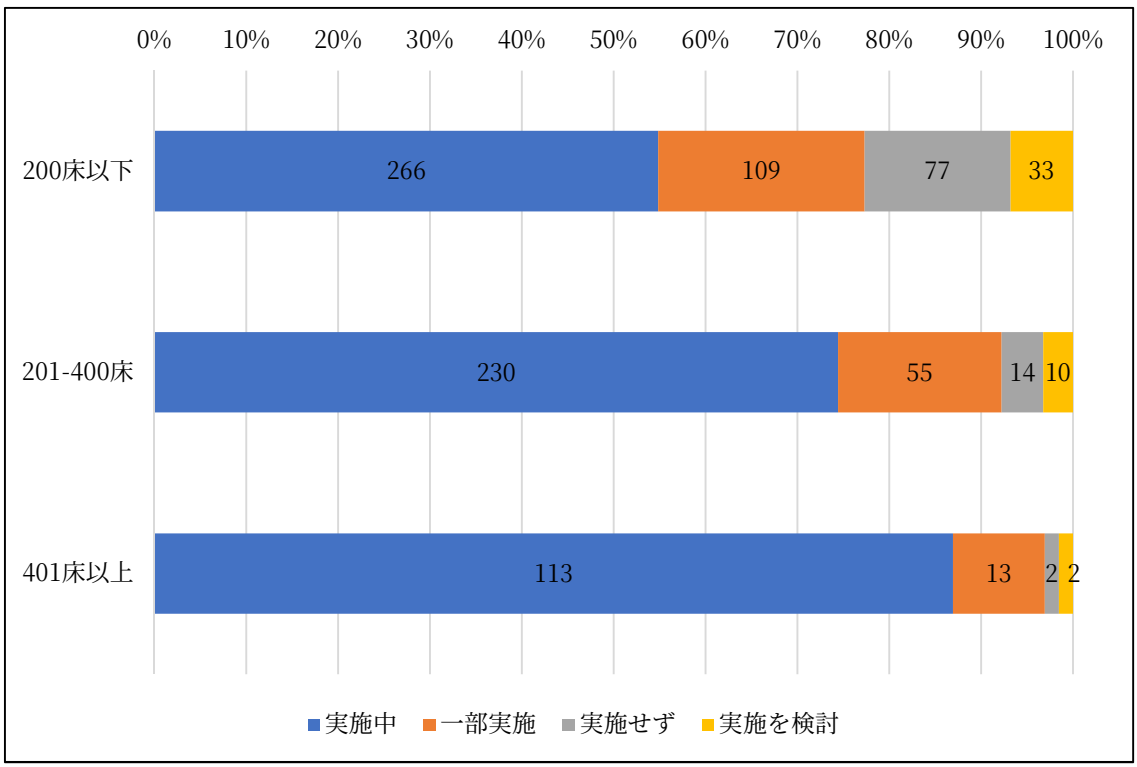

図 50-1. 病床数別

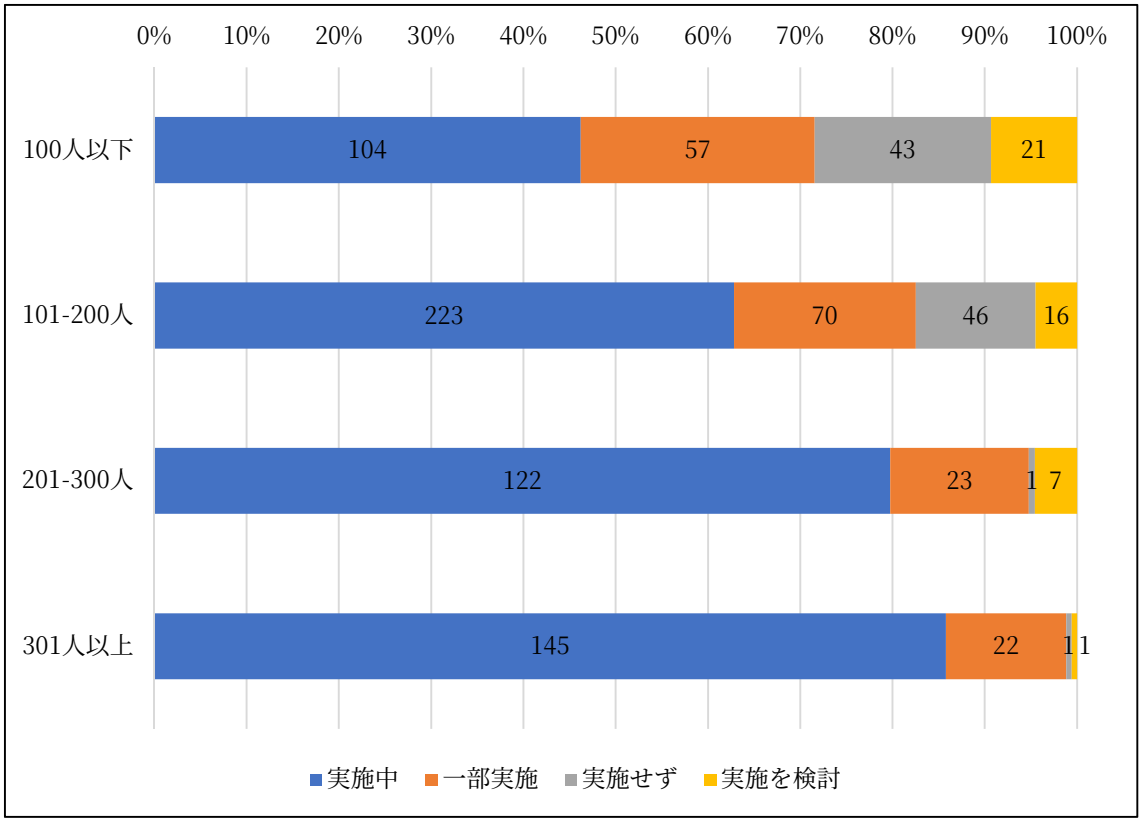

図 50-2. 看護職数別

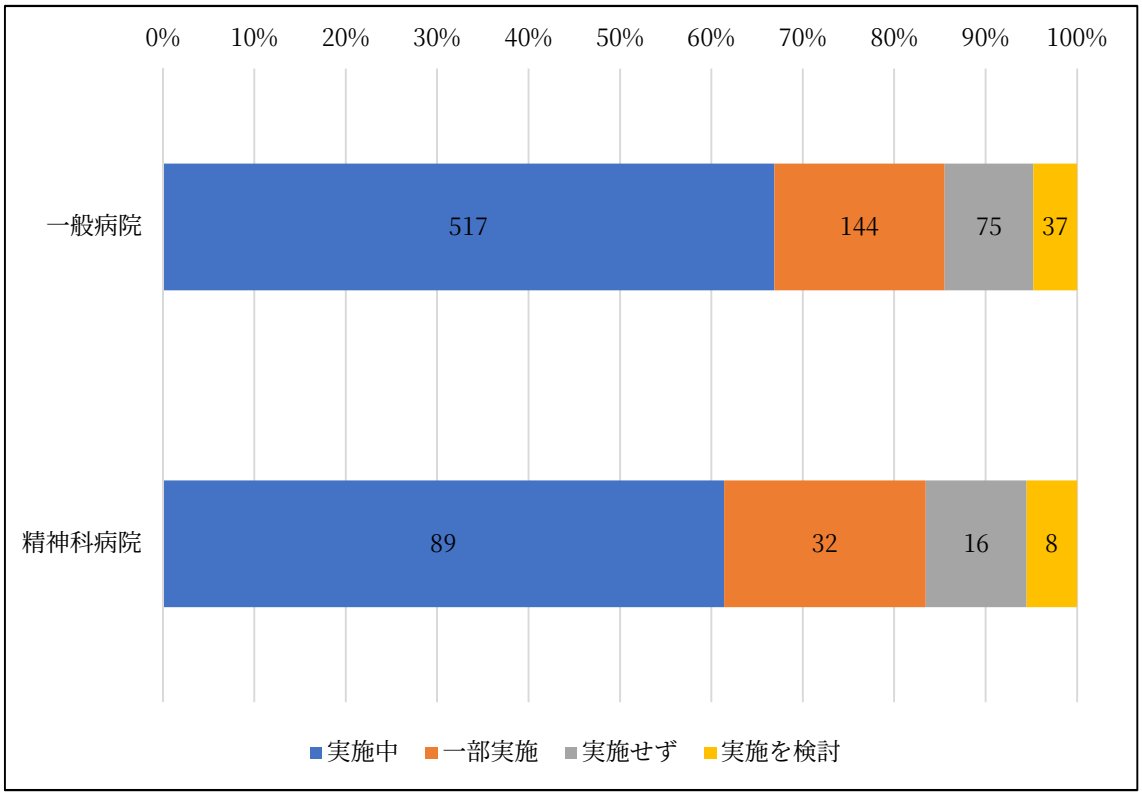

図 50-3. 一般・精神科病院別

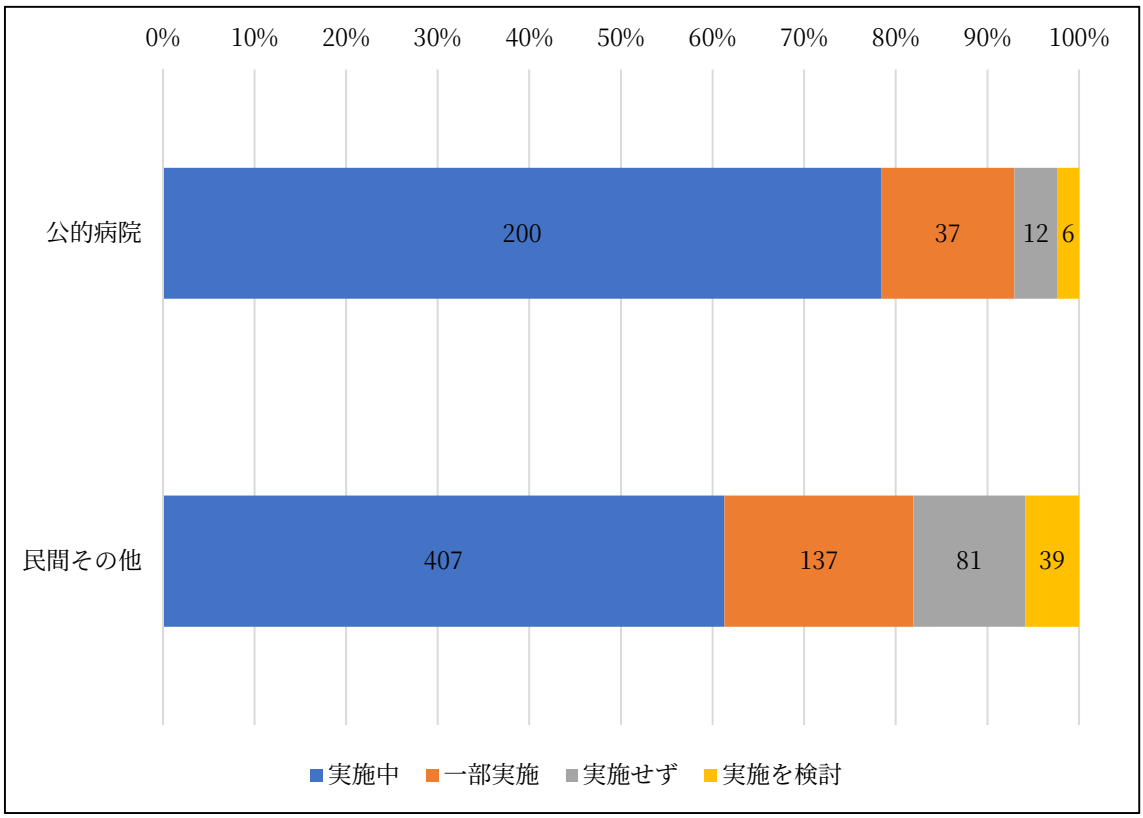

図 50-4. 公的・民間別

⑤緊急時や夜間時、責任者へ定められた手順で連絡をとる

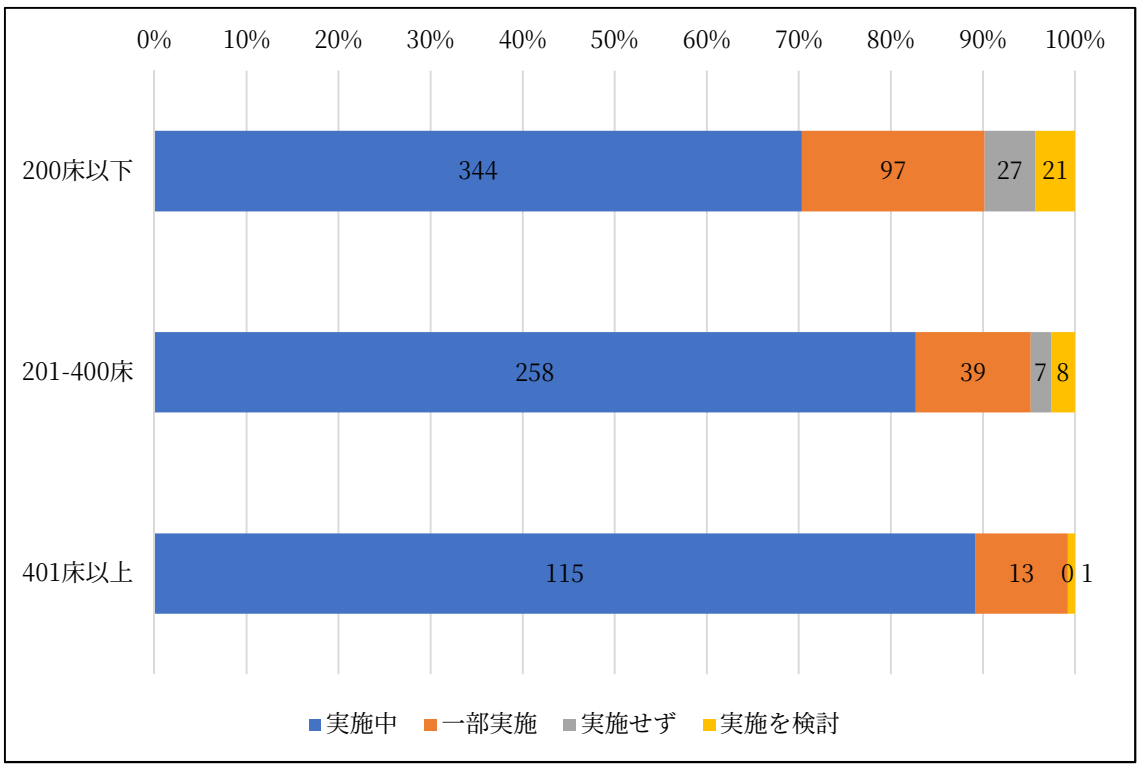

図 51-1. 病床数別

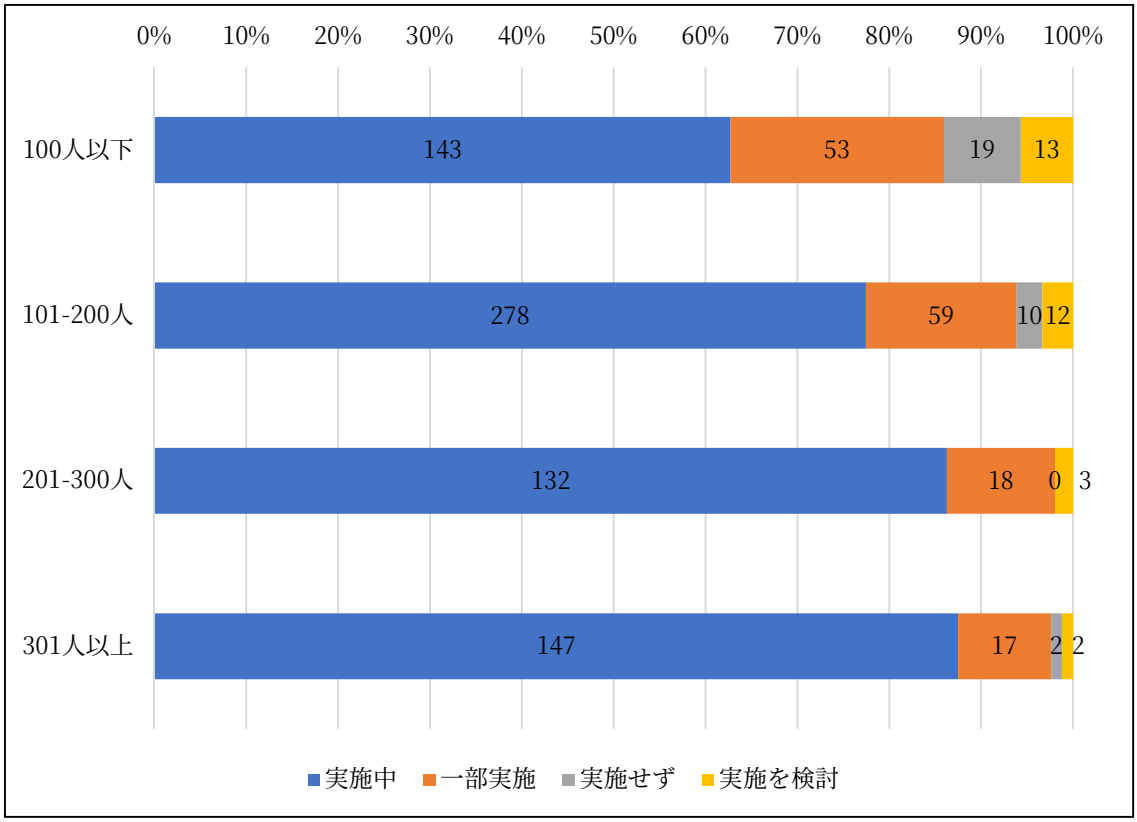

図 51-2. 看護職数別

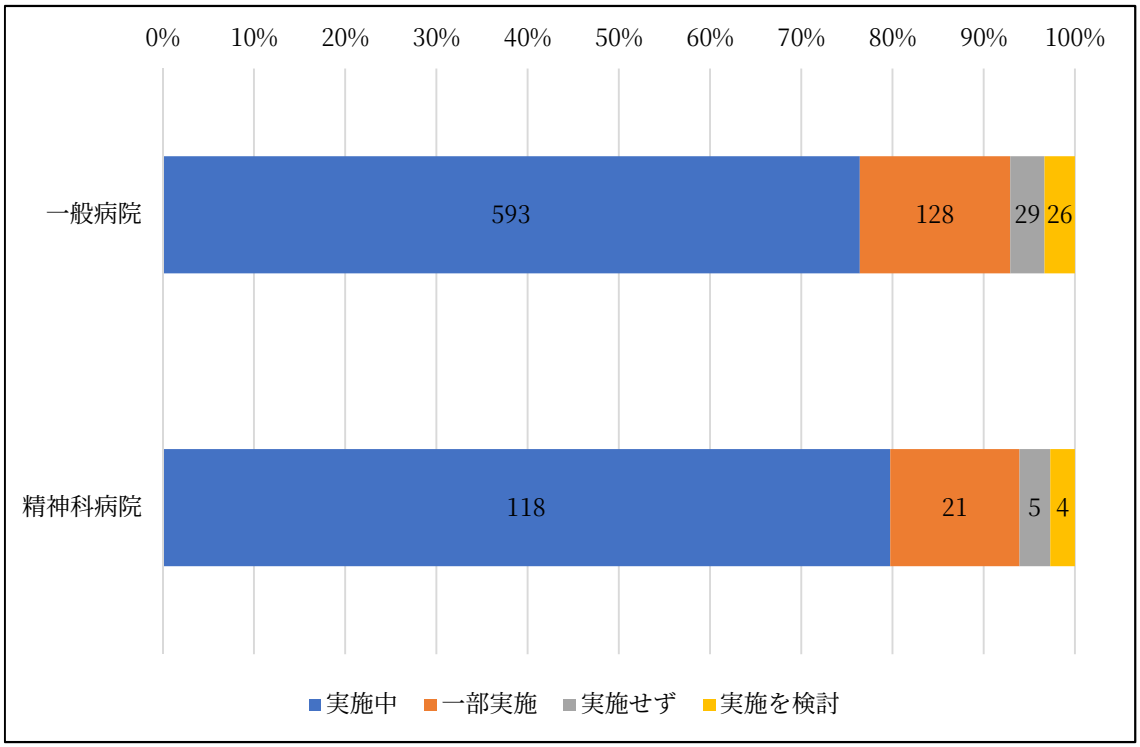

図 51-3. 一般・精神科病院別

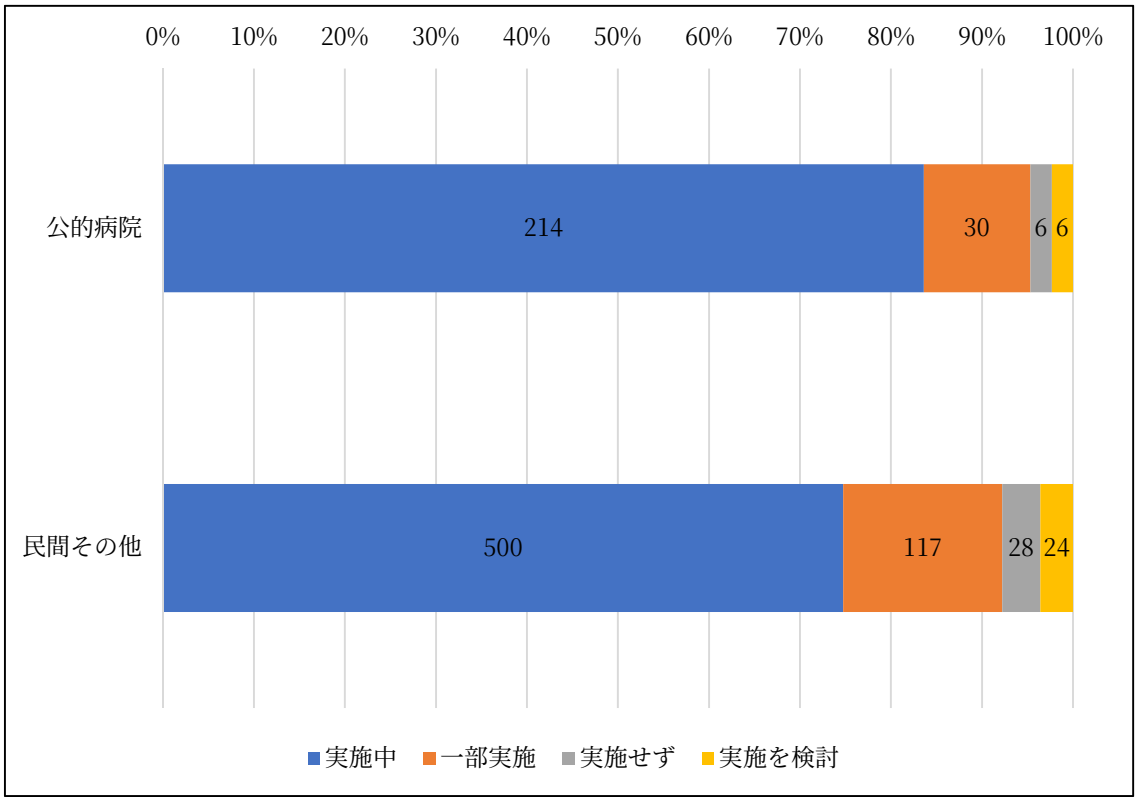

図 51-4. 公的・民間別

⑥警備委託先への非常通報ボタンや非常電話を利用する

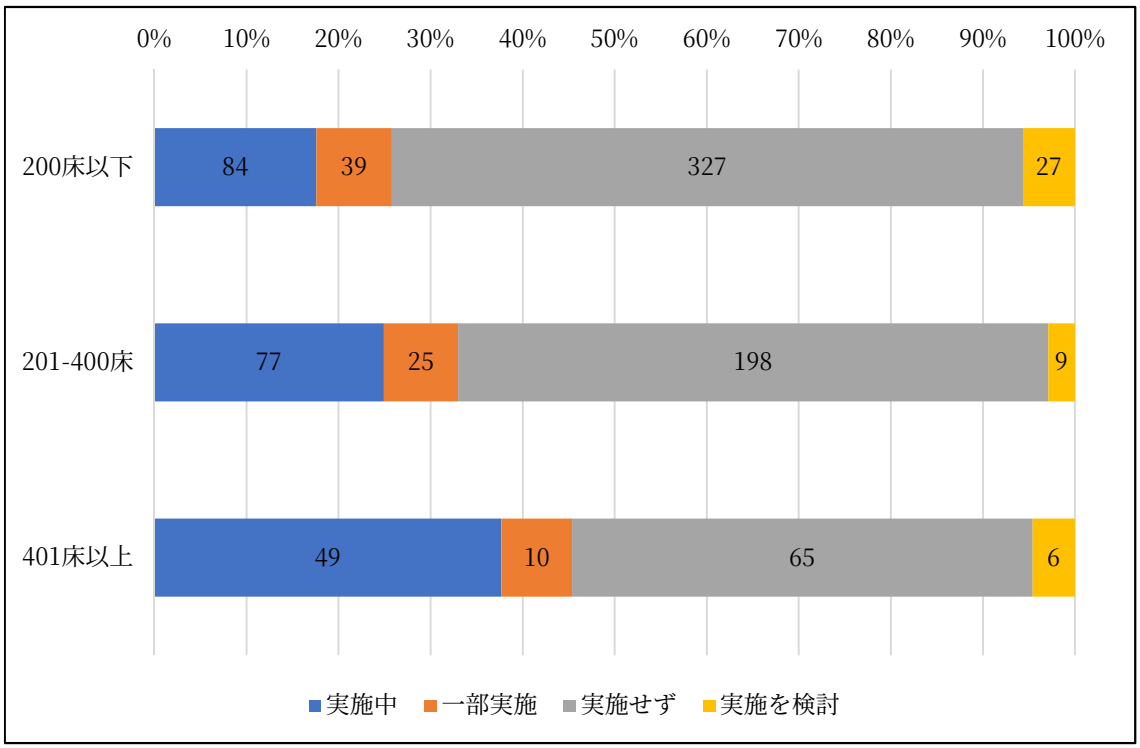

図 52-1. 病床数別

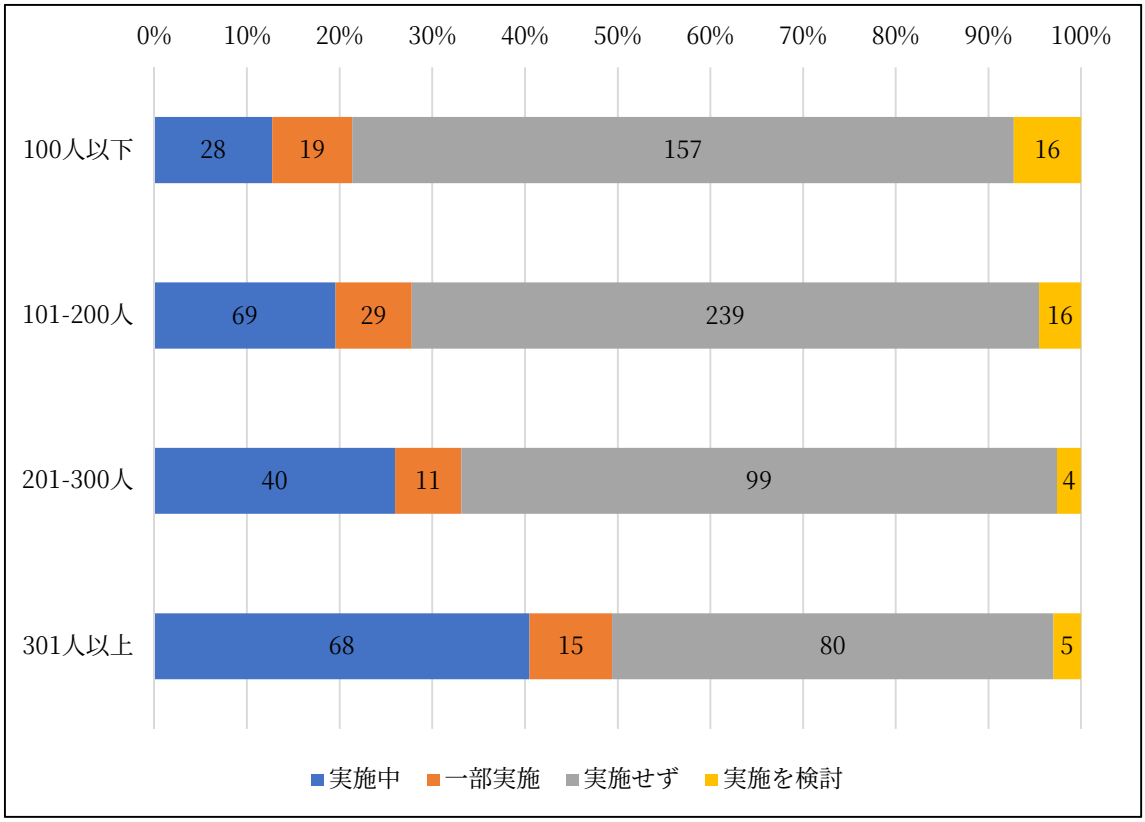

図 52-2. 看護職数別

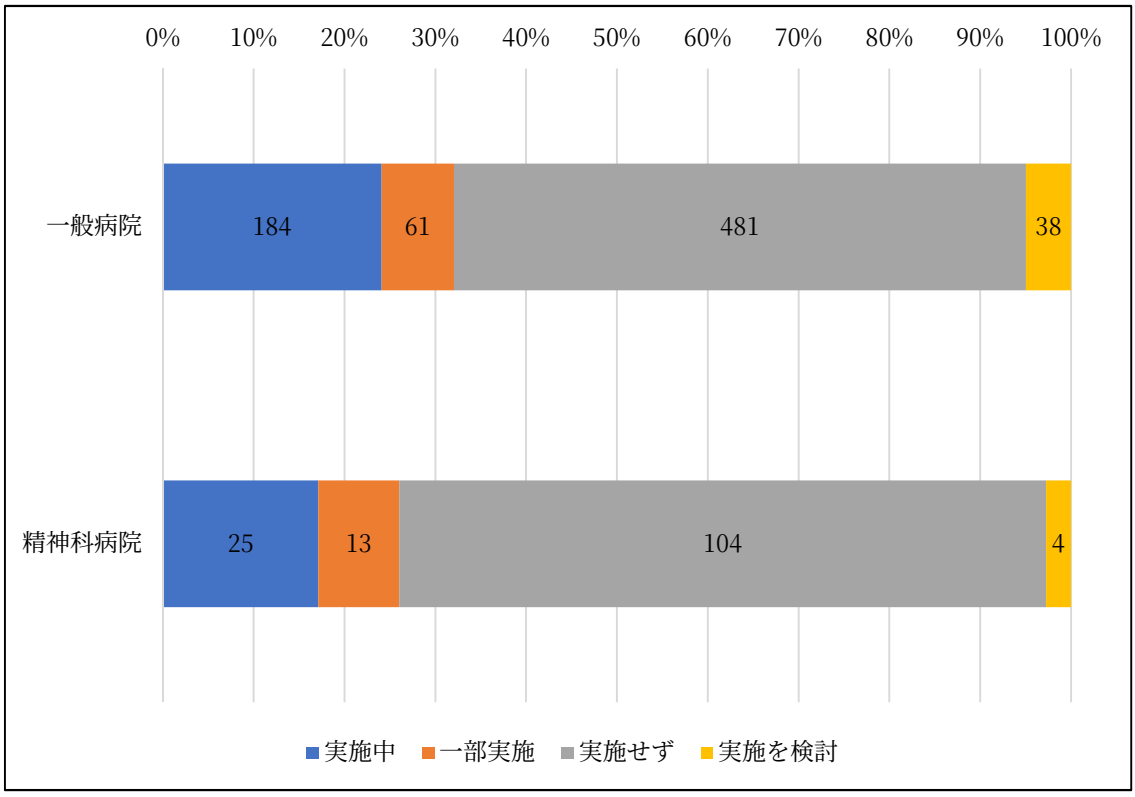

図 52-3. 一般・精神科病院別

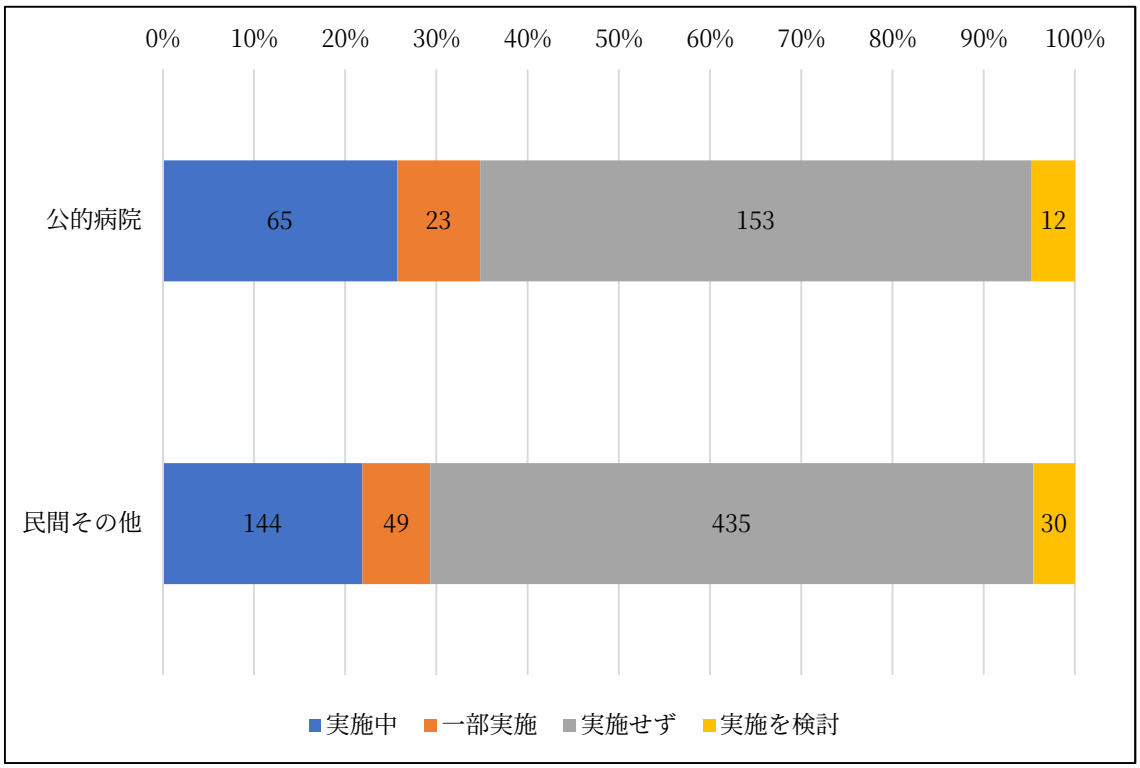

図 52-4. 公的・民間別

⑦緊急コールができる機器（携帯電話、キッズ携帯、防犯ベル）を携帯し、必要時利用する

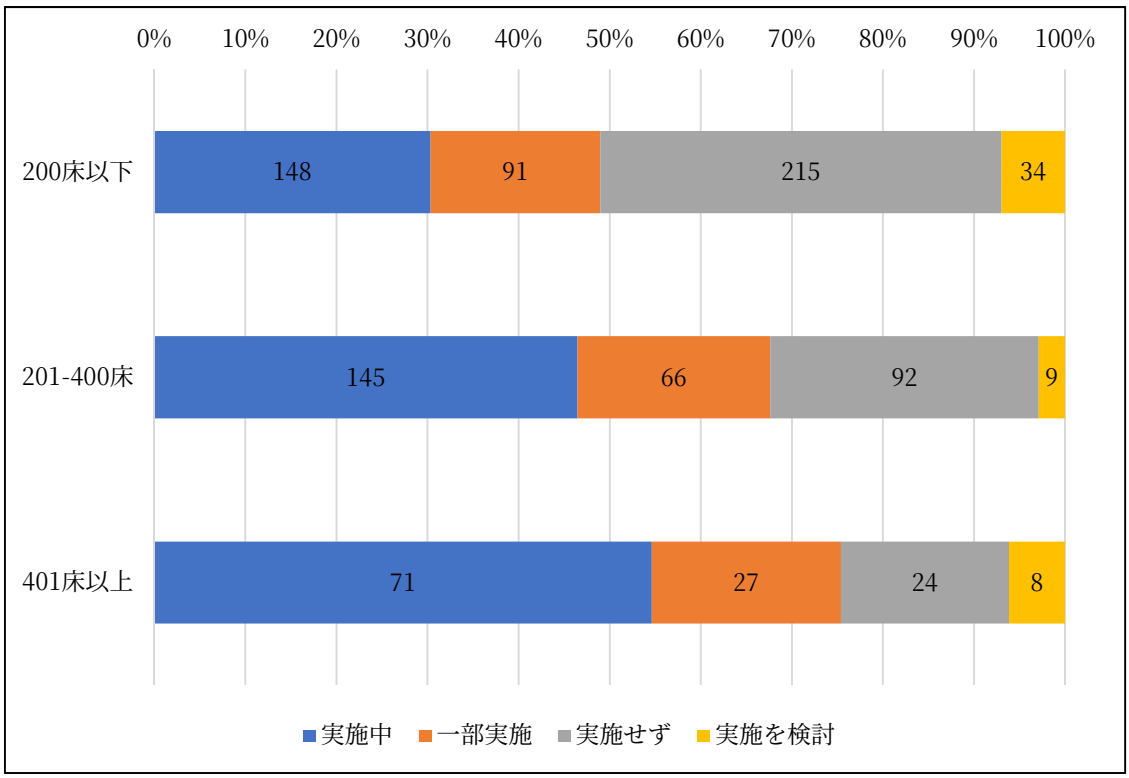

図 53-1. 病床数別

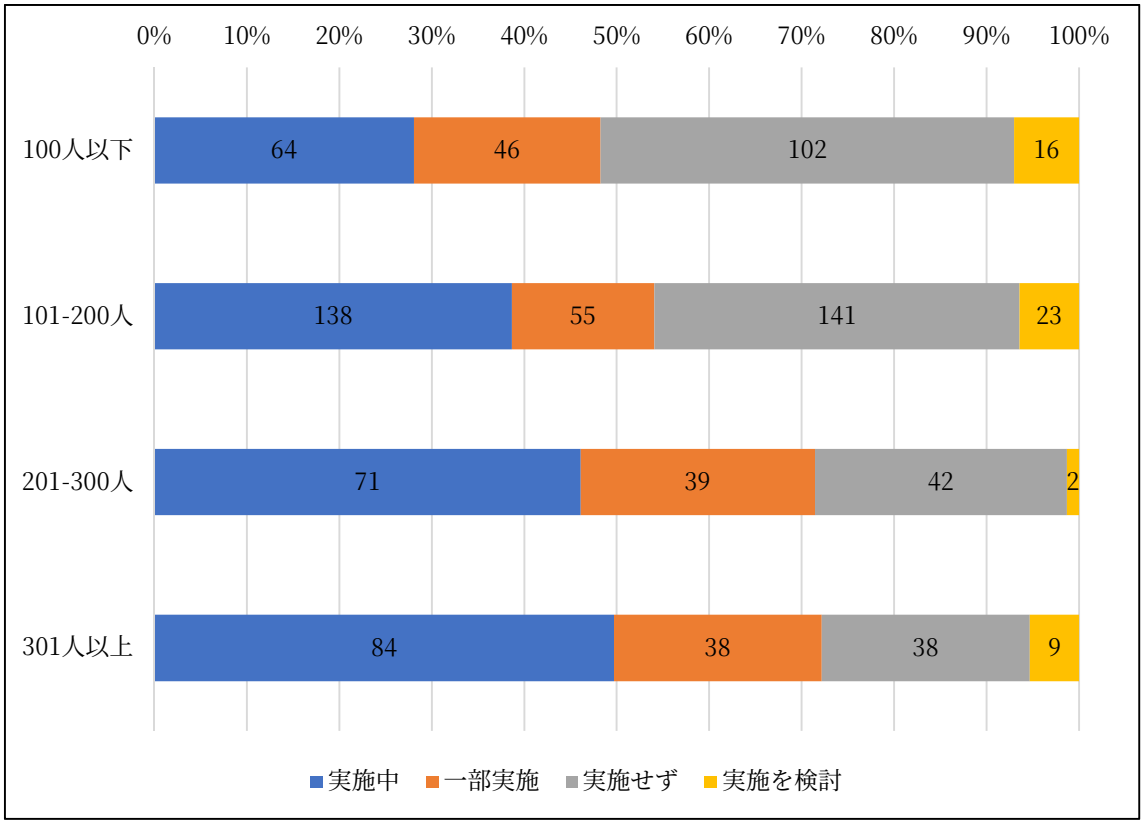

図 53-2. 看護職数別

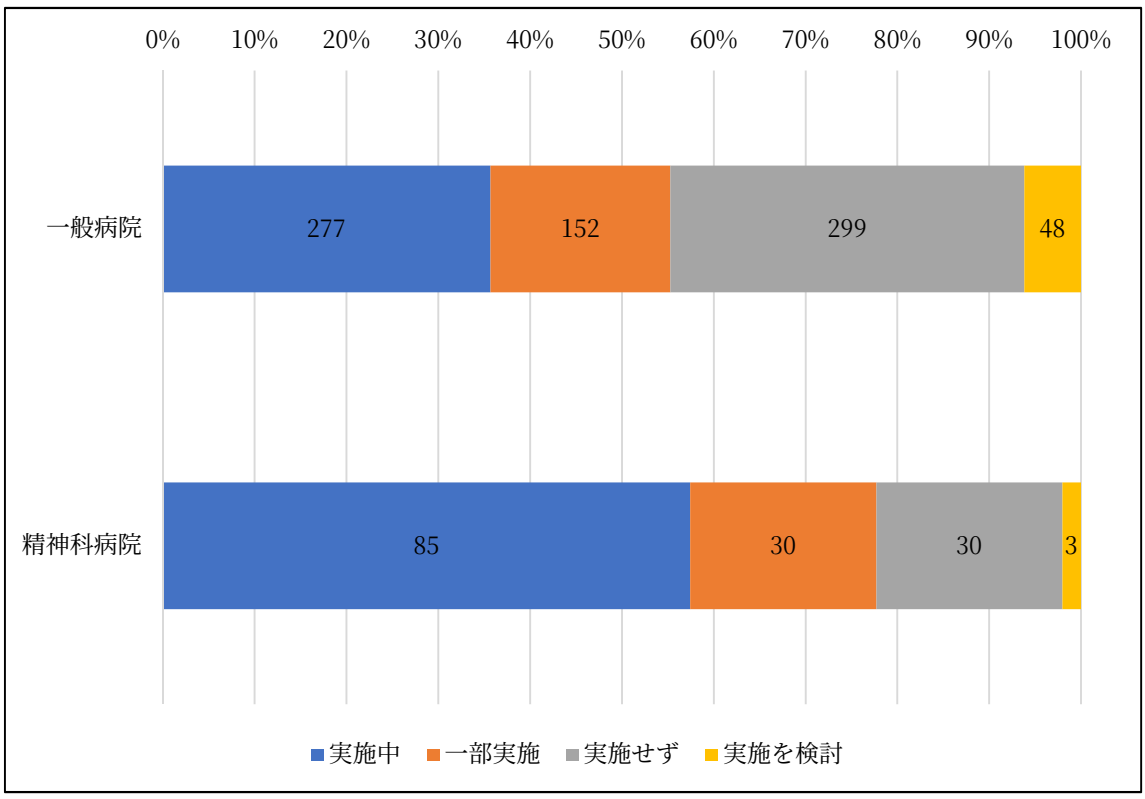

図 53-3. 一般・精神科病院別

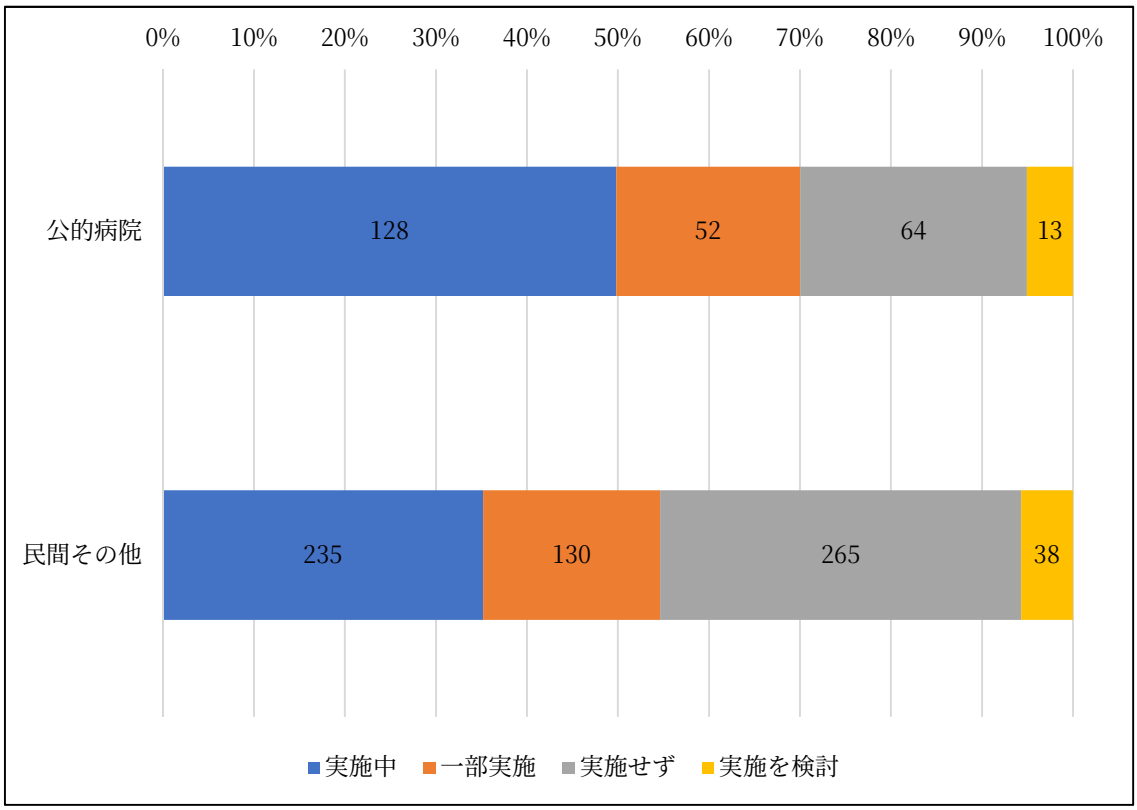

図 53-4. 公的・民間別

⑧暴力等制止のための器具を使用する

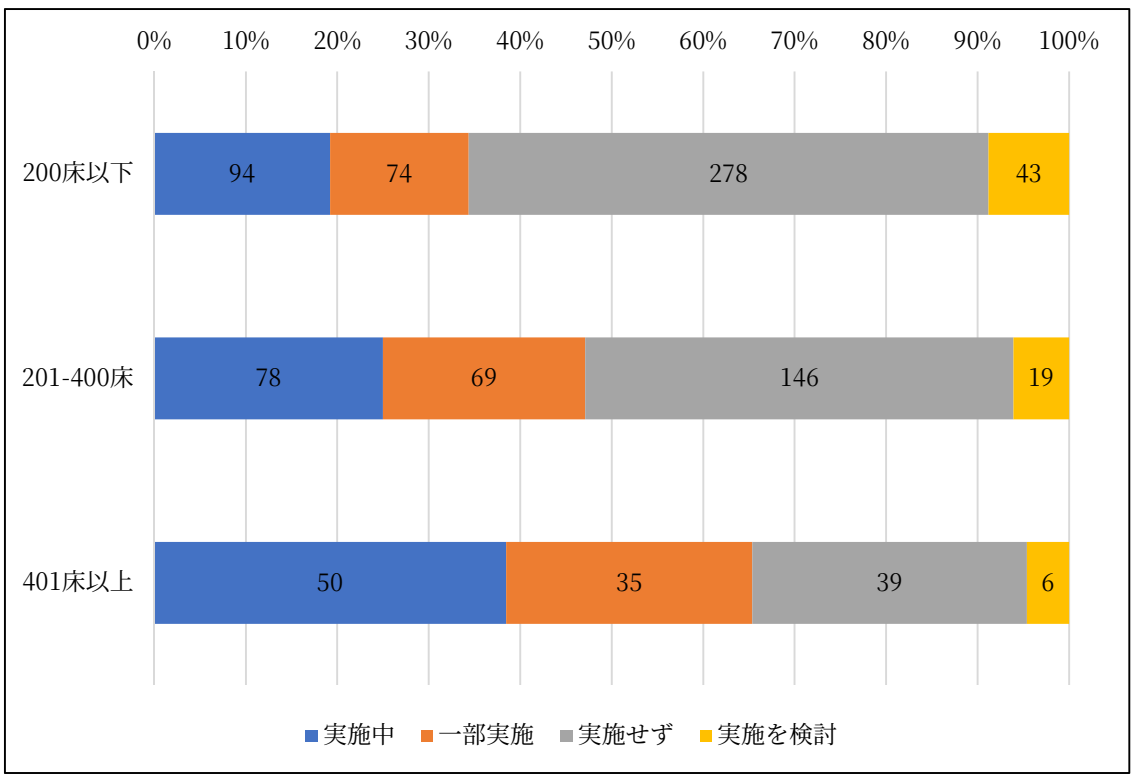

図 54-1. 病床数別

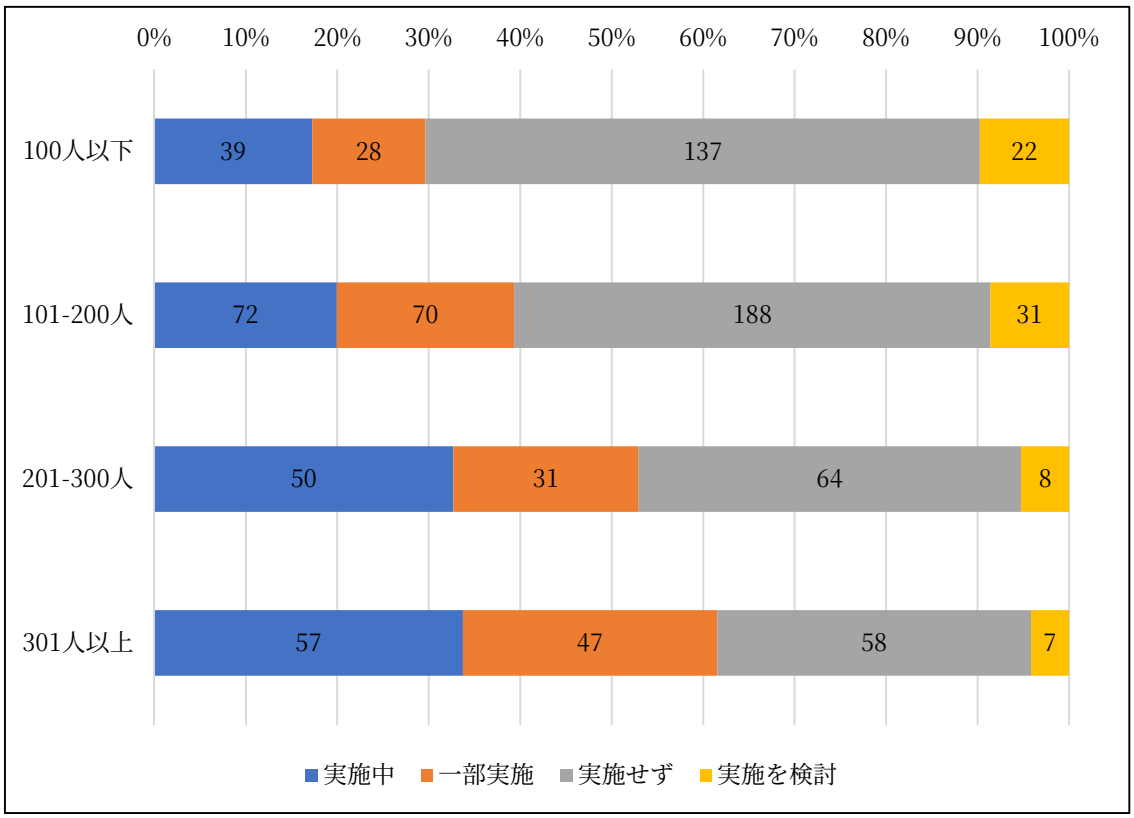

図 54-2. 看護職数別

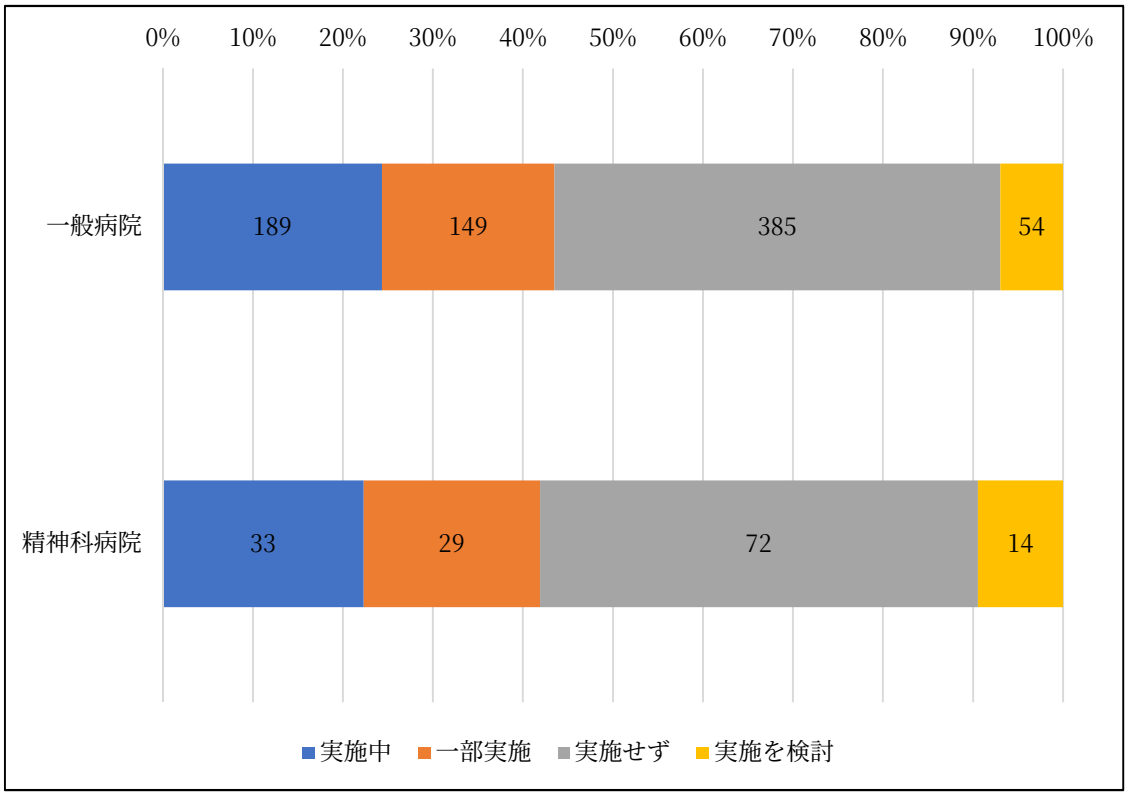

図 54-3. 一般・精神科病院別

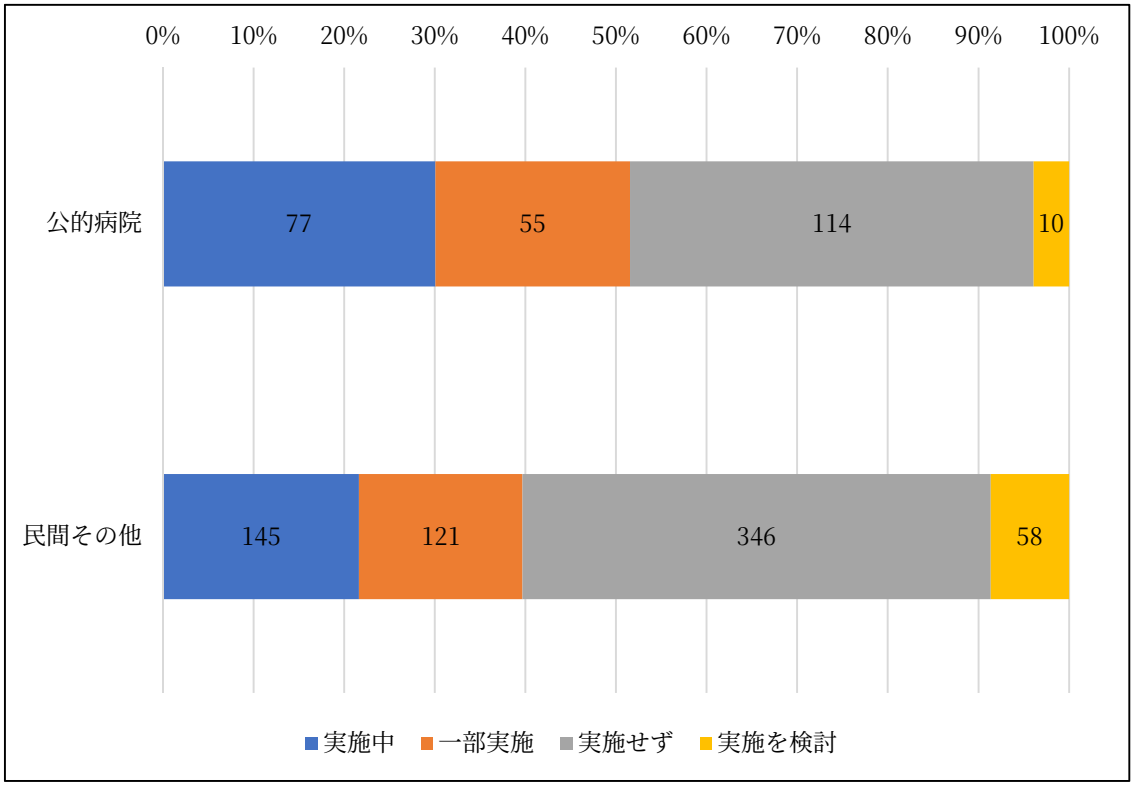

図 54-4. 公的・民間別

6. 発生後の対策の実施状況

①発生後に記録し報告書を提出する

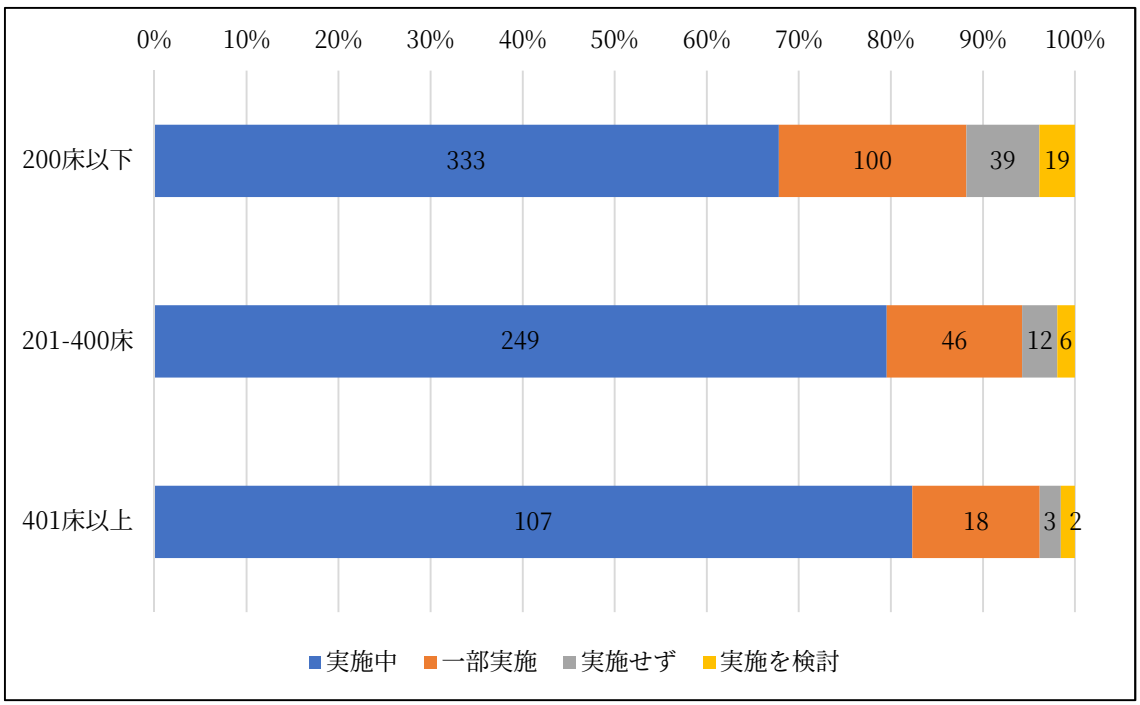

図 55-1. 病床数別

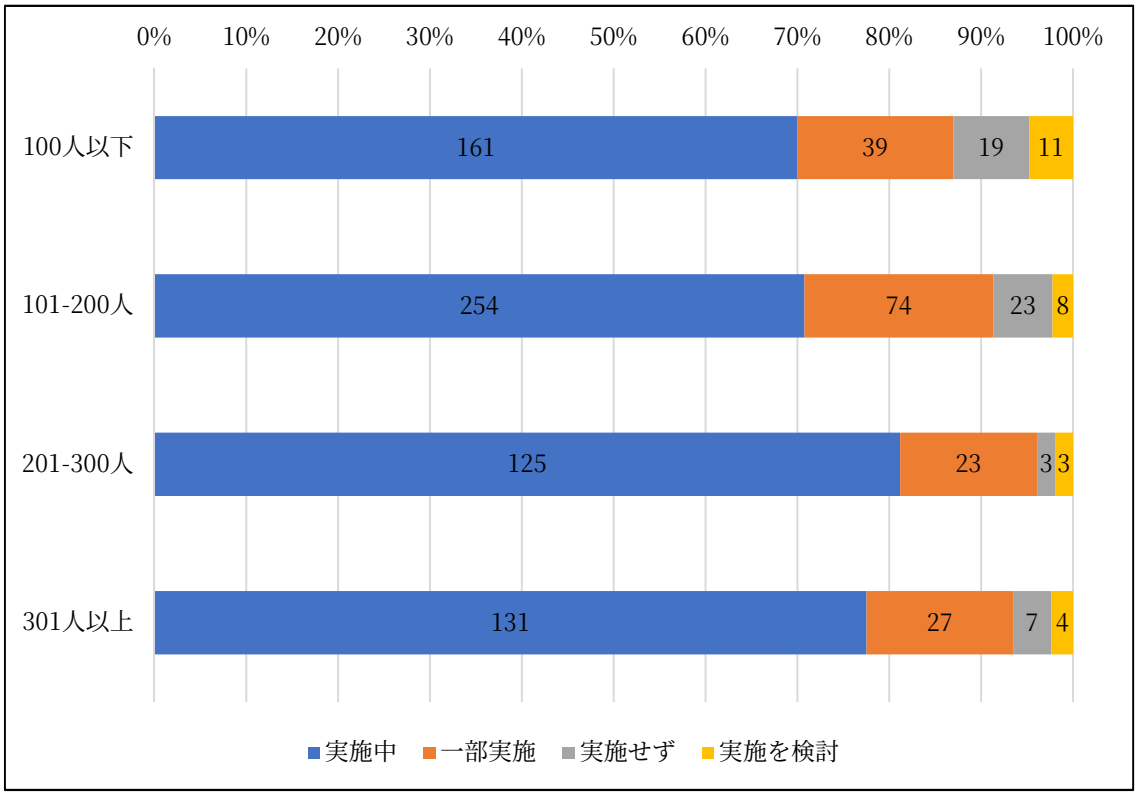

図 55-2. 看護職数別

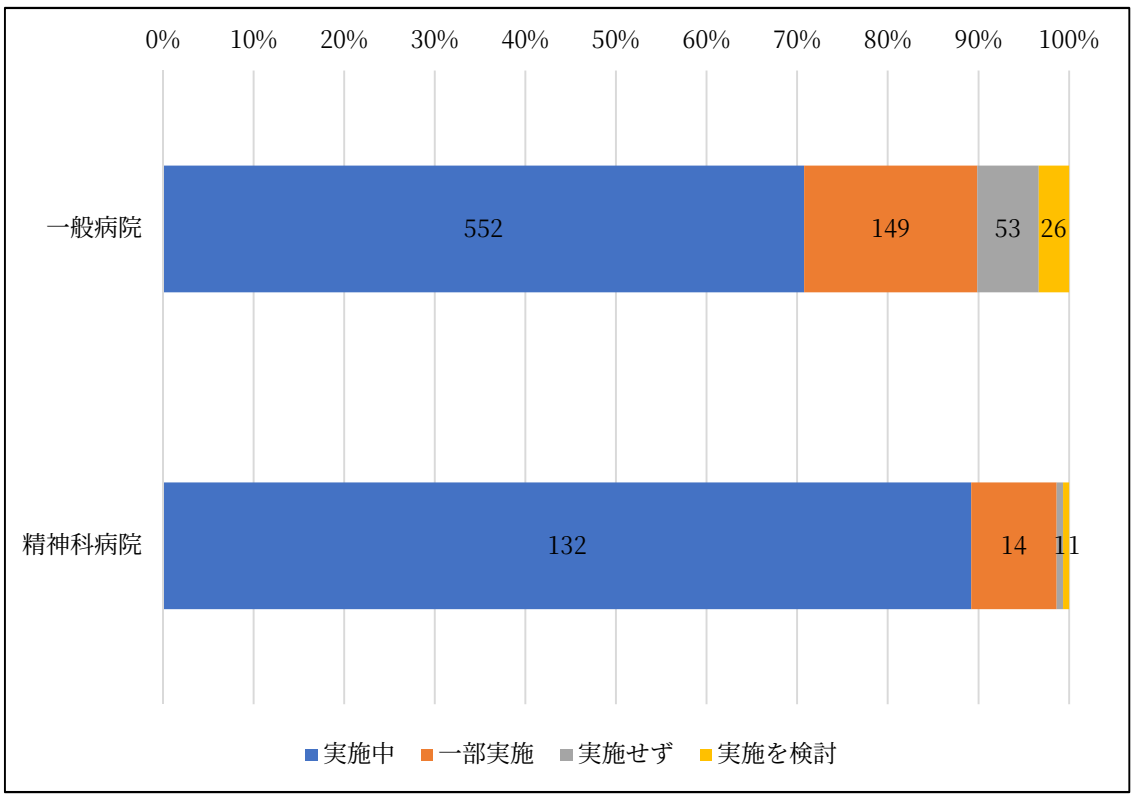

図 55-3. 一般・精神科病院別

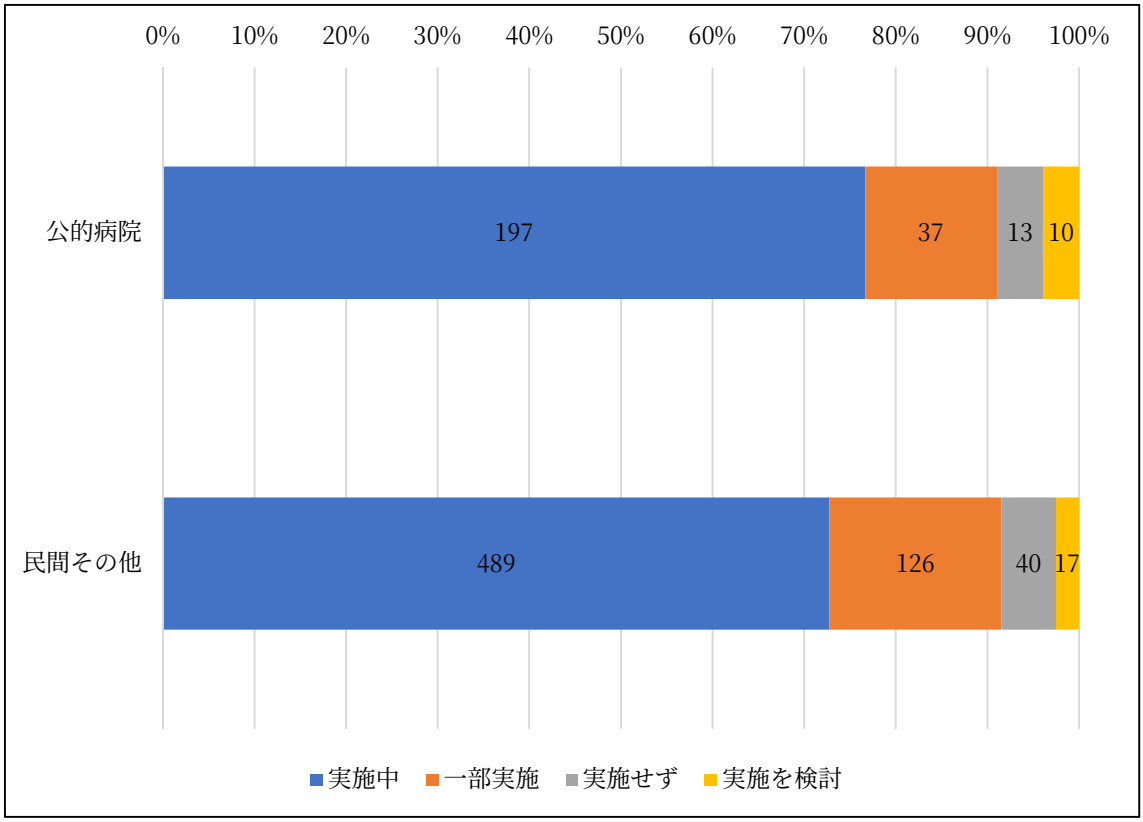

図 55-4. 公的・民間別

②発生後には決められた対応手順で報告する

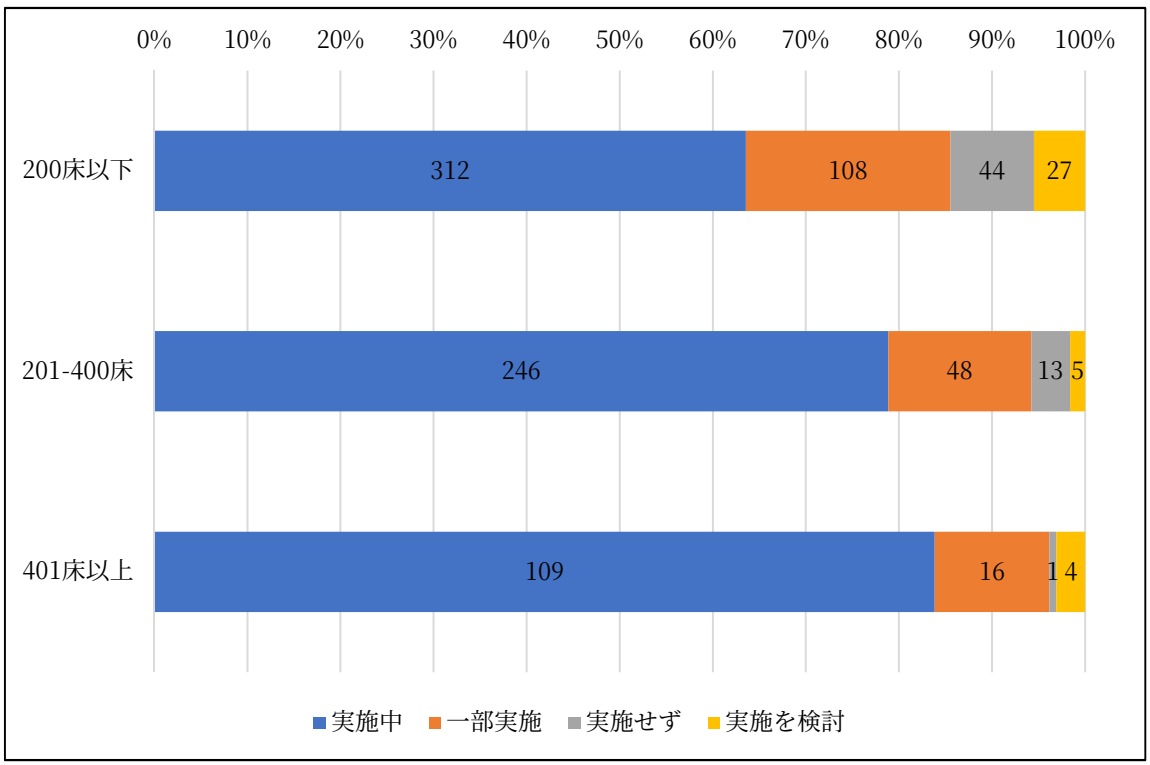

図 56-1. 病床数別

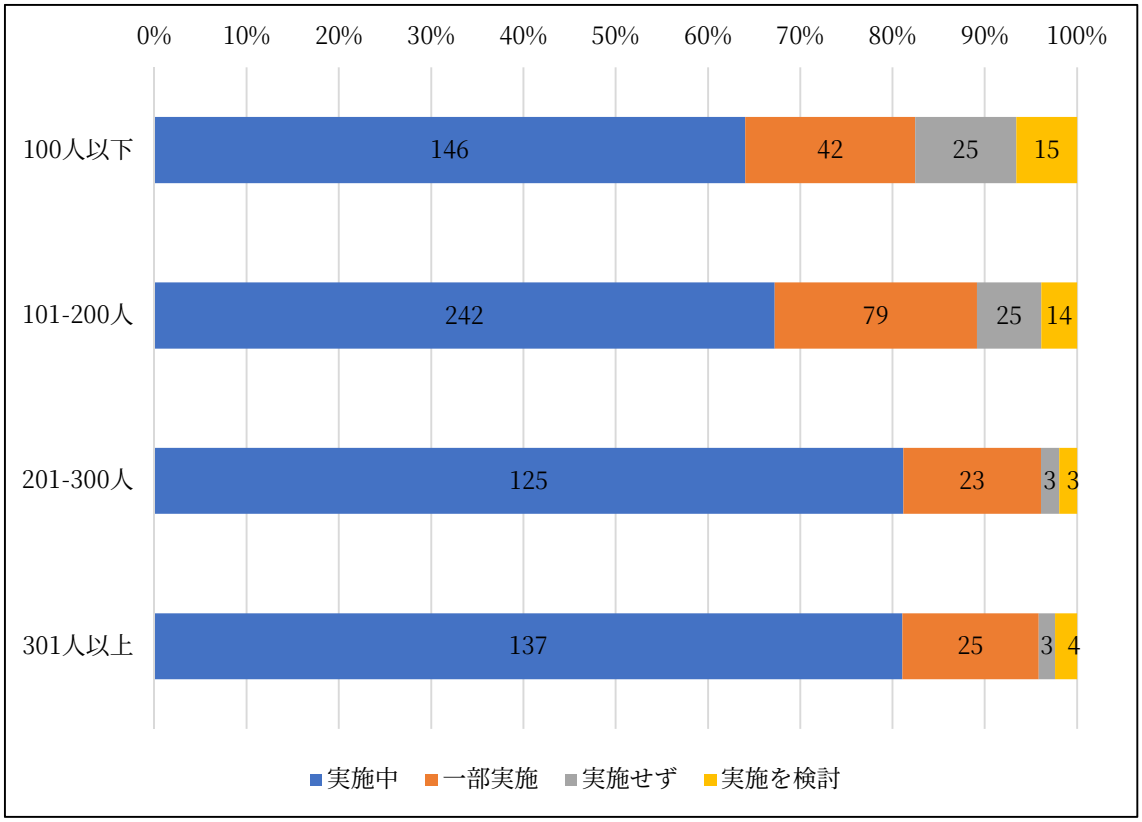

図 56-2. 看護職数別

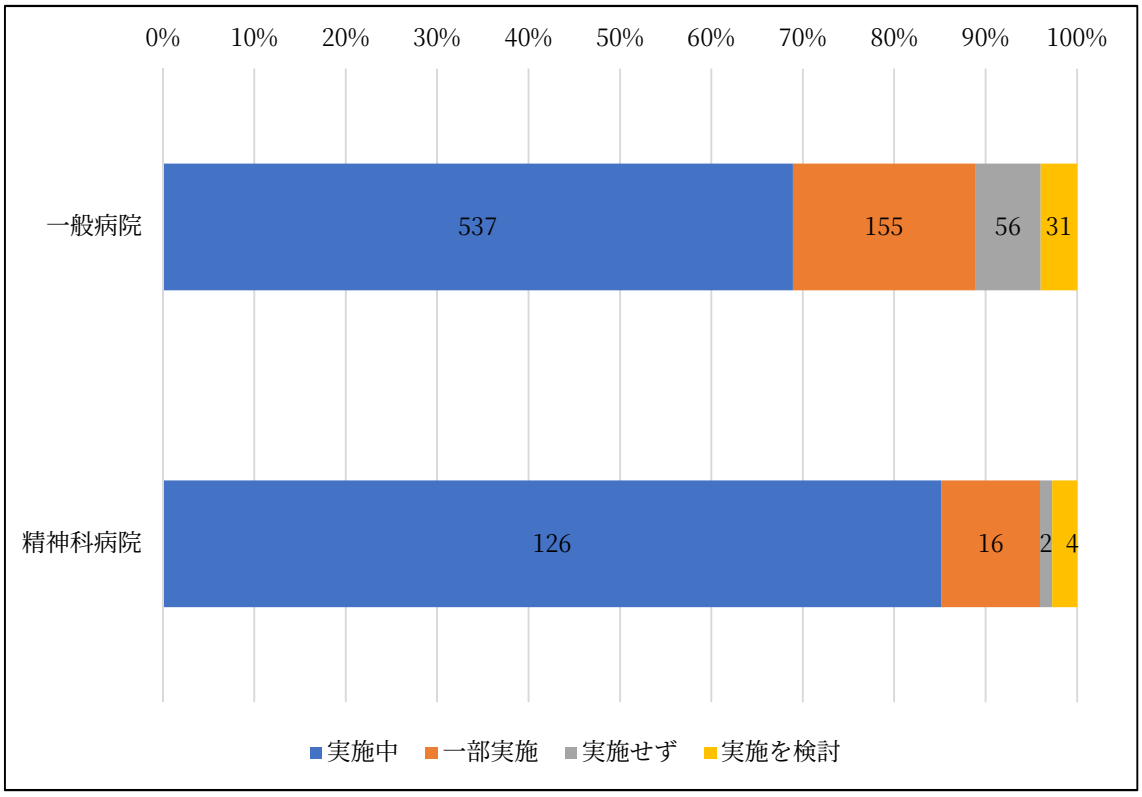

図 56-3. 一般・精神科病院別

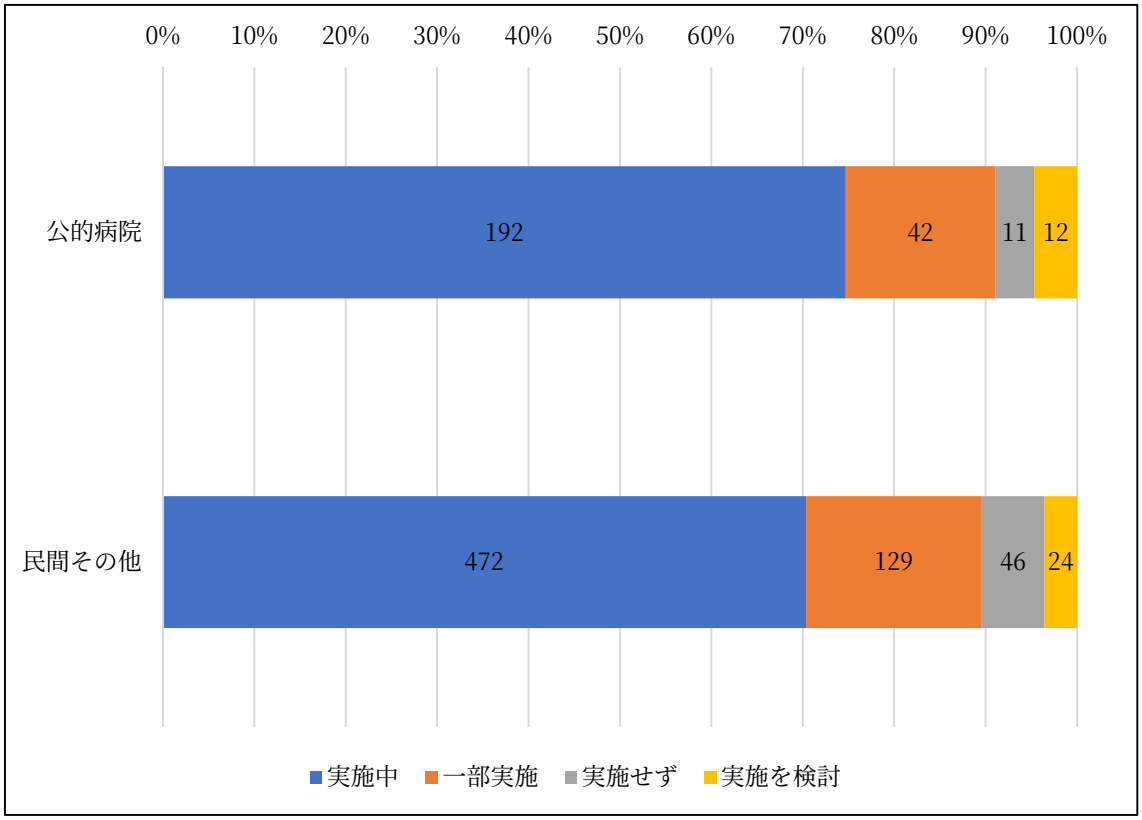

図 56-4. 公的・民間別

③暴力等の行為者に迅速に対応策を検討する

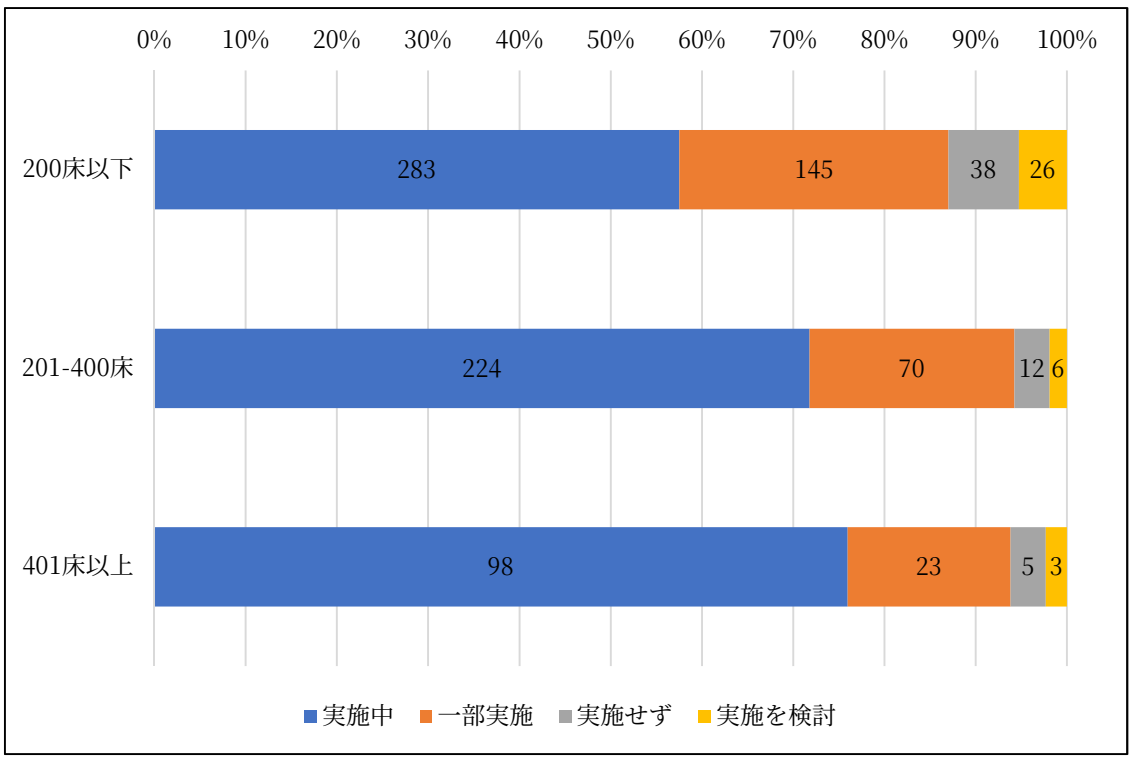

図 57-1. 病床数別

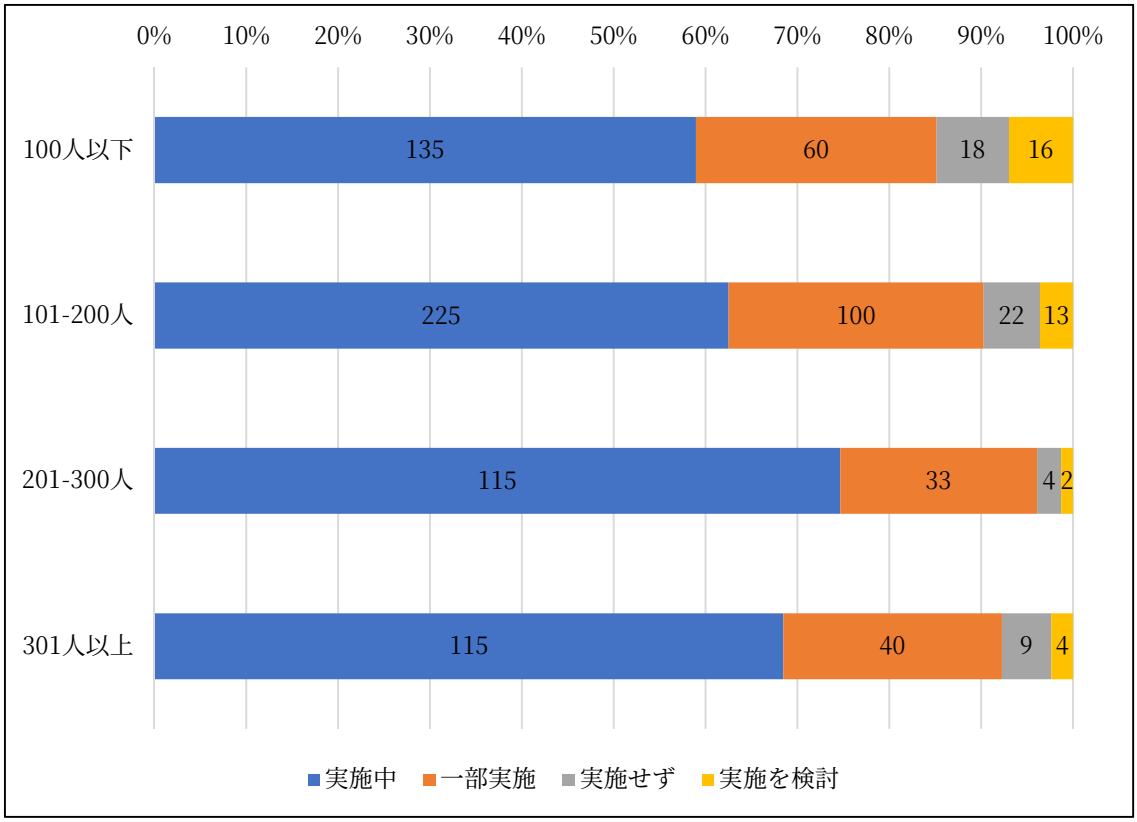

図 57-2. 看護職数別

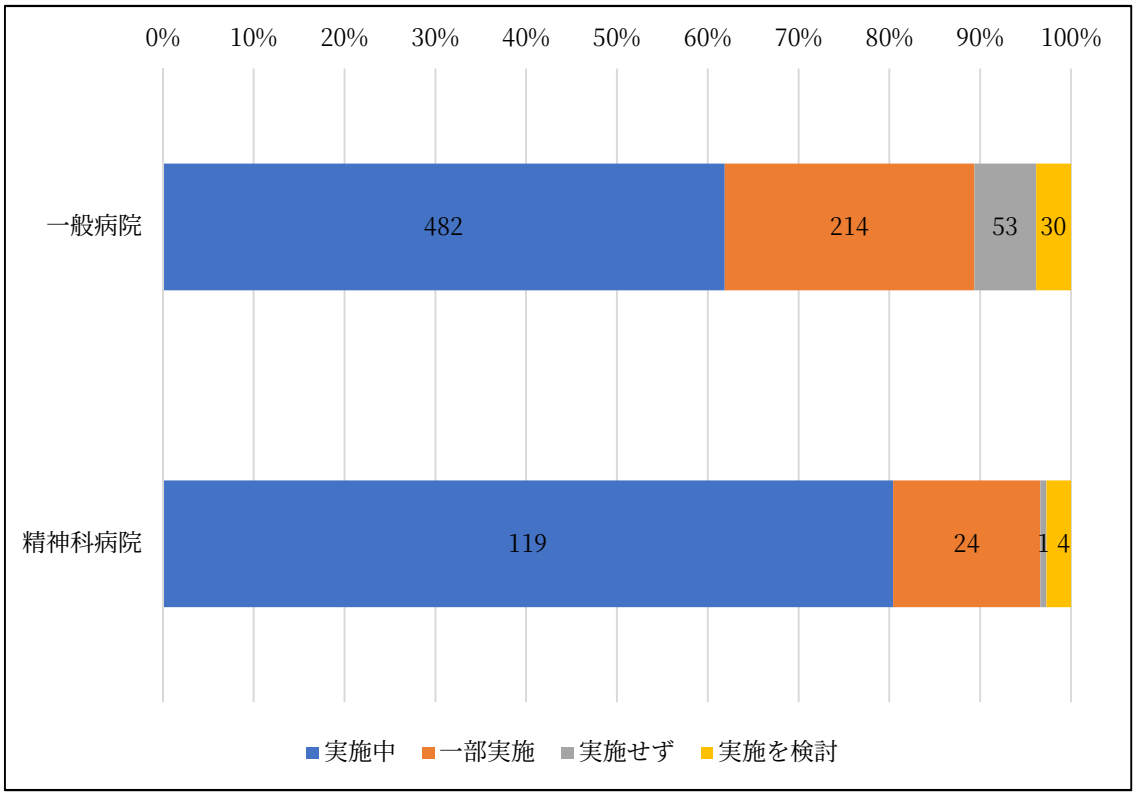

図 57-3. 一般・精神科病院別

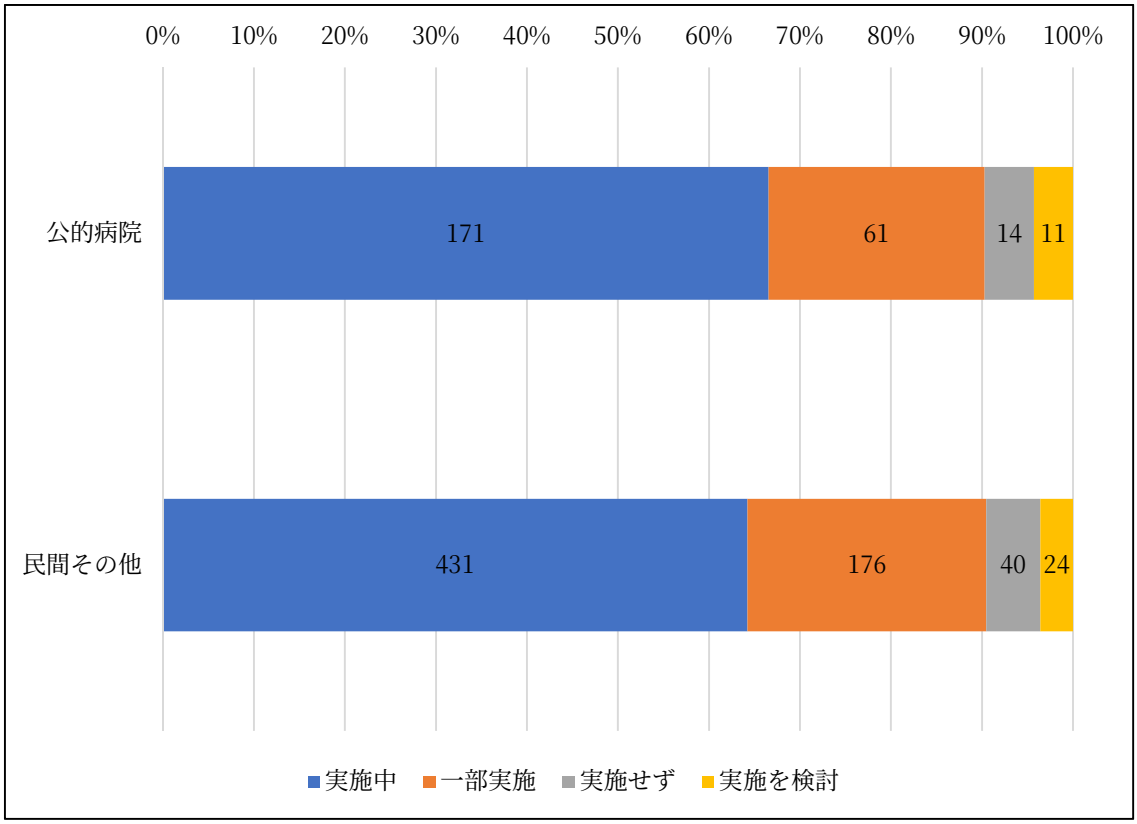

図 57-4. 公的・民間別

④暴力等のケースを振り返り院内で再発防止を検討する

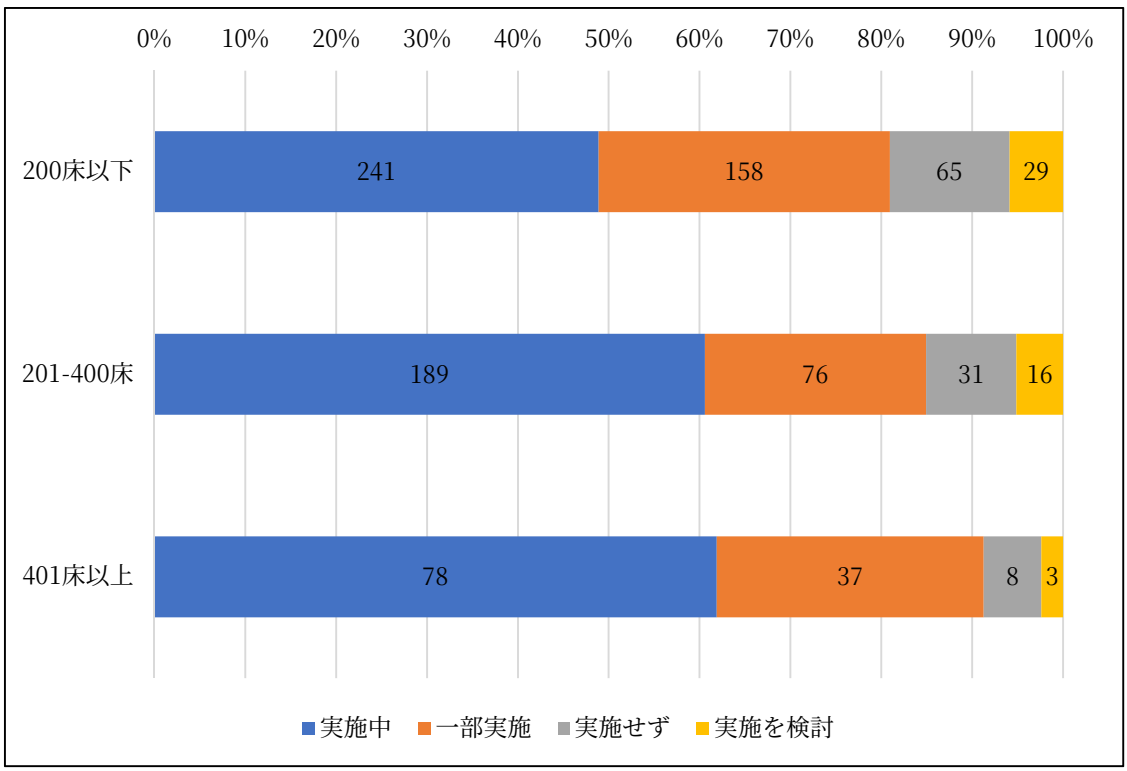

図 58-1. 病床数別

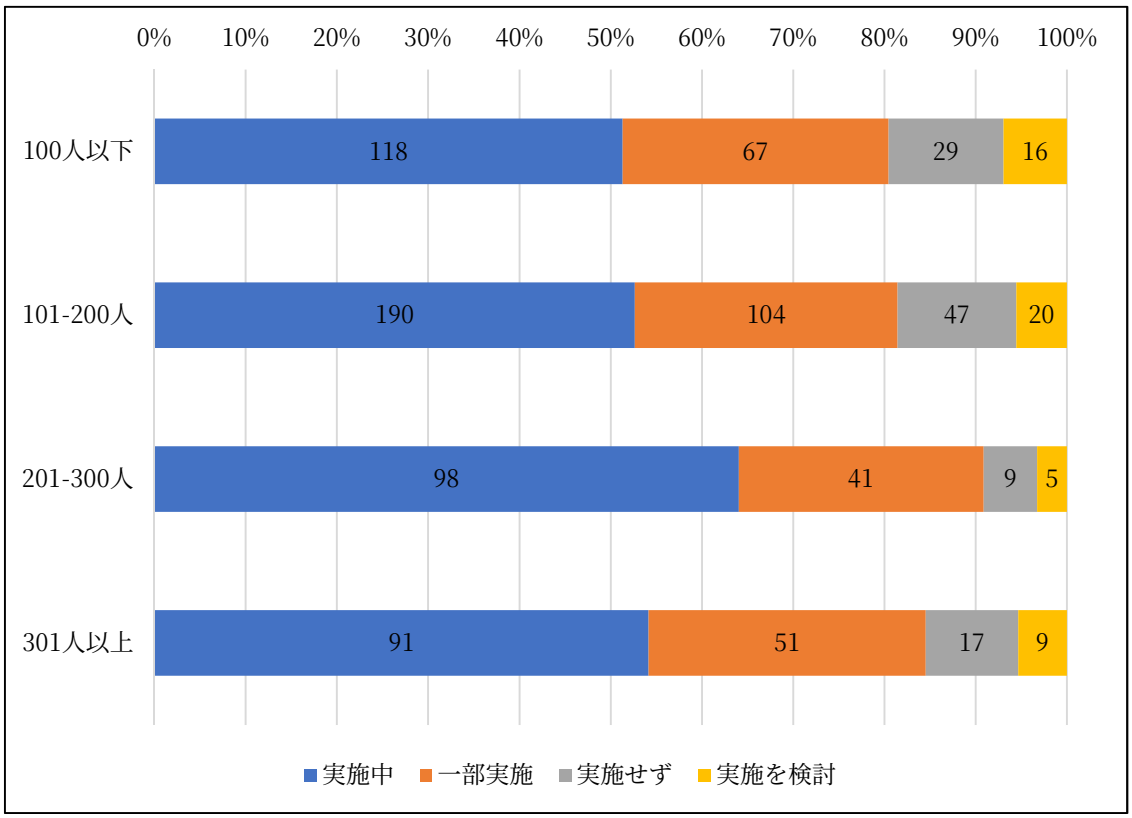

図 58-2. 看護職数別

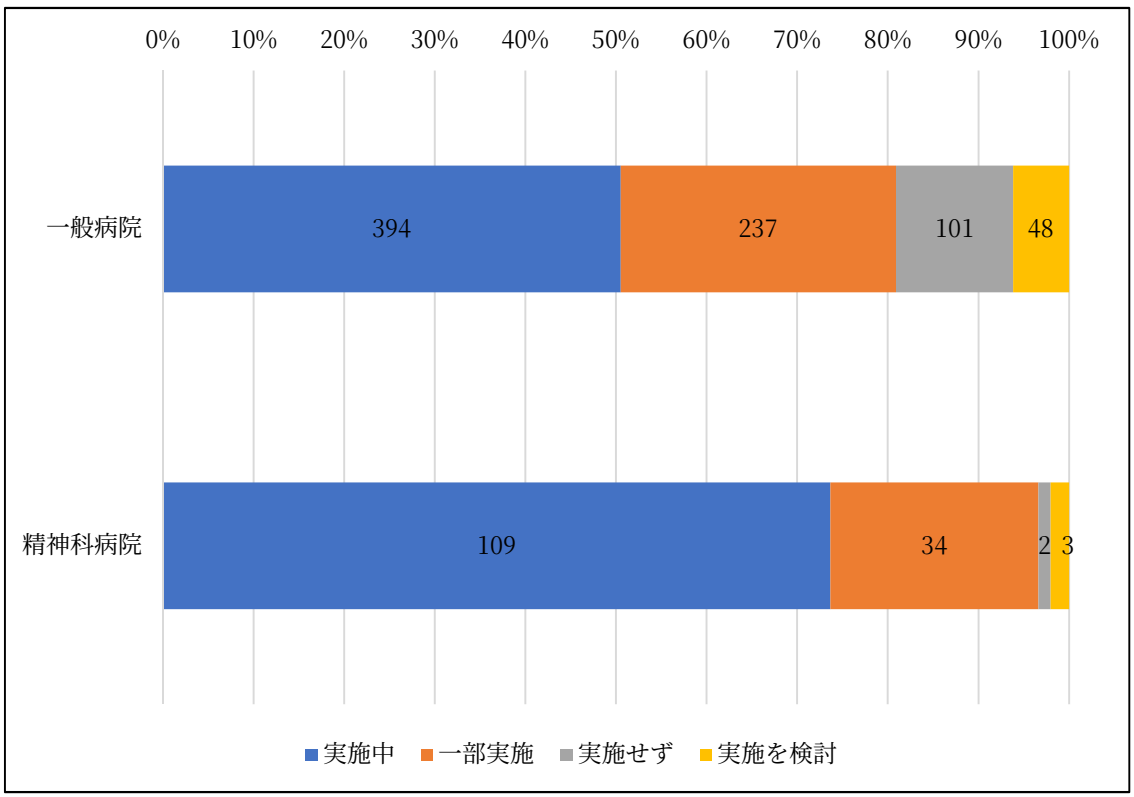

図 58-3. 一般・精神科病院別

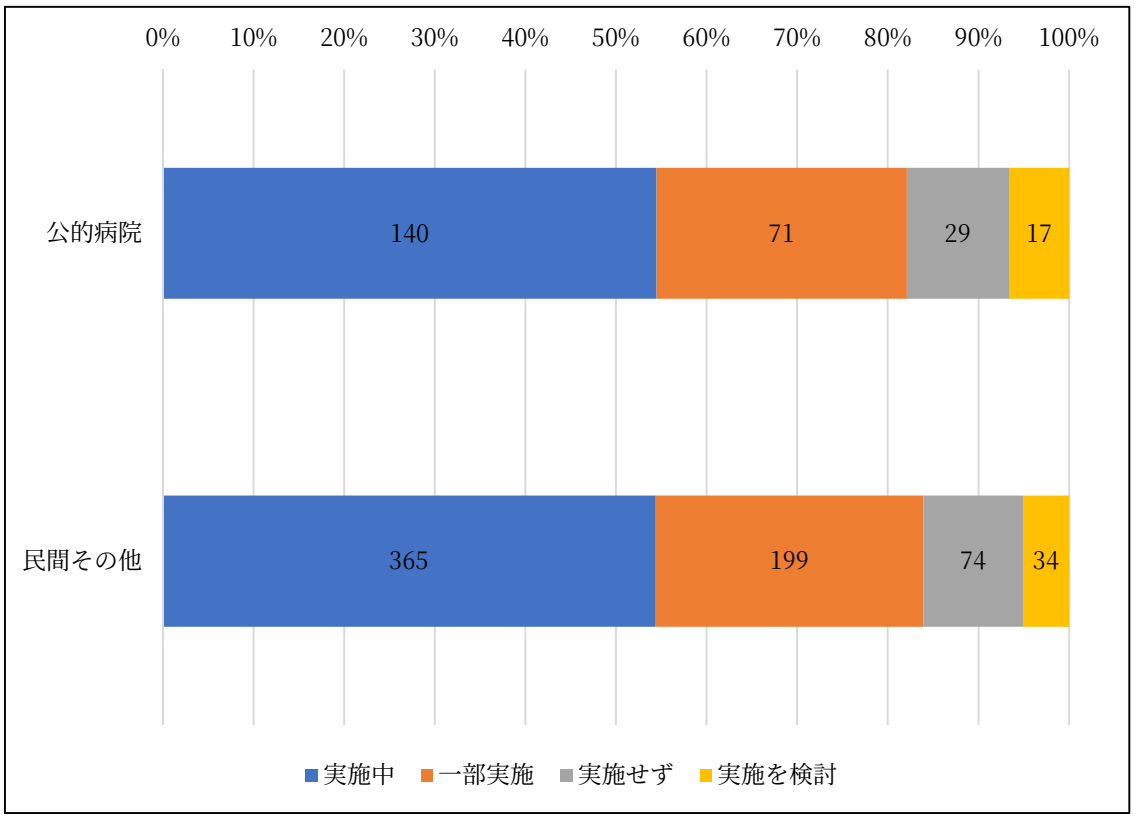

図 58-4. 公的・民間別

⑤暴力等のケースについて他の医療機関と情報共有する

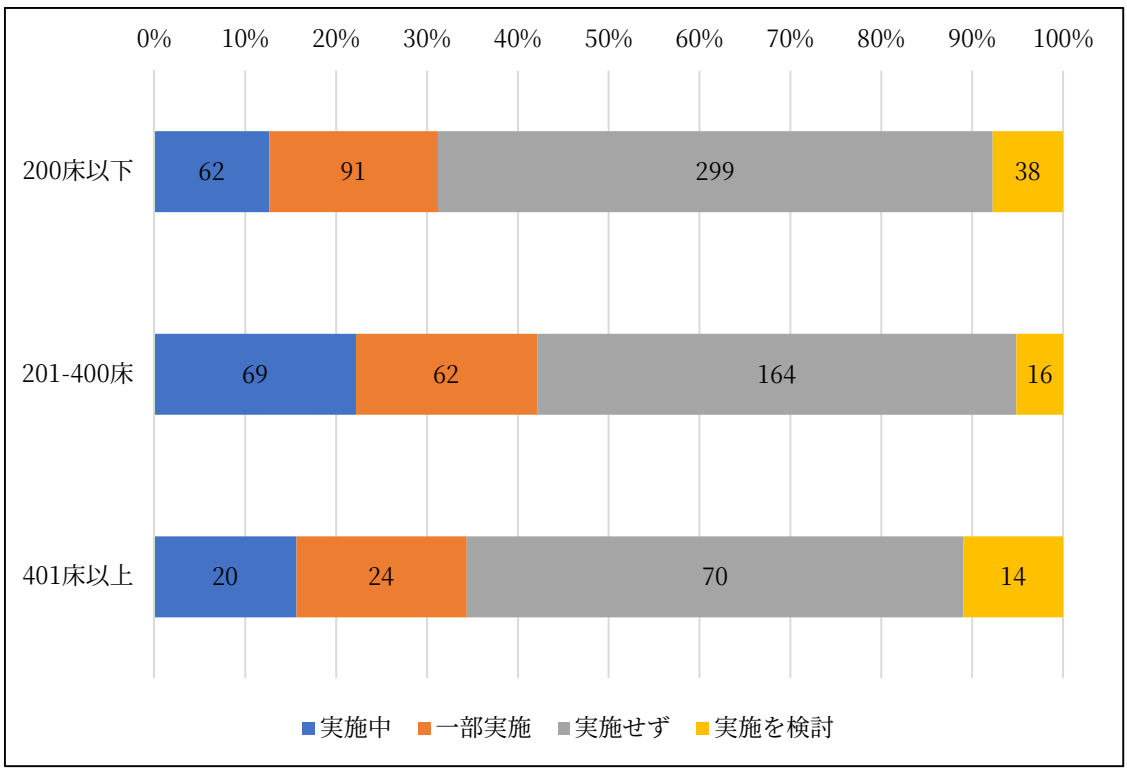

図 59-1. 病床数別

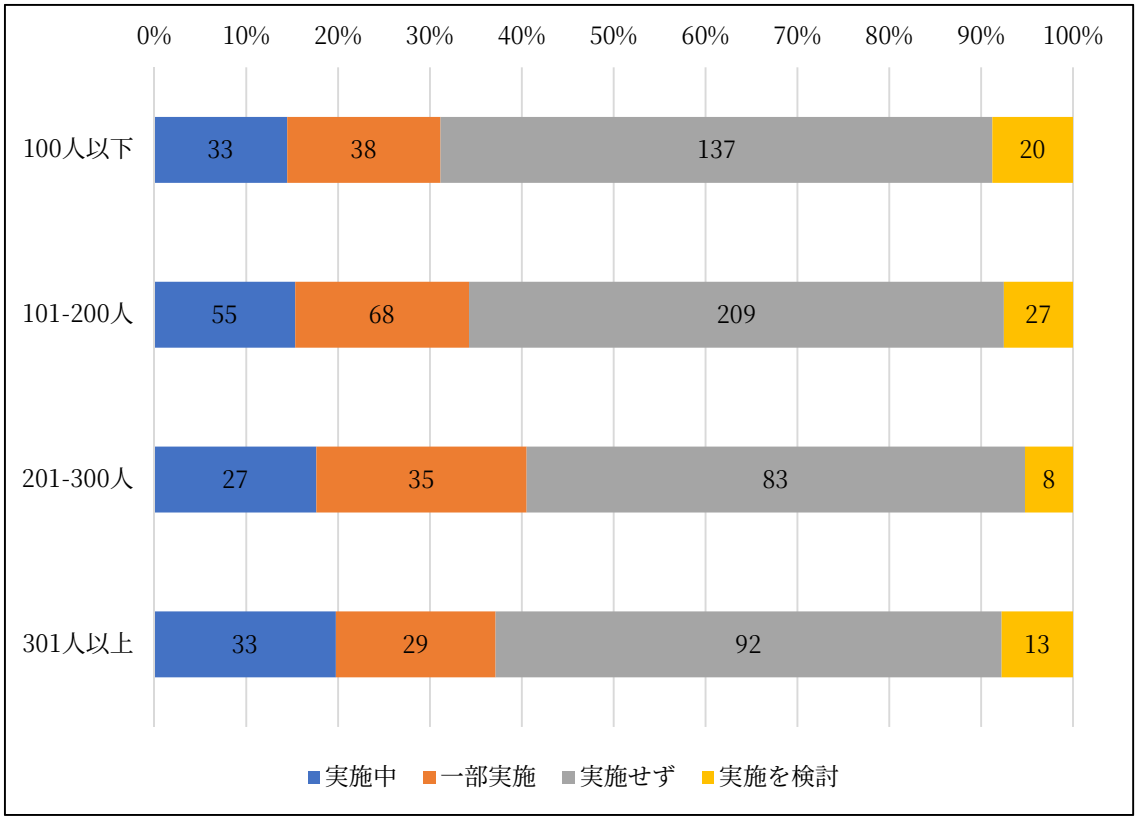

図 59-2. 看護職数別

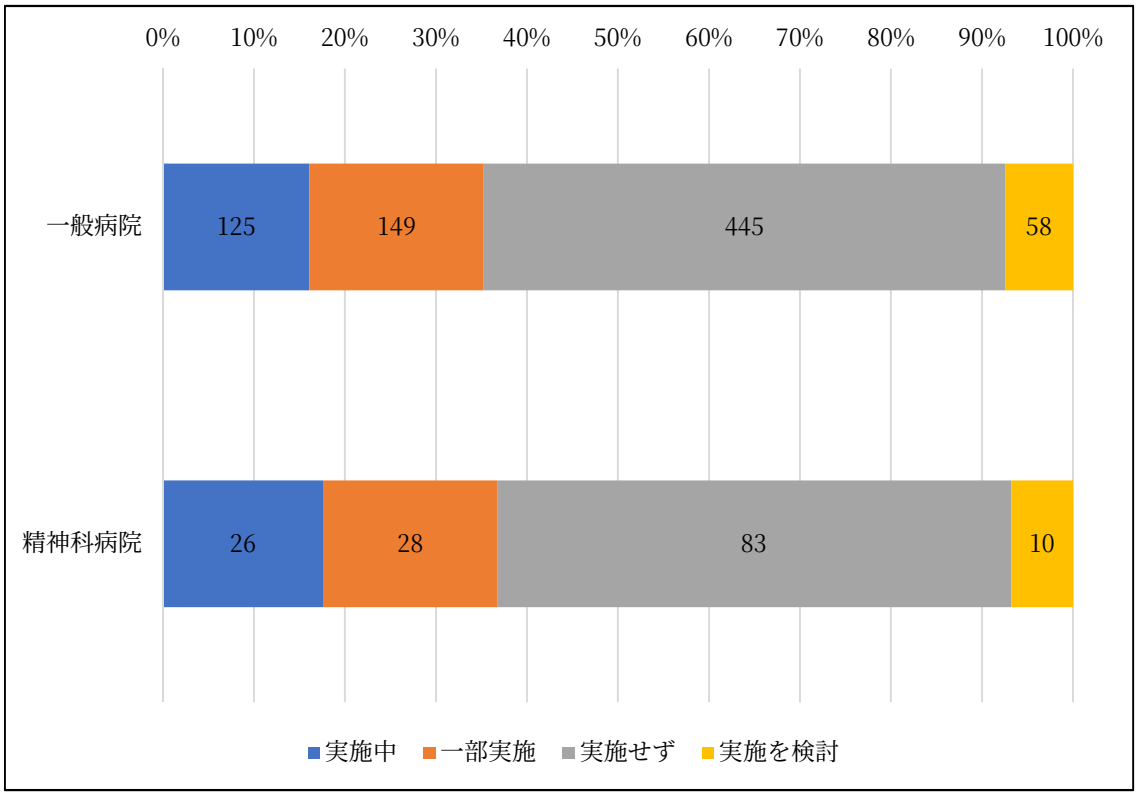

図 59-3. 一般・精神科病院別

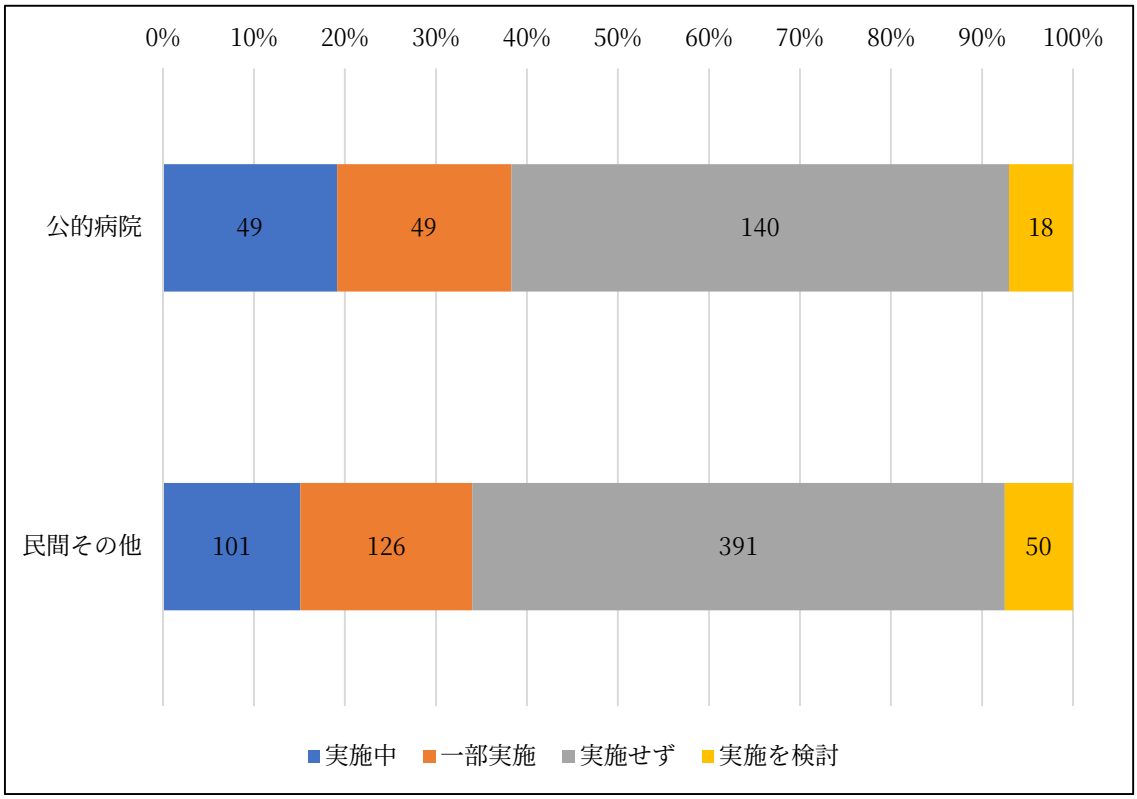

図 59-4. 公的・民間別

⑥警察に被害届を出す体制がある

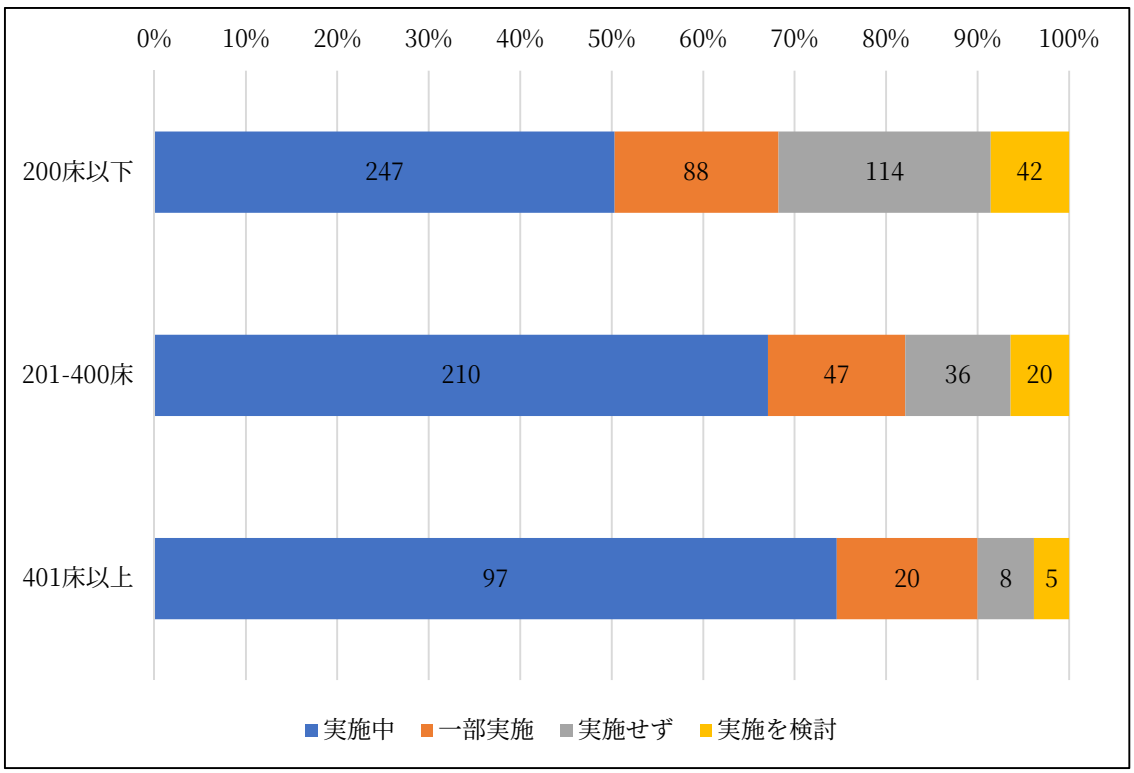

図 60-1. 病床数別

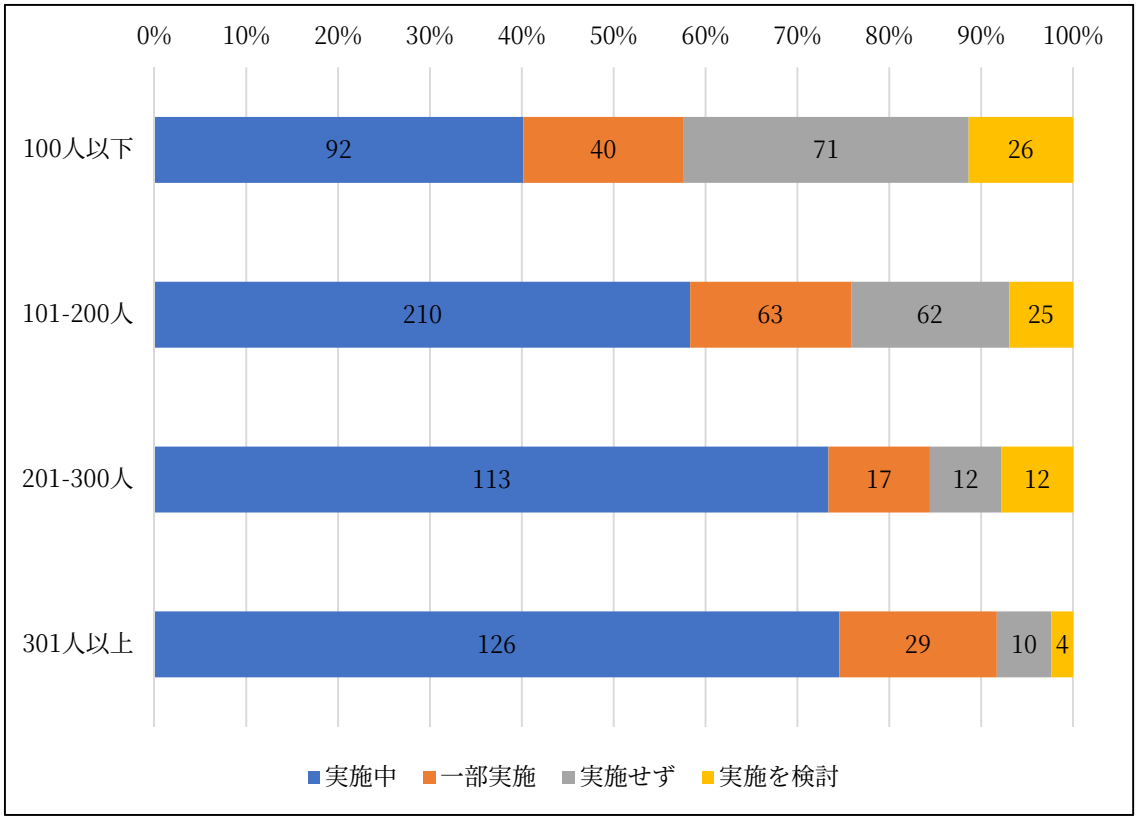

図 60-2. 看護職数別

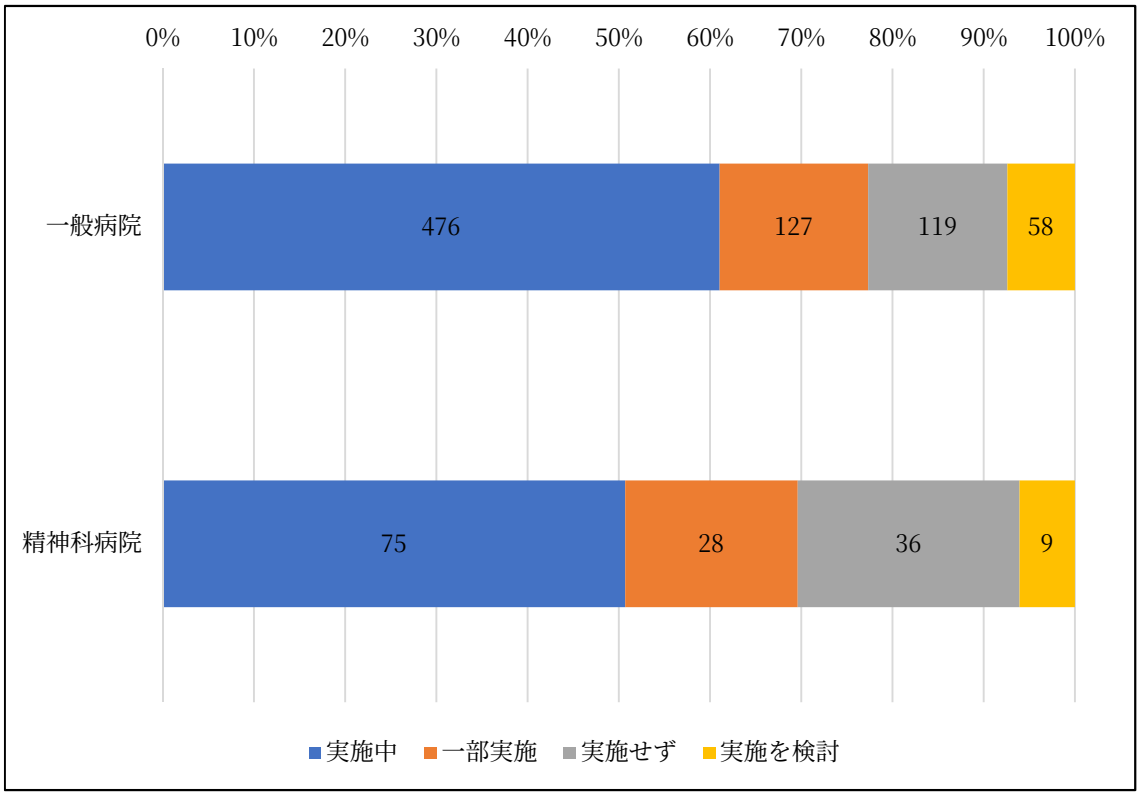

図 60-3. 一般・精神科病院別

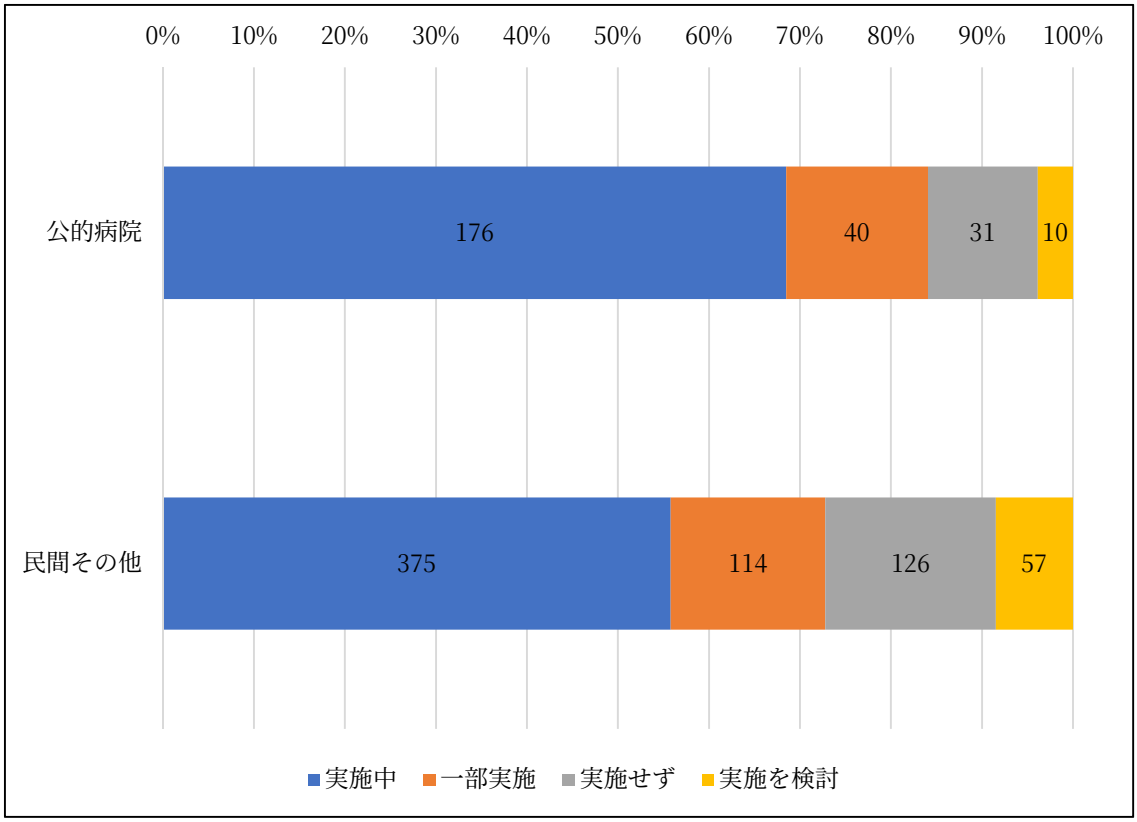

図 60-4. 公的・民間別

⑦弁護士に相談する体制がある

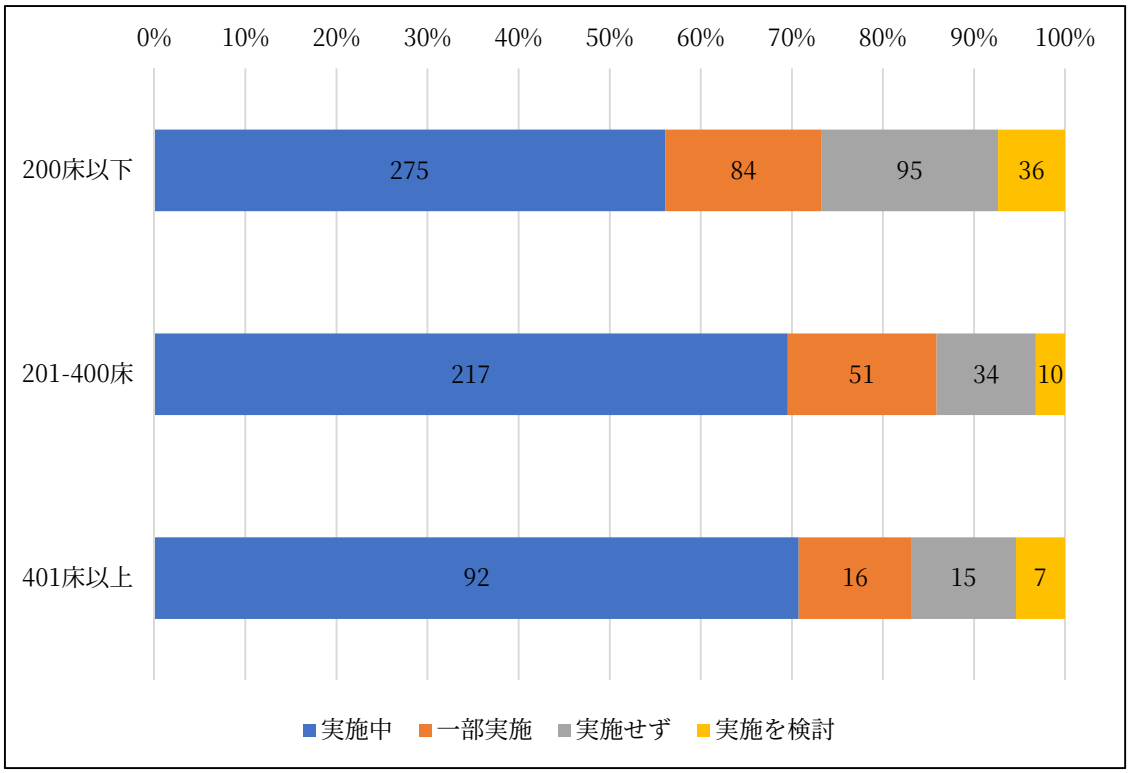

図 61-1. 病床数別

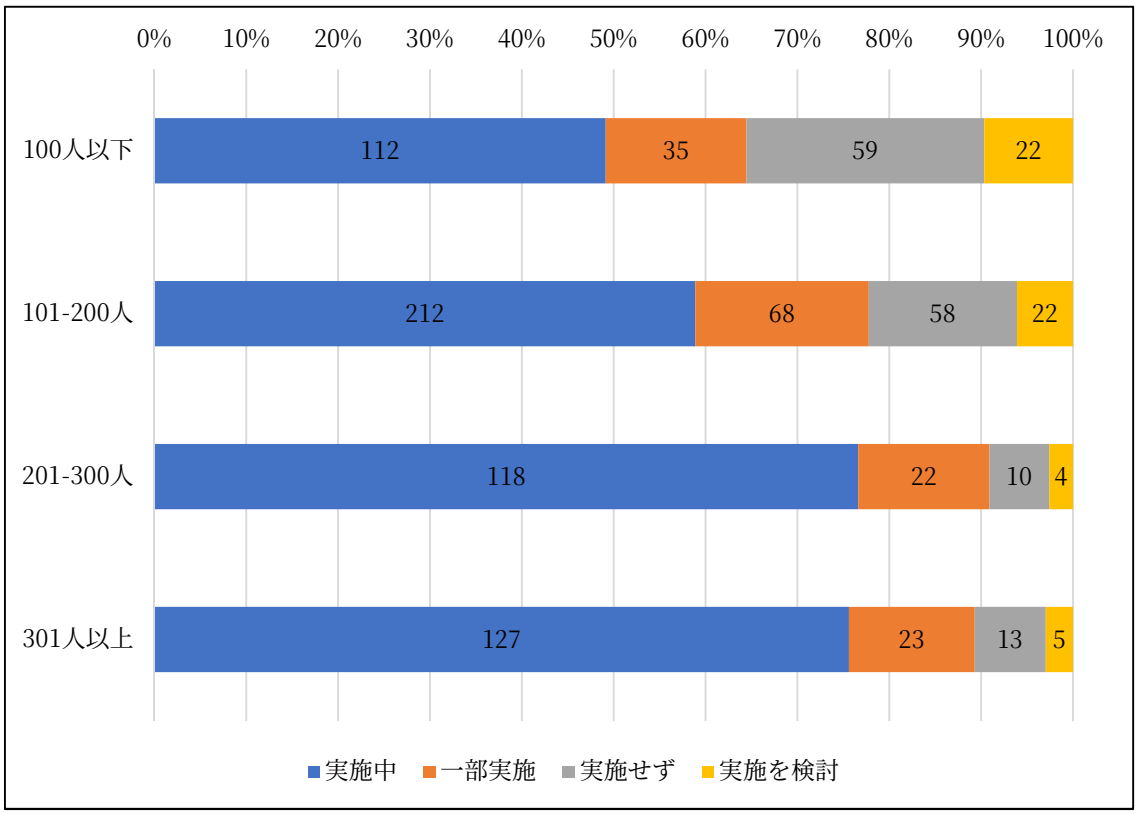

図 61-2. 看護職数別

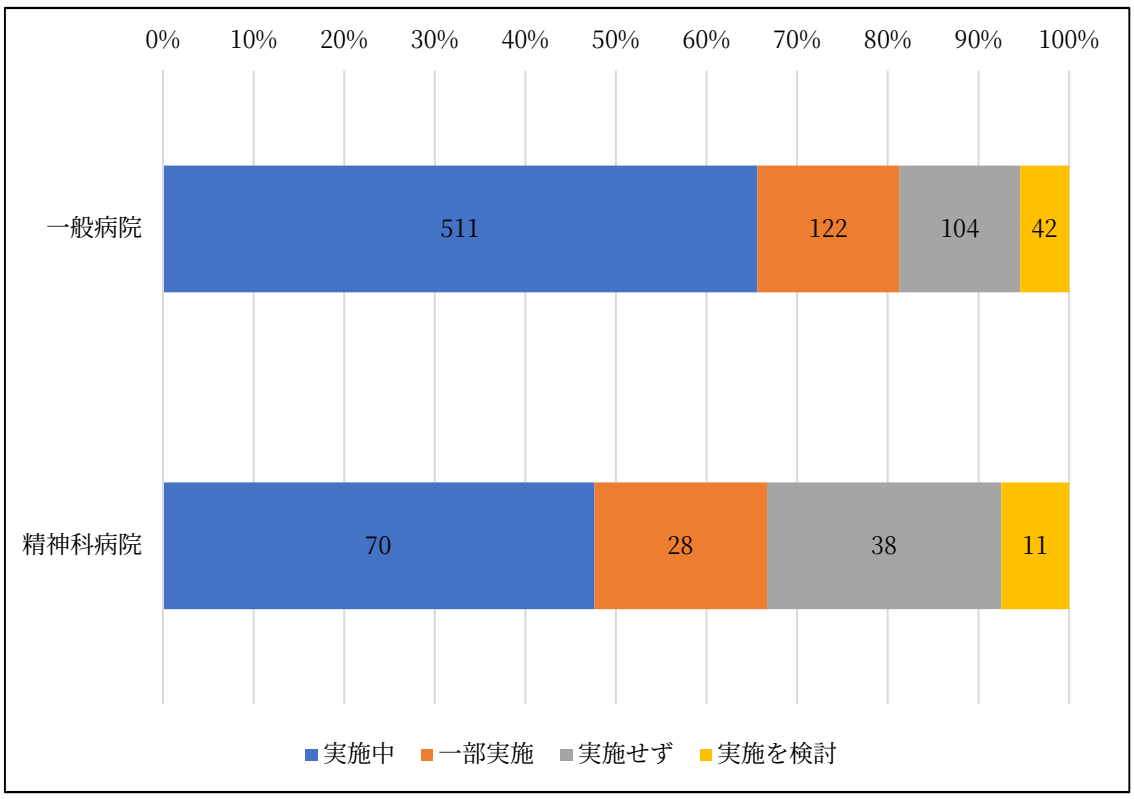

図 61-3. 一般・精神科病院別

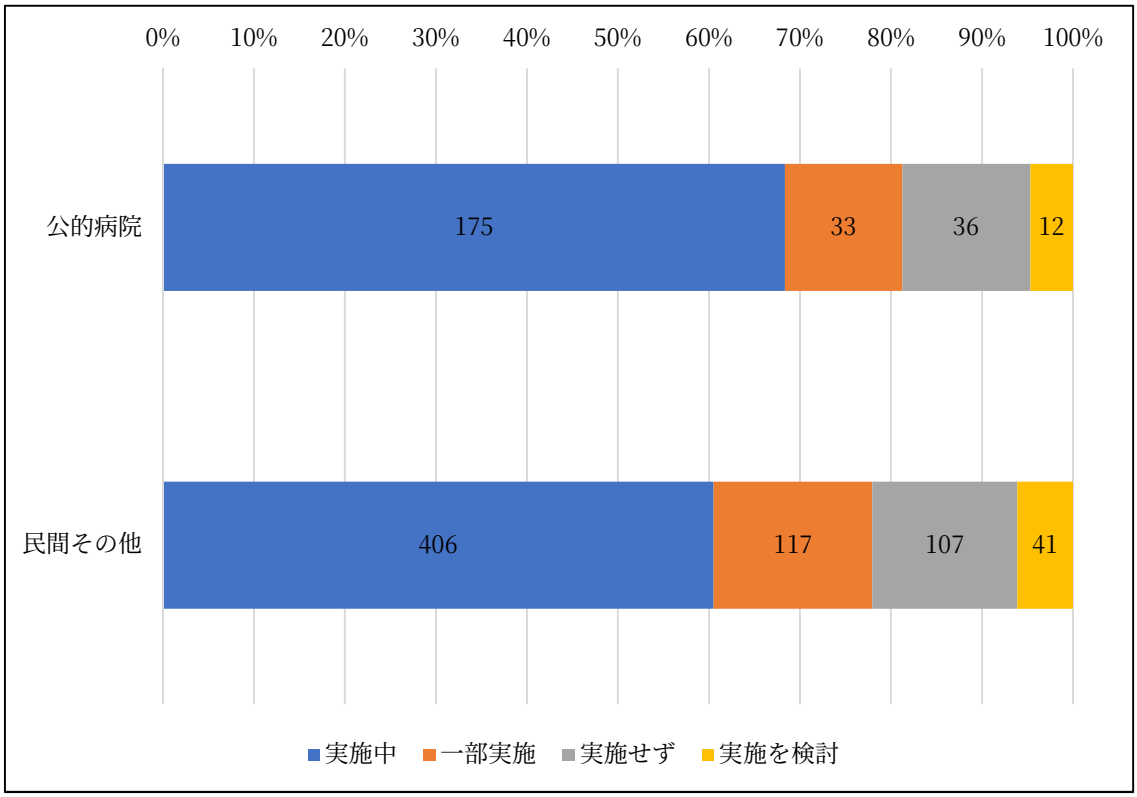

図 61-4. 公的・民間別

7. 暴力等の被害を受けた職員への支援体制

①暴力等の被害を受けた職員が利用できる相談窓口がある

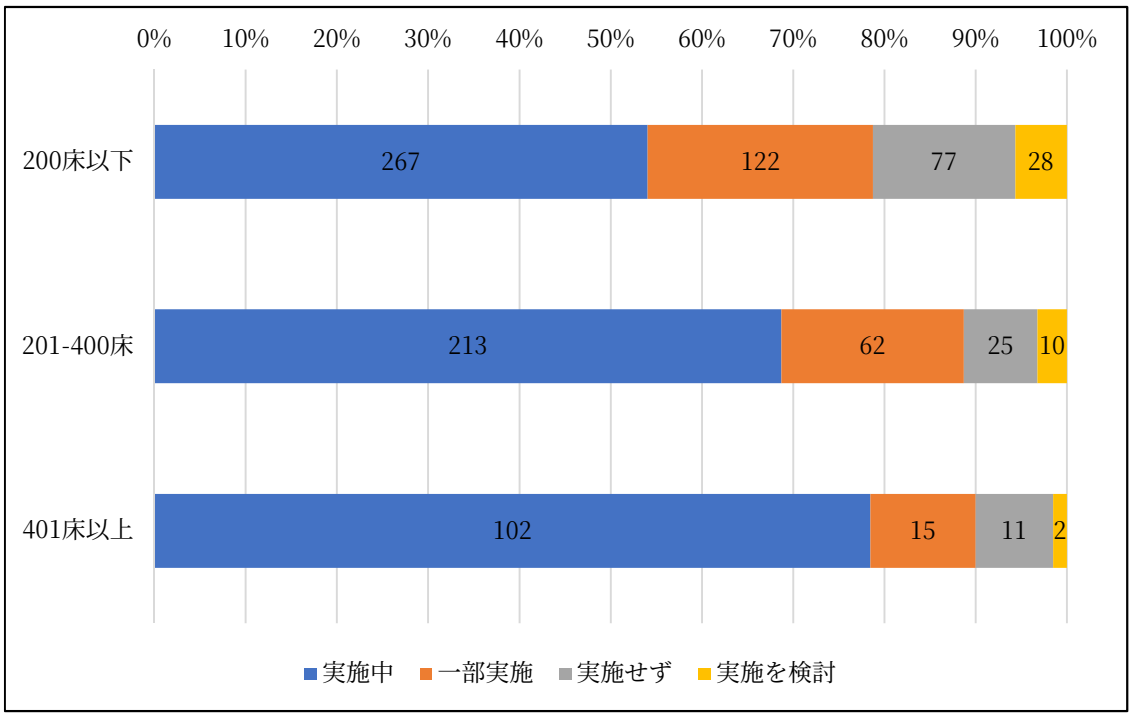

図 62-1. 病床数別

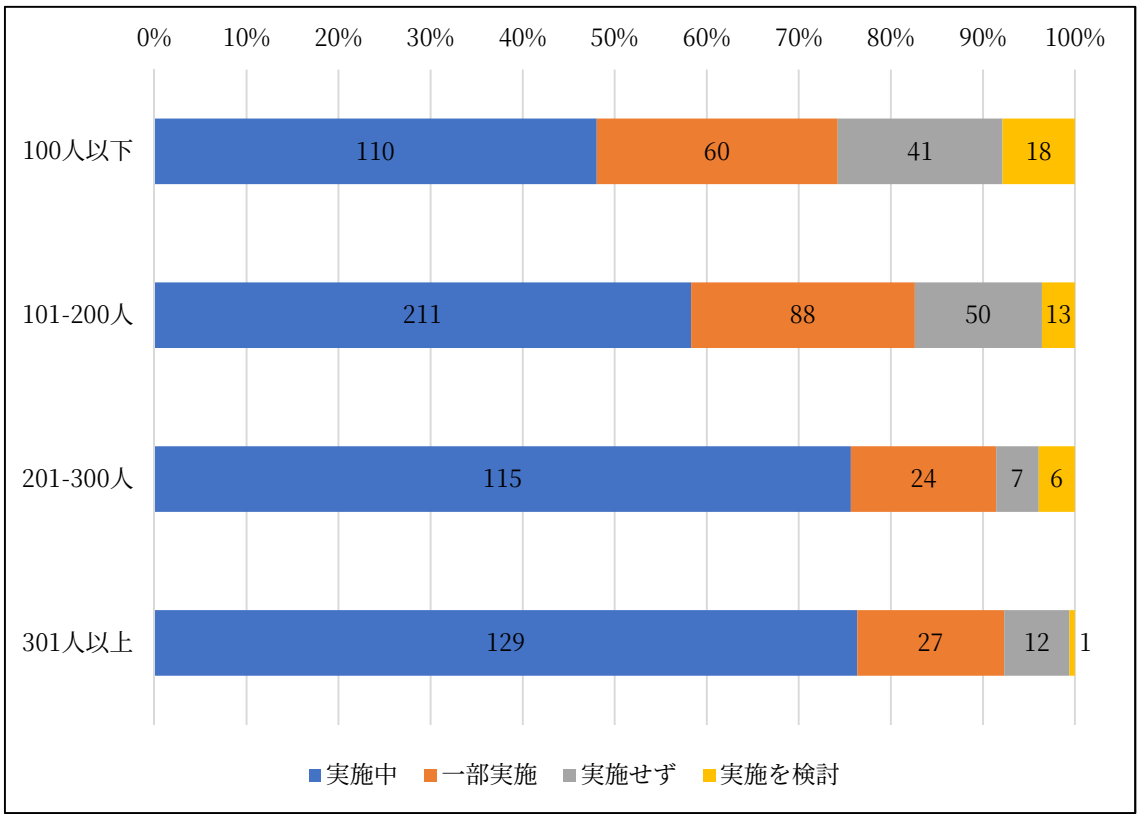

図 62-2. 看護職数別

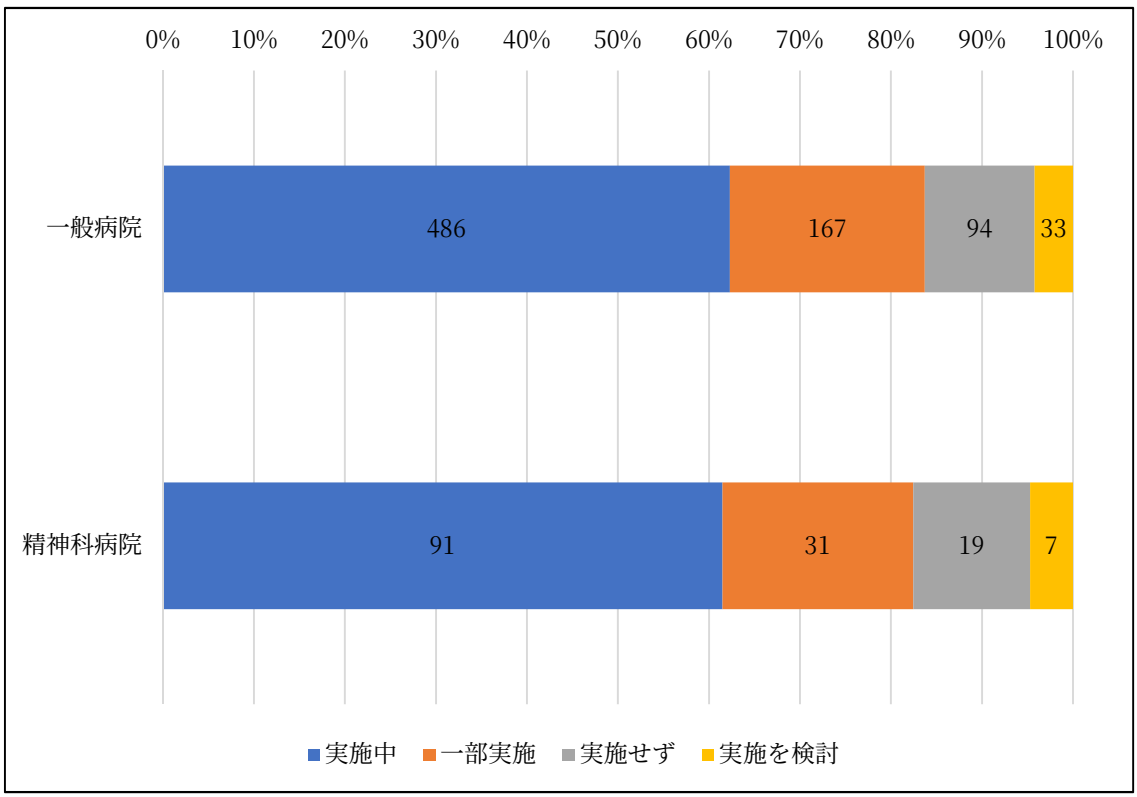

図 62-3. 一般・精神科病院別

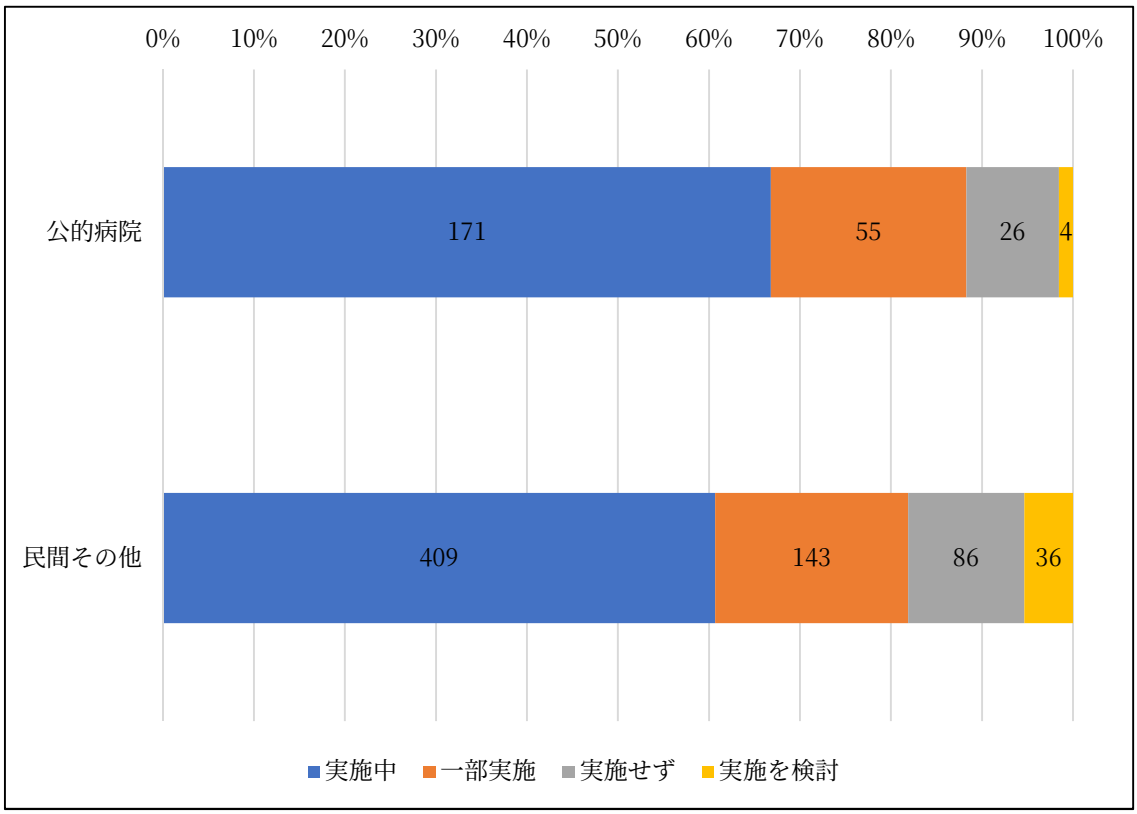

図 62-4. 公的・民間別

②被害を受けた職員に対し、必要な面談やケアを提供する体制がある

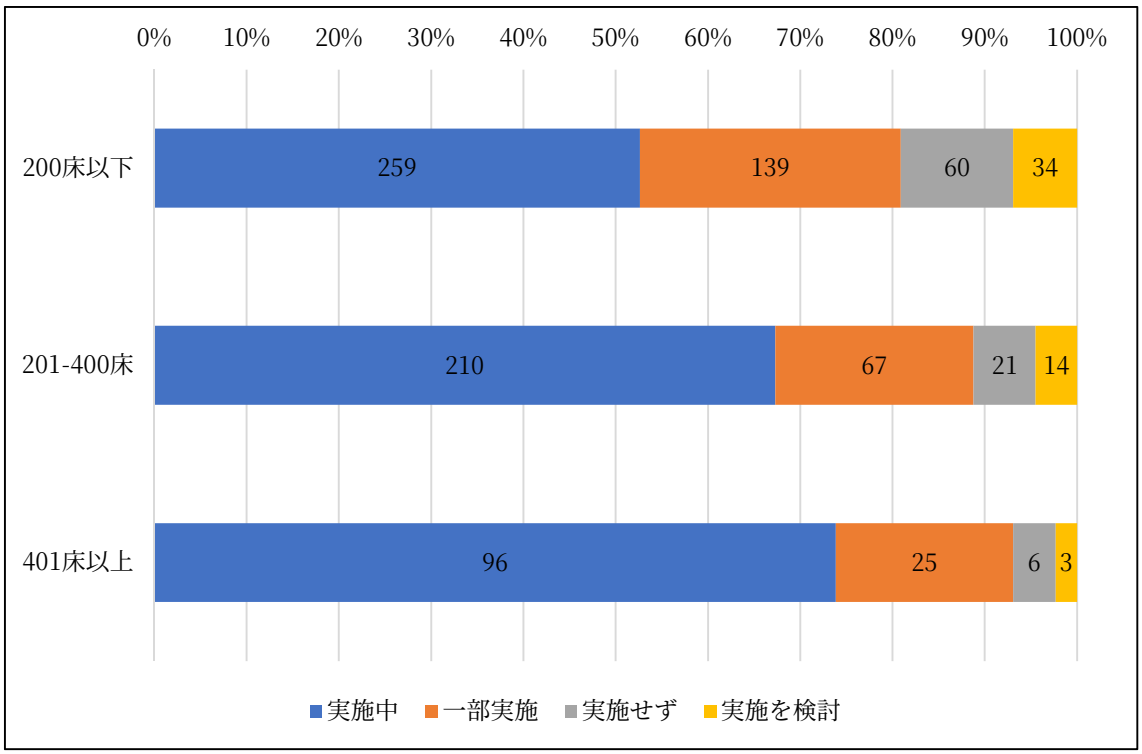

図 63-1. 病床数別

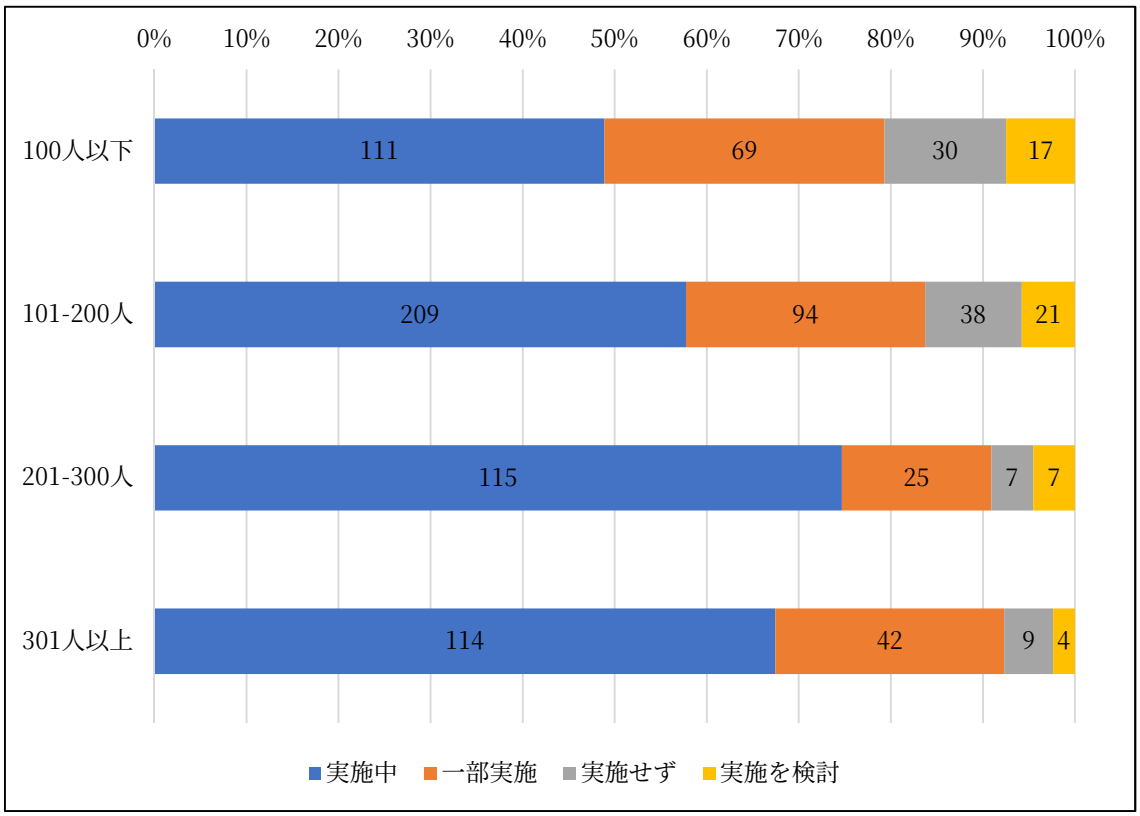

図 63-2. 看護職数別

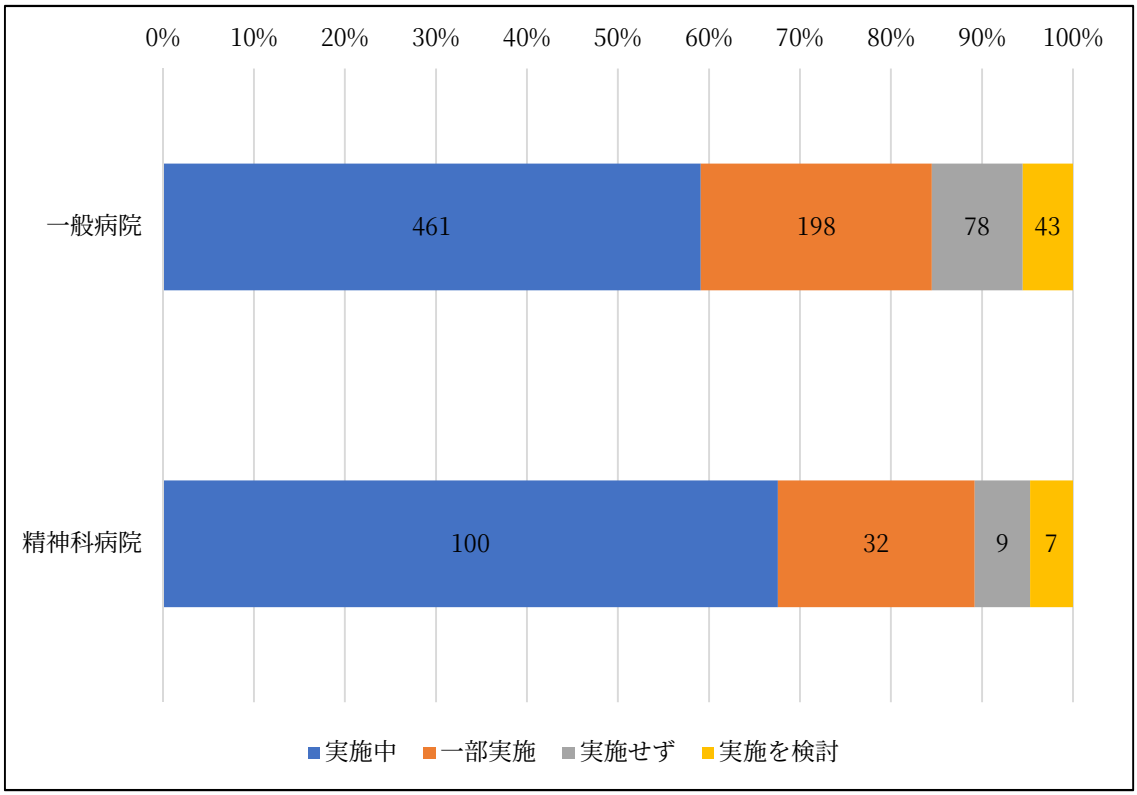

図 63-3. 一般・精神科病院別

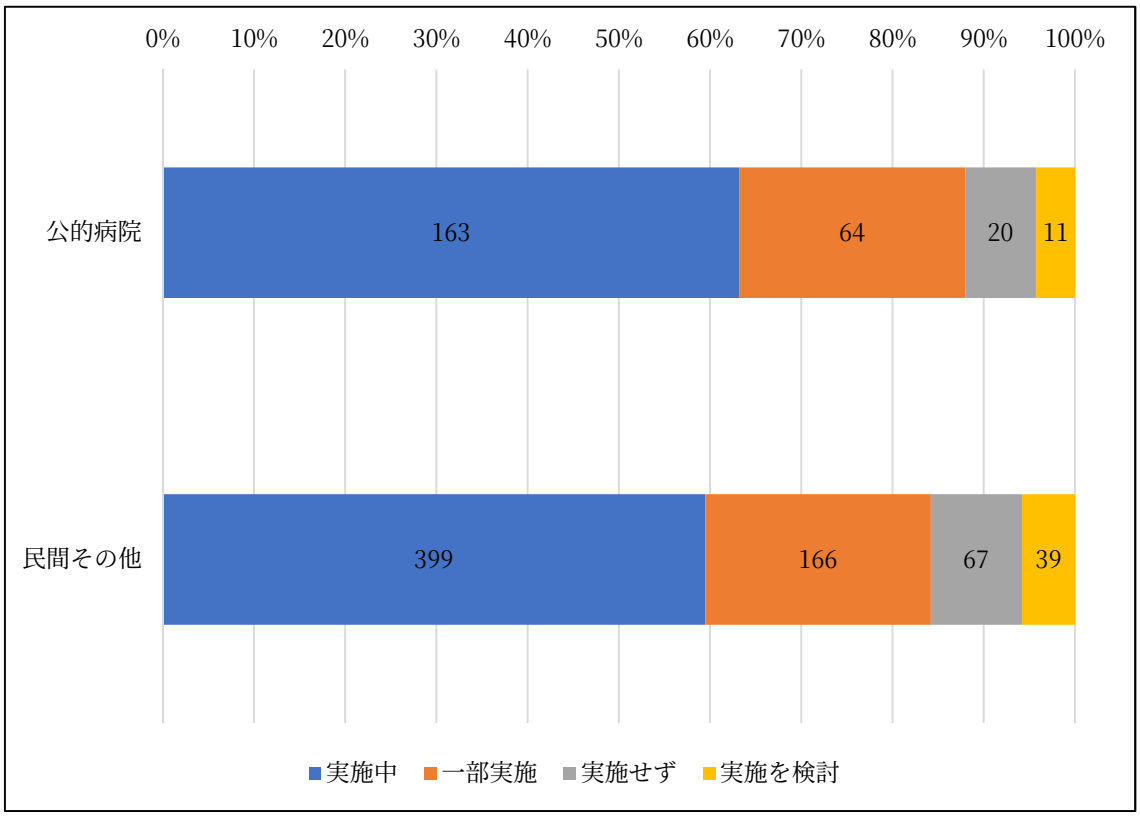

図 63-4. 公的・民間別

③被害者のケアのために管理者を支援する体制がある

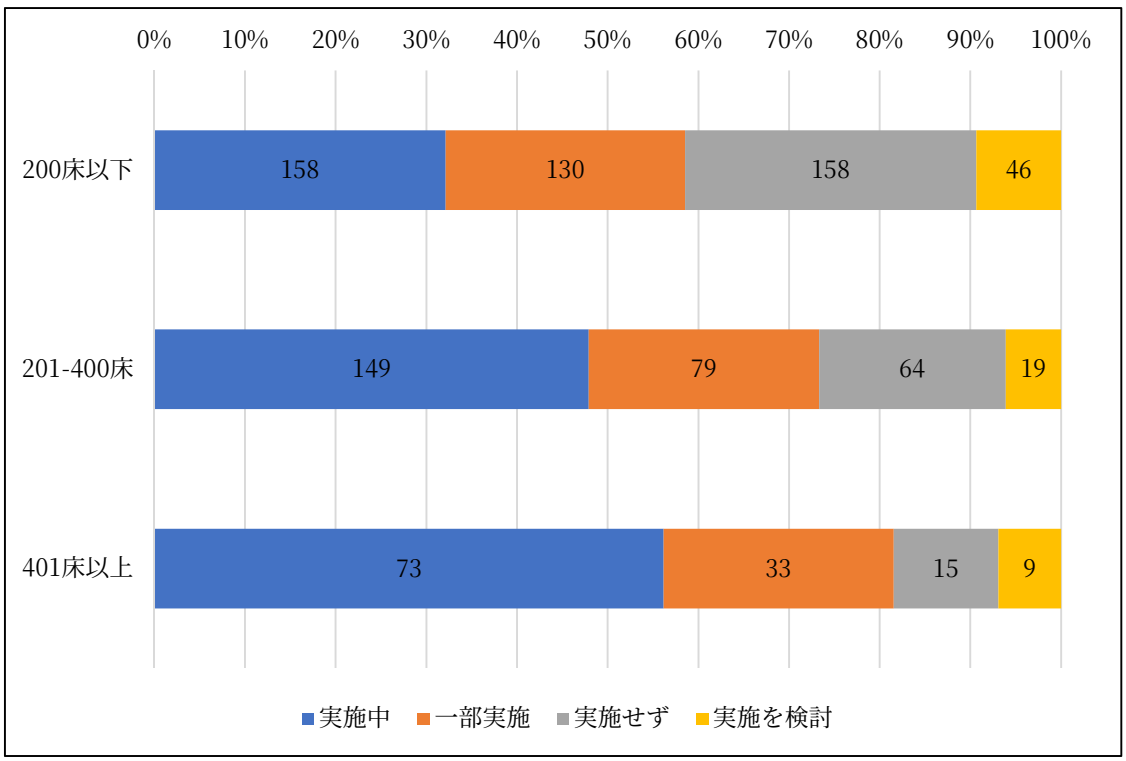

図 64-1. 病床数別

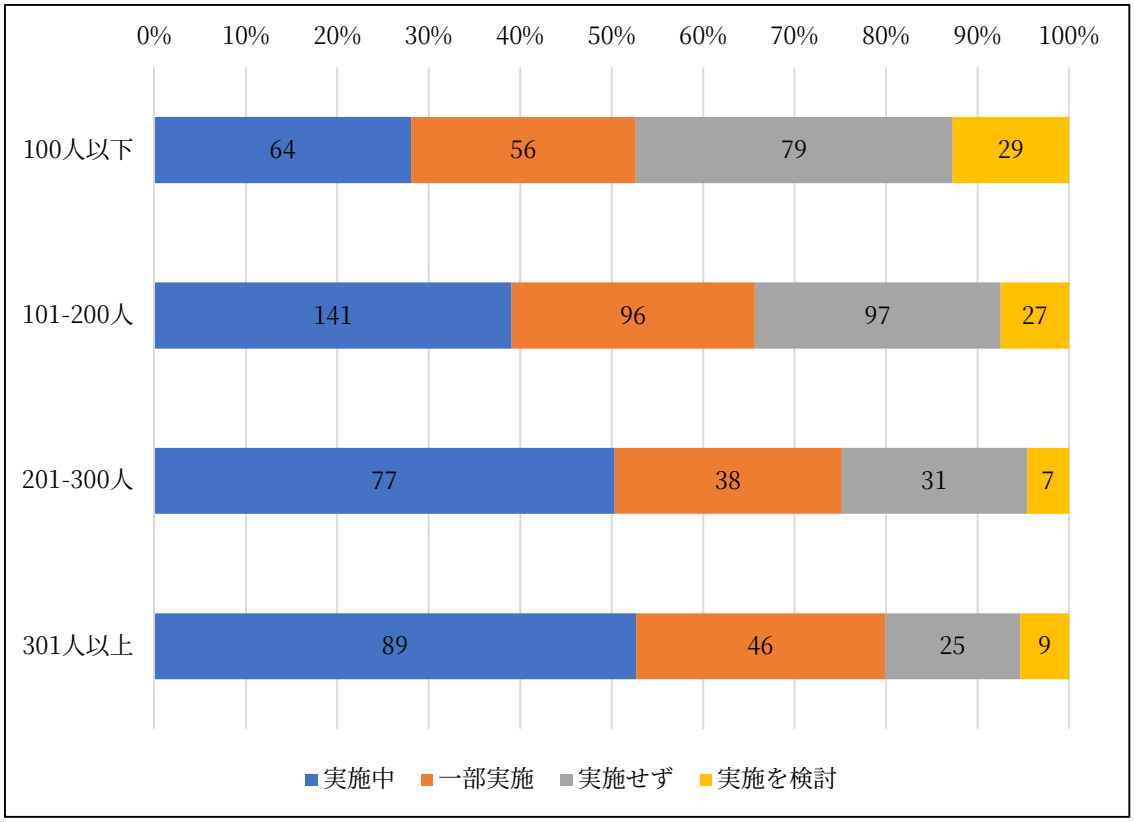

図 64-2. 看護職数別

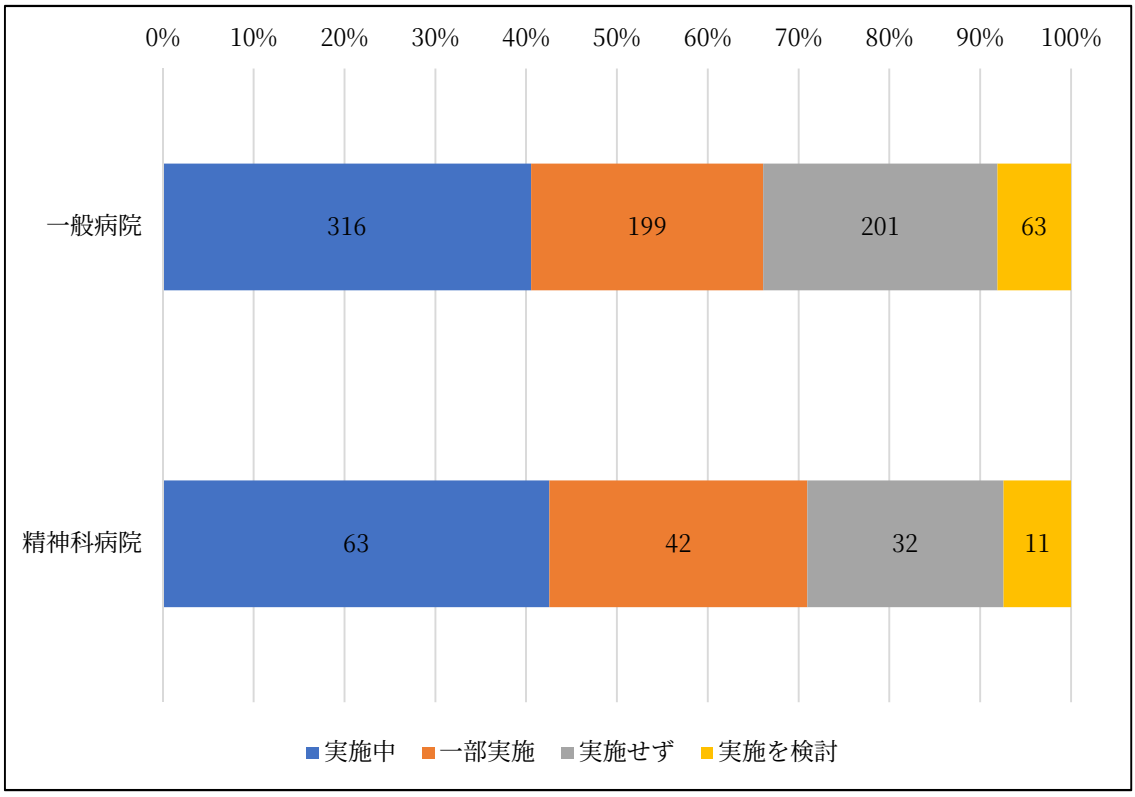

図 64-3. 一般・精神科病院別

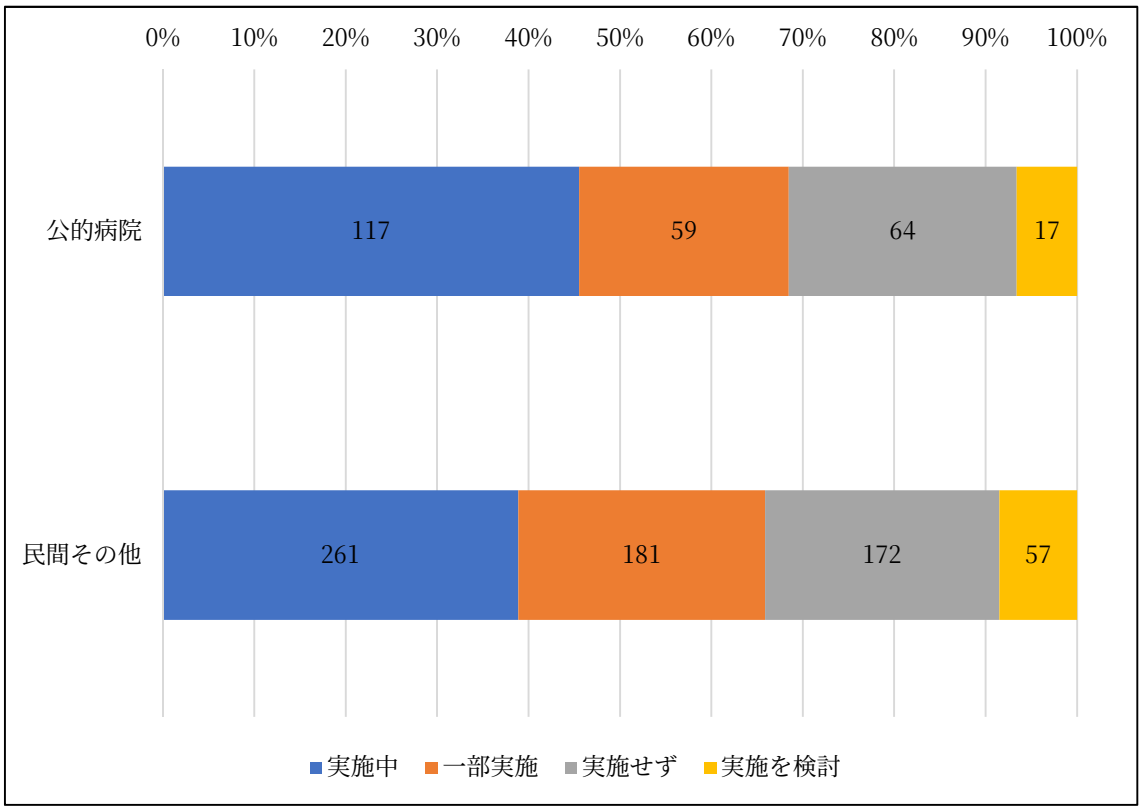

図 64-4. 公的・民間

④被害者やその場に居合わせた人が安心して職場へ復帰できる支援体制がある

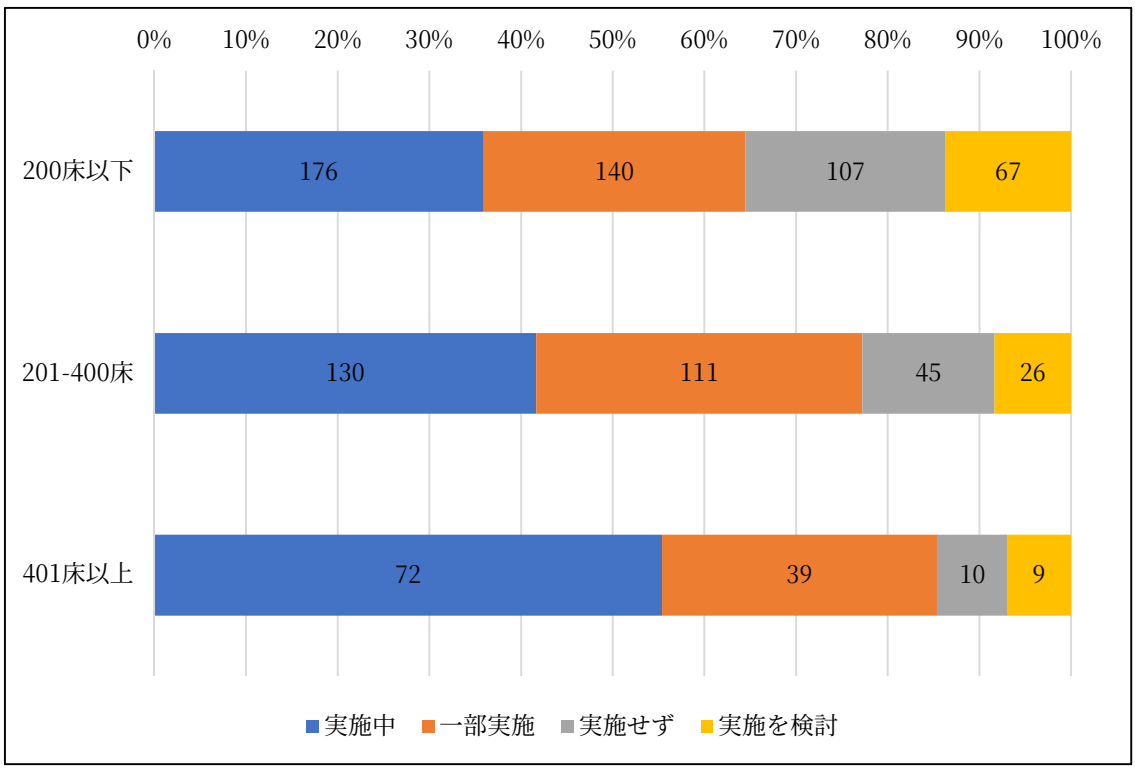

図 65-1. 病床数別

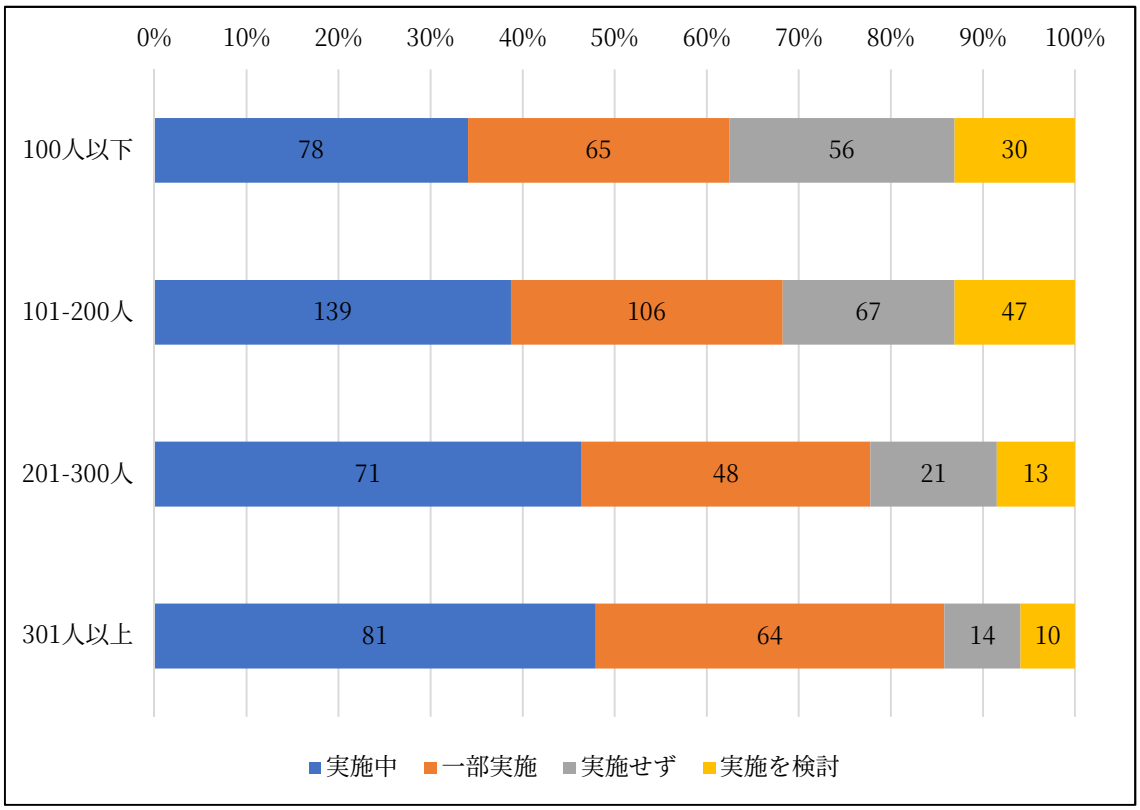

図 65-2. 看護職数別

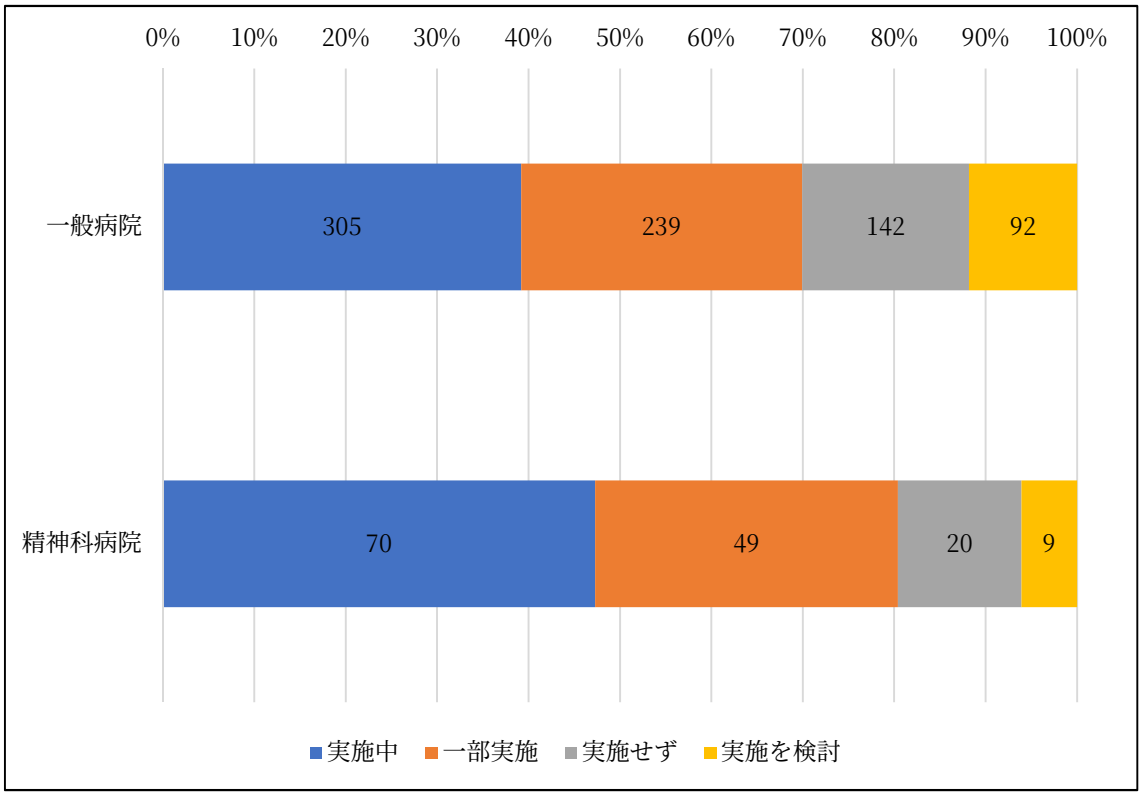

図 65-3. 一般・精神科病院別

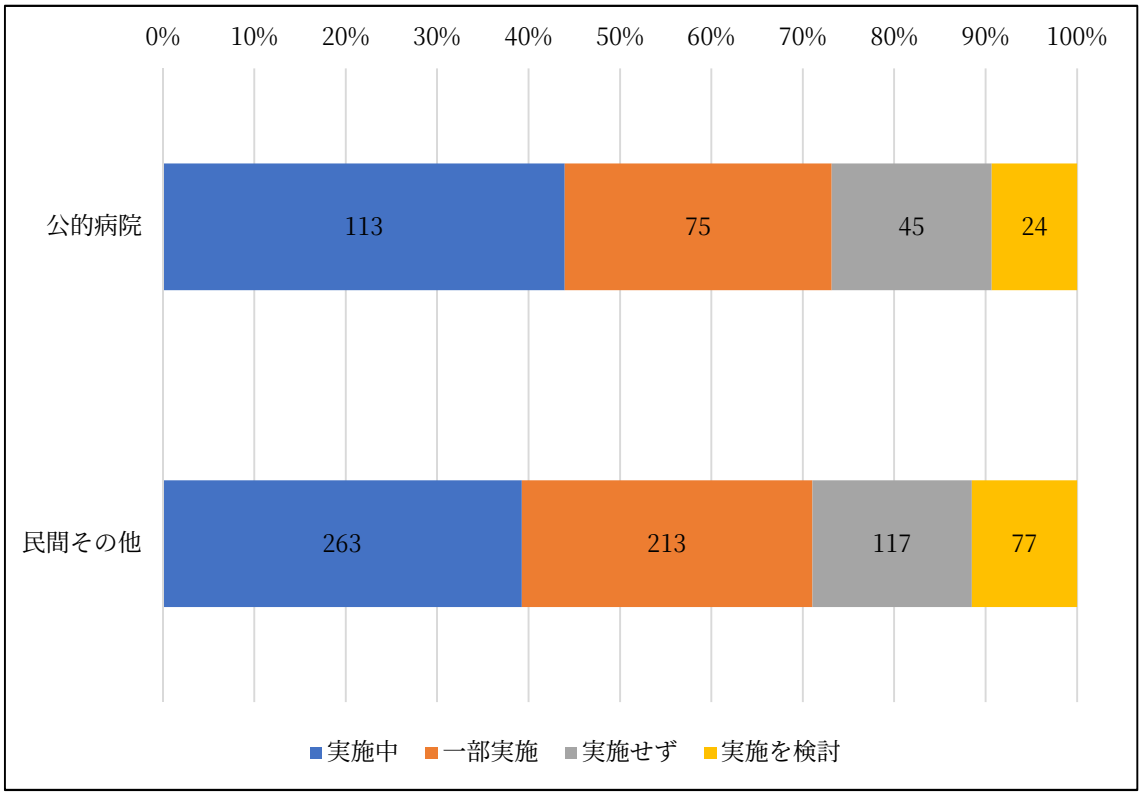

図 65-4. 公的・民間別

⑤行為者からの暴力等の再発を予防するために被害者の配置を検討する

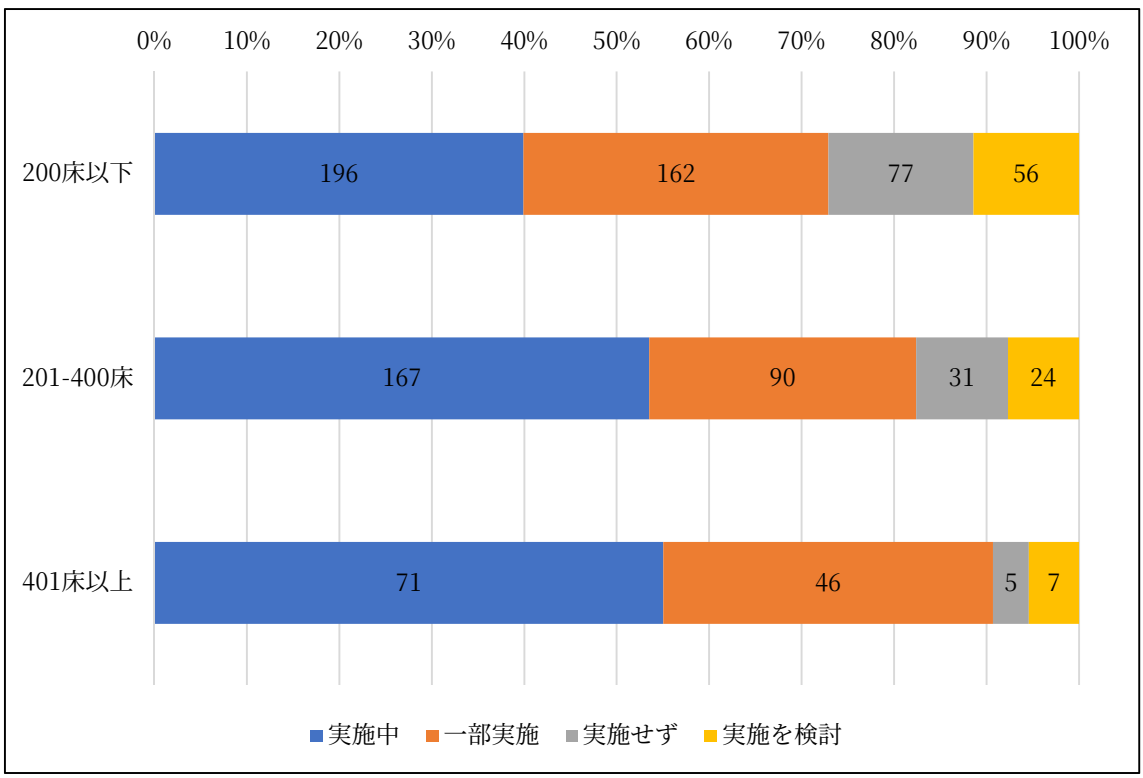

図 66-1. 病床数別

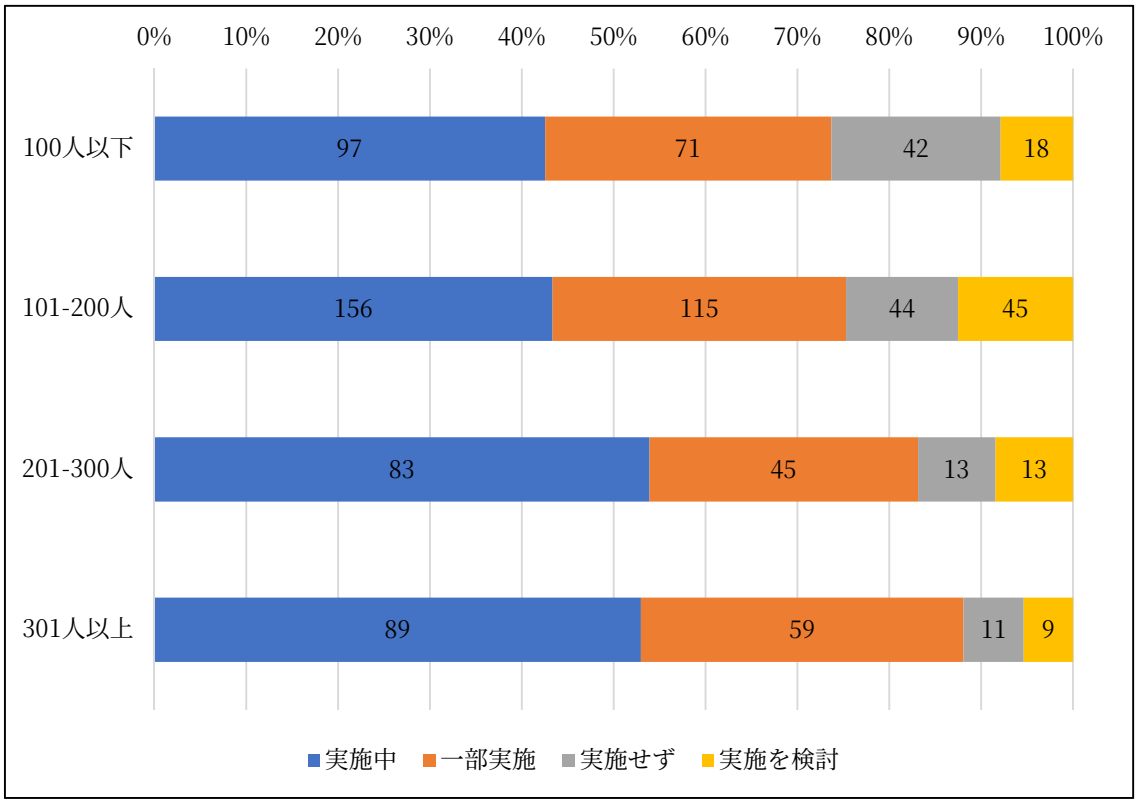

図 66-2. 看護職数別

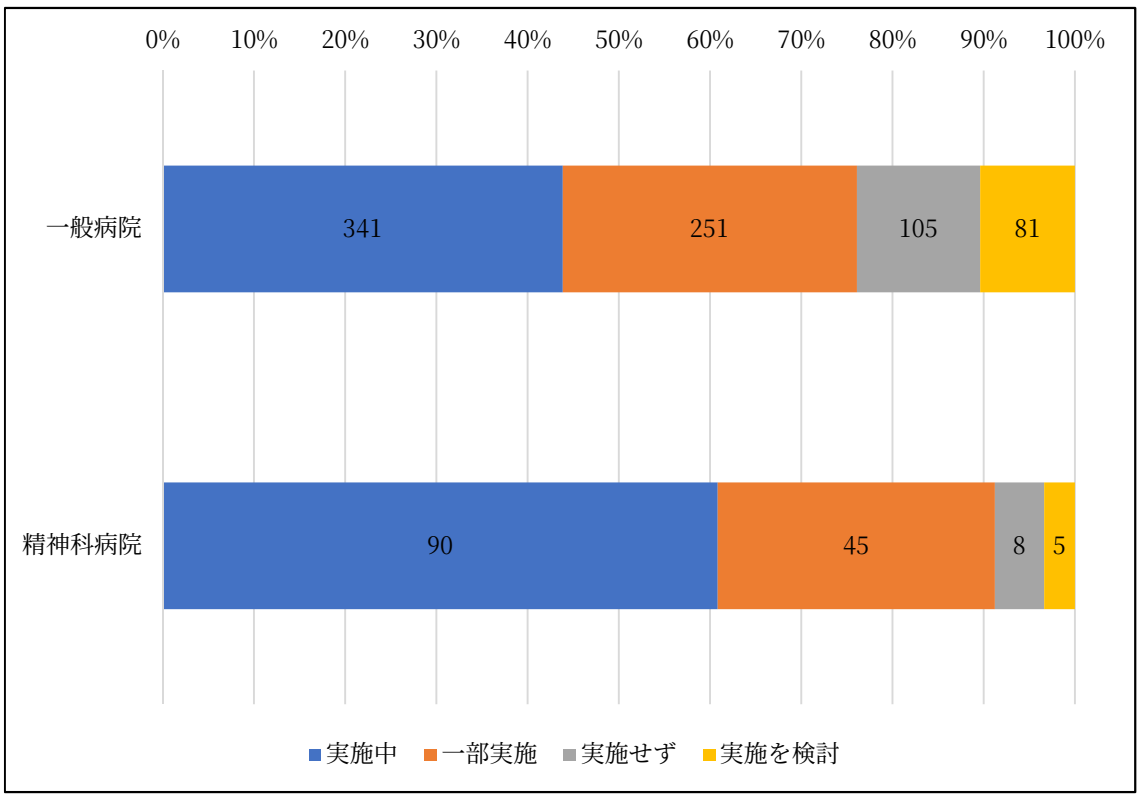

図 66-3. 一般・精神科病院別

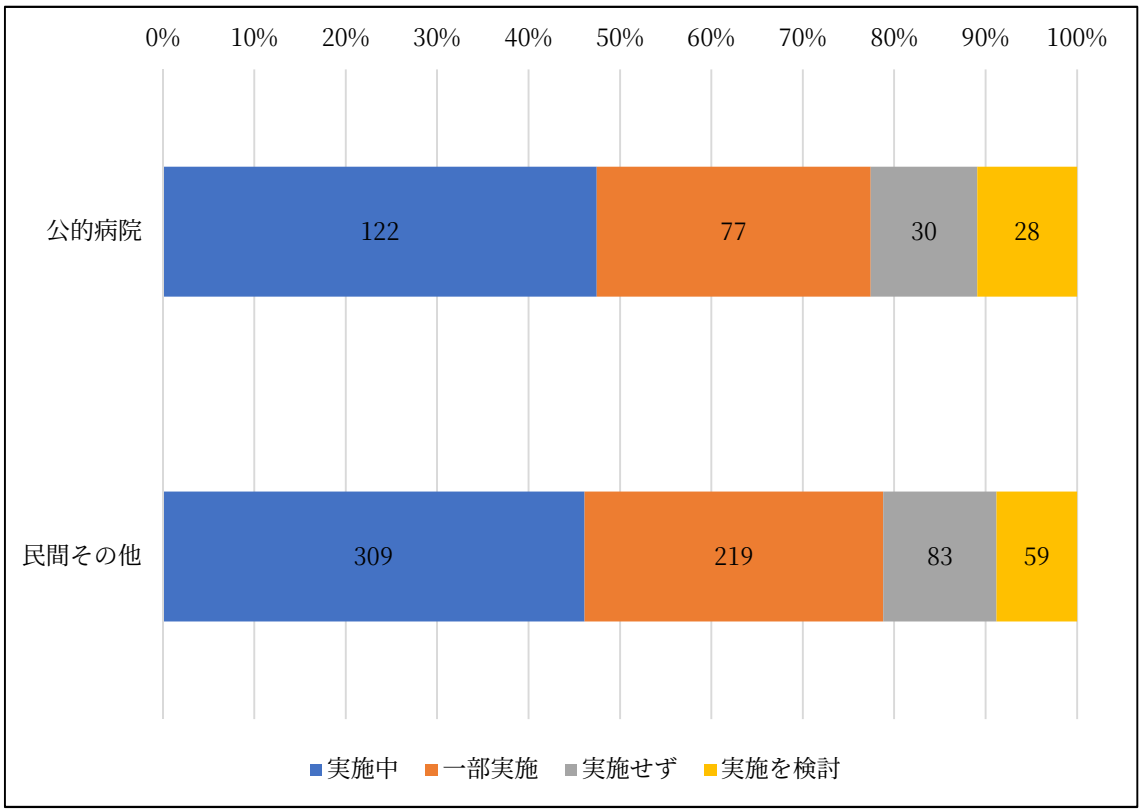

図 66-4. 公的・民間別

⑥暴力等の発生について全員で共有する場や手順を決め、さらなる被害を予防する

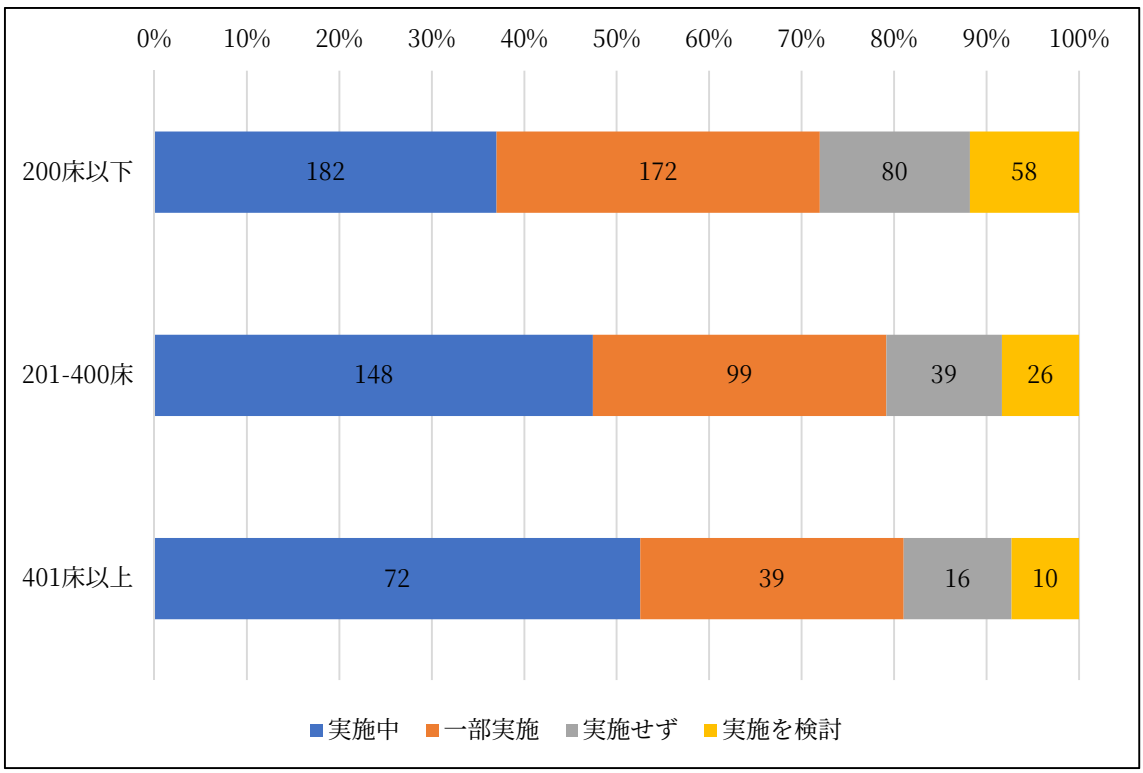

図 67-1. 病床数別

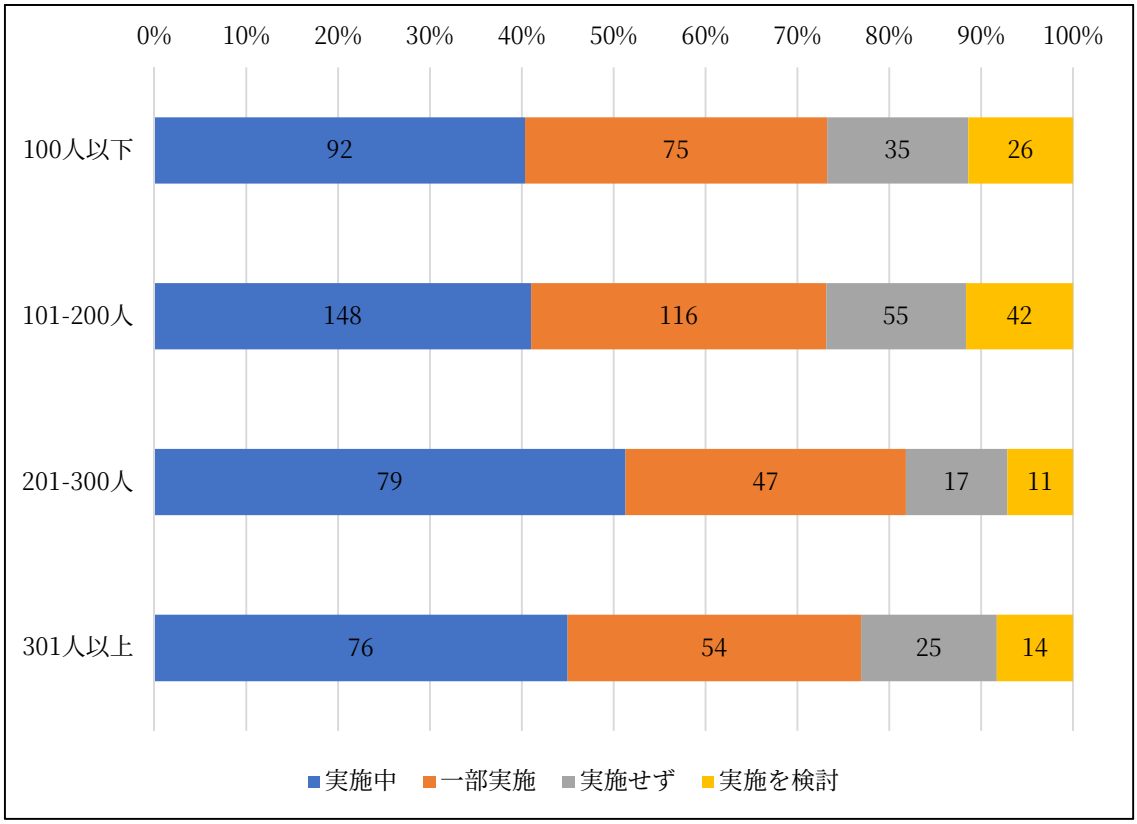

図 67-2. 看護職数別

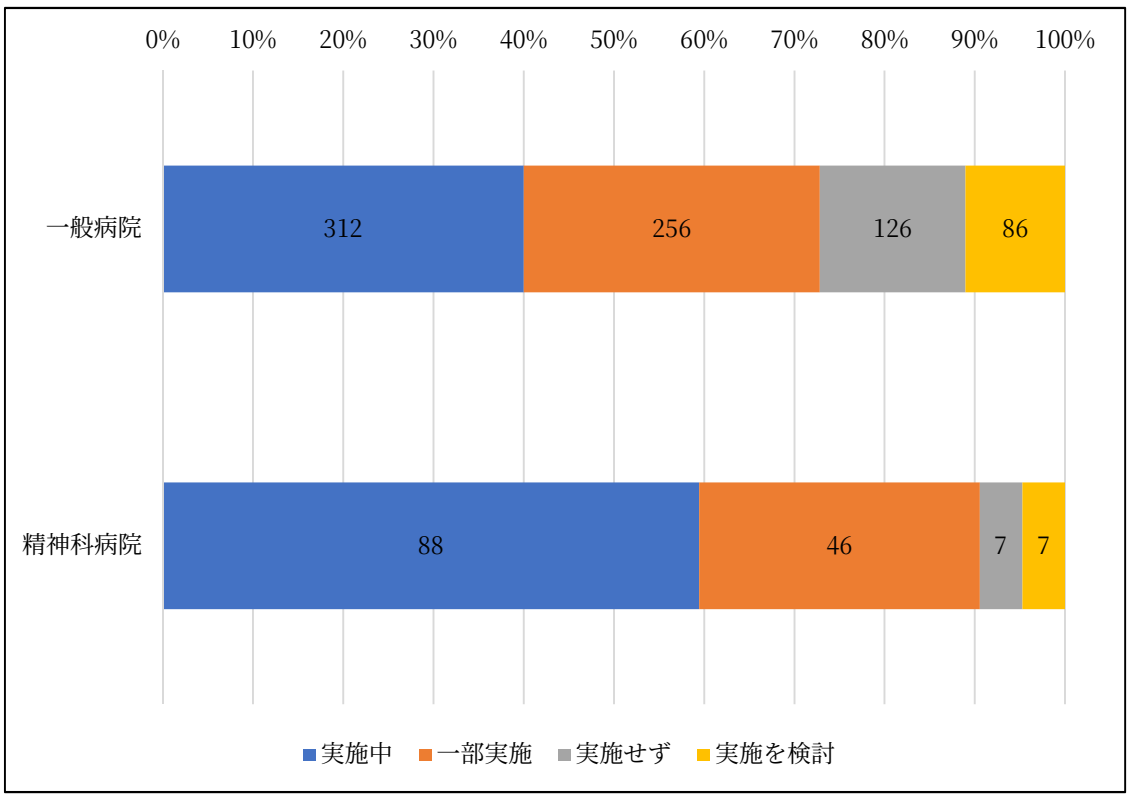

図 67-3. 一般・精神科病院別

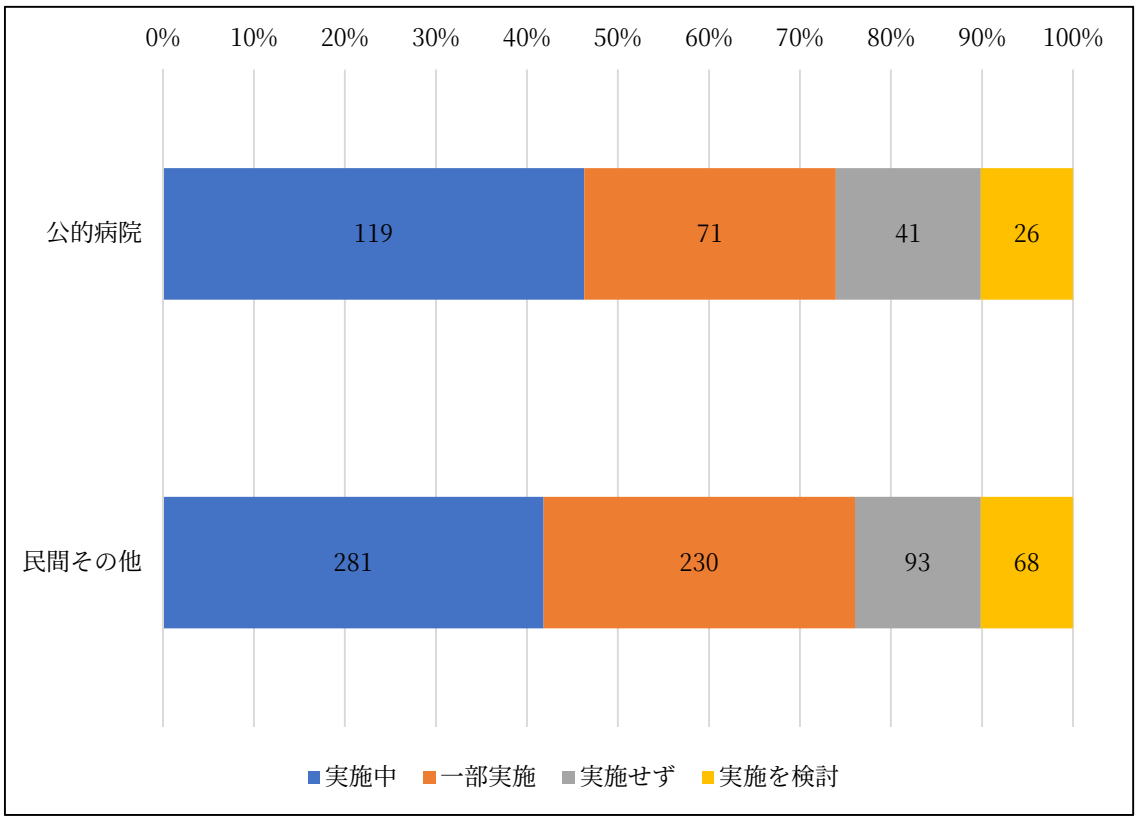

図 67-4. 公的・民間別

⑦被害者を支援する病院以外の資源・サービスがある

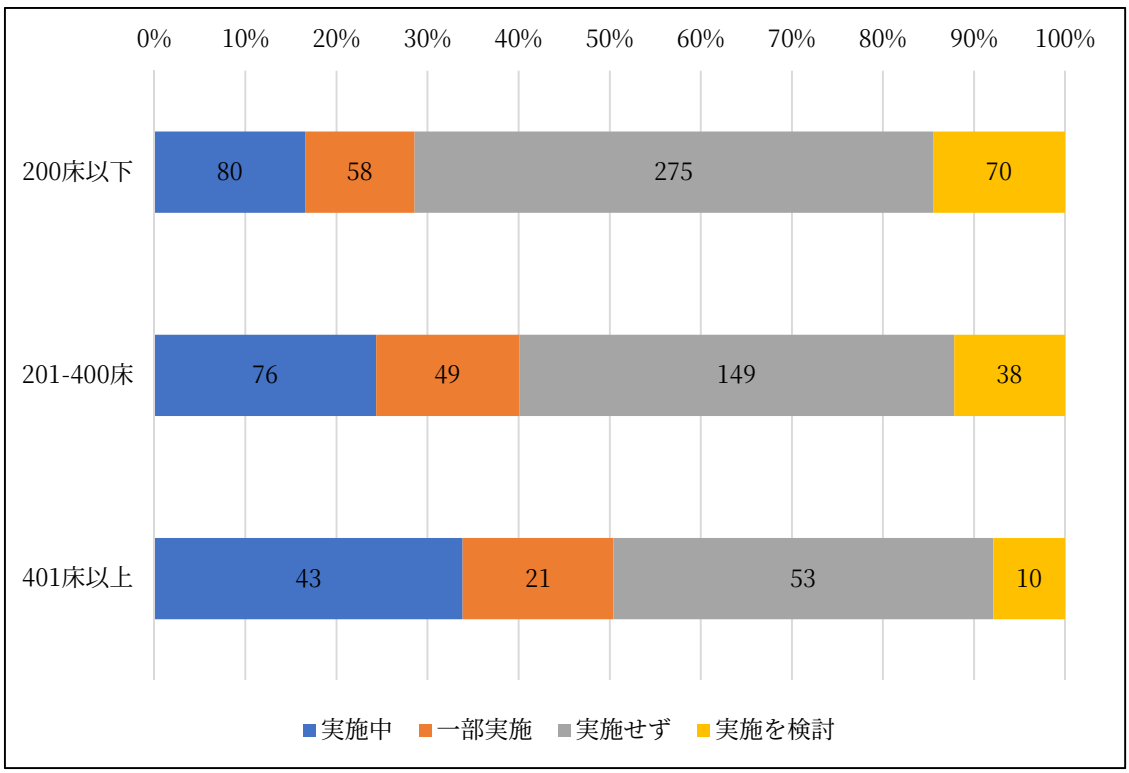

図 68-1. 病床数別

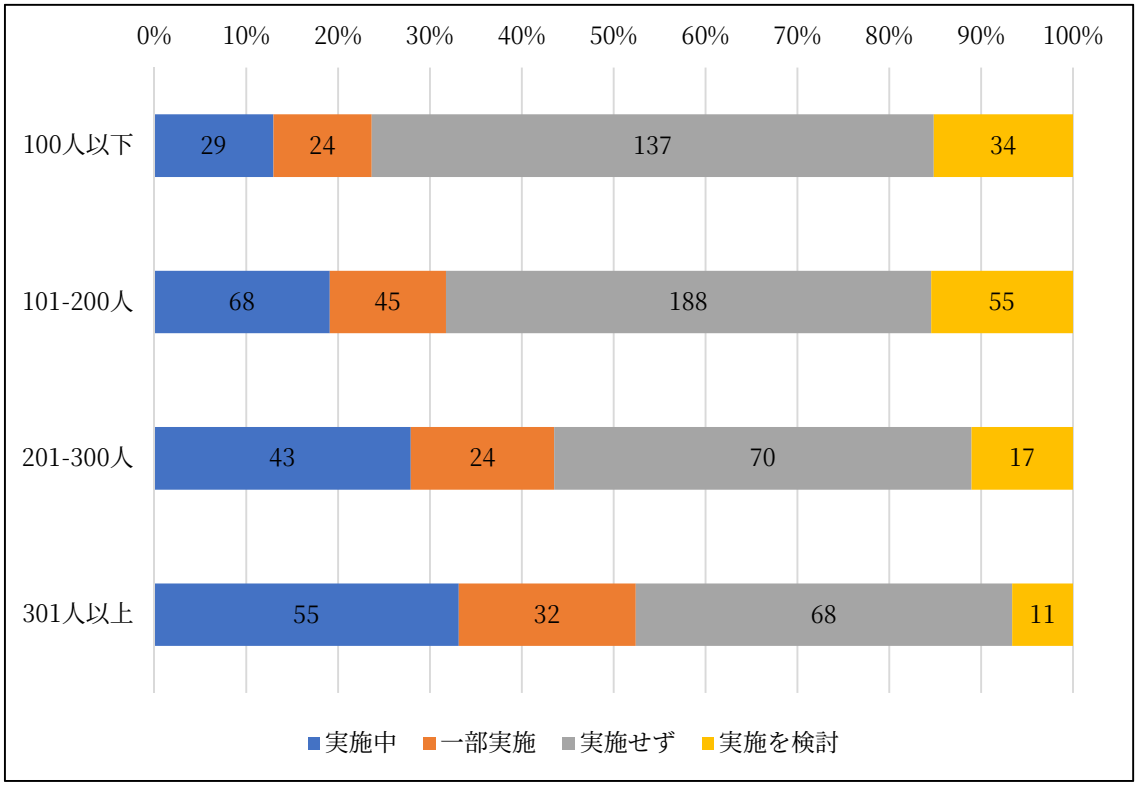

図 68-2. 看護職数別

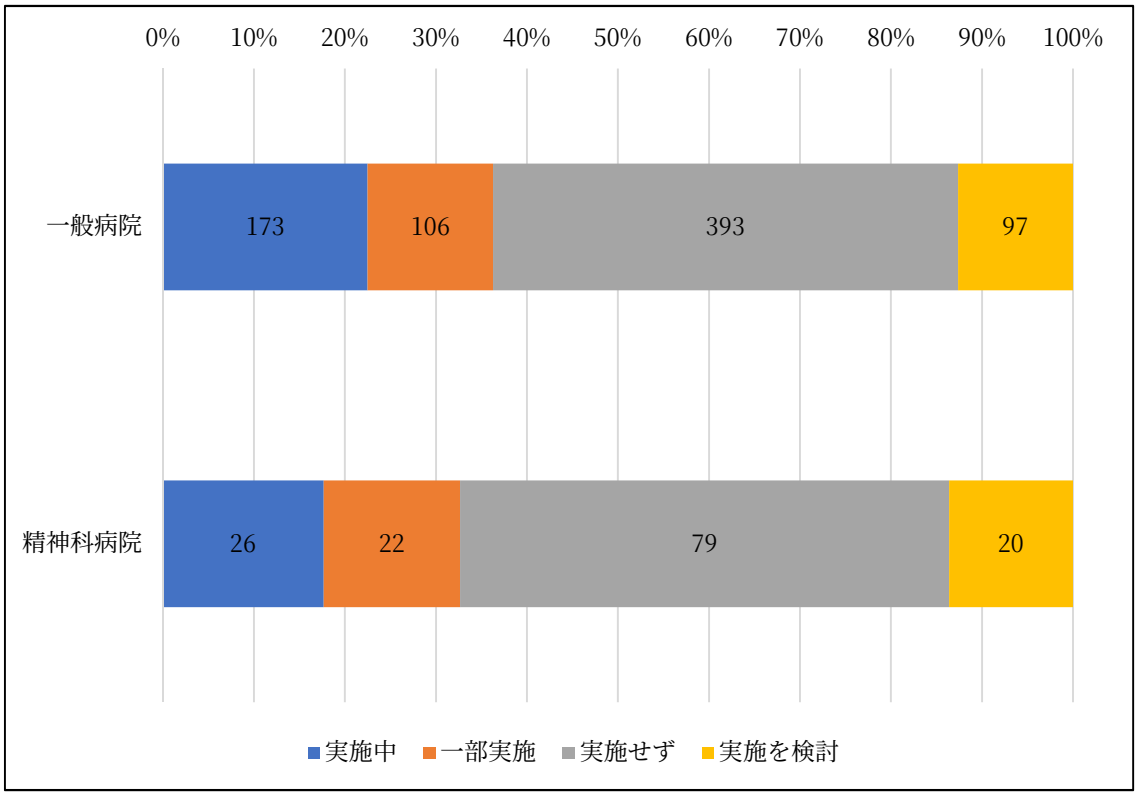

図 68-3. 一般・精神科病院別

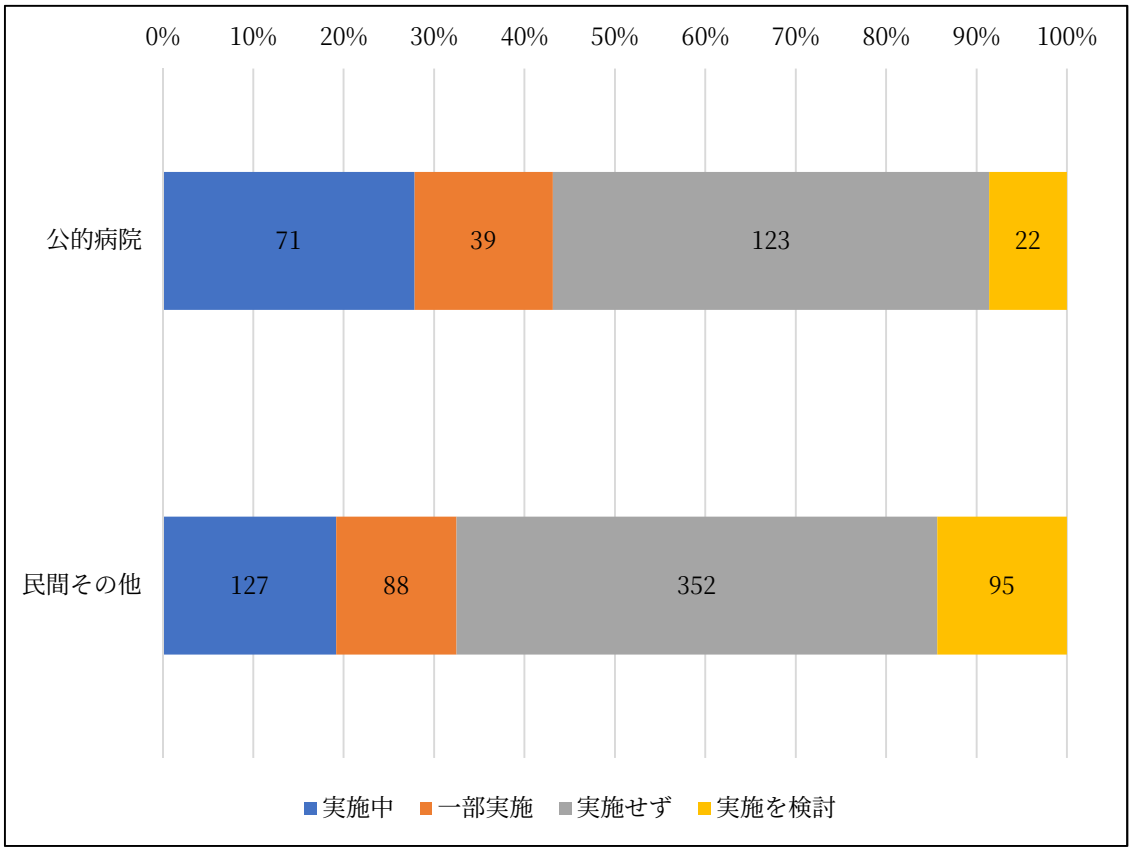
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
公的病院
71
39
123
22
民間その他
127
88
352
95
実施中
一部実施
実施せず
実施を検討

図 68-4. 公的・民間別